

土浦市
子ども・子育て支援事業のニーズ調査
結果報告書

令和6年7月

土 浦 市

目次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象	1
3 調査期間	1
4 調査方法	1
5 回収状況	1
6 調査結果の表示方法	2
II 調査結果	3
1 就学前児童	3
(1) お住まいの地域について	3
(2) 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について	4
(3) 子どもの育ちをめぐる環境について	7
(4) 宛名のお子さんの保護者の就労状況について	15
(5) 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	26
(6) 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	41
(7) 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	50
(8) 宛名のお子さんの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）	55
(9) 宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	64
(10) 宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について	75
(11) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	87
(12) 子育てに関する悩みについて	102
(13) 子育てに関する支援等について	104
(14) 子どもの権利について	112
2 就学児童	114
(1) お住まいの地域について	114
(2) お子さんご家族の状況について	115
(3) 子どもの育ちをめぐる環境について	117
(4) お子さんの保護者の就労状況について	121
(5) お子さんの放課後児童クラブの利用について	132
(6) お子さんの病気の際の対応について	143

(7) お子さんの一時預かり等の利用について	152
(8) お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	160
(9) 子育てに関する悩みについて	163
(10) 子どもの権利について	172
Ⅲ 自由回答	174
1 就学前児童	174
2 就学児童	196
Ⅳ 調査票	210
1 就学前児童	210
2 就学児童	224

I 調査の概要

1 調査の目的

子ども・子育て支援事業計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市が算出するため、市民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

2 調査対象

(1) 就学前児童（0～2歳）

調査対象者：就学前児童の保護者 1,000人（宛名は児童名）

抽出条件：住民基本台帳から令和6年4月1日現在で0～2歳の児童を無作為抽出

(2) 就学前児童（3～5歳）

調査対象者：就学前児童の保護者 1,000人（宛名は児童名）

抽出条件：住民基本台帳から令和6年4月1日現在で3～5歳の児童を無作為抽出

(3) 就学児童（小学校）

調査対象者：小学校児童の保護者 1,000人（宛名は児童名）

抽出条件：住民基本台帳から令和6年4月1日現在で6～11歳の児童を無作為抽出

3 調査期間

令和6年4月24日（水）～令和6年5月17日（金）

4 調査方法

郵送による回答依頼、Webによる回答

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前児童	2,000通	460通	23.0%
就学児童	1,000通	282通	28.2%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

II 調査結果

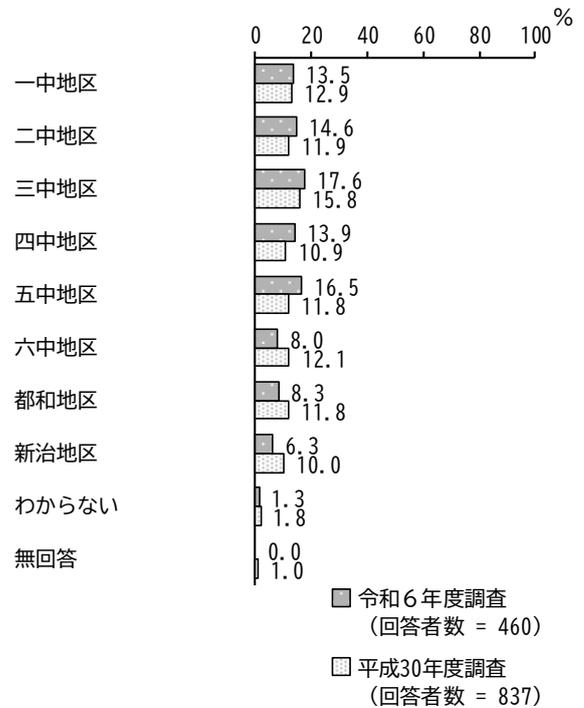
1 就学前児童

(1) お住まいの地域について

問1 お住まいの地区としてあてはまる番号1つに○をつけてください。

「三中地区」の割合が17.6%と最も高く、次いで「五中地区」の割合が16.5%、「二中地区」の割合が14.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

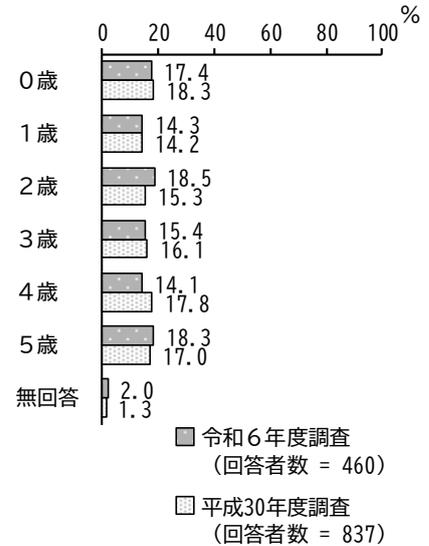


(2) 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月日をご記入ください。()内に数字でご記入ください。

「2歳」の割合が18.5%と最も高く、次いで「5歳」の割合が18.3%、「0歳」の割合が17.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

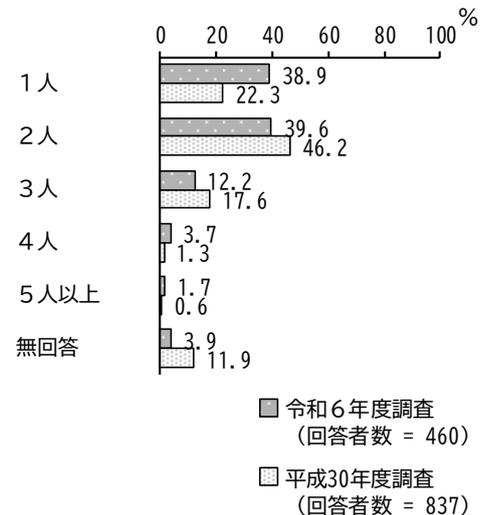


問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を()内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月日をご記入ください。

きょうだい数

「2人」の割合が39.6%と最も高く、次いで「1人」の割合が38.9%、「3人」の割合が12.2%となっています。

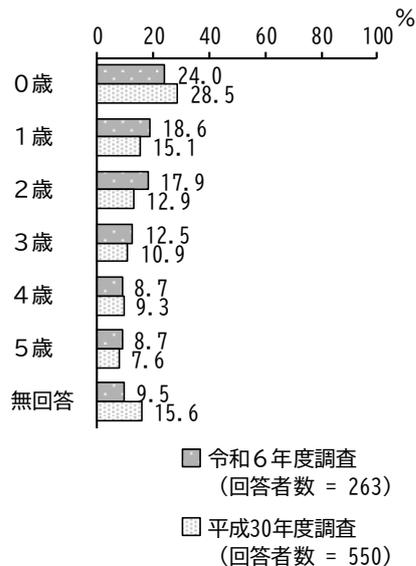
平成30年度調査と比較すると、「1人」の割合が増加しています。一方、「2人」「3人」の割合が減少しています。



未子の年齢

「0歳」の割合が 24.0%と最も高く、次いで「1歳」の割合が 18.6%、「2歳」の割合が 17.9%となっています。

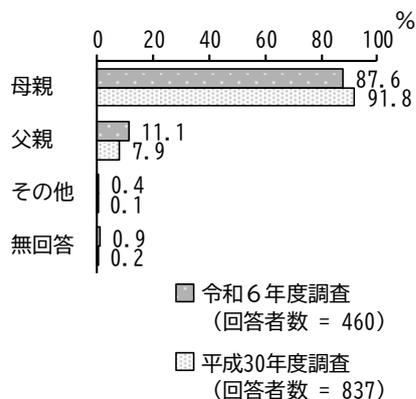
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が 87.6%、「父親」の割合が 11.1%となっています。

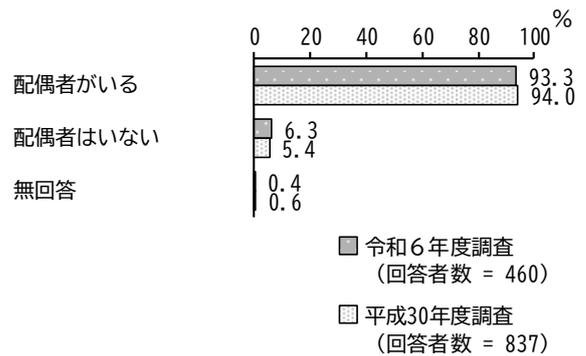
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」の割合が93.3%、「配偶者は
いない」の割合が6.3%となっています。

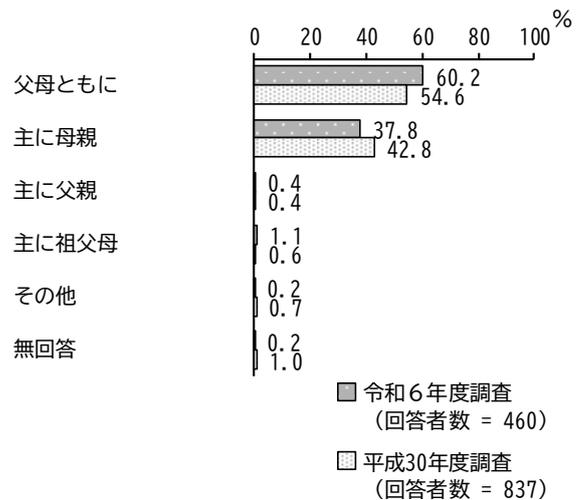
平成30年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。



問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。
お子さんからみた関係であてはまる番号1つに○をつけてください。

「父母ともに」の割合が60.2%と最も高く、次
いで「主に母親」の割合が37.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父母ともに」
の割合が増加しています。

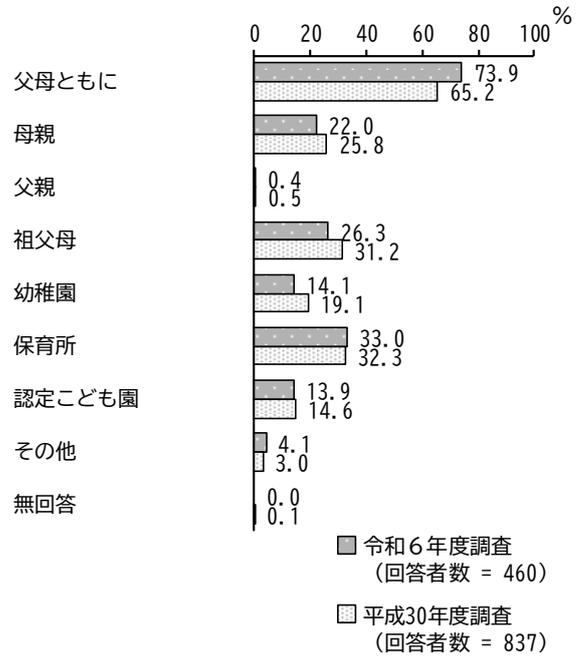


(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係であればまる番号すべてに○をつけてください。

「父母ともに」の割合が73.9%と最も高く、次いで「保育所」の割合が33.0%、「祖父母」の割合が26.3%となっています。

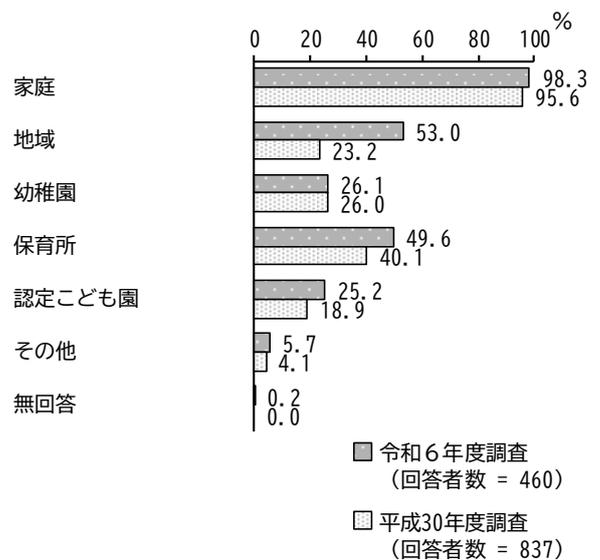
平成30年度調査と比較すると、「父母ともに」の割合が増加しています。一方、「祖父母」「幼稚園」の割合が減少しています。



問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

「家庭」の割合が98.3%と最も高く、次いで「地域」の割合が53.0%、「保育所」の割合が49.6%となっています。

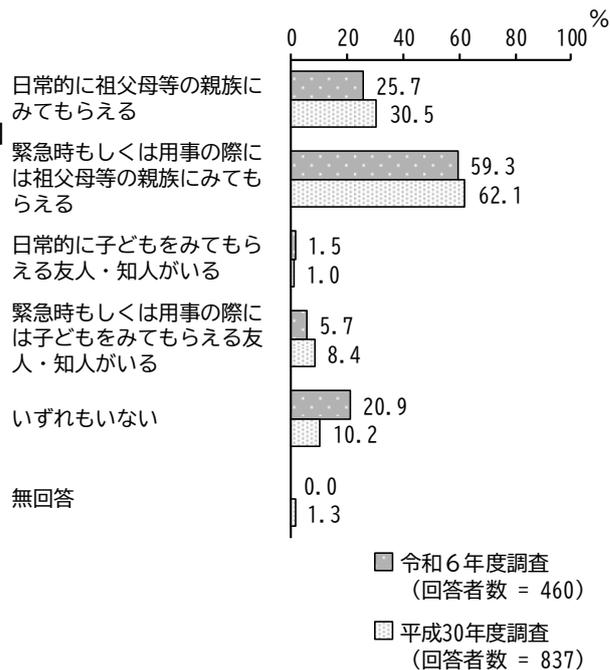
平成30年度調査と比較すると、「地域」「保育所」「認定こども園」の割合が増加しています。



問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が59.3%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が25.7%、「いずれもない」の割合が20.9%となっています。

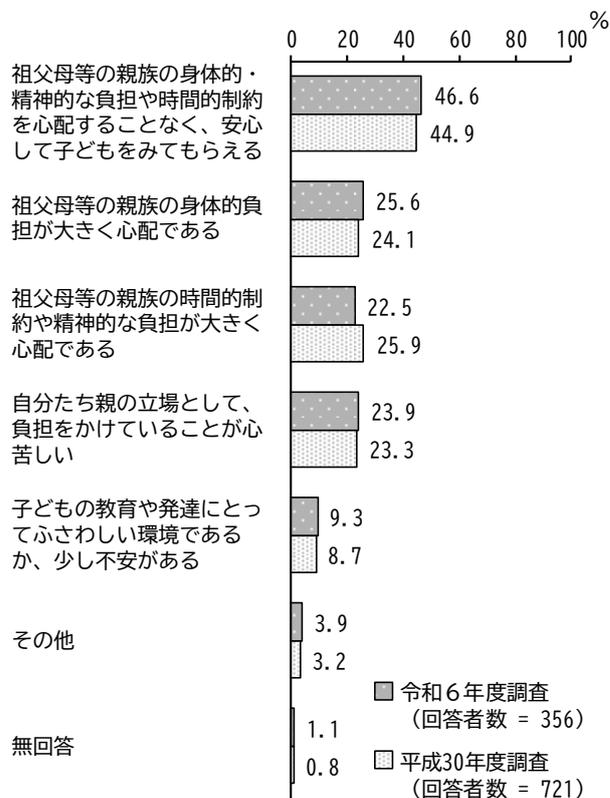
平成30年度調査と比較すると、「いずれもない」の割合が増加しています。



問9-1 問9で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が46.6%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が25.6%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が23.9%となっています。

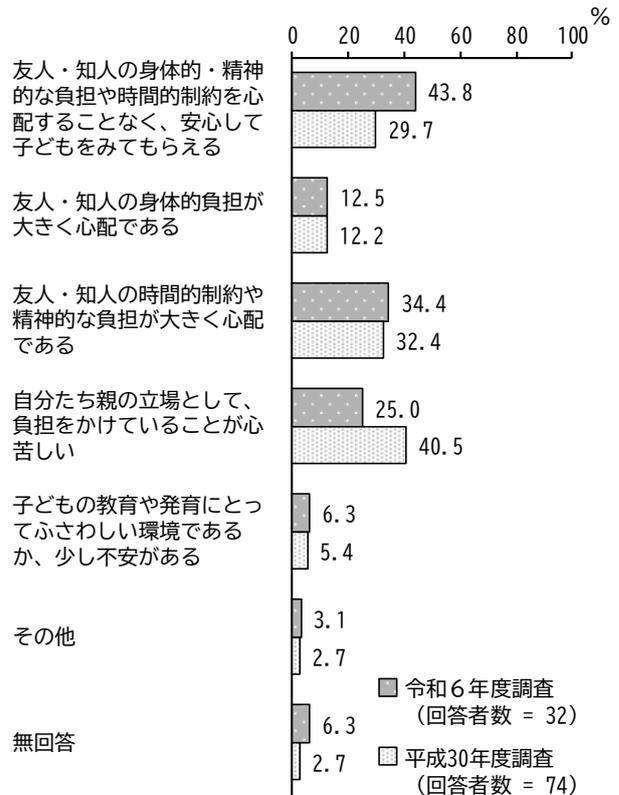
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問9-2 問9で「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が43.8%と最も高く、次いで「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が34.4%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が25.0%となっています。

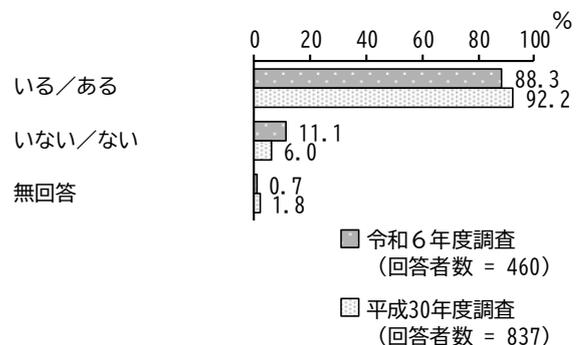
平成30年度調査と比較すると、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が増加しています。一方、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が減少しています。



問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「いる／ある」の割合が88.3%、「いない／ない」の割合が11.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「いない／ない」の割合が増加しています。

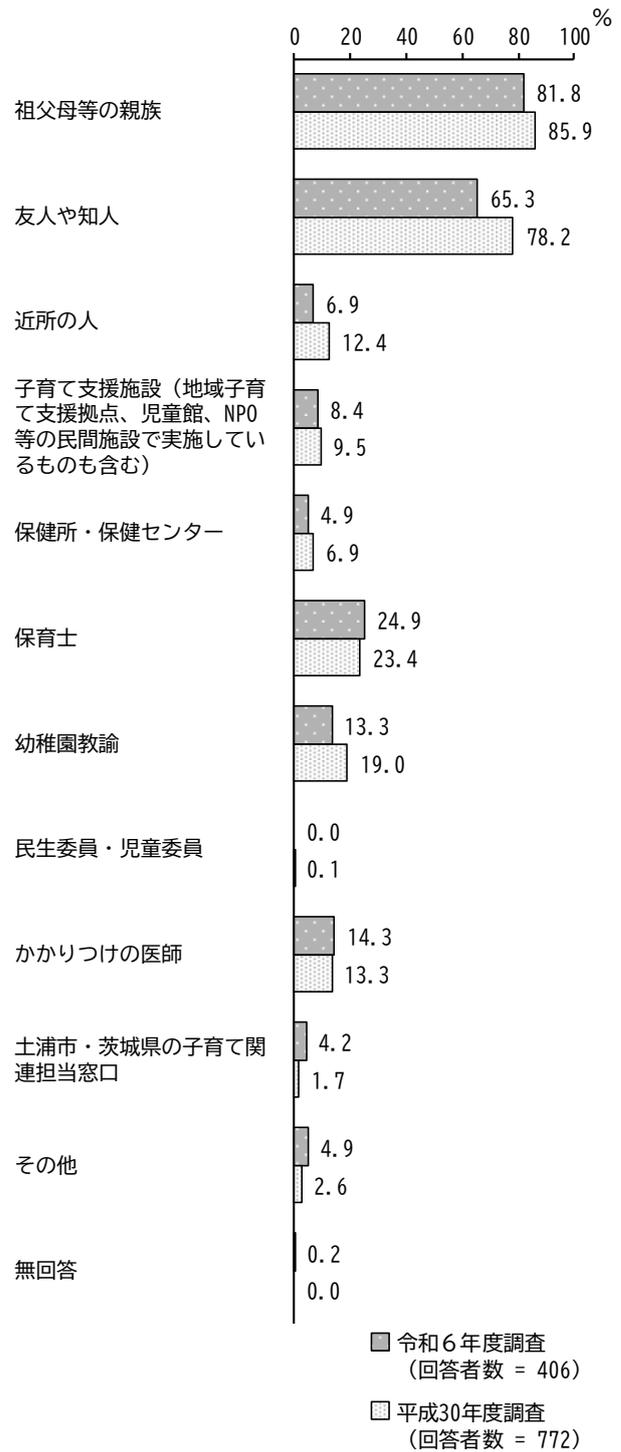


問10-1 問10で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族」の割合が81.8%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が65.3%、「保育士」の割合が24.9%となっています。

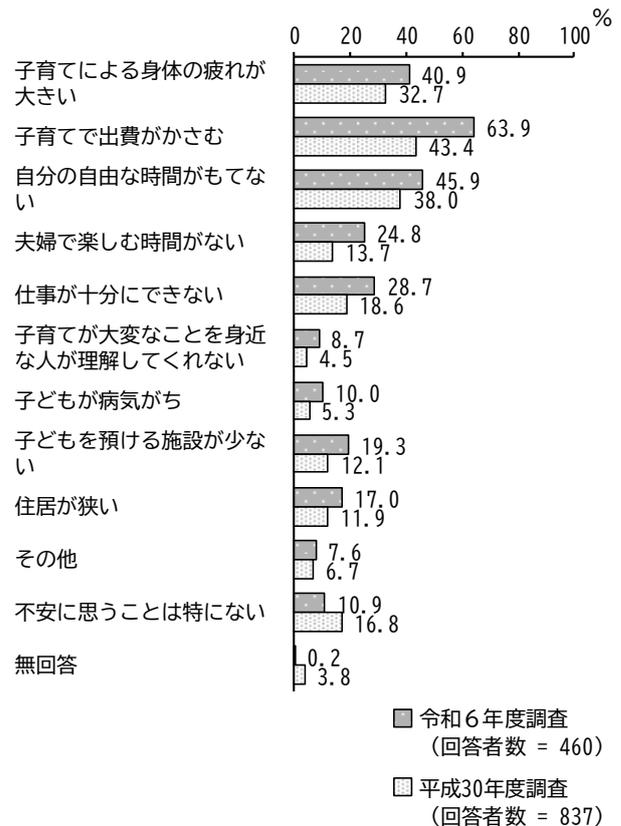
平成30年度調査と比較すると、「友人や知人」「近所の人」「幼稚園教諭」の割合が減少しています。



問11 子育てをする上で、特に不安に思っていることや悩んでいることはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

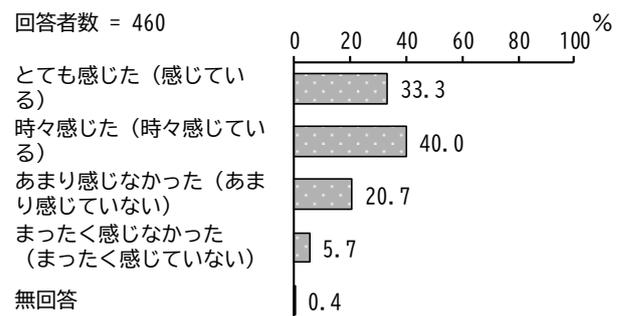
「子育てで出費がかさむ」の割合が63.9%と最も高く、次いで「自分の自由な時間がもてない」の割合が45.9%、「子育てによる身体の疲れが大きい」の割合が40.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子育てによる身体の疲れが大きい」「子育てで出費がかさむ」「自分の自由な時間がもてない」「夫婦で楽しむ時間がない」「仕事が十分にできない」「子どもを預ける施設が少ない」「住居が狭い」の割合が増加しています。一方、「不安に思うことは特にない」の割合が減少しています。



問12 産後に不安や負担は感じました（感じているようだった）か。あてはまる番号1つに○をつけてください。

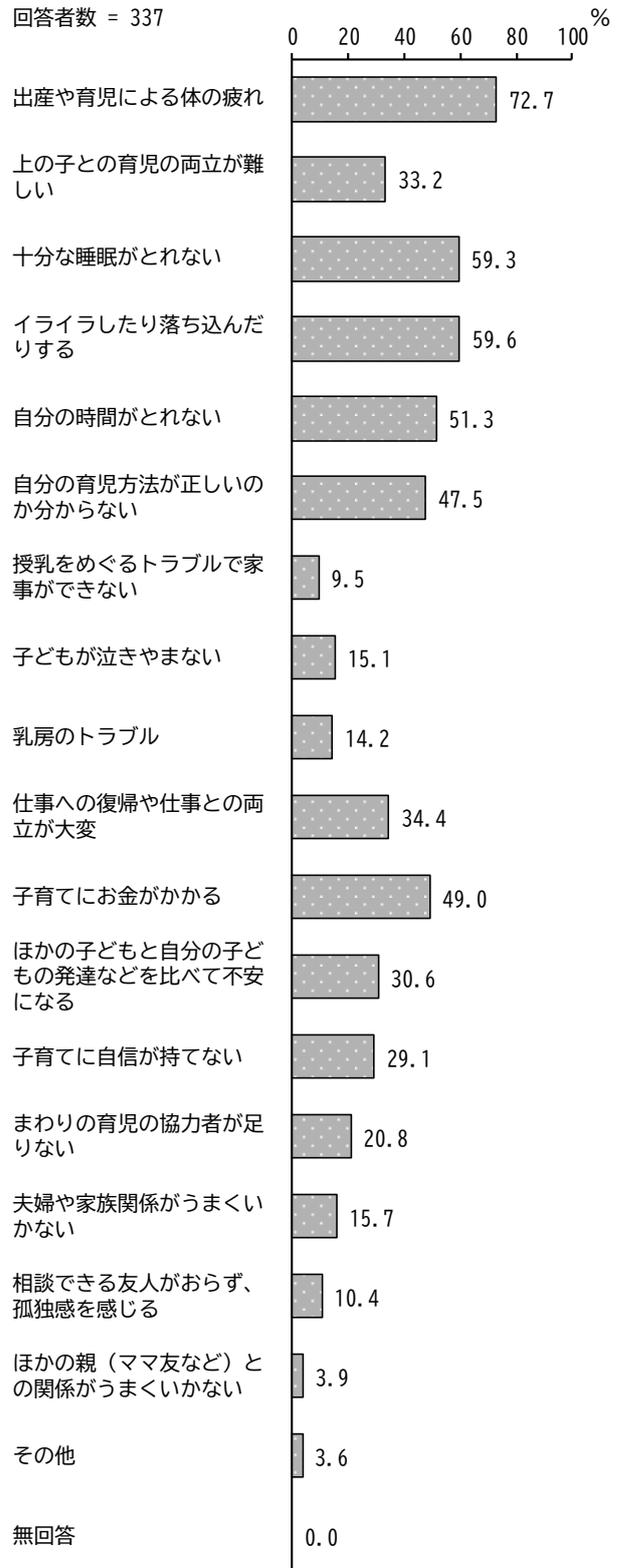
「時々感じた（時々感じている）」の割合が40.0%と最も高く、次いで「とても感じた（感じている）」の割合が33.3%、「あまり感じなかった（あまり感じていない）」の割合が20.7%となっています。



問 12-1 問 12 で「1. とても感じた (感じている)」～「2. 時々感じた (時々感じている)」と答えた方にお聞きします。それはどんな内容ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「出産や育児による体の疲れ」の割合が 72.7% と最も高く、次いで「イライラしたり落ち込んだりする」の割合が 59.6%、「十分な睡眠がとれない」の割合が 59.3%となっています。

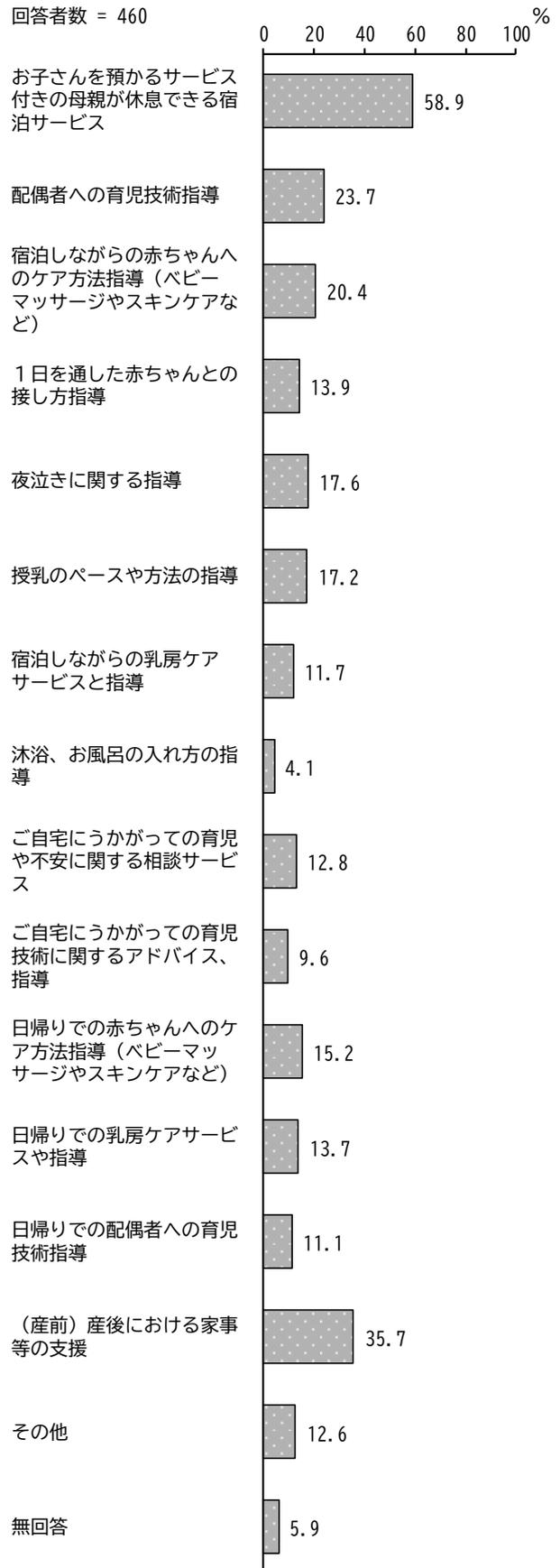
回答者数 = 337



問13 どのような支援を受けたかった、受けていますか。
 あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「お子さんを預かるサービス付きの母親が休息できる宿泊サービス」の割合が58.9%と最も高く、次いで「(産前)産後における家事等の支援」の割合が35.7%、「配偶者への育児技術指導」の割合が23.7%となっています。

回答者数 = 460



問 14 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

【主な意見】

- ・ 子供または親が体調不良の時に預けられるサービス。また、子供が入院した際に他の子供を見てくれるサービス。
- ・ 個室のあるレストランが増えたらいいなと思う。
- ・ 入学等で道具や制服を買いそろえると数万円かかるランドセルのように必要なものを配布してほしい。
- ・ 気軽に支援申請できるツールやアプリや SNS などがほしい。支援してほしいときにすぐに助けてくれる場所。今助けてほしいのに、支援を受けるまでに時間がかかるのがキツイので、すぐに支援を受けられるようにたくさん支援施設がほしい。
- ・ 初めての子育てはわからないことだらけだった。子育てに関して気軽にいつでも相談できる場所がほしかった。「わらべ」や「こどもランド」に時折相談員の方がいたが、子供の昼寝の時間などでタイミングが合わないとなかなか会うことができない。また、相談員の方によっても親身になってくれる人とそうでない人がいて、私の場合は特に相談出来て助かったと思える体験はなかった。「こどもランド」には保育士さんが常駐しているが、スタッフさん同士で会話していることが多く、話しかけづらかった。常駐しているスタッフさんがもう少し気さくに声をかけてくれたり、一緒に子供と遊んでくれたりしたらいいのになあと思うことはよくあった。
- ・ 保育園も空きがないことが多くて利用しづらい。
- ・ 育児のストレスを緩和するために一時的に子供を預けられるサービスの拡充幼稚園等では、仕事以外ではなかなか子供を預けにくい。臨時の預りができる施設増やす。遅い時間、深夜帯の預り。
- ・ 社会的サポートについての講習があってもいいと思う。子育て支援に関してのサポートは、初産の場合、本で読んでも内容がいまいち分かりにくい。だとすれば、1 回の講習で沢山の情報を耳から入れた方がありがたいし、質問の機会も与えられる。また、欲を言えば、今後のワクチンスケジュールなど、子育てのイメージがしやすい講習にしてほしい。
- ・ 子供が遊べる公園等の施設を増やしてほしい。土浦市は公園が比較的少ない為、子供を遊ばせる場所は水郷がほとんどである。自宅から距離もある為、車移動が必須。みんな水郷に集まる為、水郷の子供遊具に列がで、遊ぶまでに時間がかかる。もう少し各地区ごとに公園を増やしてくれると助かる。
- ・ 産後退院直後のお弁当無料（もしくは激安）配送サービス。産後退院直後の家事代行サービス（無料もしくは激安）。出産前の父親（配偶者）学級（妊婦健診や乳児健診のように拒否権なしで絶対参加しなければいけないやつ）（出産育児の大変さ、サポートする上でのアドバイス等教える）生まれが近い子供と母親同士の交流する機会（イベント等）がほしい。（特に出産後は退院してから外部との繋がりが無く、大人と話したくなる。外に出るいい機会にもなり精神的に病むことが減るかも？）

(4) 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問 15 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】あてはまる番号1つに○をつけてください。

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が34.8%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が24.8%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が20.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

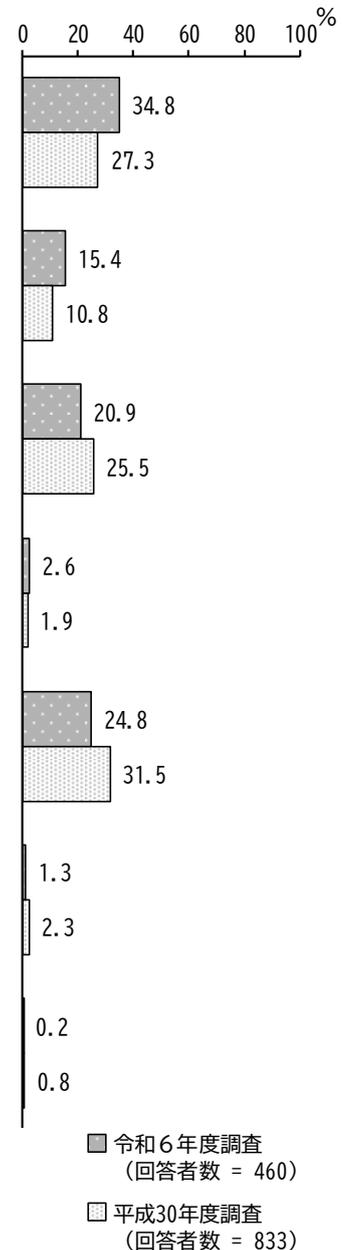
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない

パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

以前は就労していたが、現在は就労していない

これまで就労したことがない

無回答



(1) -1 (1) で「1.フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」～「4.パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

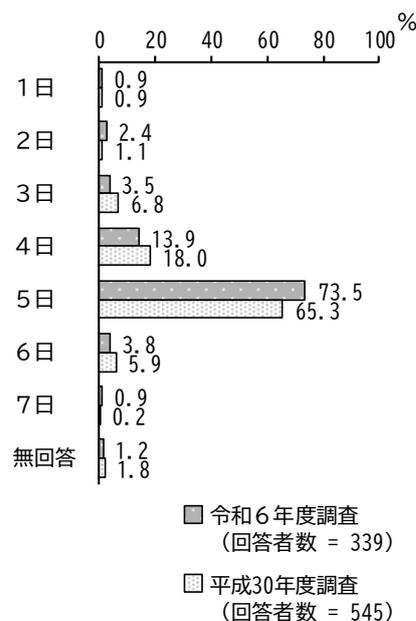
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（ ）内に数字でご記入ください。

1週当たり就労日数

「5日」の割合が73.5%と最も高く、次いで

「4日」の割合が13.9%となっています。

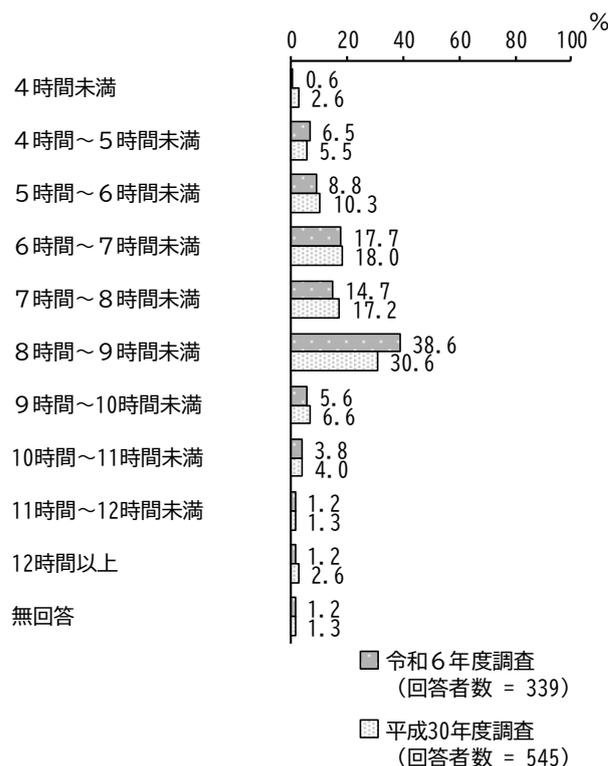
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。



1日当たり就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が38.6%と最も高く、次いで「6時間～7時間未満」の割合が17.7%、「7時間～8時間未満」の割合が14.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時間～9時間未満」の割合が増加しています。



(1) - 2 (1) で「1.フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」～「4.パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

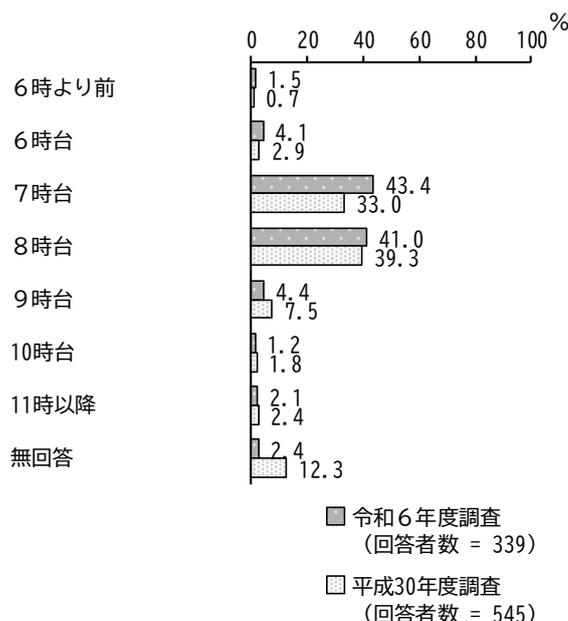
家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）8時00分～18時30分のように、24時間制でお答えください。（ ）内に数字でご記入ください。

家を出る時刻

「7時台」の割合が43.4%と最も高く、次いで

「8時台」の割合が41.0%となっています。

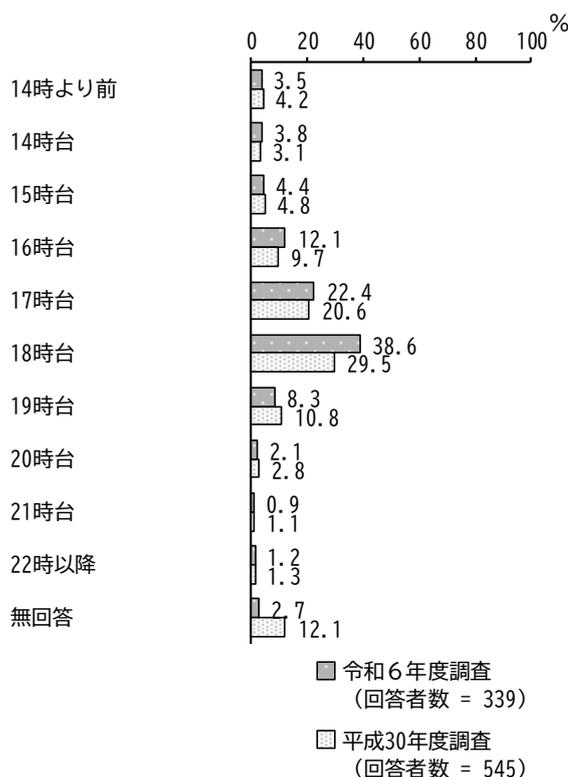
平成30年度調査と比較すると、「7時台」の割合が増加しています。



帰宅時刻

「18時台」の割合が38.6%と最も高く、次いで「17時台」の割合が22.4%、「16時台」の割合が12.1%となっています。

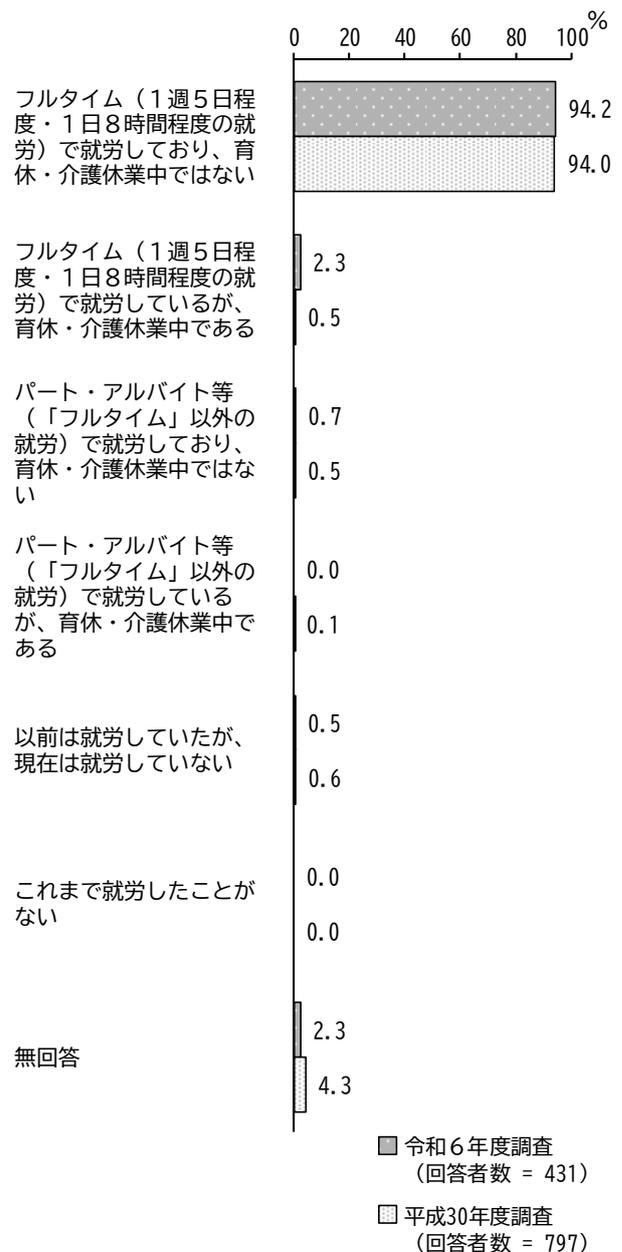
平成30年度調査と比較すると、「18時台」の割合が増加しています。



(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】あてはまる番号1つに○をつけてください。

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が94.2%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



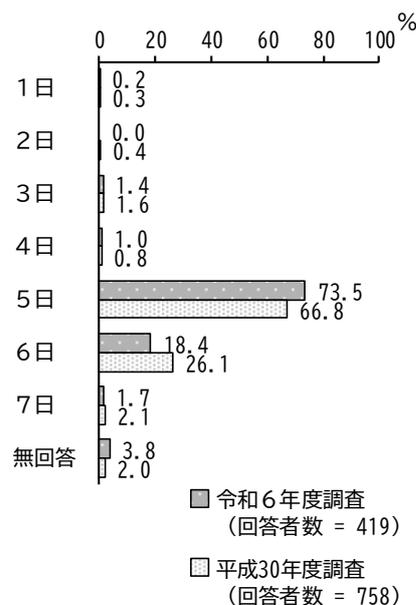
(2) -1 (2) で「1.フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」～「4.パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（ ）内に数字でご記入ください。

1週当たり就労日数

「5日」の割合が73.5%と最も高く、次いで「6日」の割合が18.4%となっています。

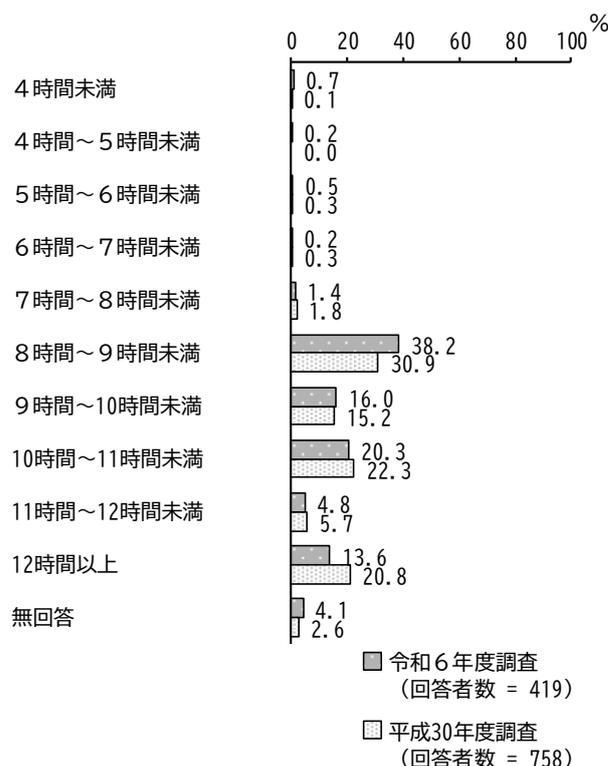
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「6日」の割合が減少しています。



1日当たり就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が38.2%と最も高く、次いで「10時間～11時間未満」の割合が20.3%、「9時間～10時間未満」の割合が16.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時間～9時間未満」の割合が増加しています。一方、「12時間以上」の割合が減少しています。



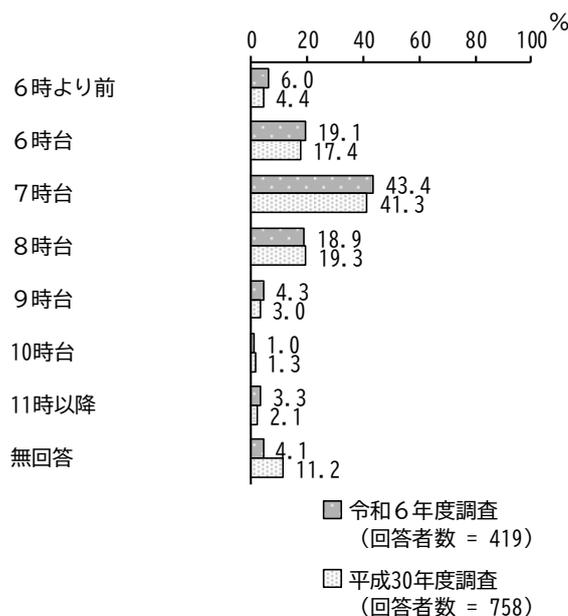
(2) - 2 (2) で「1.フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」～「4.パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）8時00分～18時30分のように、24時間制でお答えください。（ ）内に数字でご記入ください。

家を出る時刻

「7時台」の割合が43.4%と最も高く、次いで「6時台」の割合が19.1%、「8時台」の割合が18.9%となっています。

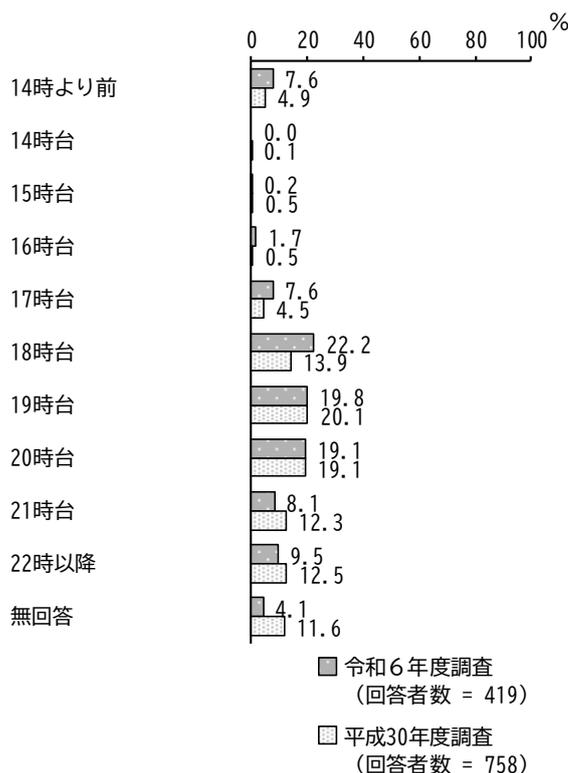
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



帰宅時刻

「18時台」の割合が22.2%と最も高く、次いで「19時台」の割合が19.8%、「20時台」の割合が19.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「18時台」の割合が増加しています。

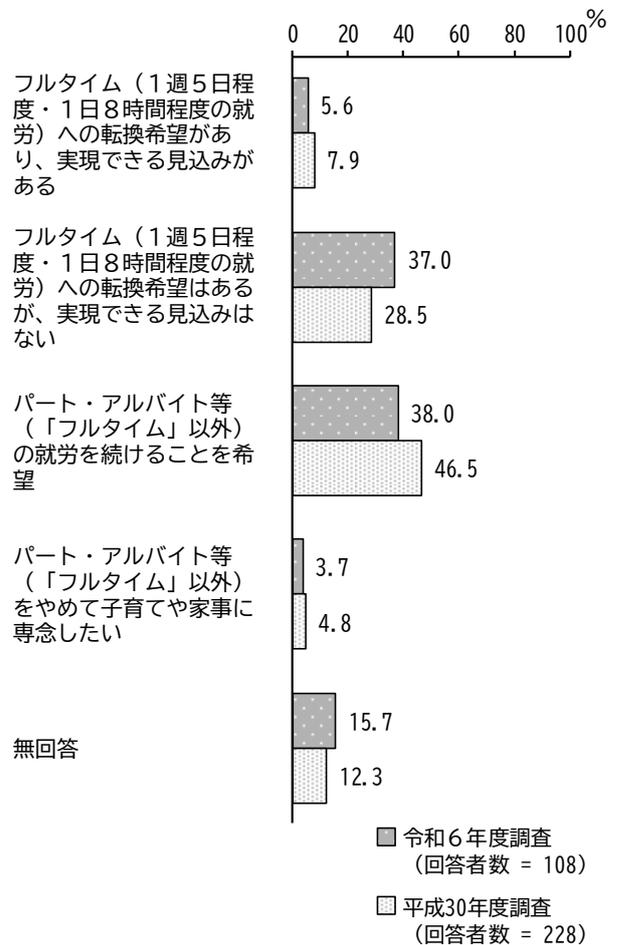


問16 問15の(1)または(2)で「3.パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「4.パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が38.0%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が37.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が増加しています。一方、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が減少しています。



(2) 父親

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が2件となっています。「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が1件となっています。

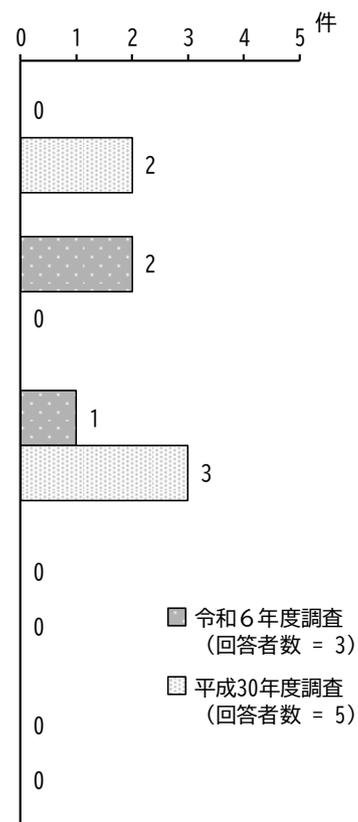
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない

パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望

パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

無回答



問17 問15の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問18へお進みください。就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字でご記入ください。

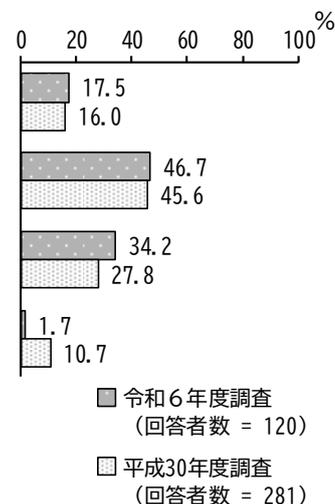
(1) 母親

「1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい」の割合が46.7%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が34.2%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が17.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が増加しています。

子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

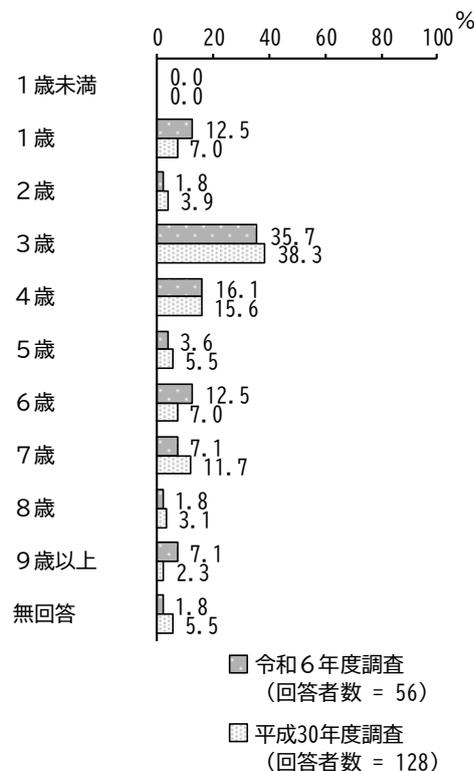
無回答



一番下の子どもが何歳になったころに就労したい

「3歳」の割合が35.7%と最も高く、次いで「4歳」の割合が16.1%、「1歳」、「6歳」の割合が12.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1歳」「6歳」の割合が増加しています。



希望する就労形態

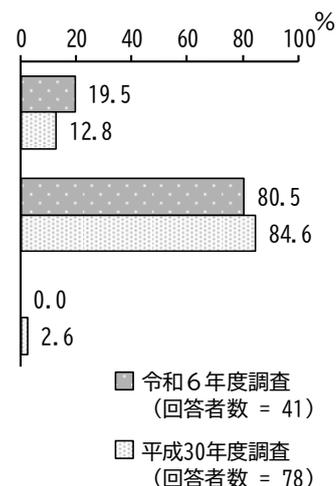
「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が19.5%、「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」の割合が80.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が増加しています。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）

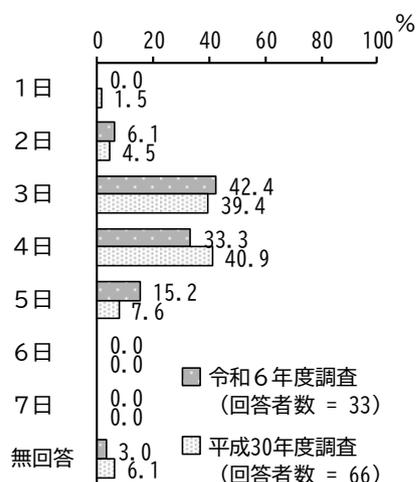
無回答



1週当たり希望就労日数

「3日」の割合が42.4%と最も高く、次いで「4日」の割合が33.3%、「5日」の割合が15.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「4日」の割合が減少しています。



1日当たり希望就労時間

「5時間～6時間未満」の割合が39.4%と最も高く、次いで「4時間～5時間未満」の割合が33.3%、「6時間～7時間未満」の割合が18.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

4時間未満

4時間～5時間未満

5時間～6時間未満

6時間～7時間未満

7時間～8時間未満

8時間～9時間未満

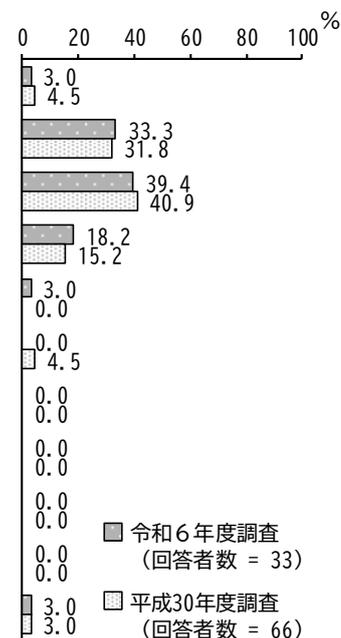
9時間～10時間未満

10時間～11時間未満

11時間～12時間未満

12時間以上

無回答



(2) 父親

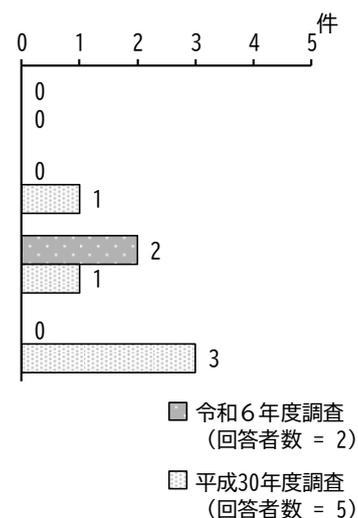
「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」
が2件となっています。

子育てや家事などに専念
したい（就労の予定はない）

1年より先、一番下の子
どもが何歳になったころ
に就労したい

すぐにでも、もしくは1
年以内に就労したい

無回答



一番下の子どもが何歳になったころに就労したい
有効回答がありませんでした。

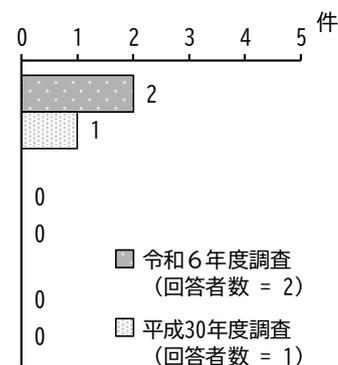
希望する就労形態

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度
の就労）」が2件、「パートタイム、アルバイト等
（「フルタイム」以外）」が0件となっています。

フルタイム（1週5日程
度・1日8時間程度の就
労）

パートタイム、アルバイ
ト等（「フルタイム」以
外）

無回答



1週当たり希望就労日数

有効回答がありませんでした。

1日当たり希望就労時間

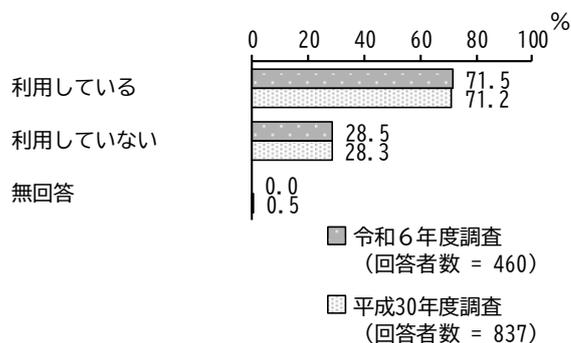
有効回答がありませんでした。

(5) 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 18 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「利用している」の割合が71.5%、「利用していない」の割合が28.5%となっています。

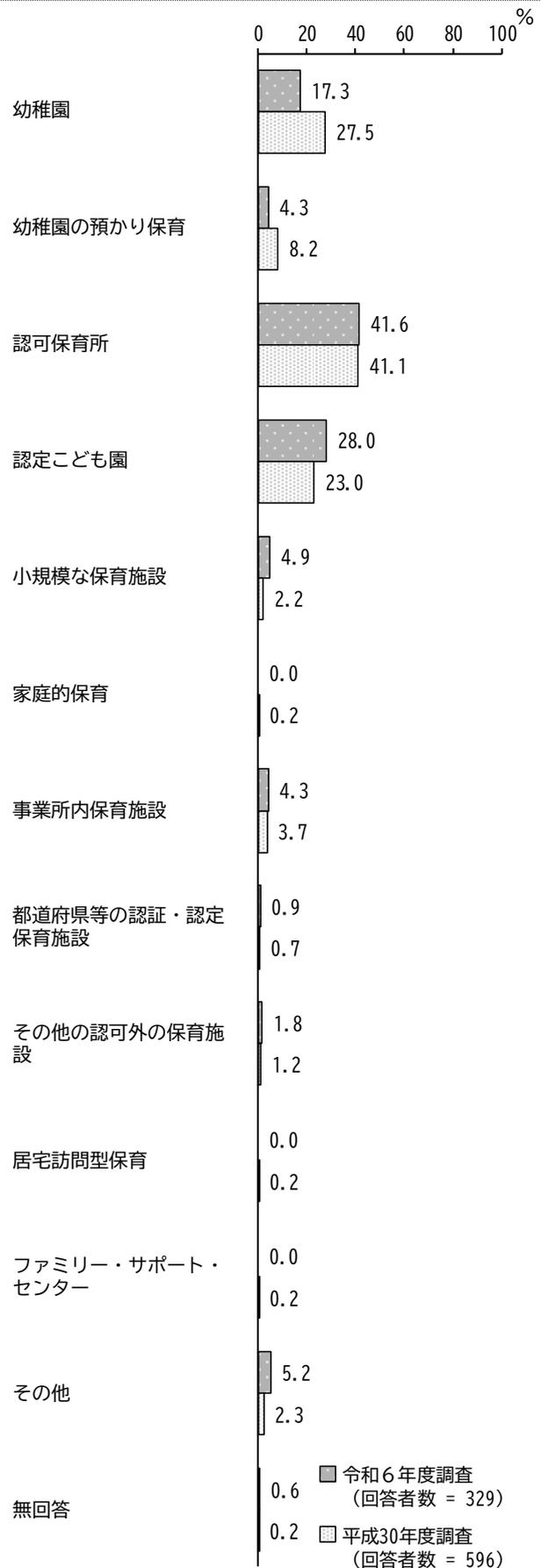
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 18-1 問 18-1～問 18-6は、問 18で「1.利用している」に○をつけた方にかがいます。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「認可保育所」の割合が41.6%と最も高く、次いで「認定こども園」の割合が28.0%、「幼稚園」の割合が17.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「幼稚園」の割合が減少しています。



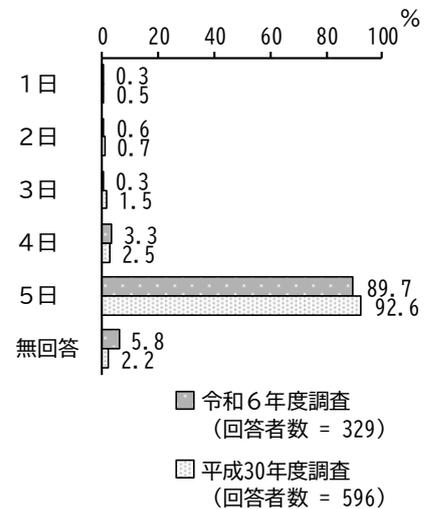
問 18-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週間当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、() 内に具体的な数字でご記入ください。

(1) 現在

1週間当たり利用日数

「5日」の割合が89.7%と最も高くなっています。

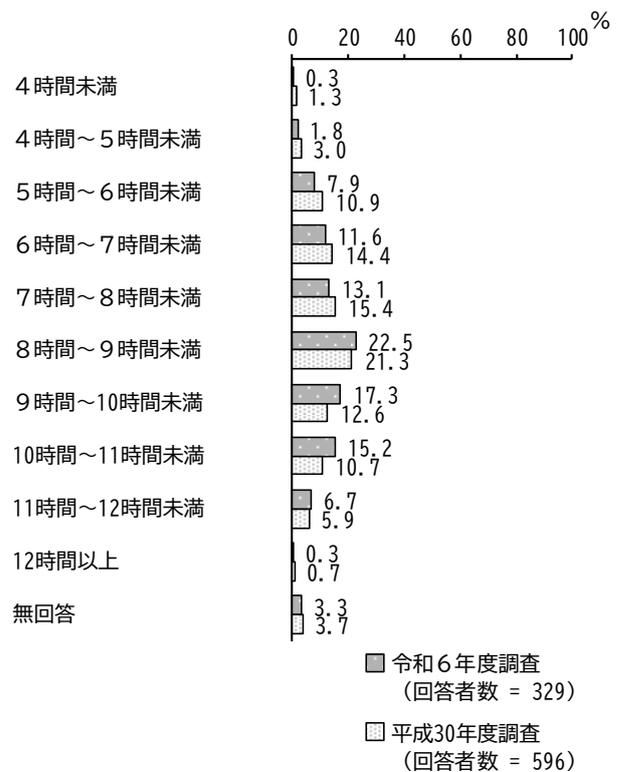
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1日当たり利用時間

「8時間～9時間未満」の割合が22.5%と最も高く、次いで「9時間～10時間未満」の割合が17.3%、「10時間～11時間未満」の割合が15.2%となっています。

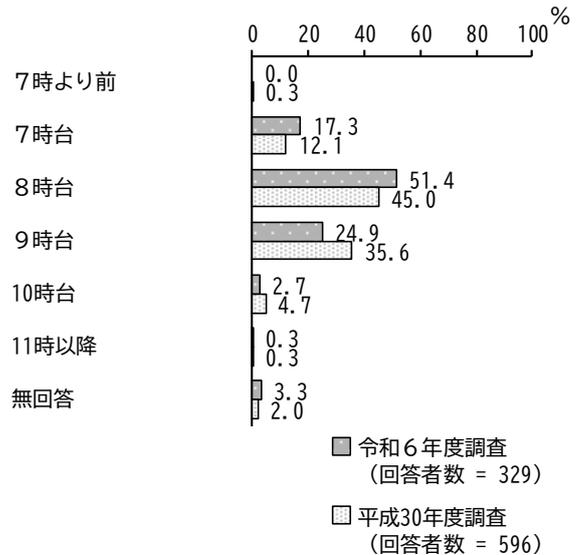
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



開始時間

「8時台」の割合が51.4%と最も高く、次いで「9時台」の割合が24.9%、「7時台」の割合が17.3%となっています。

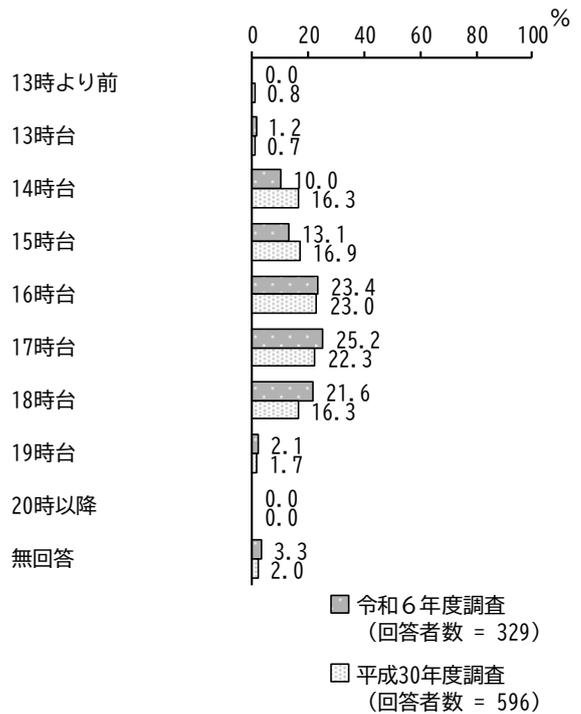
平成30年度調査と比較すると、「7時台」「8時台」の割合が増加しています。一方、「9時台」の割合が減少しています。



終了時間

「17時台」の割合が25.2%と最も高く、次いで「16時台」の割合が23.4%、「18時台」の割合が21.6%となっています。

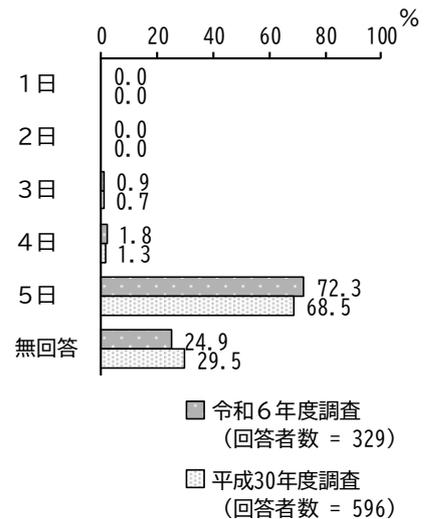
平成30年度調査と比較すると、「18時台」の割合が増加しています。一方、「14時台」の割合が減少しています。



1 週当たり利用日数

「5日」の割合が72.3%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

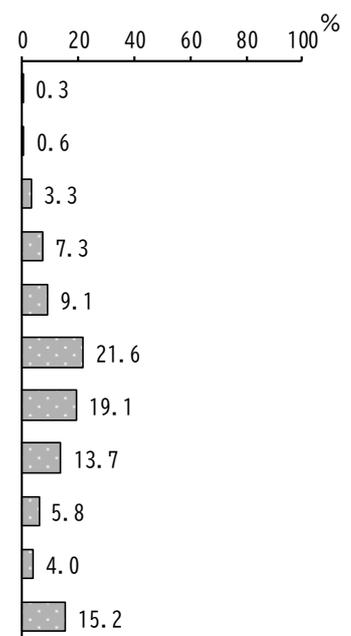


1 日当たり利用時間

「8時間～9時間未満」の割合が21.6%と最も高く、次いで「9時間～10時間未満」の割合が19.1%、「10時間～11時間未満」の割合が13.7%となっています。

回答者数 = 329

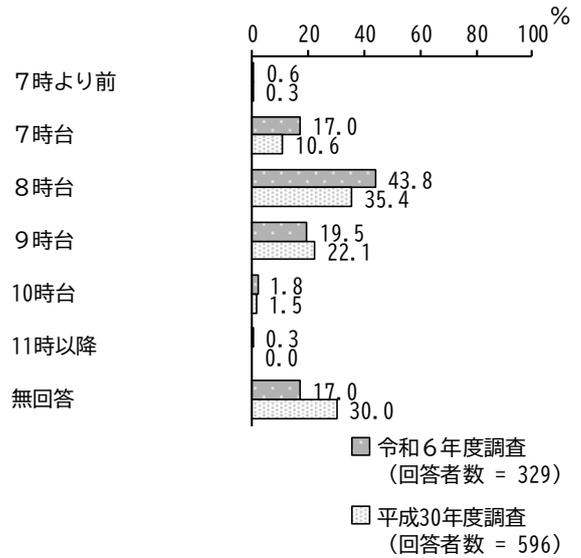
- 4時間未満
- 4時間～5時間未満
- 5時間～6時間未満
- 6時間～7時間未満
- 7時間～8時間未満
- 8時間～9時間未満
- 9時間～10時間未満
- 10時間～11時間未満
- 11時間～12時間未満
- 12時間以上
- 無回答



開始時間

「8時台」の割合が43.8%と最も高く、次いで「9時台」の割合が19.5%、「7時台」の割合が17.0%となっています。

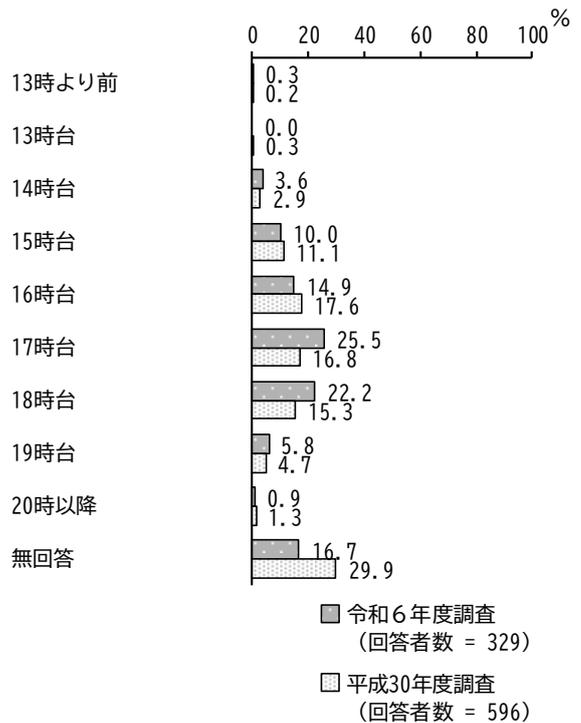
平成30年度調査と比較すると、「7時台」「8時台」の割合が増加しています。



終了時間

「17時台」の割合が25.5%と最も高く、次いで「18時台」の割合が22.2%、「16時台」の割合が14.9%となっています。

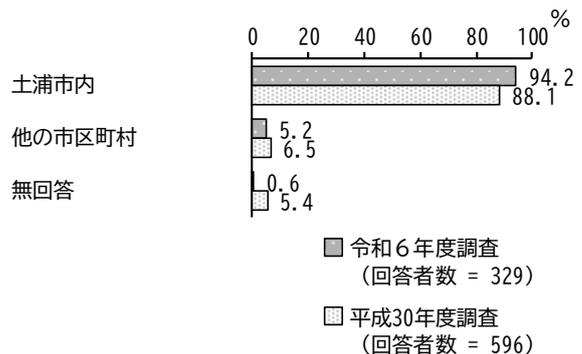
平成30年度調査と比較すると、「17時台」「18時台」の割合が増加しています。



問 18-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。
「1.土浦市内」「2.他の市区町村」のいずれかに○をつけてください。

「土浦市内」の割合が 94.2%、「他の市区町村」の割合が 5.2%となっています。

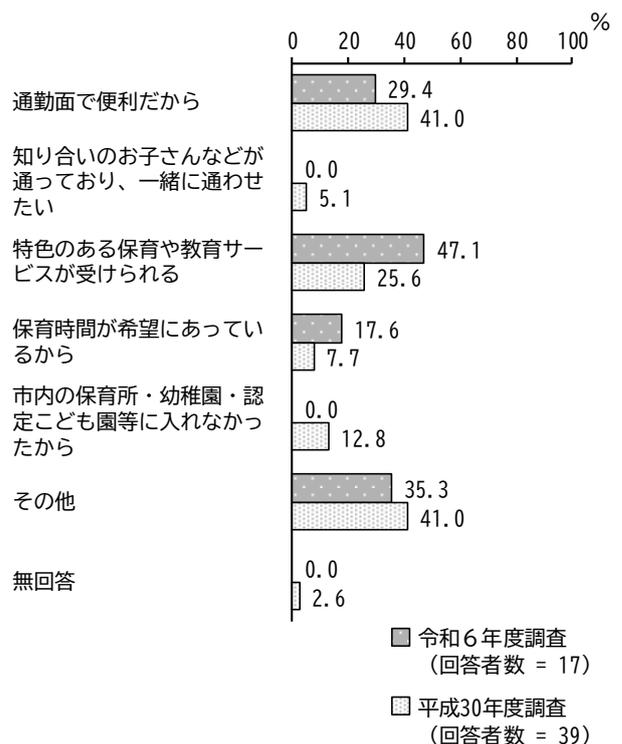
平成 30 年度調査と比較すると、「土浦市内」の割合が増加しています。



問 18-4 問 18-3 で「2. 他の市区町村」に○をつけた方にうかがいます。市外の施設を利用している理由は何ですか。理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「特色のある保育や教育サービスが受けられる」の割合が 47.1%と最も高く、次いで「通勤面で便利だから」の割合が 29.4%、「保育時間が希望にあっているから」の割合が 17.6%となっています。

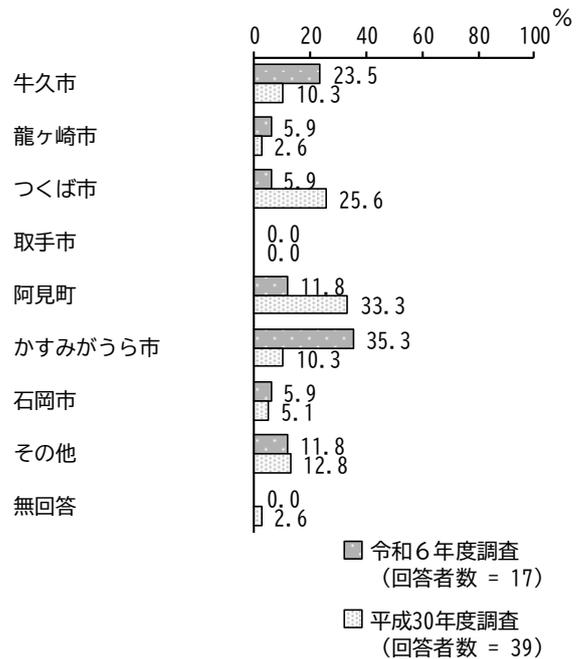
平成 30 年度調査と比較すると、「特色のある保育や教育サービスが受けられる」「保育時間が希望にあっているから」の割合が増加しています。一方、「通勤面で便利だから」「知り合いのお子さんなどが通っており、一緒に通わせたい」「市内の保育所・幼稚園・認定こども園等に入れなかったから」の割合が減少しています。



問 18-5 問 18-3で「2. 他の市区町村」に○をつけた方にうかがいます。市外の施設はどここの施設を利用していますか。理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「かすみがうら市」の割合が 35.3%と最も高く、次いで「牛久市」の割合が 23.5%、「阿見町」の割合が 11.8%となっています。

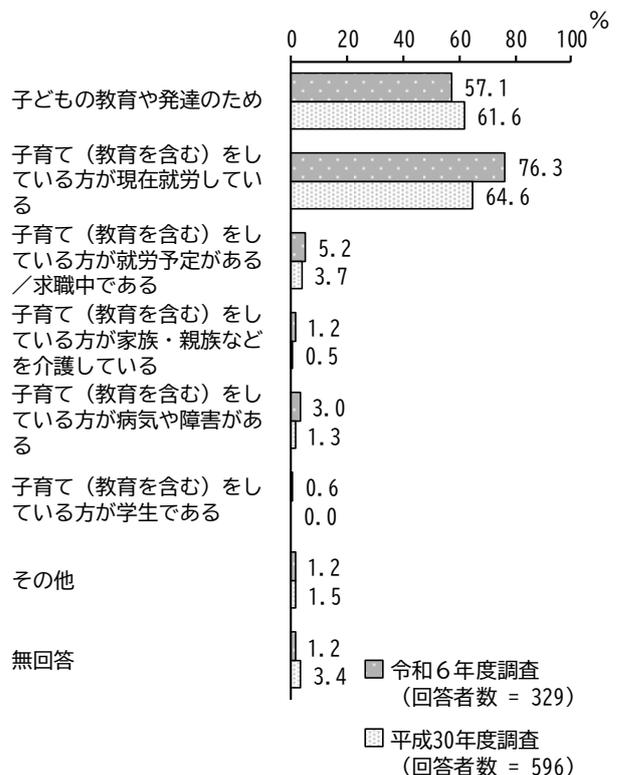
平成 30 年度調査と比較すると、「牛久市」「かすみがうら市」の割合が増加しています。一方、「つくば市」「阿見町」の割合が減少しています。



問 18-6 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」の割合が 76.3%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」の割合が 57.1%となっています。

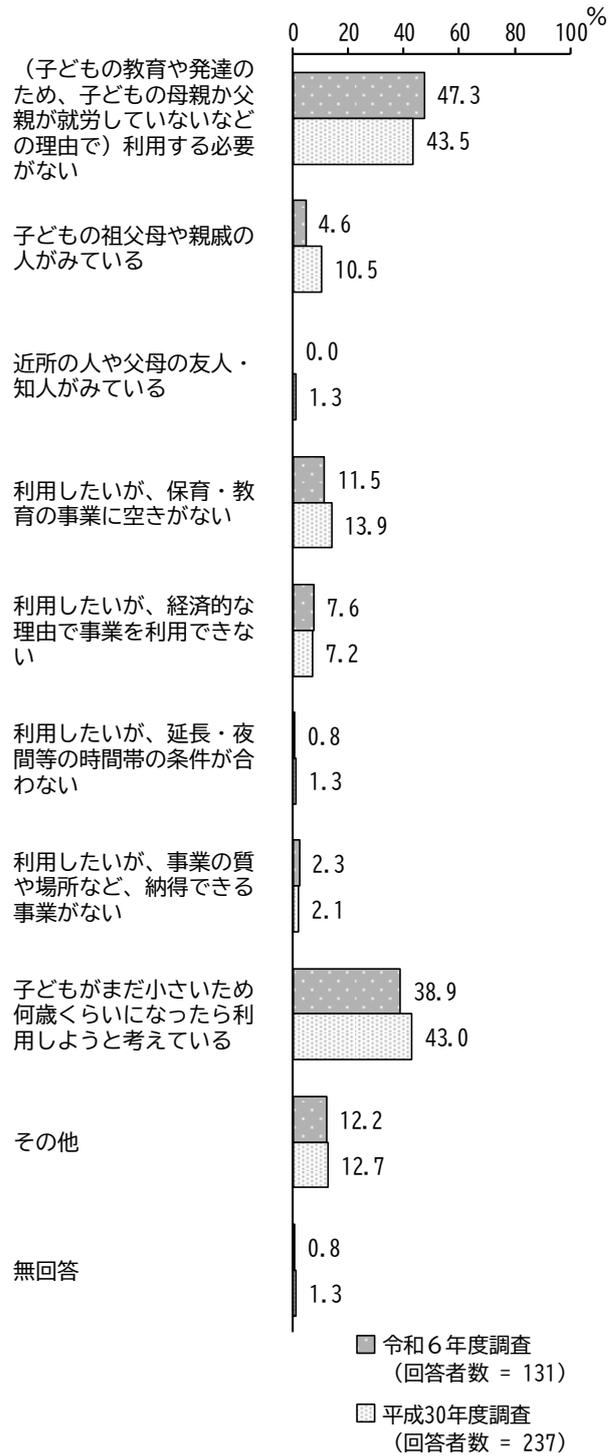
平成 30 年度調査と比較すると、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」の割合が増加しています。



問 18-7 問 18 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」の割合が 47.3%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため何歳くらいになったら利用しようと考えている」の割合が 38.9%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」の割合が 11.5%となっています。

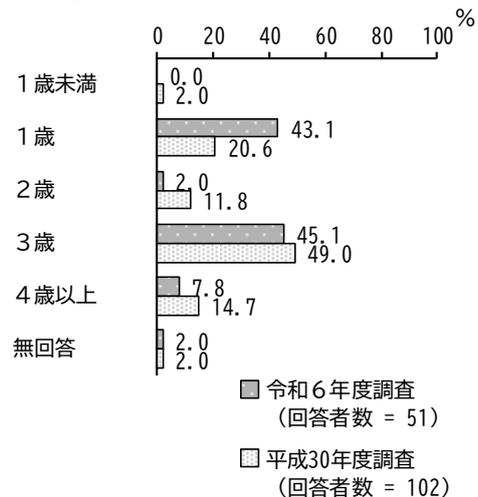
平成 30 年度調査と比較すると、「子どもの祖母や親戚の人がみている」の割合が減少しています。



子どもがまだ小さいため何歳くらいになったら利用しようと考えている

「3歳」の割合が45.1%と最も高く、次いで「1歳」の割合が43.1%となっています。

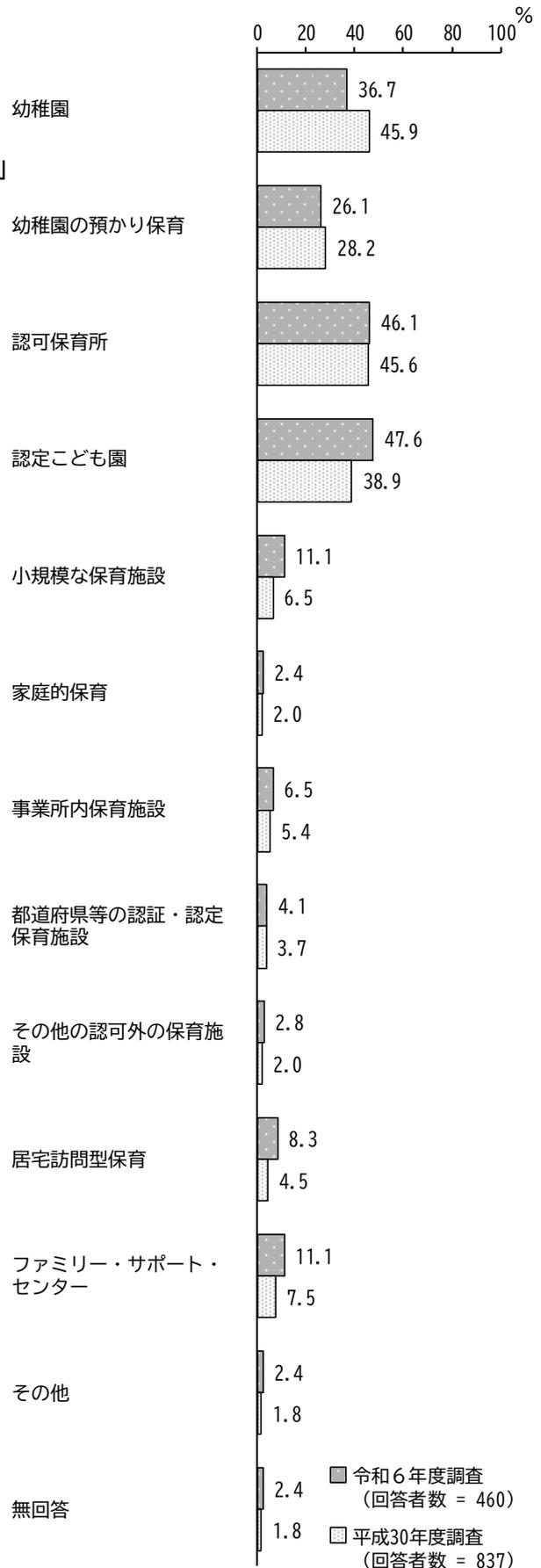
平成30年度調査と比較すると、「1歳」の割合が増加しています。一方、「2歳」「4歳以上」の割合が減少しています。



問 19 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「認定こども園」の割合が 47.6%と最も高く、次いで「認可保育所」の割合が 46.1%、「幼稚園」の割合が 36.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「認定こども園」の割合が増加しています。一方、「幼稚園」の割合が減少しています。



【中学校区別】

中学校区別にみると、二中地区で「認定こども園」の割合が高くなっています。

単位：％

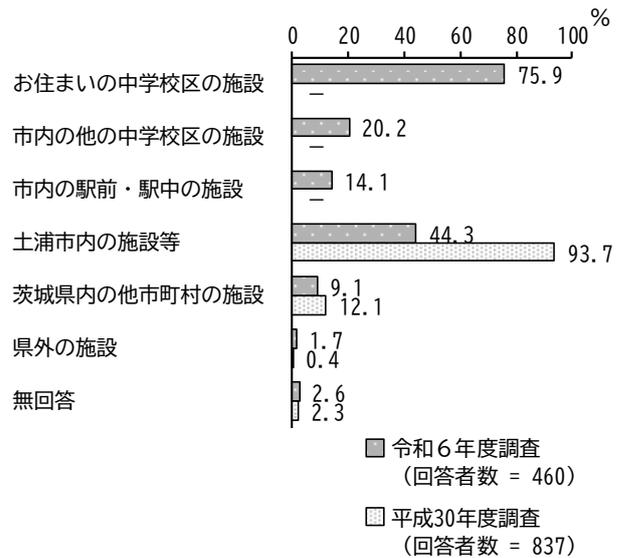
区分	回答者数 (件)	幼稚園	幼稚園の預かり保 育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育
全 体	460	36.7	26.1	46.1	47.6	11.1	2.4
一中地区	62	35.5	27.4	54.8	56.5	11.3	4.8
二中地区	67	34.3	20.9	43.3	62.7	6.0	—
三中地区	81	38.3	28.4	44.4	32.1	16.0	1.2
四中地区	64	48.4	32.8	48.4	56.3	15.6	1.6
五中地区	76	30.3	22.4	36.8	51.3	9.2	2.6
六中地区	37	32.4	27.0	48.6	37.8	8.1	5.4
都和地区	38	34.2	23.7	47.4	47.4	7.9	2.6
新治地区	29	37.9	27.6	48.3	27.6	6.9	—
わからない	6	50.0	16.7	66.7	16.7	33.3	16.7

区分	事業所内保育施設	都道府県等の認証・ 認定保育施設	その他の認可外の 保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポ ート・センター	その他	無回答
全 体	6.5	4.1	2.8	8.3	11.1	2.4	2.4
一中地区	11.3	8.1	4.8	14.5	17.7	—	1.6
二中地区	6.0	3.0	4.5	10.4	7.5	1.5	—
三中地区	7.4	2.5	4.9	7.4	8.6	3.7	6.2
四中地区	6.3	3.1	1.6	10.9	14.1	3.1	—
五中地区	7.9	3.9	—	3.9	5.3	1.3	2.6
六中地区	2.7	8.1	—	5.4	13.5	5.4	8.1
都和地区	2.6	2.6	5.3	2.6	18.4	2.6	—
新治地区	3.4	—	—	6.9	6.9	3.4	—
わからない	—	16.7	—	16.7	16.7	—	—

問 19-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。あてはまる番号すべてに○をつけてください。実際には施設等のサービスがない場合でも希望でお答えください。

「お住まいの中学校区の施設」の割合が 75.9%と最も高く、次いで「土浦市内の施設等」の割合が 44.3%、「市内の他の中学校区の施設」の割合が 20.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「土浦市内の施設等」の割合が減少しています。

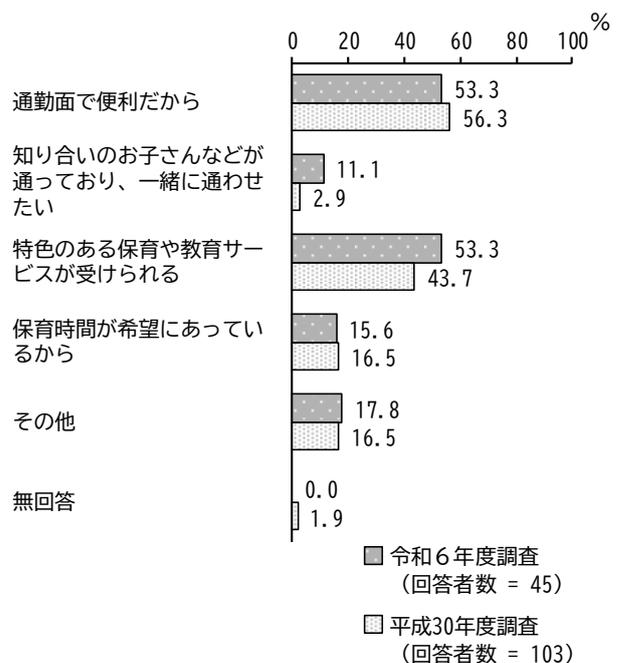


※前回調査では、「お住まいの中学校区の施設」「市内の他の中学校区の施設」「市内の駅前・駅中の施設」の選択肢はありませんでした。

問 19-2 問 19-1 で「5. 茨城県内の他市町村の施設」「6. 県外の施設」に○をつけた方にうかがいます。市外の施設を利用したい理由は何ですか。理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

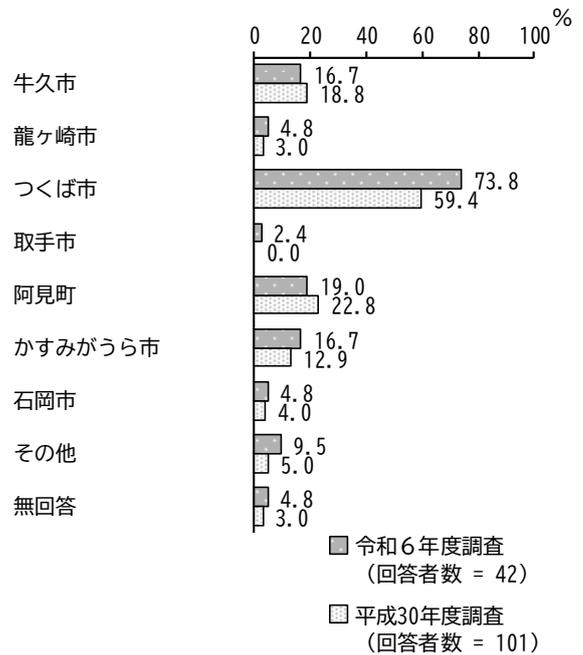
「通勤面で便利だから」「特色のある保育や教育サービスが受けられる」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「保育時間が希望にあっているから」の割合が 15.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「知り合いのお子さんなどが通っており、一緒に通わせたい」「特色のある保育や教育サービスが受けられる」の割合が増加しています。



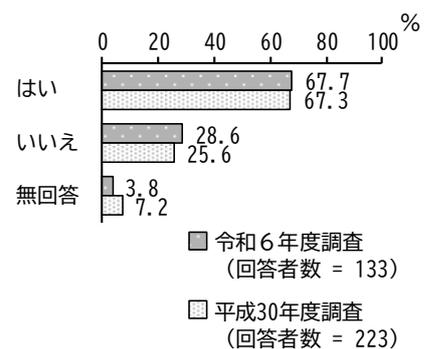
問 19-3 問 19-1 で「5. 茨城県内の他市町村の施設」に○をつけた方にかがいます。市外の施設を利用したい方はどこの施設を利用したいとお考えですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「つくば市」の割合が 73.8% と最も高く、次いで「阿見町」の割合が 19.0%、「牛久市」、「かすみがうら市」の割合が 16.7% となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、「つくば市」の割合が増加しています。



問 19-4 問 19 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3. 認可保育所」～「12. その他」にも○をつけた方にかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

「はい」の割合が 67.7%、「いいえ」の割合が 28.6% となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

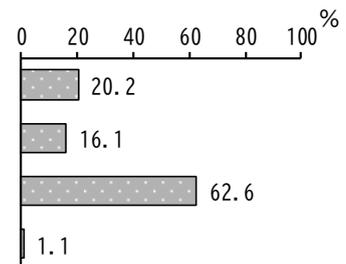


問 20 こども誰でも通園制度を知っていますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

「知らなかった」の割合が62.6%と最も高く、
次いで「名前も内容も知っている」の割合が
20.2%、「名前は知っているが内容は知らなかつ
た」の割合が16.1%となっています。

回答者数 = 460

名前も内容も知っている
名前は知っているが内容は
知らなかった
知らなかった
無回答

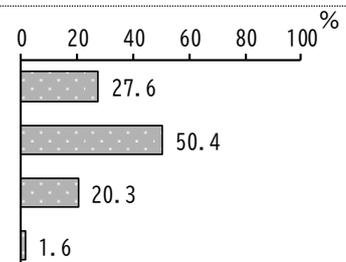


問 21 0～2歳の未就園児の親で在宅保育をしているまたは予定している方にお聞きし
ます。こども誰でも通園制度を利用したいですか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

「できれば利用してみたい」の割合が50.4%と
最も高く、次いで「とても利用したい」の割合が
27.6%、「利用したくない」の割合が20.3%とな
っています。

回答者数 = 123

とても利用したい
できれば利用してみたい
利用したくない
無回答

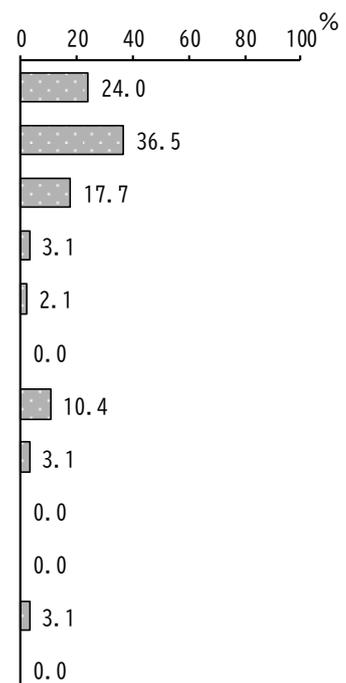


問 21-1 問 21 で「1. とても利用したい」～「2. できれば利用してみたい」と答え
た方にお聞きします。利用したい・してみたい理由は何ですか。あてはまる番号1
つに○をつけてください。

「育児疲れの軽減」の割合が36.5%と最も高
く、次いで「夫婦共働きのため」の割合が24.0%、
「自分の自由時間を作るため」の割合が17.7%と
なっています。

回答者数 = 96

夫婦共働きのため
育児疲れの軽減
自分の自由時間を作るため
趣味の時間を増やすため
妊娠・出産のため
ご自身の病気のため
求職活動のため
ママ友・パパ友作りのため
ご自身またはパートナーの
就学のため
同居家族・親族の介護や看
護のため
その他
無回答

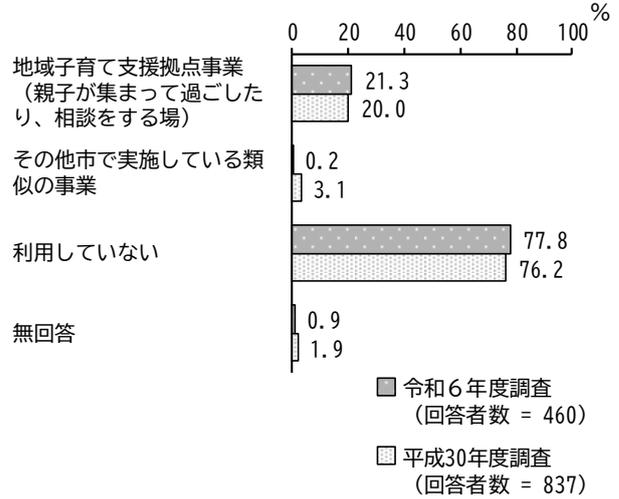


(6) 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 22 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て交流サロン」「子育て支援センター」「児童館」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

「利用していない」の割合が 77.8%と最も高く、次いで「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」の割合が 21.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【中学校区別】

中学校区別にみると、五中地区で「利用していない」の割合が高くなっています。

単位：%

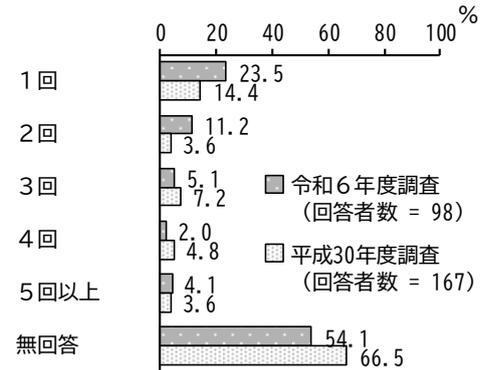
区分	回答者数 (件)	地域子育て支援拠点事業 (親子が集まって過ごしたり、相談をする場)	その他市で実施している類似の事業	利用していない	無回答
全 体	460	21.3	0.2	77.8	0.9
一中地区	62	22.6	—	74.2	3.2
二中地区	67	22.4	1.5	77.6	—
三中地区	81	19.8	—	77.8	2.5
四中地区	64	32.8	—	67.2	—
五中地区	76	10.5	—	89.5	—
六中地区	37	18.9	—	81.1	—
都和地区	38	26.3	—	73.7	—
新治地区	29	20.7	—	79.3	—
わからない	6	16.7	—	83.3	—

1. 地域子育て支援拠点事業

1週当たりの利用回数

「1回」の割合が23.5%と最も高く、次いで「2回」の割合が11.2%となっています。

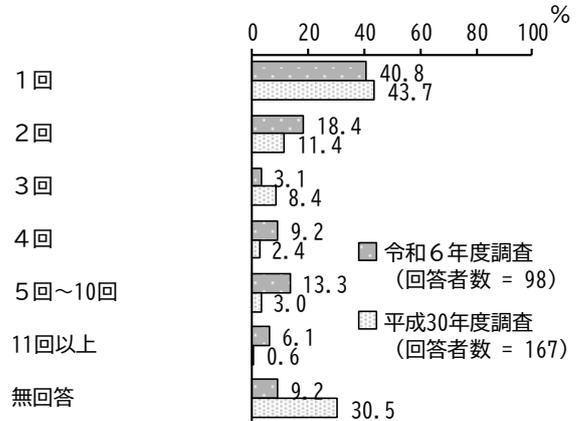
平成30年度調査と比較すると、「1回」「2回」の割合が増加しています。



1か月あたり利用回数

「1回」の割合が40.8%と最も高く、次いで「2回」の割合が18.4%、「5回～10回」の割合が13.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2回」「4回」「5回～10回」「11回以上」の割合が増加しています。一方、「3回」の割合が減少しています。



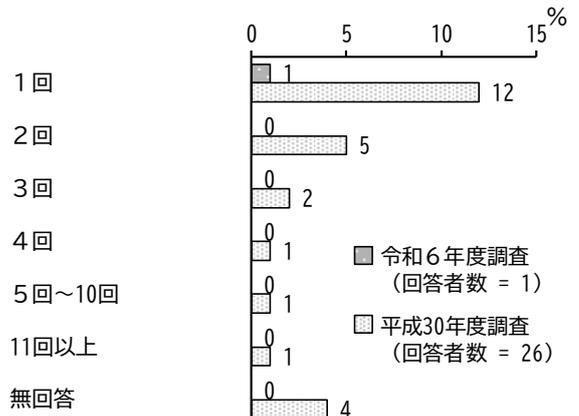
2. その他市で実施している類似の事業

1週当たり利用回数

有効回答がありませんでした。

1か月あたり利用回数

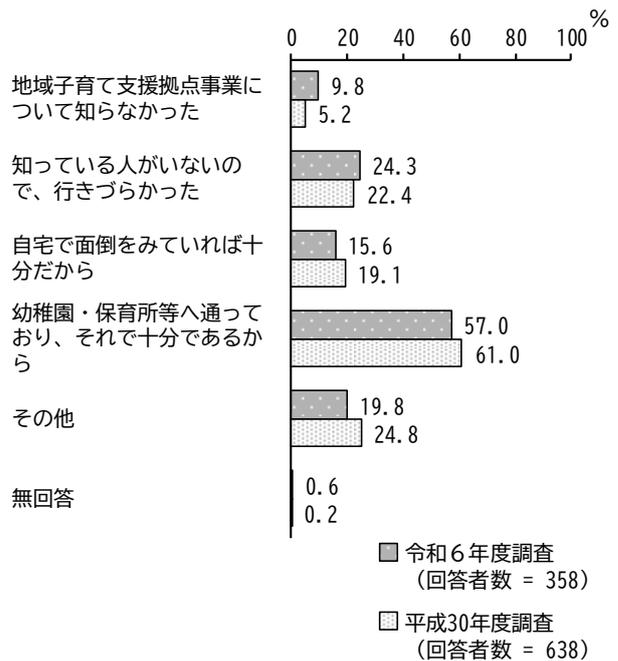
「1回」が1件となっています。



問 22-1 問 22 で「3. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「幼稚園・保育所等へ通っており、それで十分であるから」の割合が 57.0%と最も高く、次いで「知っている人がいないので、行きづらかった」の割合が 24.3%、「自宅で面倒をみていれば十分だから」の割合が 15.6%となっています。

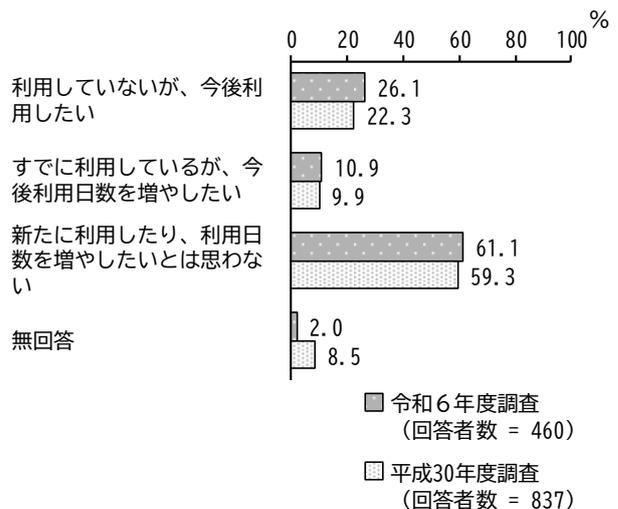
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 23 問 22 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。あてはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が 61.1%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が 26.1%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が 10.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

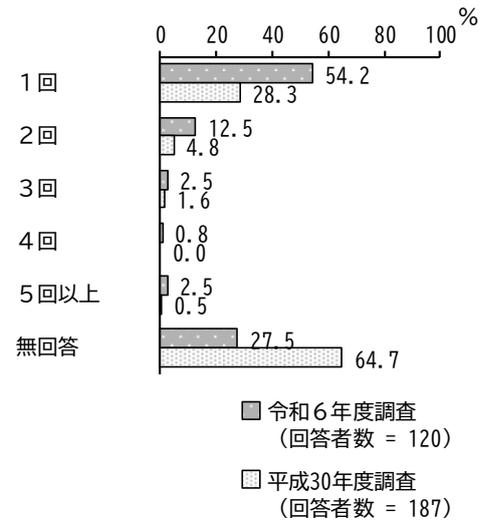


1. 利用していないが、今後利用したい

1 週当たり利用回数

「1回」の割合が54.2%と最も高く、次いで「2回」の割合が12.5%となっています。

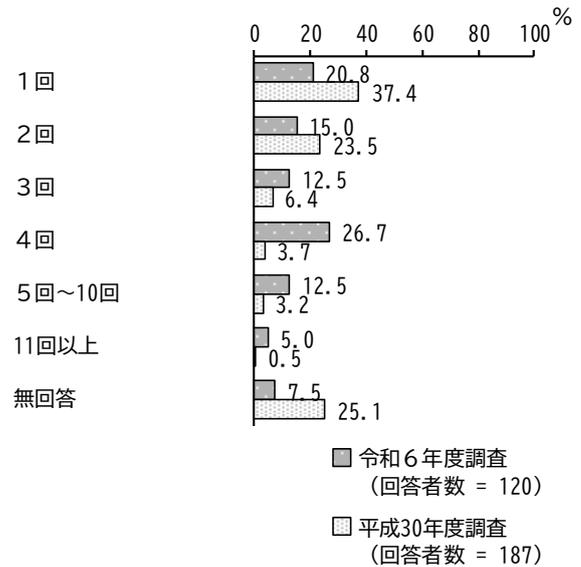
平成30年度調査と比較すると、「1回」「2回」の割合が増加しています。



1 か月当たり利用回数

「4回」の割合が26.7%と最も高く、次いで「1回」の割合が20.8%、「2回」の割合が15.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3回」「4回」「5回～10回」の割合が増加しています。一方、「1回」「2回」の割合が減少しています。

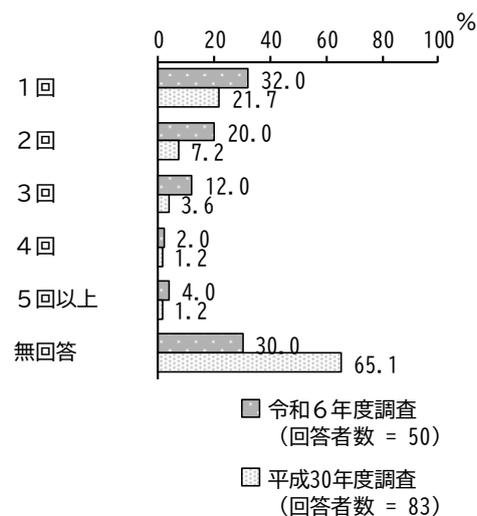


2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

1週当たりの増やしたい利用回数

「1回」の割合が32.0%と最も高く、次いで「2回」の割合が20.0%、「3回」の割合が12.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1回」「2回」「3回」の割合が増加しています。

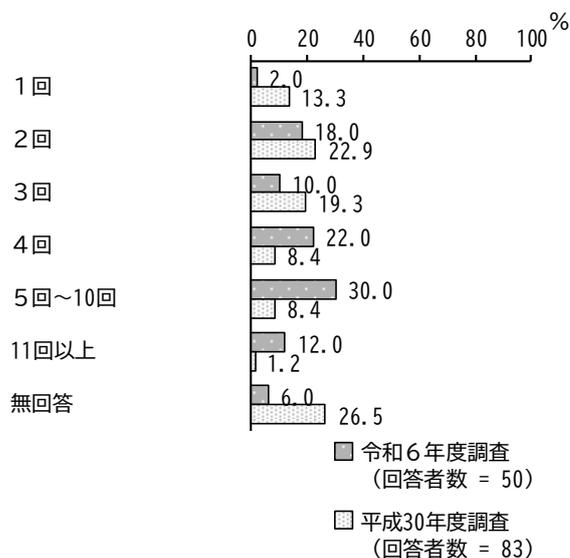


2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

1か月当たり増やしたい利用回数

「5回～10回」の割合が30.0%と最も高く、次いで「4回」の割合が22.0%、「2回」の割合が18.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4回」「5回～10回」「11回以上」の割合が増加しています。一方、「1回」「3回」の割合が減少しています。



問 24 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑱の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。また、今後利用したいと思わない場合はその理由をご記入ください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

A知っている

『③保健センターの健診・育児相談事業』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『⑫子育て短期支援事業』で「いいえ」の割合が高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、『⑱子育て世代包括支援センター○子育て支援コンシェルジュ』『⑲子育て世代包括支援センター○保健師・助産師』で「はい」の割合が、『⑦子育てひろば【幼稚園】』で「いいえ」の割合が増加しています。

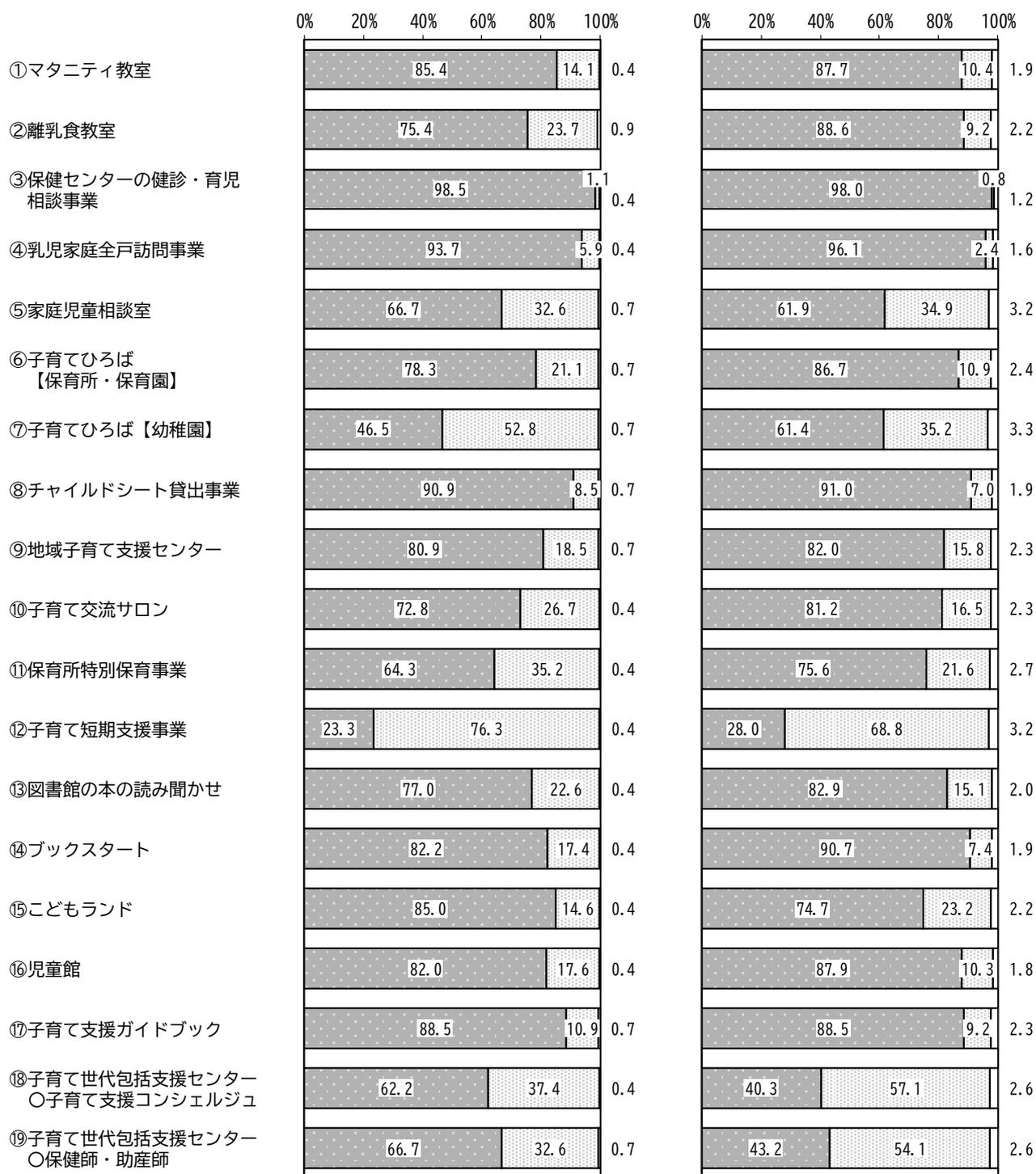
■ はい □ いいえ □ 無回答

【令和6年度調査】

回答者数 = 460

【平成30年度調査】

回答者数 = 837

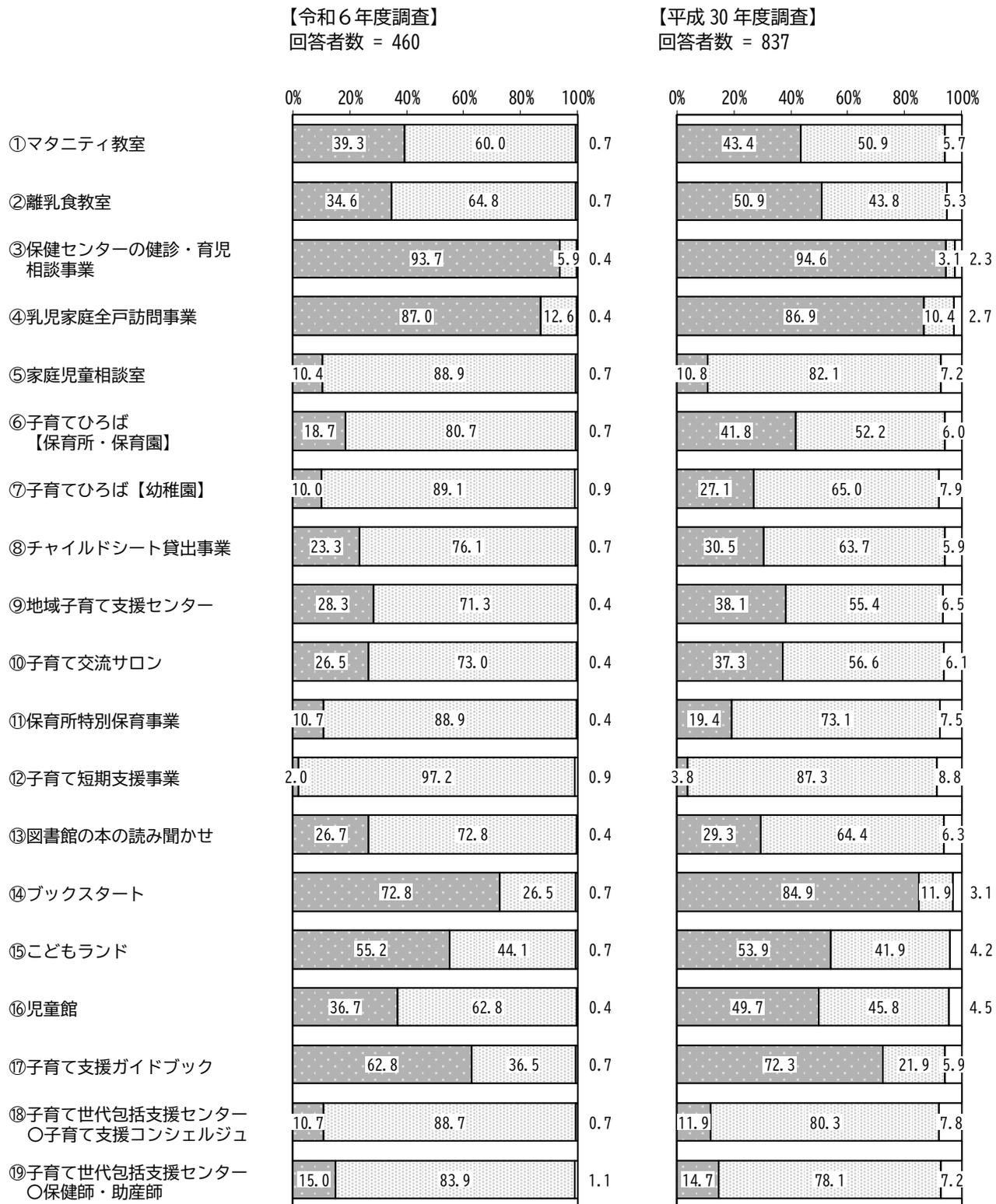


B これまでに利用したことがある

『③保健センターの健診・育児相談事業』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『⑫子育て短期支援事業』で「いいえ」の割合が高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、『②離乳食教室』『⑥子育てひろば【保育所・保育園】』『⑦子育てひろば【幼稚園】』で「いいえ」の割合が増加しています。

■ はい □ いいえ □ 無回答



C 今後利用したい

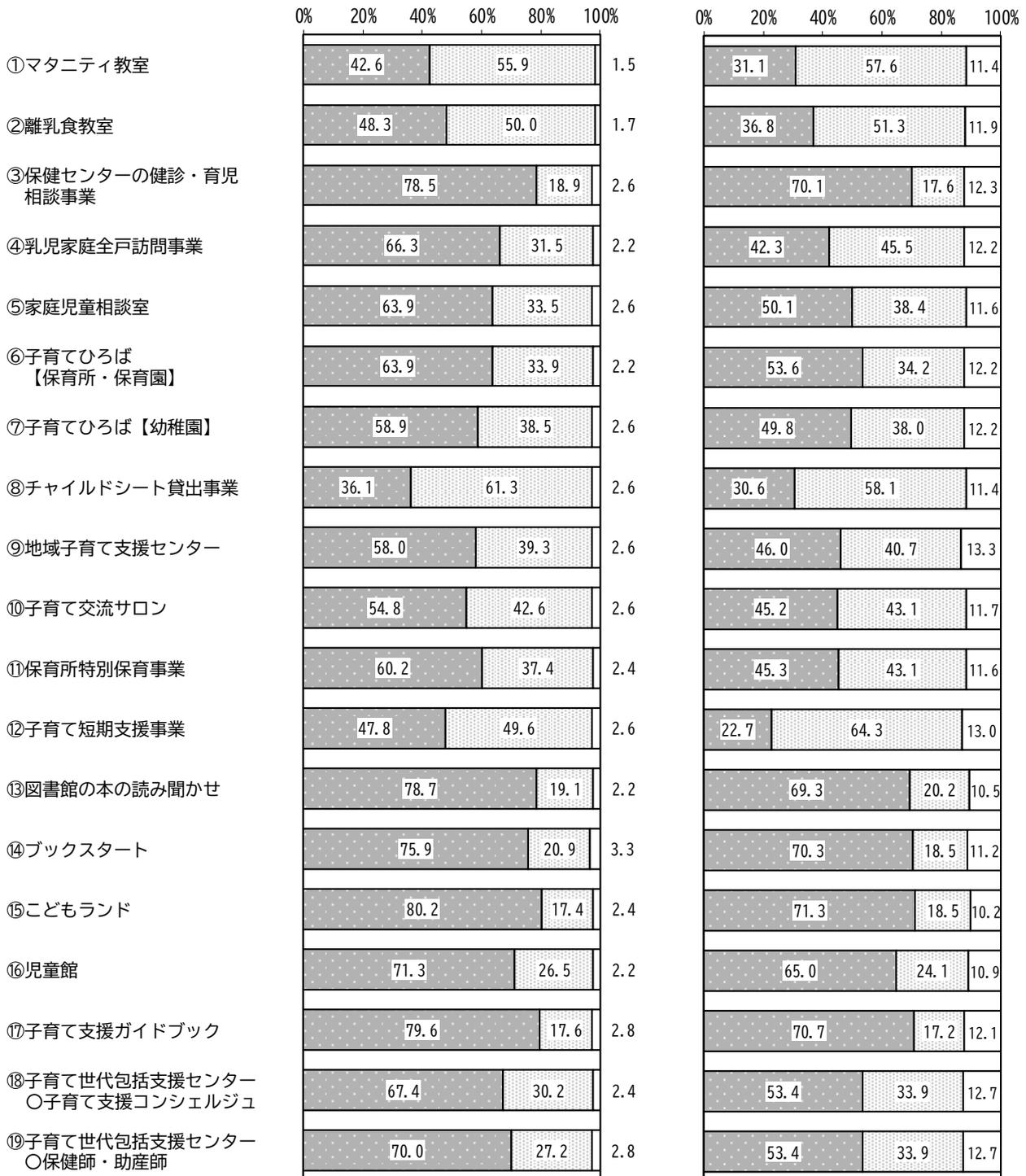
『⑮こどもランド』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『⑧チャイルドシート貸出事業』で「いいえ」の割合が高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、『④乳児家庭全戸訪問事業』『⑫子育て短期支援事業』『⑰子育て世代包括支援センター○保健師・助産師』で「はい」の割合が増加しています。

■ はい □ いいえ □ 無回答

【令和6年度調査】
回答者数 = 460

【平成30年度調査】
回答者数 = 837



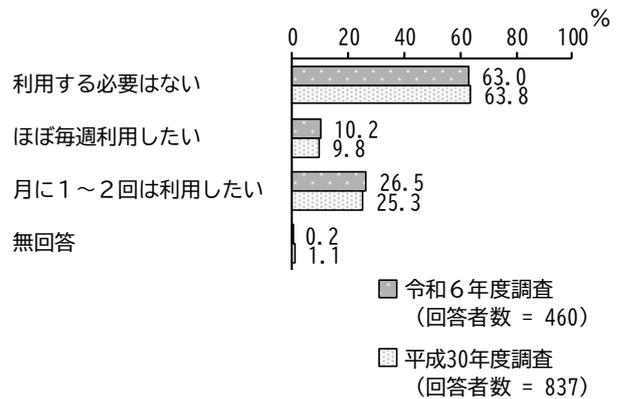
(7) 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 25 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

(1) 土曜日

「利用する必要はない」の割合が63.0%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が26.5%、「ほぼ毎週利用したい」の割合が10.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

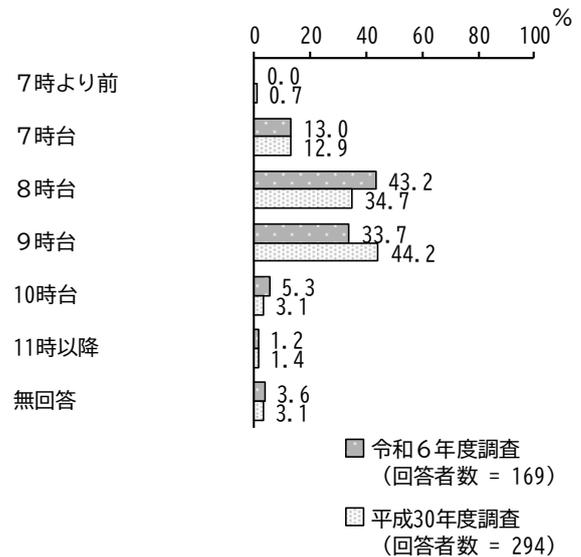


利用したい時間帯

開始時間

「8時台」の割合が43.2%と最も高く、次いで「9時台」の割合が33.7%、「7時台」の割合が13.0%となっています。

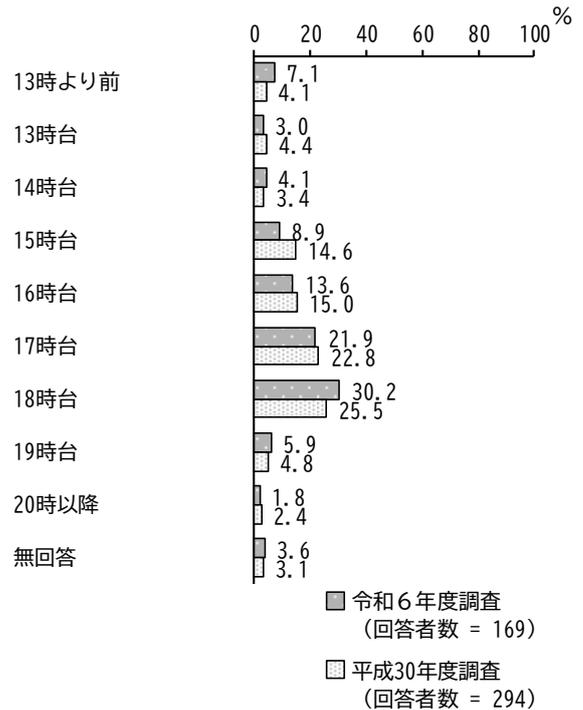
平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が増加しています。一方、「9時台」の割合が減少しています。



終了時間

「18 時台」の割合が 30.2%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 21.9%、「16 時台」の割合が 13.6%となっています。

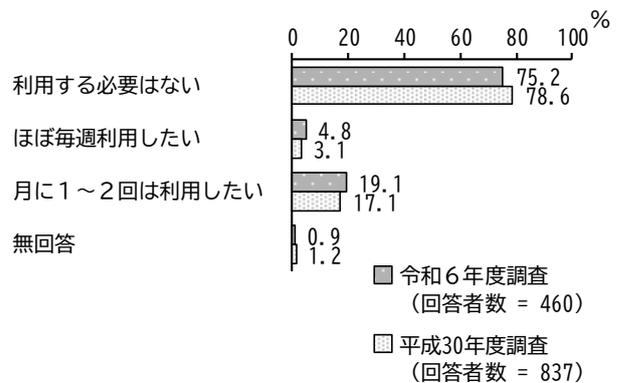
平成 30 年度調査と比較すると、「15 時台」の割合が減少しています。



(2) 日曜・祝日

「利用する必要はない」の割合が 75.2%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が 19.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

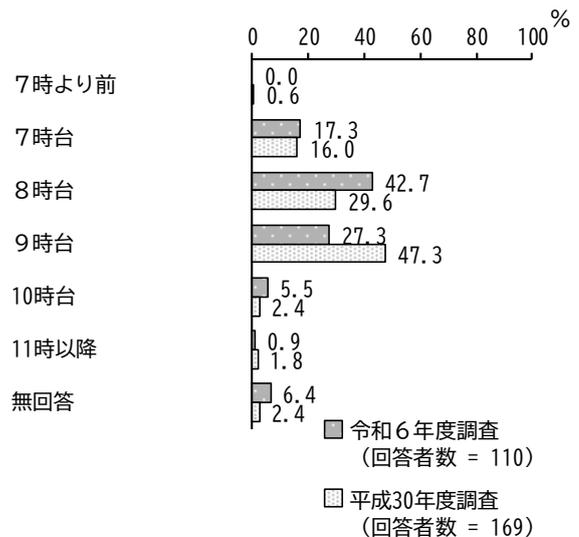


利用したい時間帯

開始時間

「8時台」の割合が42.7%と最も高く、次いで「9時台」の割合が27.3%、「7時台」の割合が17.3%となっています。

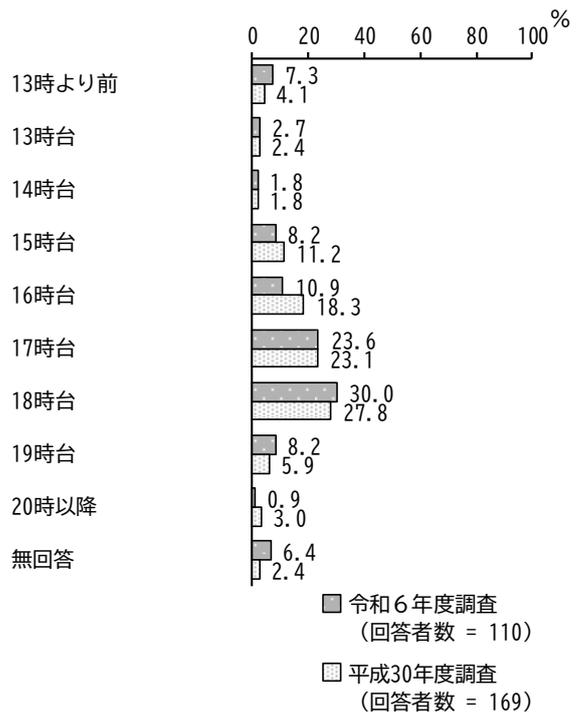
平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が増加しています。一方、「9時台」の割合が減少しています。



終了時間

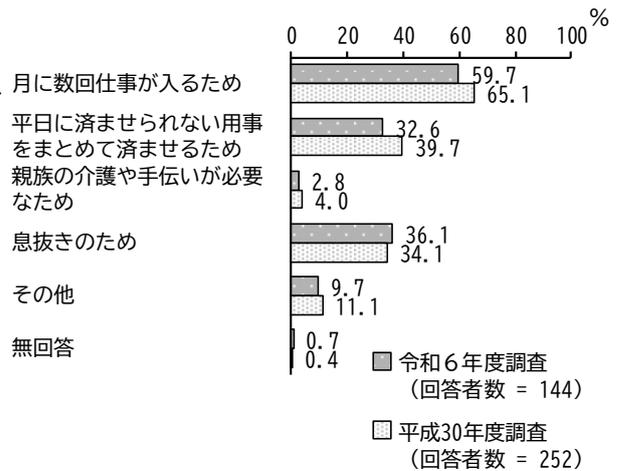
「18時台」の割合が30.0%と最も高く、次いで「17時台」の割合が23.6%、「16時台」の割合が10.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「16時台」の割合が減少しています。



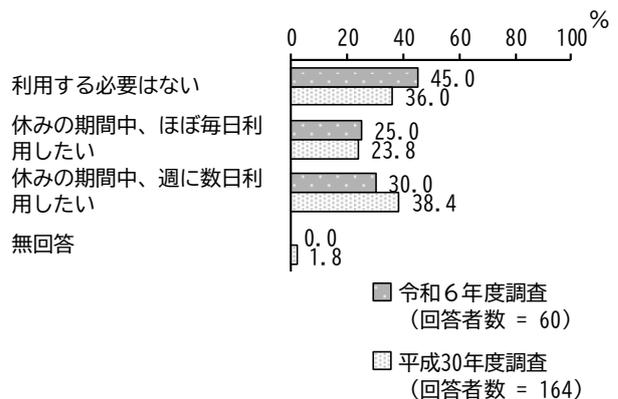
問 25-1 問 25 の (1) もしくは (2) で、「3.月に1~2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「月に数回仕事が入るため」の割合が 59.7%と最も高く、次いで「息抜きのため」の割合が 36.1%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が 32.6%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、「月に数回仕事が入るため」「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が減少しています。



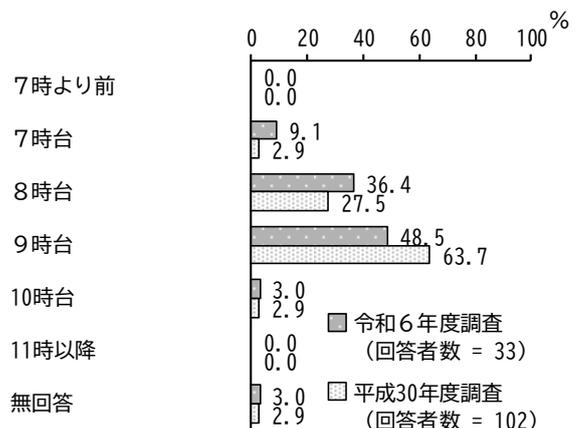
問 26 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)9時~18時のように24時間制でご記入ください。

「利用する必要はない」の割合が 45.0%と最も高く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が 30.0%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が 25.0%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が減少しています。



利用したい時間帯 開始時間

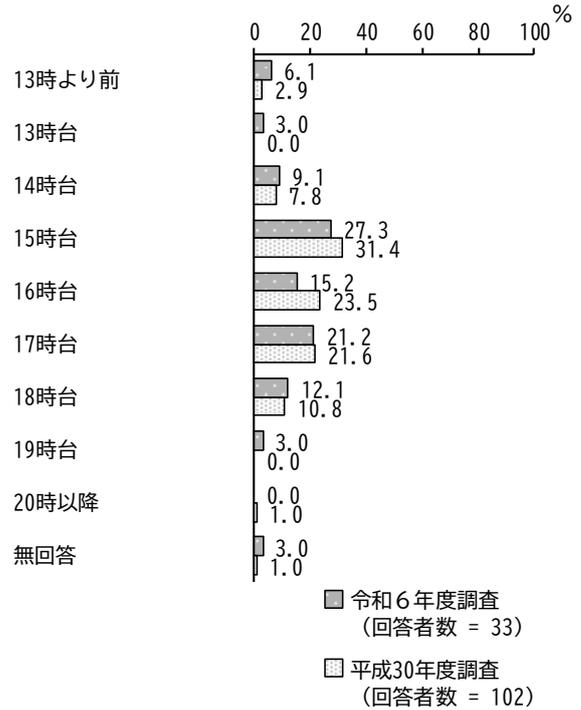
「9時台」の割合が 48.5%と最も高く、次いで「8時台」の割合が 36.4%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、「7時台」「8時台」の割合が増加しています。一方、「9時台」の割合が減少しています。



終了時間

「15 時台」の割合が 27.3%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 21.2%、「16 時台」の割合が 15.2%となっています。

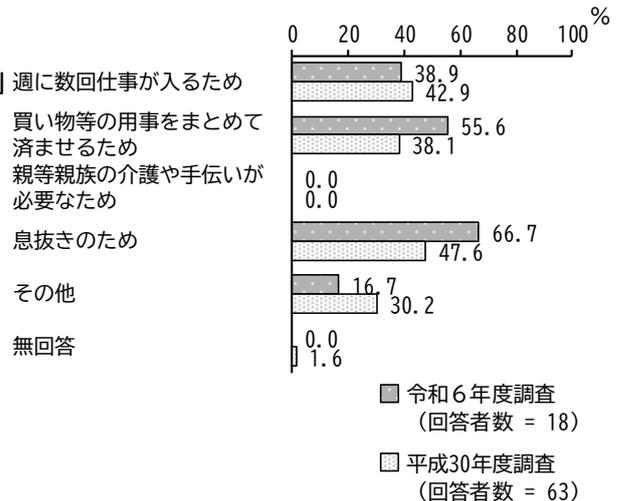
平成 30 年度調査と比較すると、「16 時台」の割合が減少しています。



問 26-1 問 26 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「息抜きのため」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」週に数回仕事が入るための割合が 55.6%、「週に数回仕事が入るため」の割合が 38.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」「息抜きのため」の割合が増加しています。

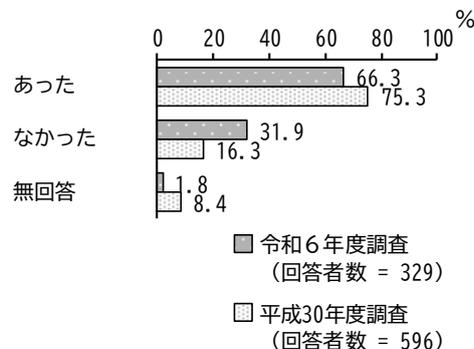


(8) 宛名のお子さんの病気の際の対応について (平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 27 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 18 で「1. 利用している」に○をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問 24 にお進みください。この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

「あった」の割合が 66.3%、「なかった」の割合が 31.9%となっています。

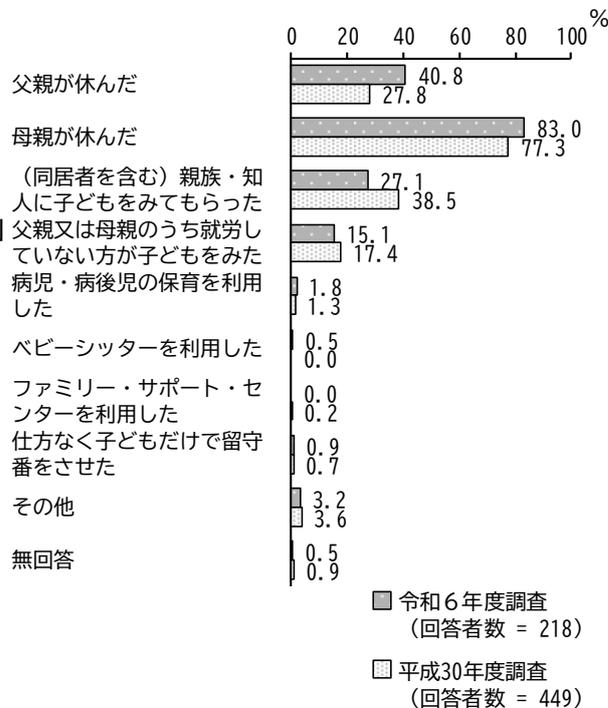
平成 30 年度調査と比較すると、「なかった」の割合が増加しています。一方、「あった」の割合が減少しています。



問 27-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）

「母親が休んだ」の割合が 83.0%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が 40.8%、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が 27.1%となっています。

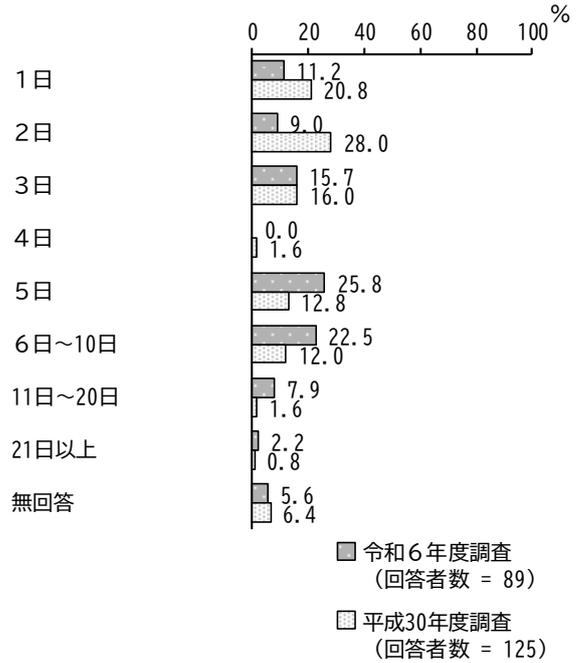
平成 30 年度調査と比較すると、「父親が休んだ」「母親が休んだ」の割合が増加しています。一方、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が減少しています。



ア 父親が休んだ 日数（年間）

「5日」の割合が25.8%と最も高く、次いで「6日～10日」の割合が22.5%、「3日」の割合が15.7%となっています。

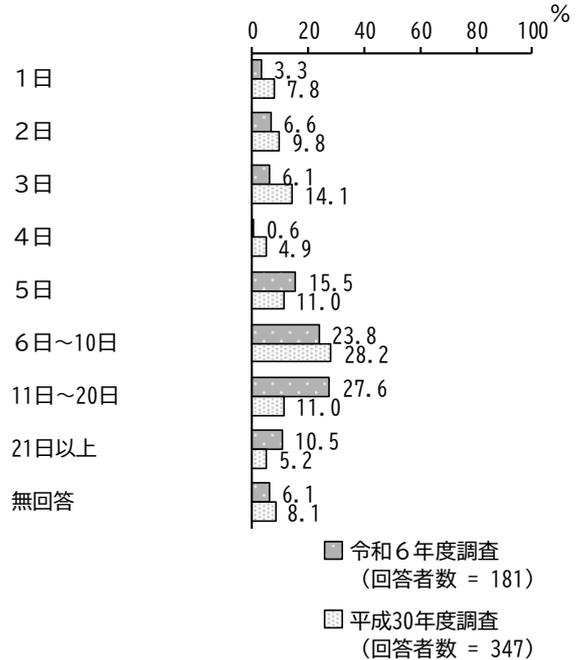
平成30年度調査と比較すると、「5日」「6日～10日」「11日～20日」の割合が増加しています。一方、「1日」「2日」の割合が減少しています。



イ 母親が休んだ 日数（年間）

「11日～20日」の割合が27.6%と最も高く、次いで「6日～10日」の割合が23.8%、「5日」の割合が15.5%となっています。

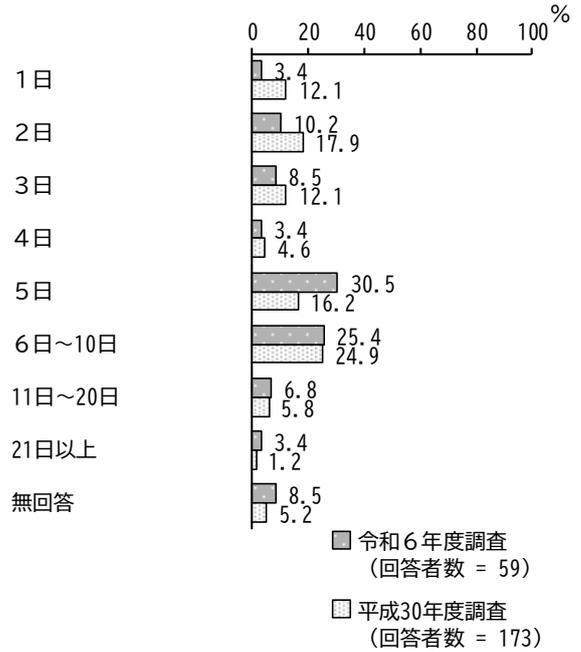
平成30年度調査と比較すると、「11日～20日」「21日以上」の割合が増加しています。一方、「3日」の割合が減少しています。



ウ (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった 日数 (年間)

「5日」の割合が30.5%と最も高く、次いで「6日～10日」の割合が25.4%、「2日」の割合が10.2%となっています。

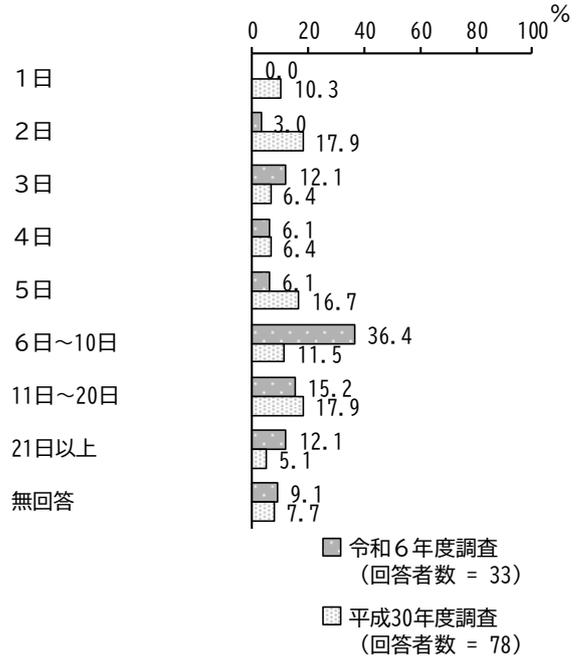
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「1日」「2日」の割合が減少しています。



エ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた 日数 (年間)

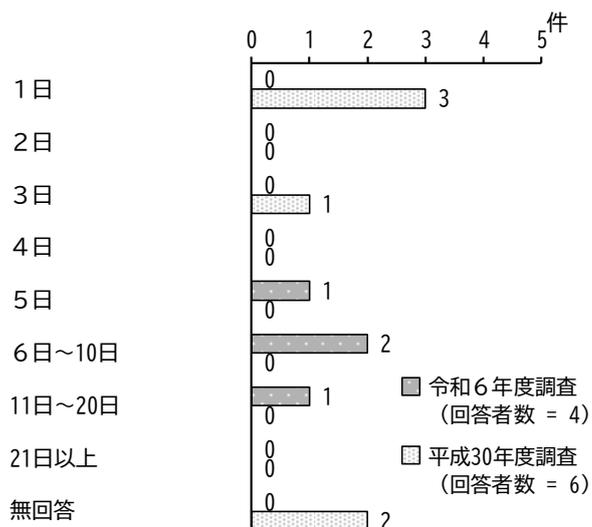
「6日～10日」の割合が36.4%と最も高く、次いで「11日～20日」の割合が15.2%、「3日」「21日以上」の割合が12.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3日」「6日～10日」「21日以上」の割合が増加しています。一方、「1日」「2日」「5日」の割合が減少しています。



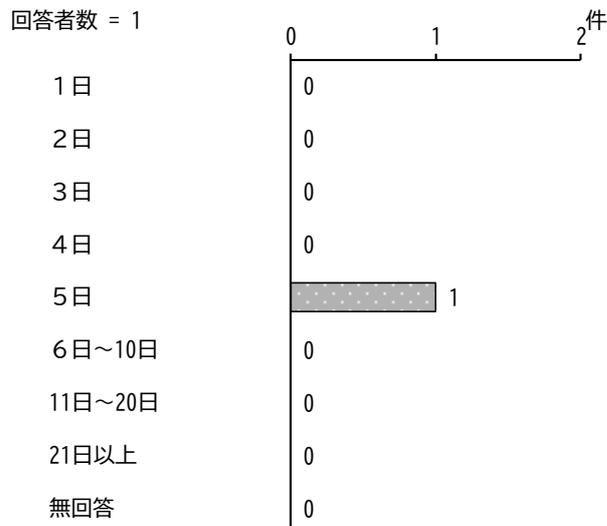
オ 病児・病後児の保育を利用した 日数（年間）

「6日～10日」が2件となっています。「5日」、
「11日～20日」が1件となっています。



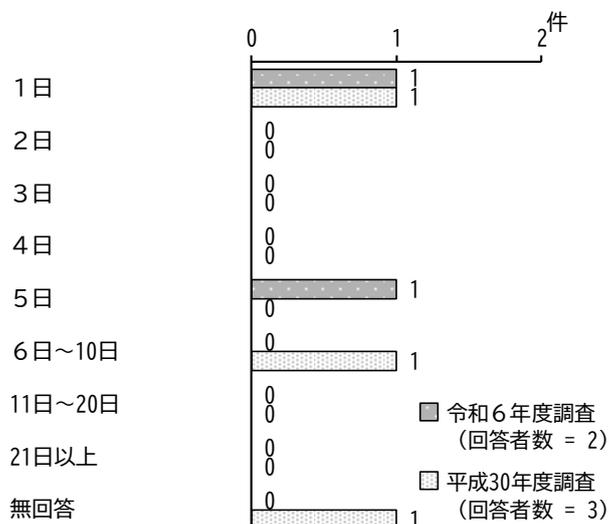
カ ベビーシッターを利用した 日数（年間）

「5日」が1件となっています。



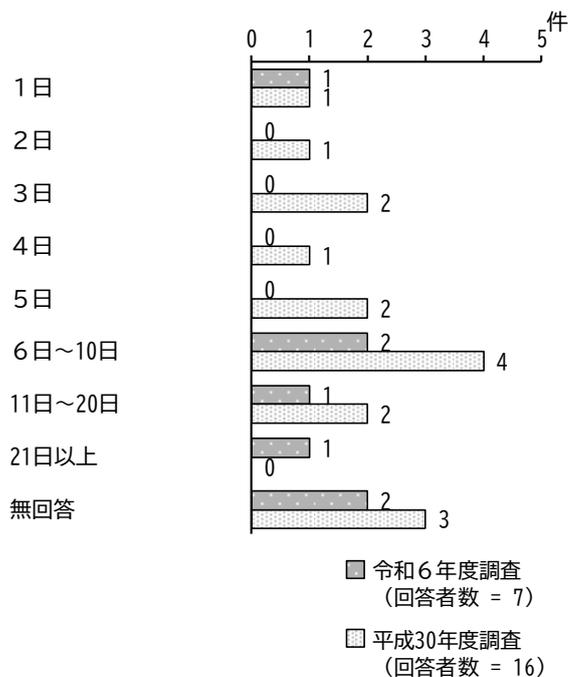
キ ファミリー・サポート・センターを利用した 日数（年間）
有効回答がありませんでした。

ク 仕方なく子どもだけで留守番をさせた 日数（年間）
「1日」、「5日」が1件となっています。



ケ その他 日数（年間）

「6日~10日」が2件となっています。「1日」、「11日~20日」、「21日以上」が1件となっています。

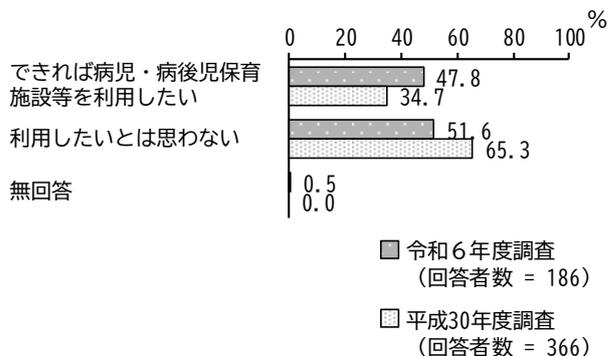


問 27-1 で「ア 父親が休んだ」「イ 母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 27-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても () 内に数字でご記入ください。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が 47.8%、「利用したいとは思わない」の割合が 51.6%となっています。

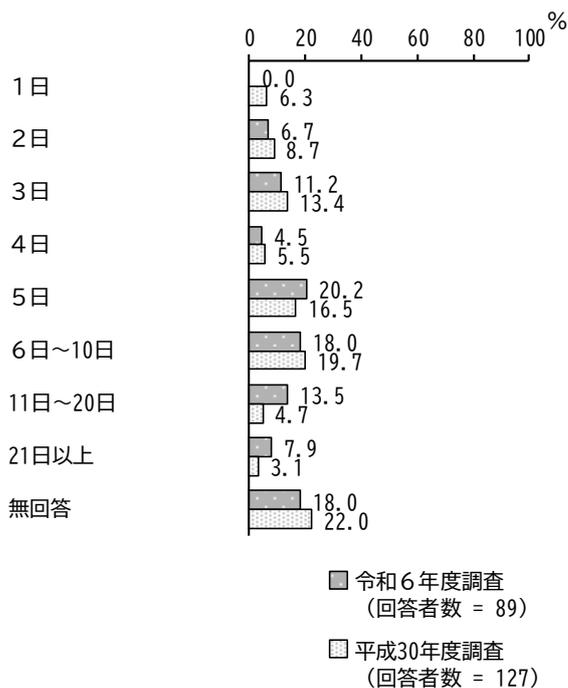
平成 30 年度調査と比較すると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が増加しています。一方、「利用したいとは思わない」の割合が減少しています。



できれば病児・病後児保育施設等を利用したい 日数

「5日」の割合が 20.2%と最も高く、次いで「6日~10日」の割合が 18.0%、「11日~20日」の割合が 13.5%となっています。

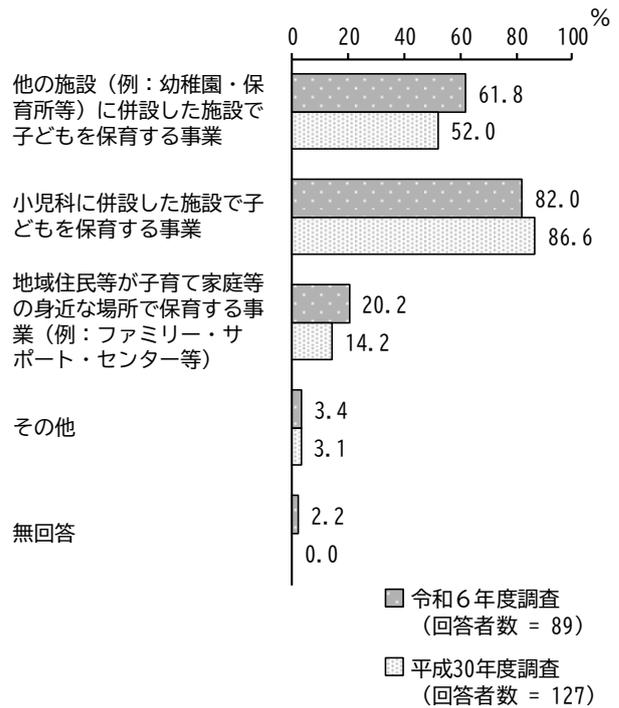
平成 30 年度調査と比較すると、「11日~20日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



問 27-3 問 27-2で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が82.0%と最も高く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が61.8%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」の割合が20.2%となっています。

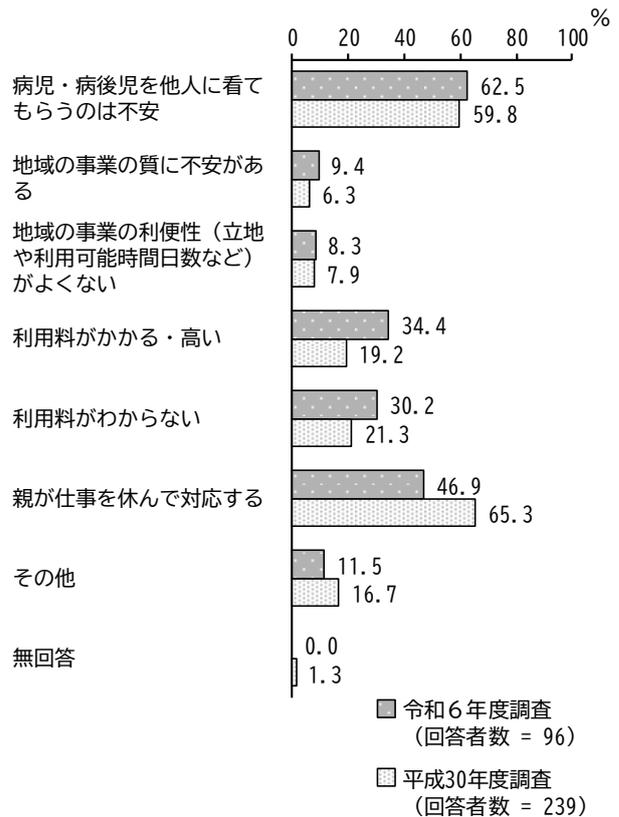
平成30年度調査と比較すると、「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」の割合が増加しています。



問 27-4 問 27-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方うかがいます。そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」の割合が62.5%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」の割合が46.9%、「利用料がかかる・高い」の割合が34.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用料がかかる・高い」「利用料がわからない」の割合が増加しています。一方、「親が仕事を休んで対応する」の割合が減少しています。

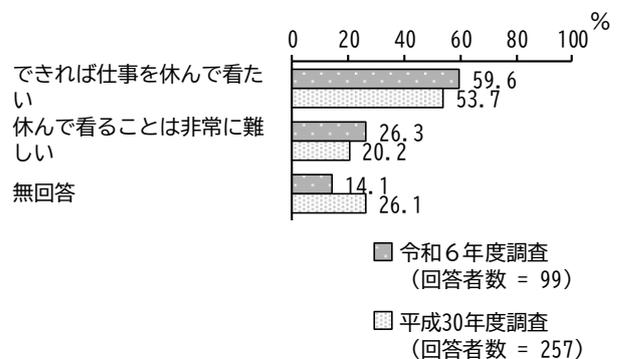


問 27-1で「ウ (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」から「ケ その他」のいずれかに回答した方うかがいます。

問 27-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、「ウ (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」から「ケ その他」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても()内に数字でご記入ください。

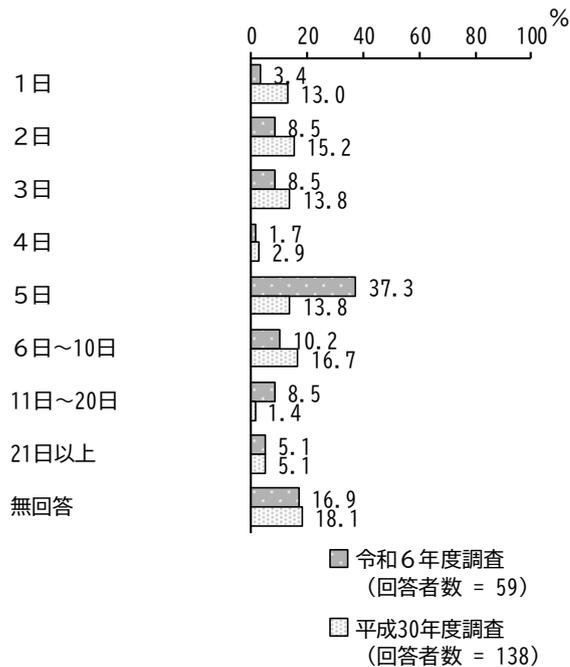
「できれば仕事を休んで看たい」の割合が59.6%、「休んで看ることは非常に難しい」の割合が26.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「できれば仕事を休んで看たい」「休んで看ることは非常に難しい」の割合が増加しています。



できれば仕事を休んで看たい 日数

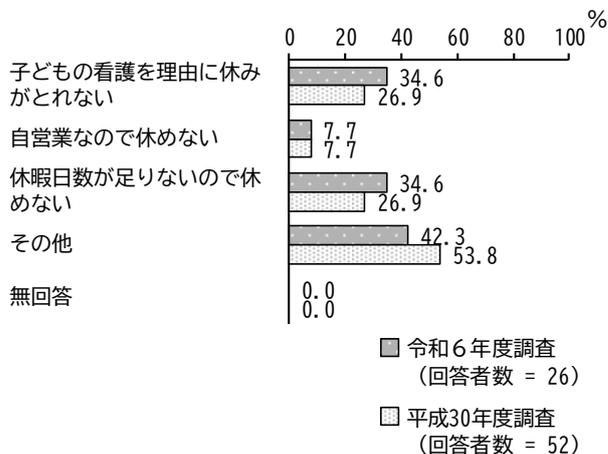
「5日」の割合が 37.3%と最も高く、次いで「6日～10日」の割合が 10.2%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「5日」「11日～20日」の割合が増加しています。一方、「1日」「2日」「3日」「6日～10日」の割合が減少しています。



問 27-6 問 27-5 で「2. 休んで看することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの看護を理由に休みがとれない」、「休暇日数が足りないので休めない」の割合が 34.6%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「子どもの看護を理由に休みがとれない」「休暇日数が足りないので休めない」の割合が増加しています。

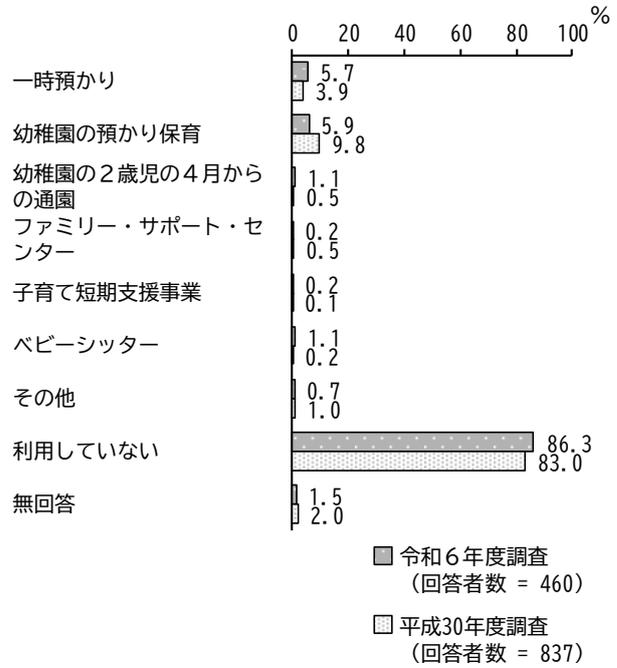


(9) 宛名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 28 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不特定に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を（ ）内に数字でご記入ください。

「利用していない」の割合が86.3%と最も高くなっています。

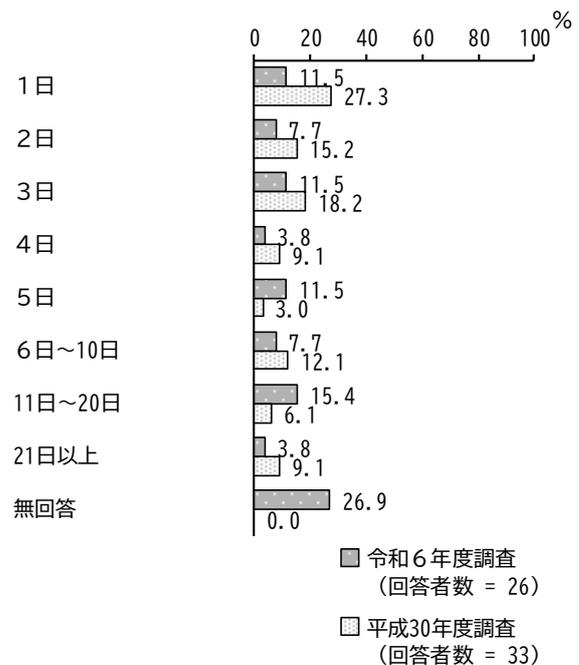
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1. 一時預かり 日数（年間）

「11日～20日」の割合が15.4%と最も高く、次いで「1日」、「3日」、「5日」の割合が11.5%となっています。

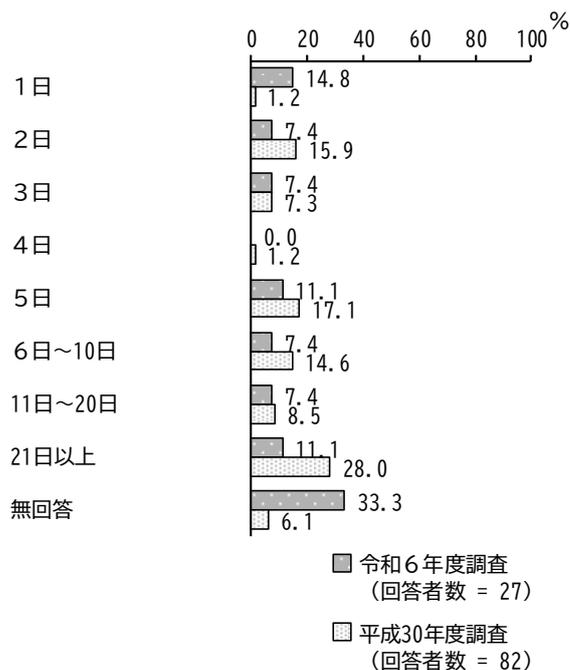
平成30年度調査と比較すると、「5日」「11日～20日」の割合が増加しています。一方、「1日」「2日」「3日」「4日」「21日以上」の割合が減少しています。



2. 幼稚園の預かり保育 日数（年間）

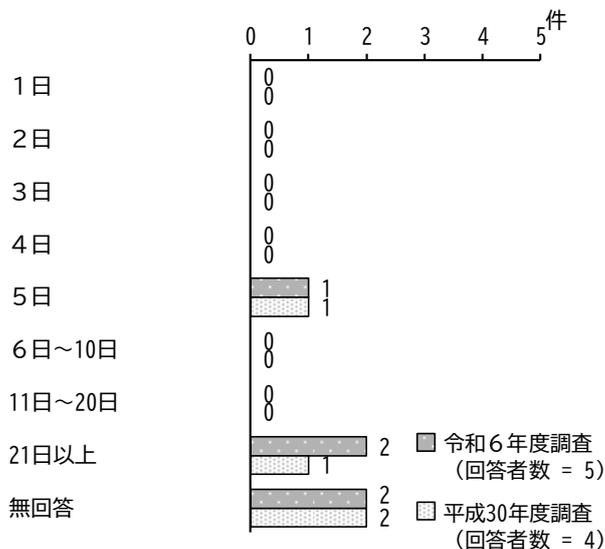
「1日」の割合が14.8%と最も高く、次いで「5日」、「21日以上」の割合が11.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「2日」「5日」「6日～10日」「21日以上」の割合が減少しています。



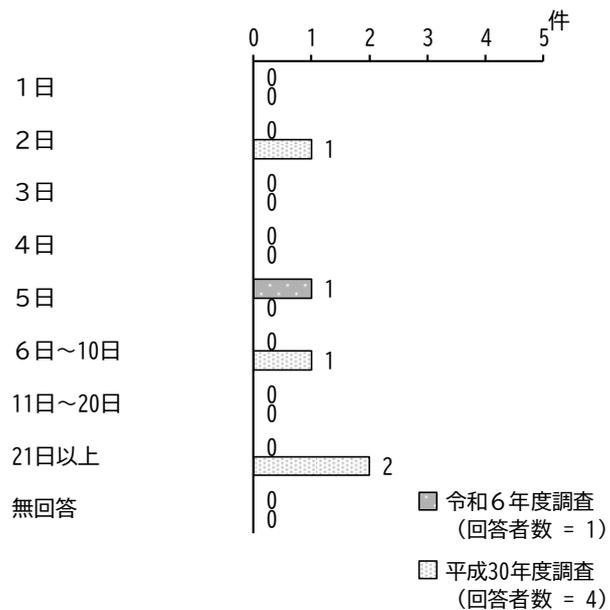
3. 幼稚園の2歳児の4月からの通園 日数（年間）

「21日以上」が2件となっています。「5日」が1件となっています。



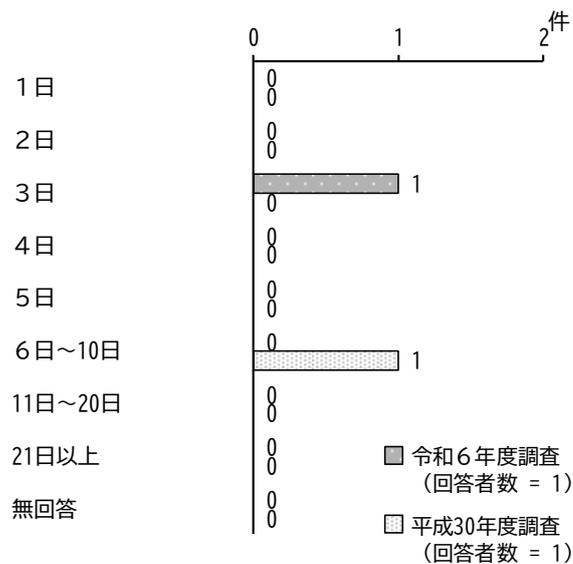
4. ファミリー・サポート・センター 日数（年間）

「5日」が1件となっています。



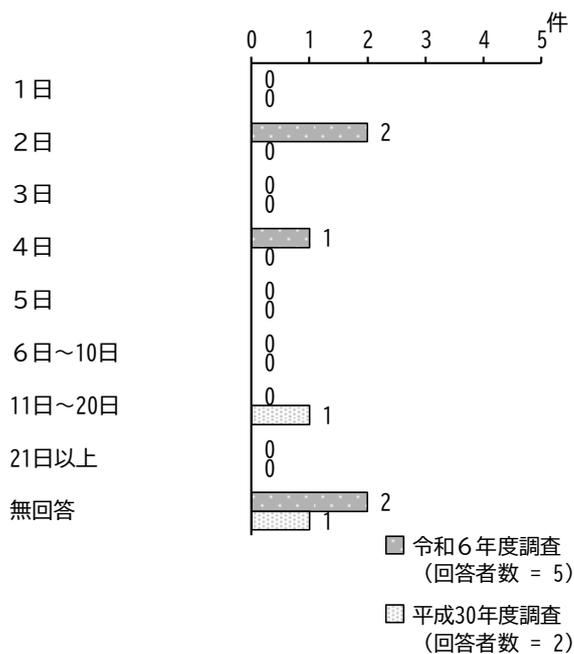
5. 子育て短期支援事業 日数（年間）

「3日」が1件となっています。



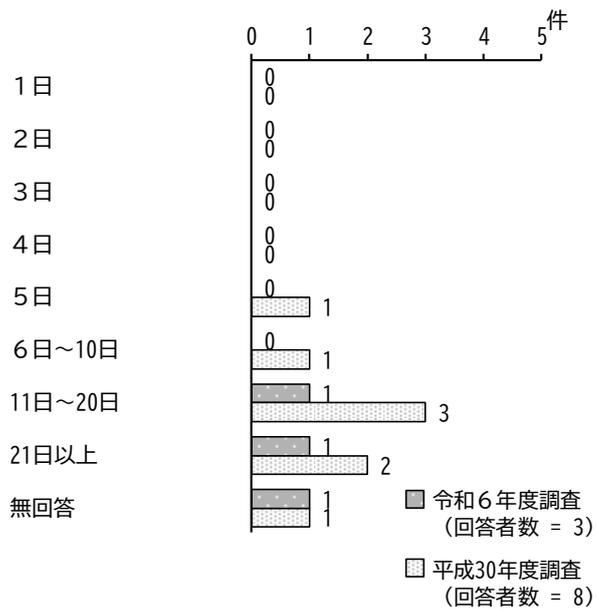
6. ベビーシッター 日数 (年間)

「2日」が2件となっています。「4日」が1件
 となっています。



7. その他 日数 (年間)

「11日~20日」、「21日以上」が1件となっ
 ています。

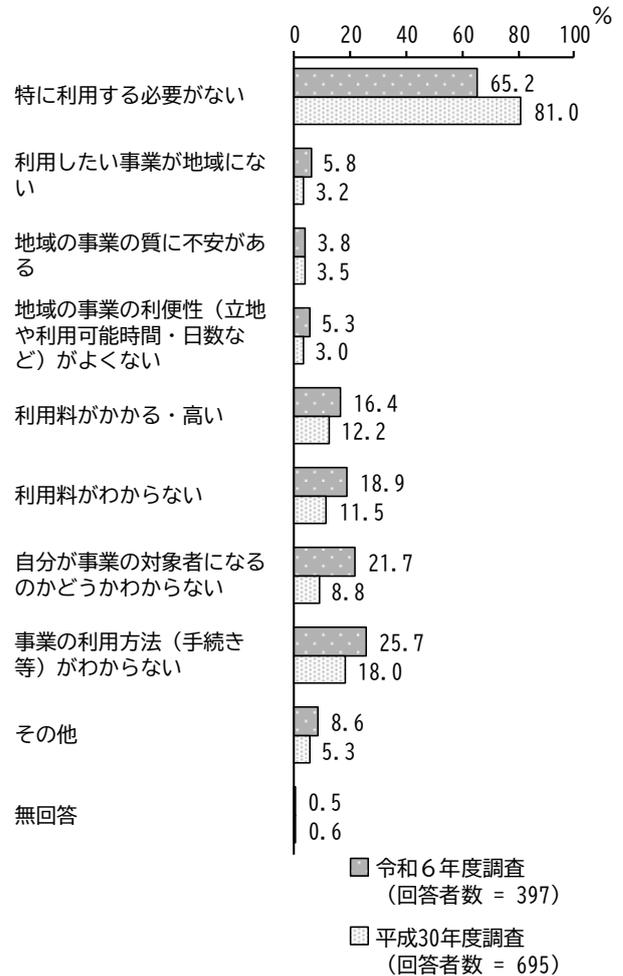


問 28 で「8. 利用していない」と回答した方にかがいます。

問 28-1 現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」の割合が 65.2%と最も高く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が 25.7%、「自分が事業の対象者になるのかどうかかわからない」の割合が 21.7%となっています。

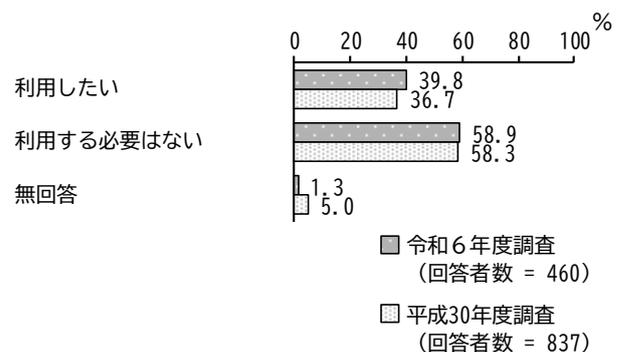
平成 30 年度調査と比較すると、「利用料がわからない」「自分が事業の対象者になるのかどうかかわからない」「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が増加しています。一方、「特に利用する必要がない」の割合が減少しています。



問 29 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。）

「利用したい」の割合が 39.8%、「利用する必要はない」の割合が 58.9%となっています。

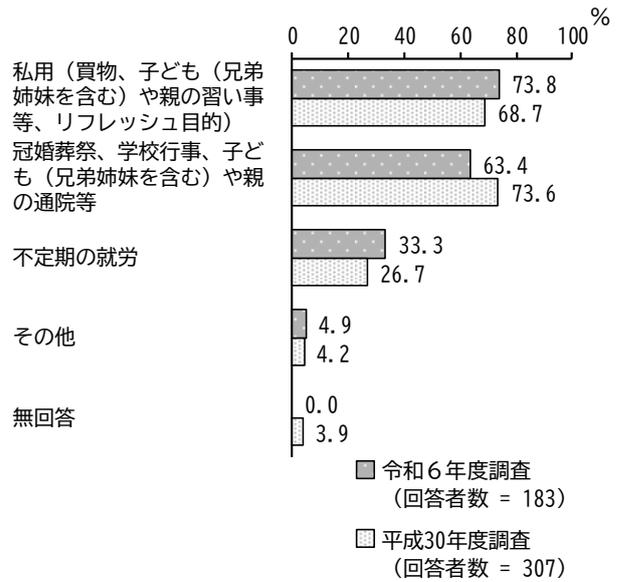
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用の目的

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）」の割合が73.8%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が63.4%、「不定期の就労」の割合が33.3%となっています。

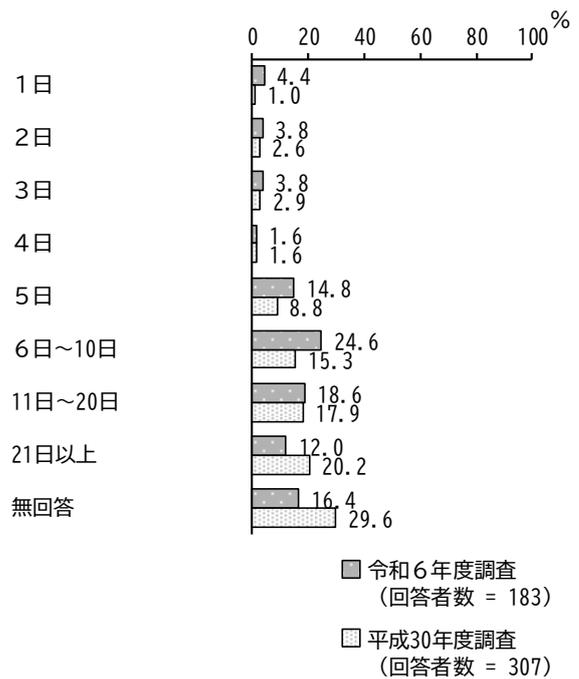
平成30年度調査と比較すると、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）」「不定期の就労」の割合が増加しています。一方、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が減少しています。



利用したい日数の合計

「6日～10日」の割合が24.6%と最も高く、次いで「11日～20日」の割合が18.6%、「5日」の割合が14.8%となっています。

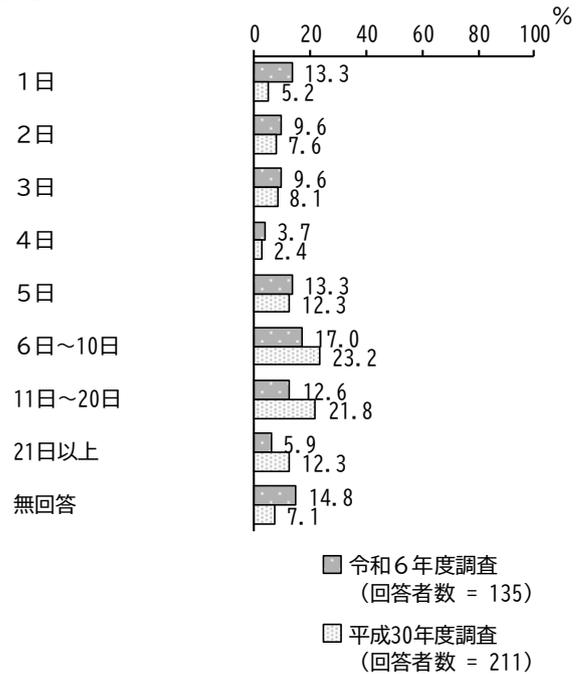
平成30年度調査と比較すると、「5日」「6日～10日」の割合が増加しています。一方、「21日以上」の割合が減少しています。



ア 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的） 日数（年間）

「6日～10日」の割合が17.0%と最も高く、次いで「1日」、「5日」の割合が13.3%となっています。

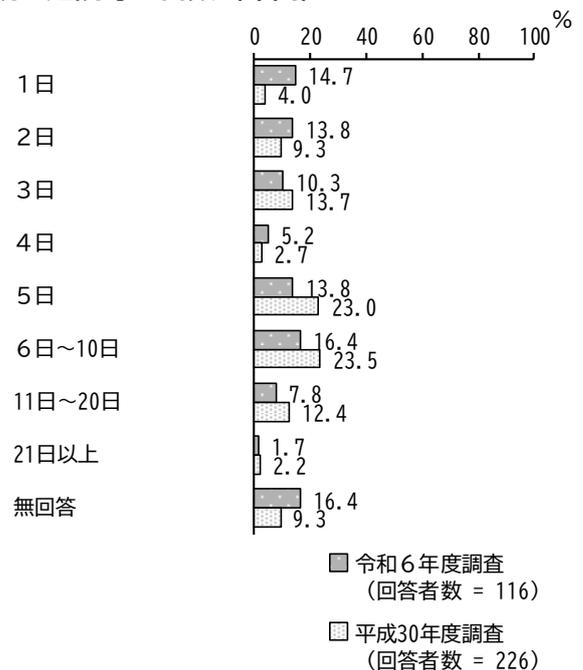
平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「6日～10日」「11日～20日」「21日以上」の割合が減少しています。



イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等 日数（年間）

「6日～10日」の割合が16.4%と最も高く、次いで「1日」の割合が14.7%、「2日」、「5日」の割合が13.8%となっています。

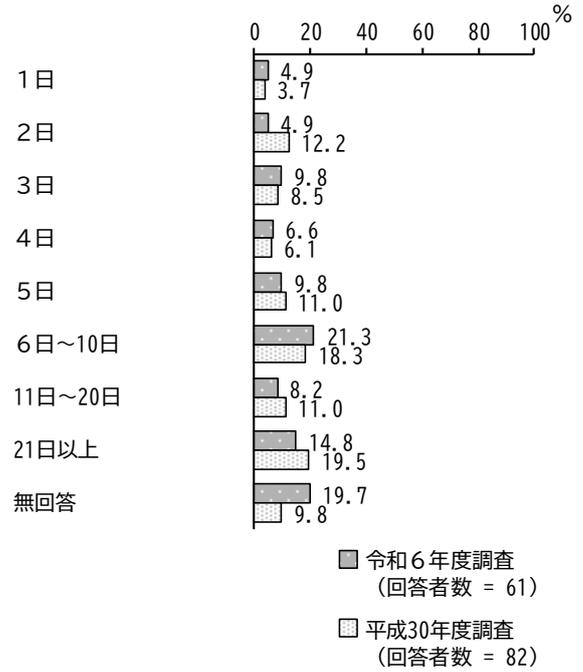
平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「5日」「6日～10日」の割合が減少しています。



ウ 不定期の就労 日数（年間）

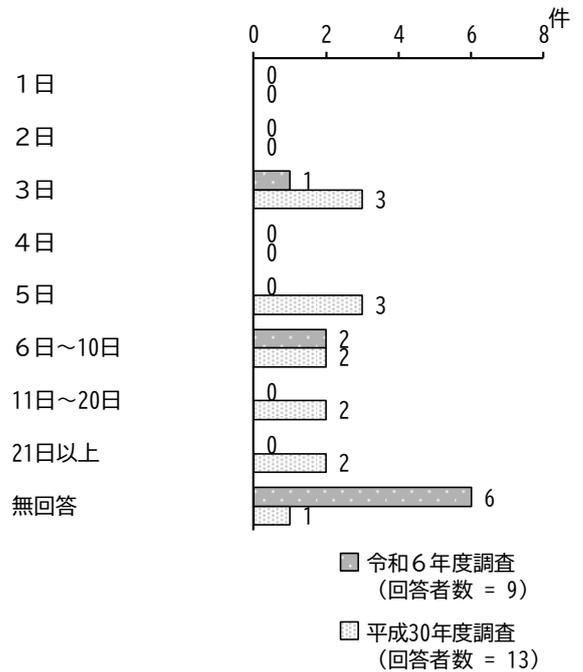
「6日～10日」の割合が21.3%と最も高く、次いで「21日以上」の割合が14.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2日」の割合が減少しています。



エ その他 日数（年間）

「6日～10日」が2件となっています。「3日」が1件となっています。

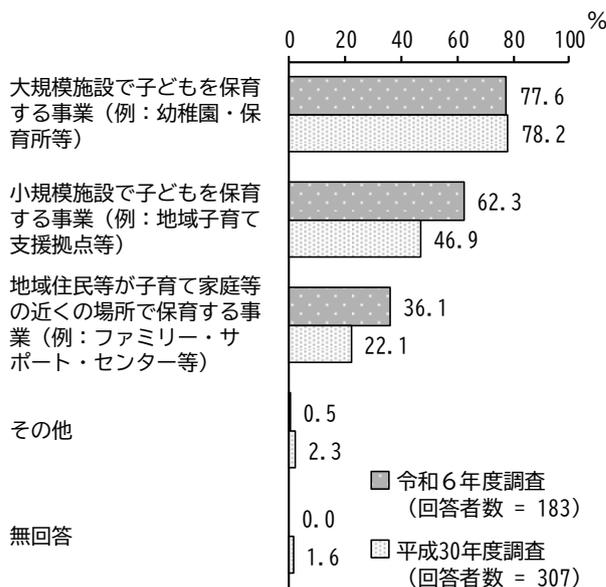


問 29 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 29-1 問 29 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

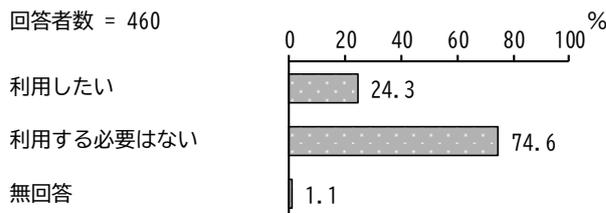
「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）」の割合が 77.6%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）」の割合が 62.3%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」の割合が 36.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）」「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」の割合が増加しています。



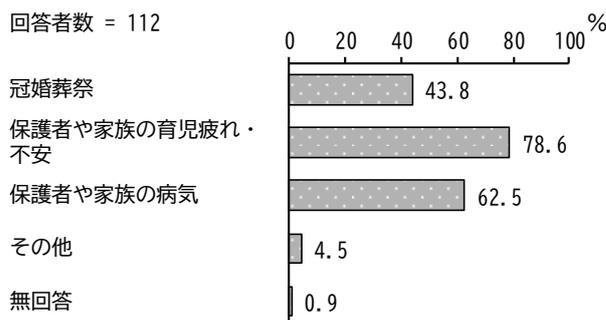
問 30 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳泊数を枠内に具体的な数字を入れてください）。

「利用したい」の割合が 24.3%、「利用する必要はない」の割合が 74.6%となっています。



保護者の用事

「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が 78.6%と最も高く、次いで「保護者や家族の病気」の割合が 62.5%、「冠婚葬祭」の割合が 43.8%となっています。

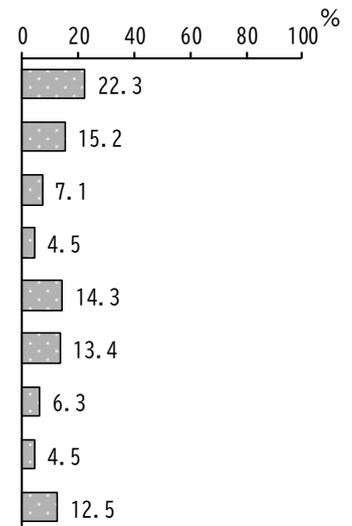


利用したい泊数の合計

「1泊」の割合が 22.3%と最も高く、次いで「2泊」の割合が 15.2%、「5泊」の割合が 14.3%となっています。

回答者数 = 112

1泊	22.3
2泊	15.2
3泊	7.1
4泊	4.5
5泊	14.3
6泊~10泊	13.4
11泊~20泊	6.3
21泊以上	4.5
無回答	12.5

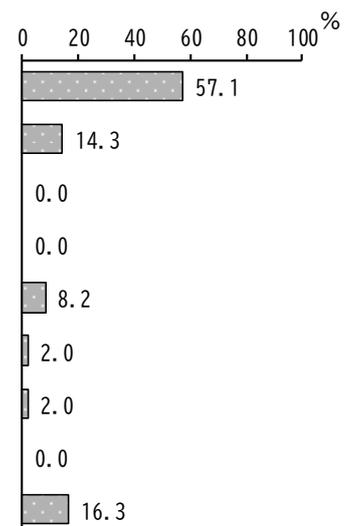


ア 冠婚葬祭 泊数（年間）

「1泊」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「2泊」の割合が 14.3%となっています。

回答者数 = 49

1泊	57.1
2泊	14.3
3泊	0.0
4泊	0.0
5泊	8.2
6泊~10泊	2.0
11泊~20泊	2.0
21泊以上	0.0
無回答	16.3

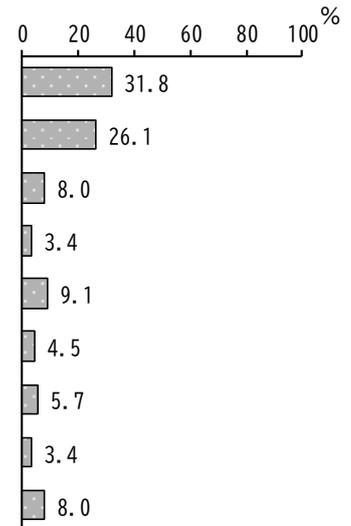


イ 保護者や家族の育児疲れ・不安 泊数（年間）

「1泊」の割合が31.8%と最も高く、次いで「2泊」の割合が26.1%となっています。

回答者数 = 88

1泊	31.8
2泊	26.1
3泊	8.0
4泊	3.4
5泊	9.1
6泊～10泊	4.5
11泊～20泊	5.7
21泊以上	3.4
無回答	8.0

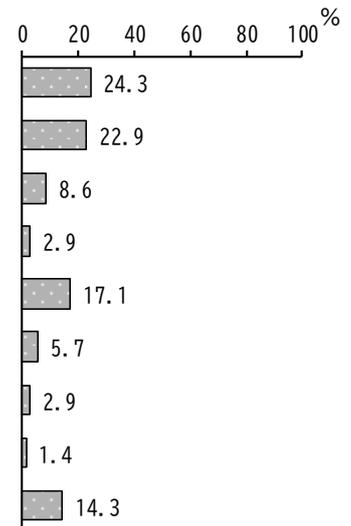


ウ 保護者や家族の病気 泊数（年間）

「1泊」の割合が24.3%と最も高く、次いで「2泊」の割合が22.9%、「5泊」の割合が17.1%となっています。

回答者数 = 70

1泊	24.3
2泊	22.9
3泊	8.6
4泊	2.9
5泊	17.1
6泊～10泊	5.7
11泊～20泊	2.9
21泊以上	1.4
無回答	14.3

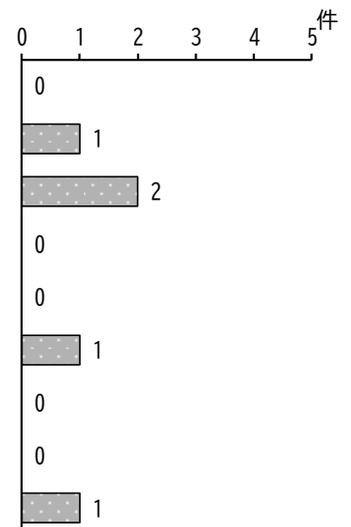


エ その他 泊数（年間）

「3泊」が2件となっています。「2泊」、「6泊～10泊」が1件となっています。

回答者数 = 5

1泊	0
2泊	1
3泊	2
4泊	0
5泊	0
6泊～10泊	1
11泊～20泊	0
21泊以上	0
無回答	1

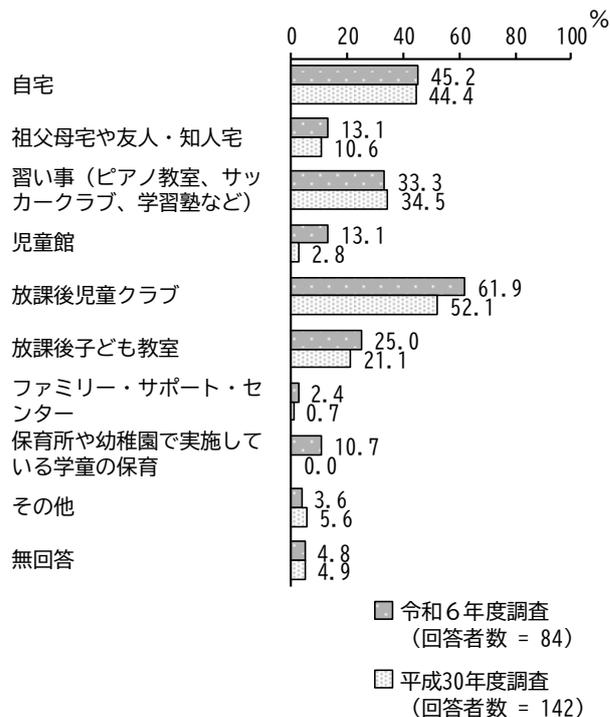


(10) 宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 31 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。

「放課後児童クラブ」の割合が61.9%と最も高く、次いで「自宅」の割合が45.2%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が33.3%となっています。

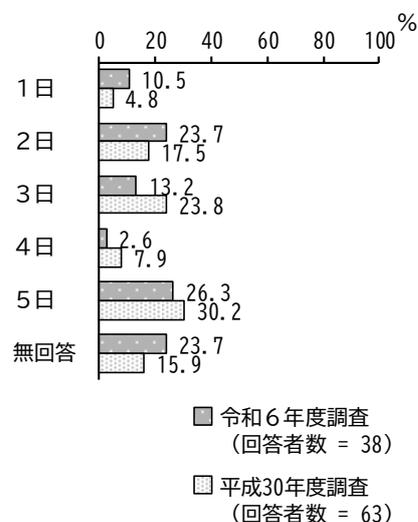
平成30年度調査と比較すると、「児童館」「放課後児童クラブ」「保育所や幼稚園で実施している学童の保育」の割合が増加しています。



1. 自宅

「5日」の割合が26.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が23.7%、「3日」の割合が13.2%となっています。

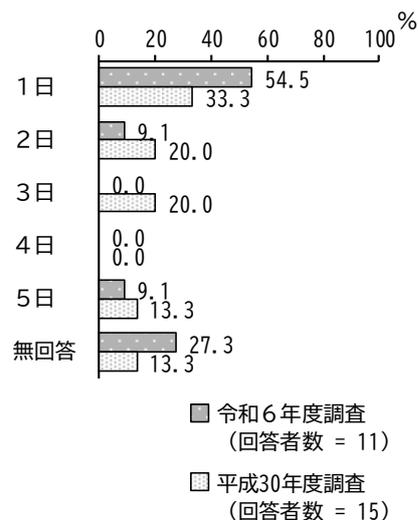
平成30年度調査と比較すると、「1日」「2日」の割合が増加しています。一方、「3日」「4日」の割合が減少しています。



2. 祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が54.5%と最も高くなっています。

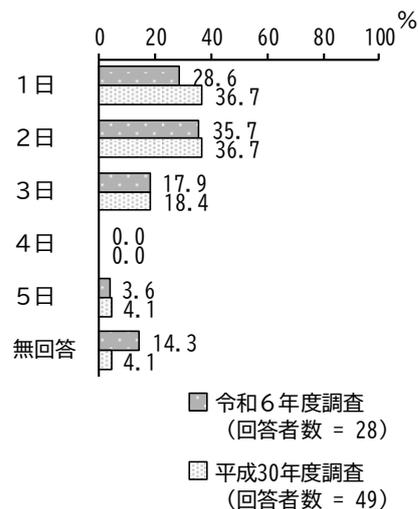
平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「2日」「3日」の割合が減少しています。



3. 習い事

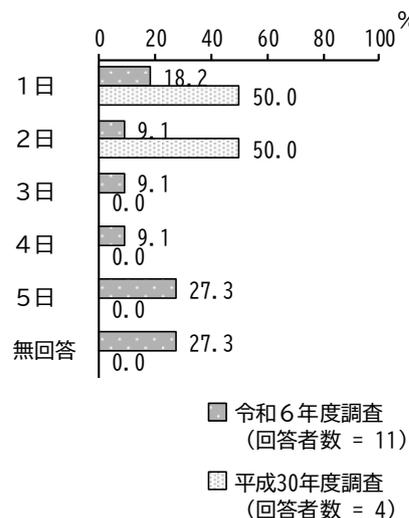
「2日」の割合が35.7%と最も高く、次いで「1日」の割合が28.6%、「3日」の割合が17.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が減少しています。



4. 児童館

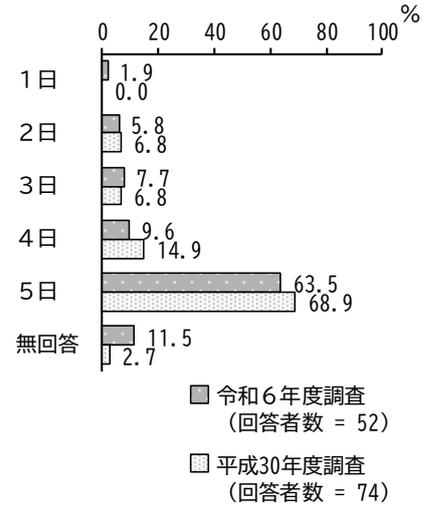
「5日」の割合が27.3%と最も高く、次いで「1日」の割合が18.2%となっています。



5. 放課後児童クラブ

「5日」の割合が63.5%と最も高くなっています。

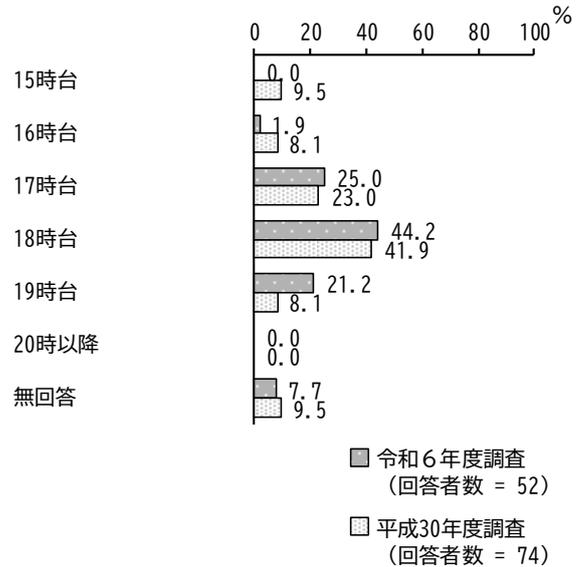
平成30年度調査と比較すると、「4日」「5日」の割合が減少しています。



利用終了時間

「18時台」の割合が44.2%と最も高く、次いで「17時台」の割合が25.0%、「19時台」の割合が21.2%となっています。

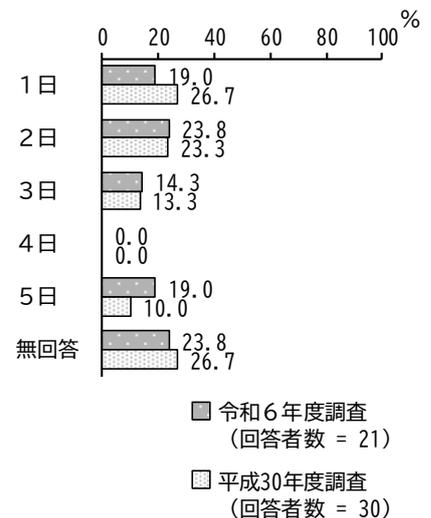
平成30年度調査と比較すると、「19時台」の割合が増加しています。一方、「15時台」「16時台」の割合が減少しています。



6. 放課後子ども教室

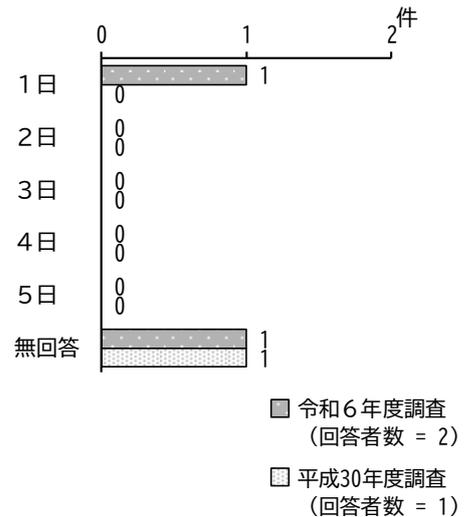
「2日」の割合が23.8%と最も高く、次いで「1日」「5日」の割合が19.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



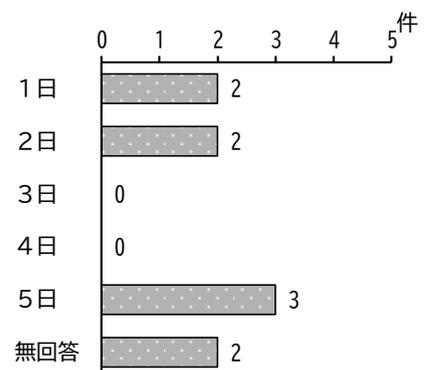
7. ファミリー・サポート・センター

「1日」が1件となっています。



8. 保育所や幼稚園で実施している学童の保育

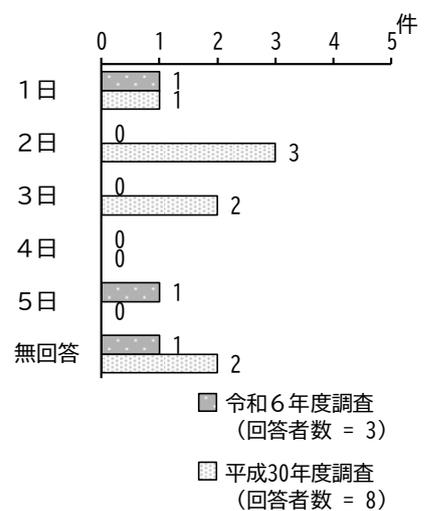
「5日」が3件となっています。「1日」、「2日」が2件となっています。 回答者数 = 9



9. その他

「1日」、「5日」が1件となっています。

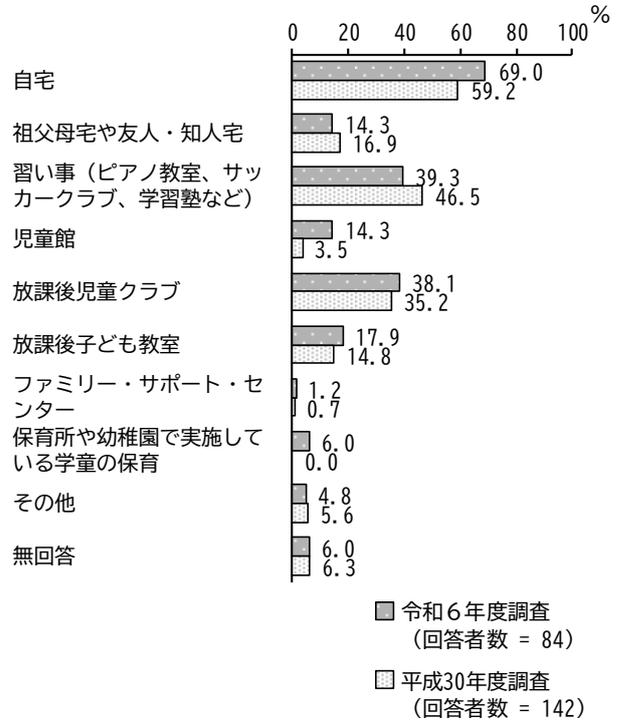
平成30年度調査と比較すると、「1日」「5日」の割合が増加しています。一方、「2日」「3日」の割合が減少しています。



問 32 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。

「自宅」の割合が 69.0%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 39.3%、「放課後児童クラブ」の割合が 38.1%となっています。

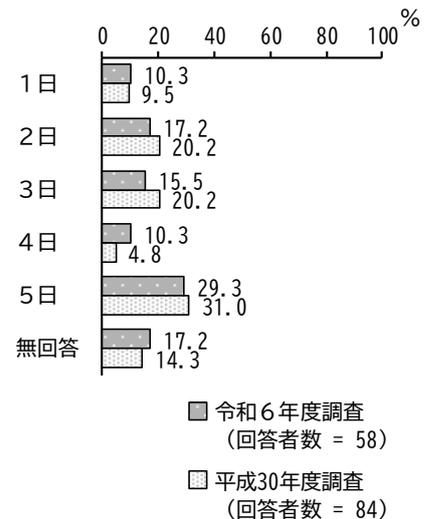
平成 30 年度調査と比較すると、「自宅」「児童館」「保育所や幼稚園で実施している学童の保育」の割合が増加しています。一方、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が減少しています。



1. 自宅

「5日」の割合が 29.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が 17.2%、「3日」の割合が 15.5%となっています。

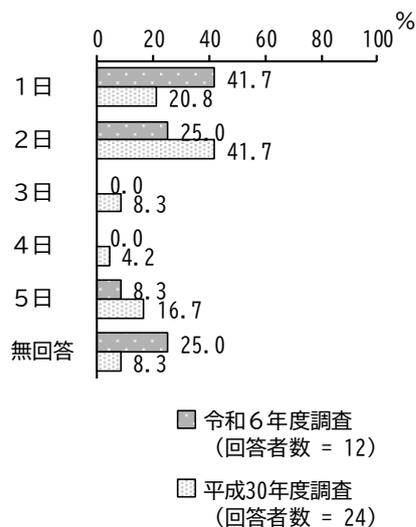
平成 30 年度調査と比較すると、「4日」の割合が増加しています。



2. 祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が41.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が25.0%となっています。

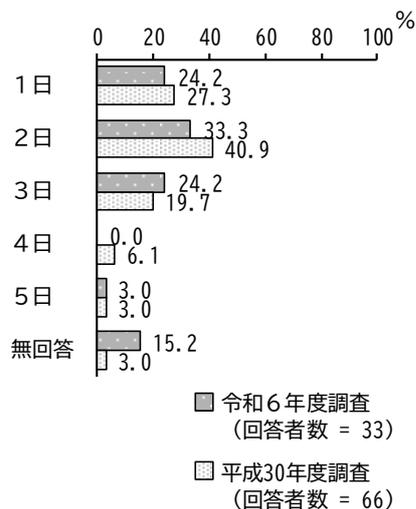
平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「2日」「3日」「5日」の割合が減少しています。



3. 習い事

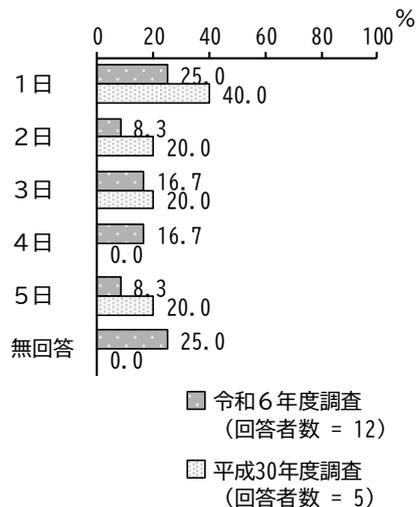
「2日」の割合が33.3%と最も高く、次いで「1日」「3日」の割合が24.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2日」「4日」の割合が減少しています。



4. 児童館

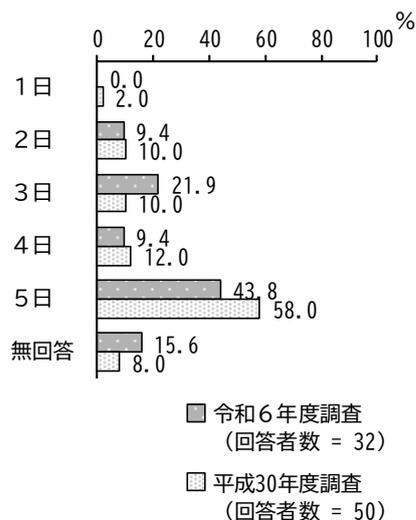
「1日」の割合が25.0%と最も高く、次いで「3日」「4日」の割合が16.7%となっています。



5. 放課後児童クラブ

「5日」の割合が43.8%と最も高く、次いで「3日」の割合が21.9%となっています。

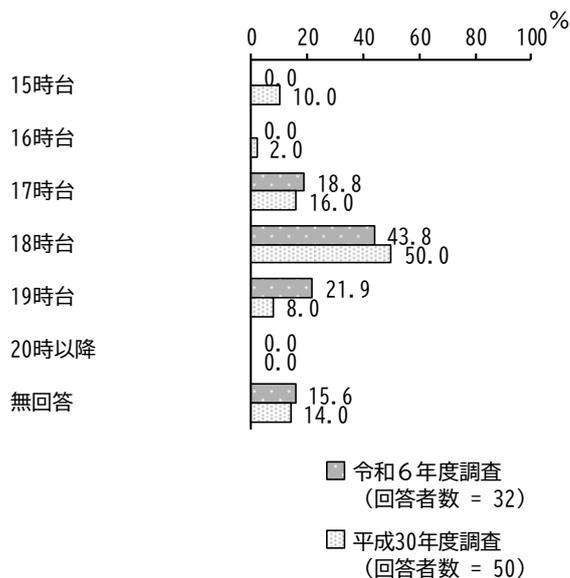
平成30年度調査と比較すると、「3日」の割合が増加しています。一方、「5日」の割合が減少しています。



利用終了時間

「18時台」の割合が43.8%と最も高く、次いで「19時台」の割合が21.9%、「17時台」の割合が18.8%となっています。

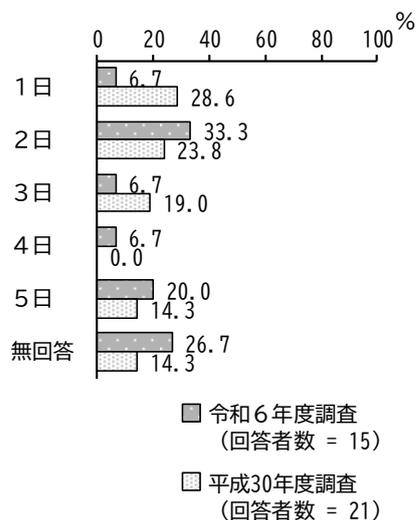
平成30年度調査と比較すると、「19時台」の割合が増加しています。一方、「15時台」「18時台」の割合が減少しています。



6. 放課後子ども教室

「2日」の割合が33.3%と最も高く、次いで「5日」の割合が20.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2日」「4日」「5日」の割合が増加しています。一方、「1日」「3日」の割合が減少しています。



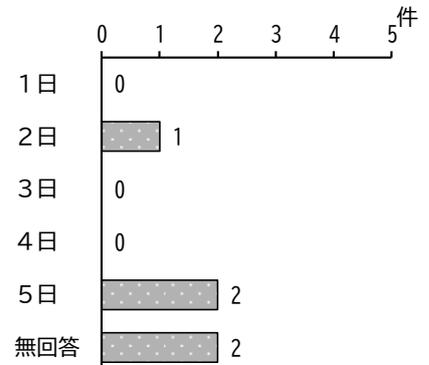
7. ファミリー・サポート・センター

有効回答がありませんでした。

8. 保育所や幼稚園で実施している学童の保育

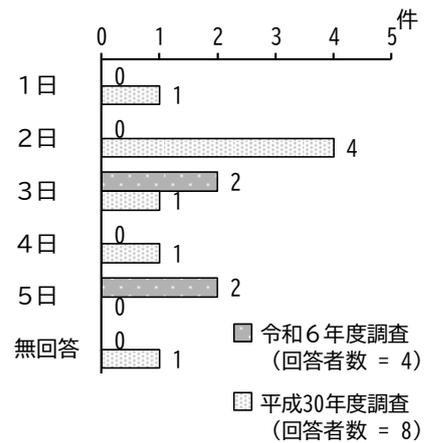
「5日」が2件となっています。「2日」が1件
となっています。

回答者数 = 5



9. その他

「3日」、「5日」が2件となっています。

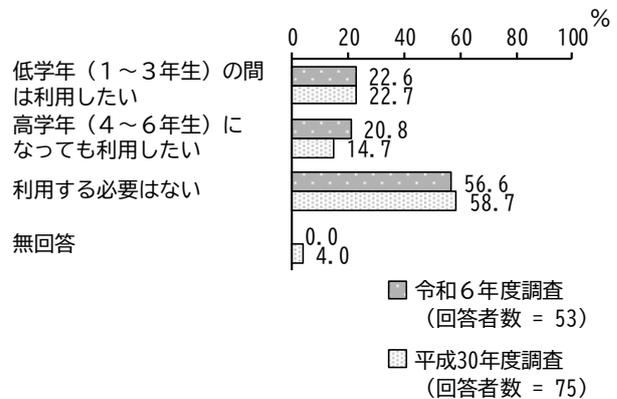


問 33 問 31 または問 32 で「5. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。次の(1)、(2)のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、() 内に(例) 9時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

「利用する必要はない」の割合が56.6%と最も高く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が22.6%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が20.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が増加しています。

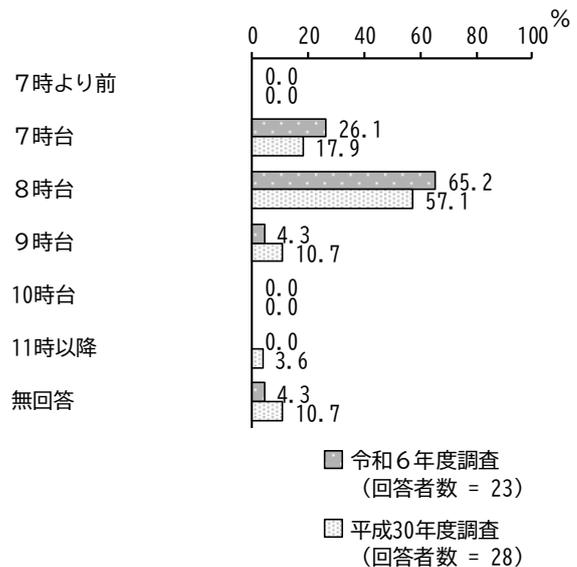


利用したい時間帯

開始時間

「8時台」の割合が65.2%と最も高く、次いで「7時台」の割合が26.1%となっています。

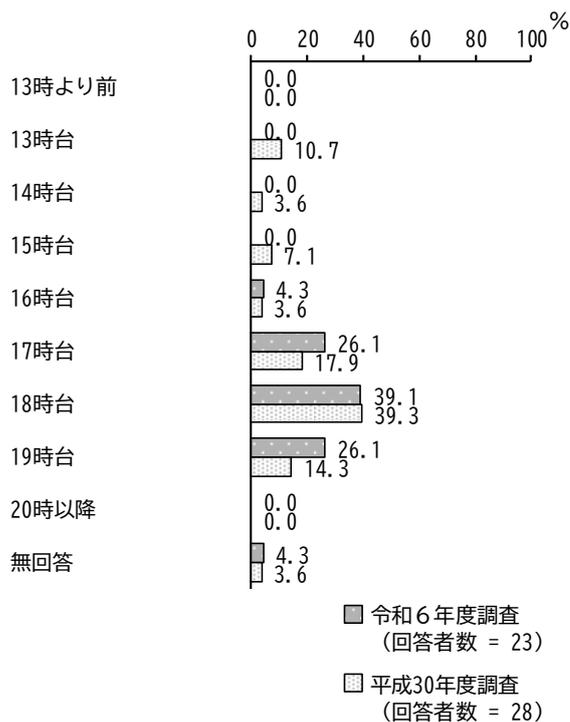
平成30年度調査と比較すると、「7時台」「8時台」の割合が増加しています。一方、「9時台」の割合が減少しています。



終了時間

「18 時台」の割合が 39.1%と最も高く、次いで「17 時台」、「19 時台」の割合が 26.1%となっています。

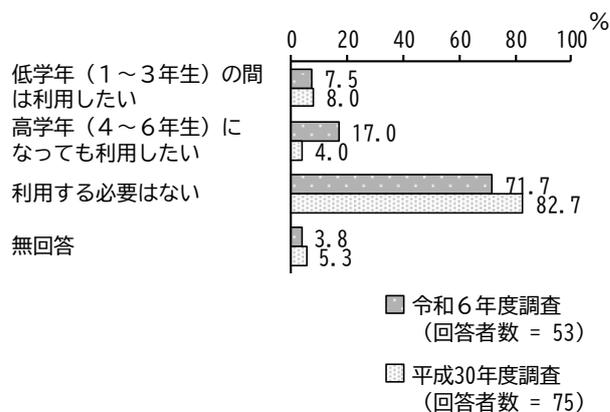
平成 30 年度調査と比較すると、「17 時台」「19 時台」の割合が増加しています。一方、「13 時台」「15 時台」の割合が減少しています。



(2) 日曜・祝日

「利用する必要はない」の割合が 71.7%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が 17.0%となっています。

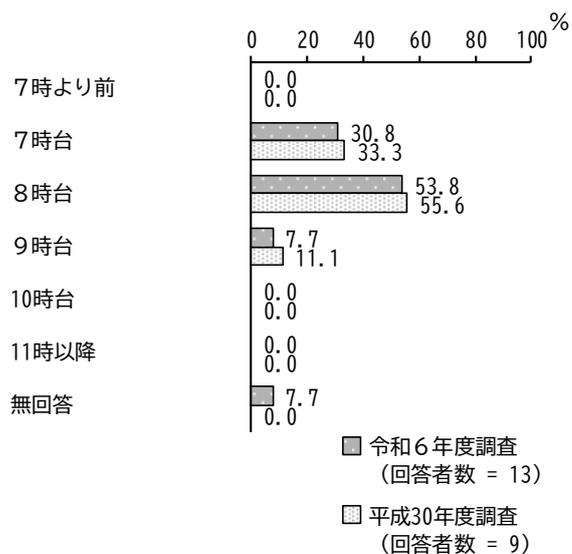
平成 30 年度調査と比較すると、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が増加しています。一方、「利用する必要はない」の割合が減少しています。



利用したい時間帯

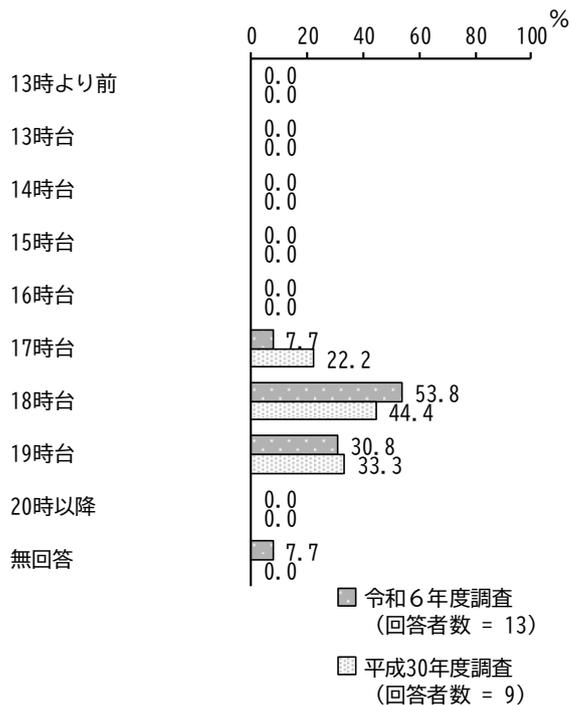
開始時間

「8時台」の割合が53.8%と最も高く、次いで「7時台」の割合が30.8%となっています。



終了時間

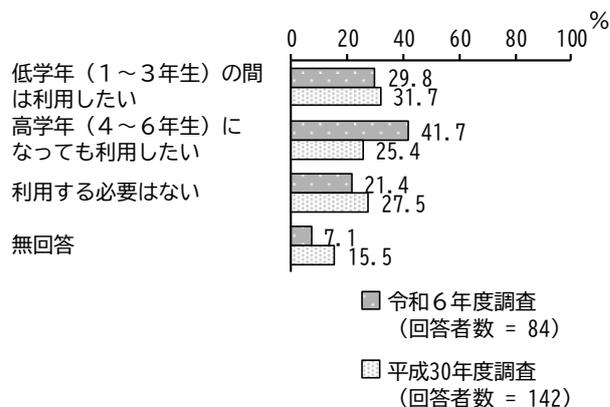
「18時台」の割合が53.8%と最も高く、次いで「19時台」の割合が30.8%となっています。



問 34 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。あてはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、() 内に(例) 9時～18時のように24時間制でご記入ください。

「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が41.7%と最も高く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が29.8%、「利用する必要はない」の割合が21.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が増加しています。一方、「利用する必要はない」の割合が減少しています。

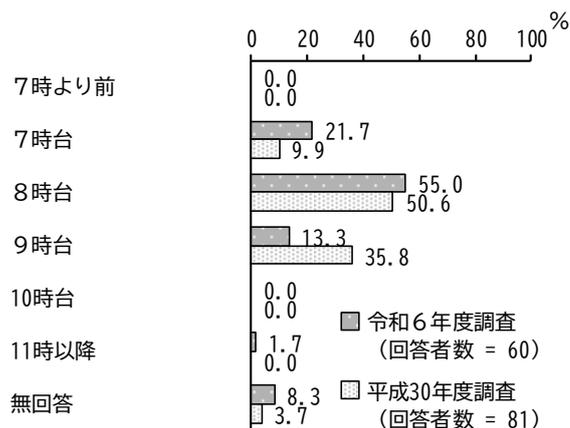


利用したい時間帯

開始時間

「8時台」の割合が55.0%と最も高く、次いで「7時台」の割合が21.7%、「9時台」の割合が13.3%となっています。

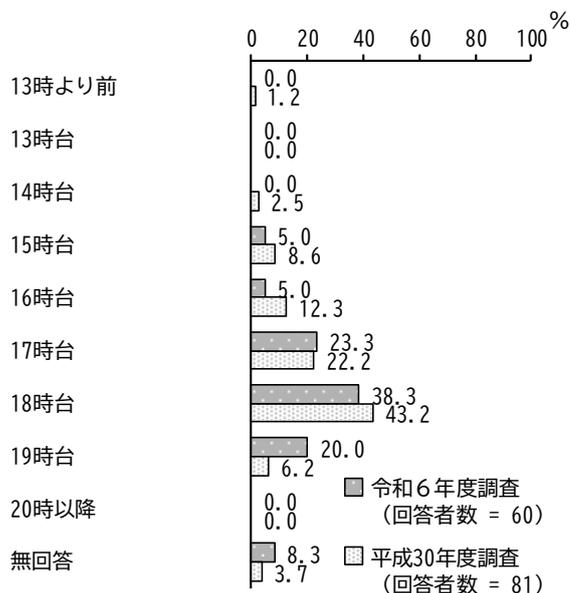
平成30年度調査と比較すると、「7時台」の割合が増加しています。一方、「9時台」の割合が減少しています。



終了時間

「18時台」の割合が38.3%と最も高く、次いで「17時台」の割合が23.3%、「19時台」の割合が20.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「19時台」の割合が増加しています。一方、「16時台」の割合が減少しています。



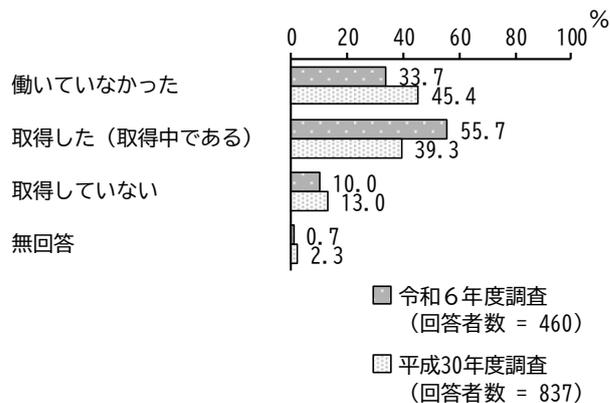
(11) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 35 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方は、その理由を下の選択肢から選んであてはまる番号をすべてご記入ください。

母親（いずれかに○）

「取得した（取得中である）」の割合が55.7%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が33.7%、「取得していない」の割合が10.0%となっています。

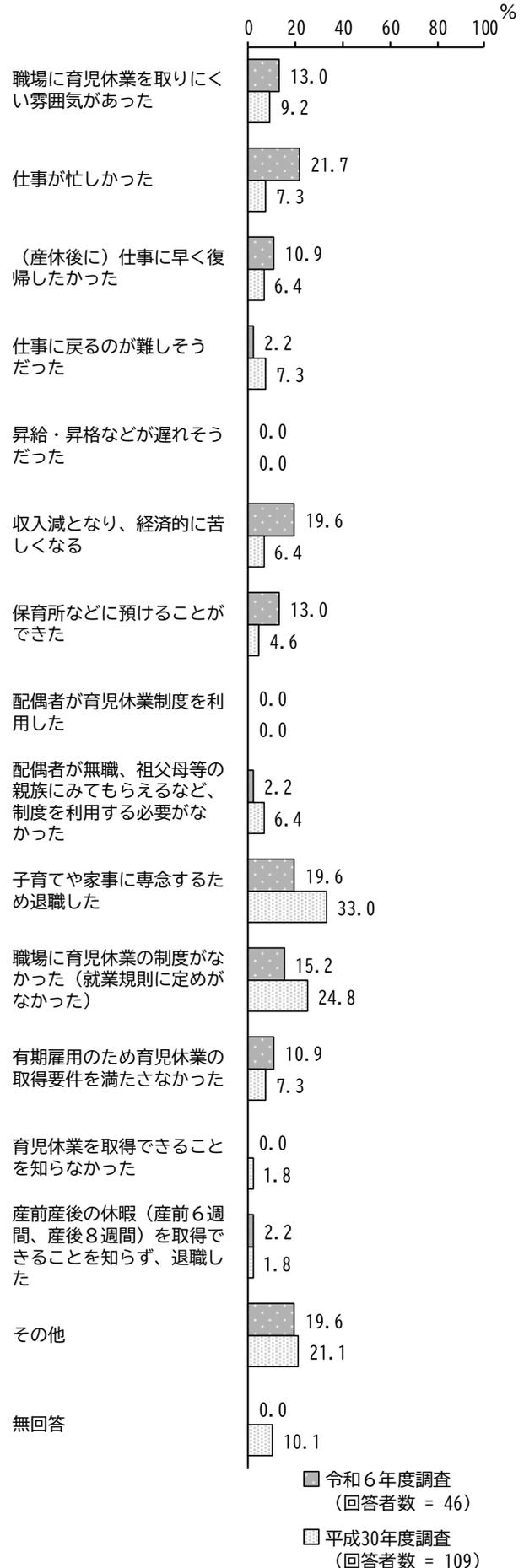
平成30年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった」の割合が減少しています。



取得していない理由

「仕事が忙しかった」の割合が21.7%と最も高く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が19.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「仕事が忙しかった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」「保育所などに預けることができた」の割合が増加しています。一方、「仕事に戻るのが難しそうだった」「子育てや家事に専念するため退職した」「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が減少しています。

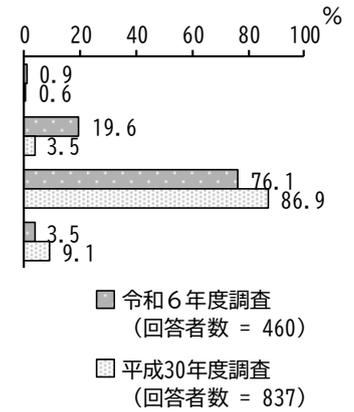


父親（いずれかに○）

「取得していない」の割合が76.1%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」の割合が19.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合が増加しています。一方、「取得していない」の割合が減少しています。

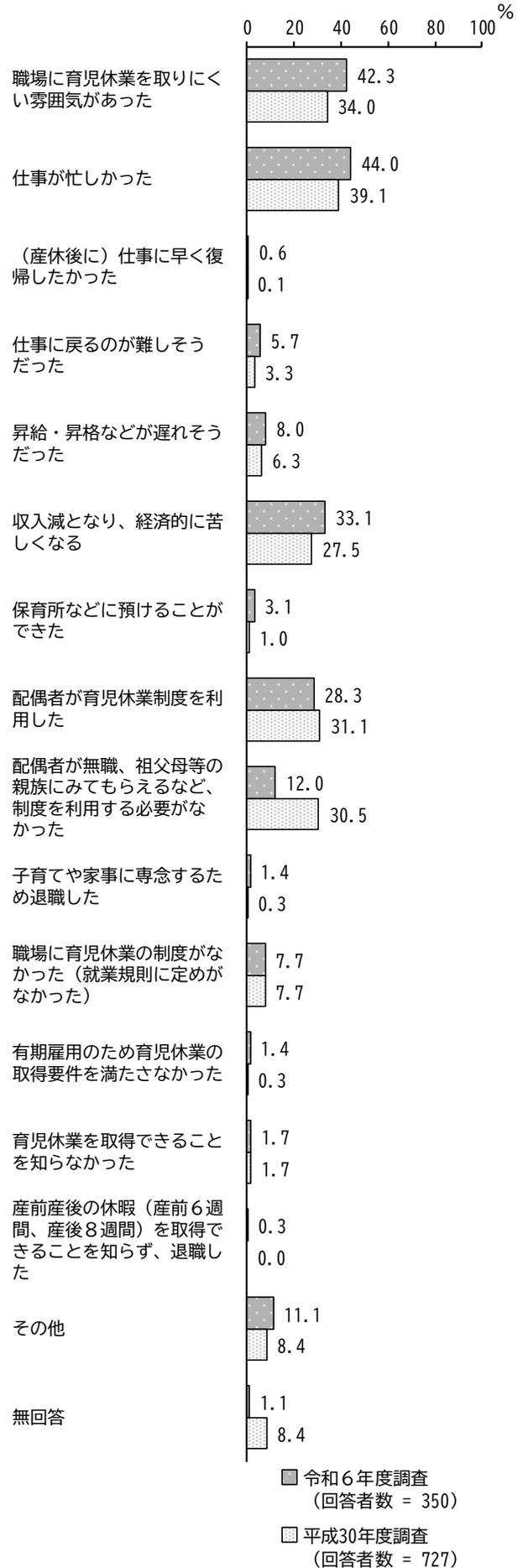
働いていなかった
取得した（取得中である）
取得していない
無回答



取得していない理由

「仕事が忙しかった」の割合が44.0%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が42.3%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が33.1%となっています。

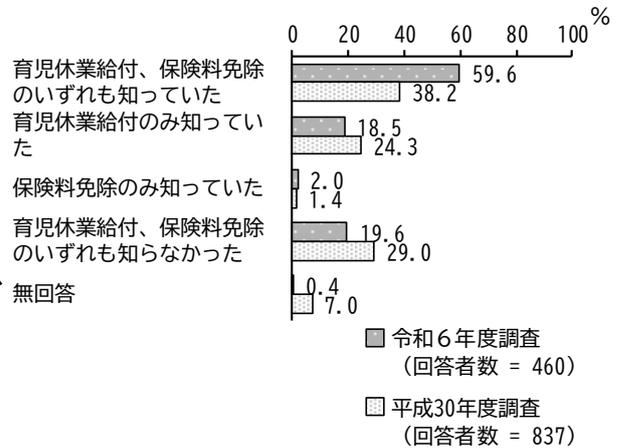
平成30年度調査と比較すると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が増加しています。一方、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が減少しています。



問 35-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）の期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が59.6%と最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が19.6%、「育児休業給付のみ知っていた」の割合が18.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が増加しています。一方、「育児休業給付のみ知っていた」「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が減少しています。



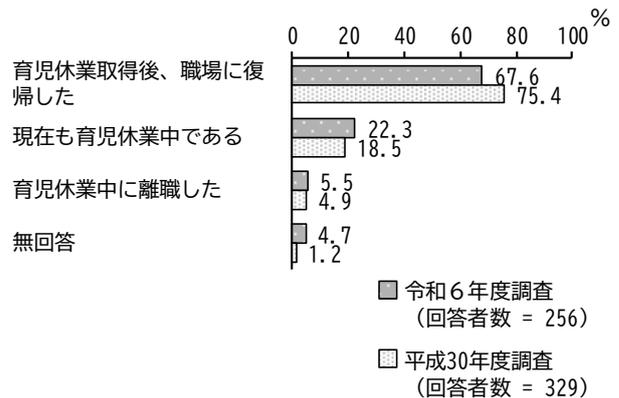
問 35 で母親・父親が「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

問 35-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が67.6%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が22.3%となっています。

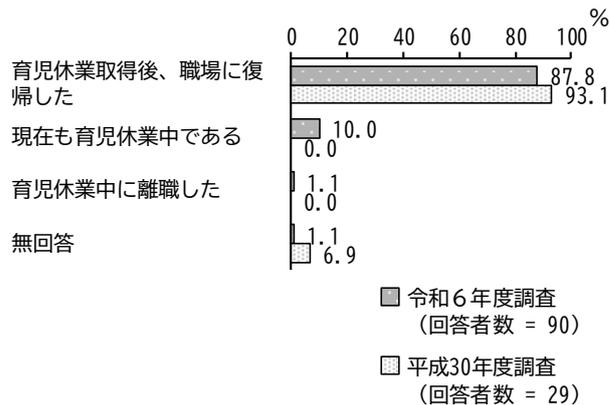
平成30年度調査と比較すると、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が減少しています。



父親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が87.8%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が10.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「現在も育児休業中である」の割合が増加しています。一方、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が減少しています。



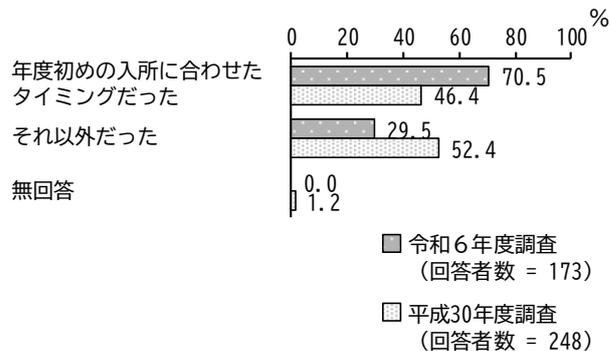
問35-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問35-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。
 ※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」を選択してください。

母親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が70.5%、「それ以外だった」の割合が29.5%となっています。

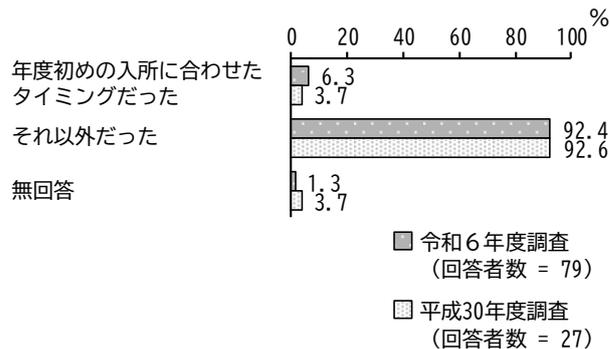
平成30年度調査と比較すると、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が増加しています。一方、「それ以外だった」の割合が減少しています。



父親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が6.3%、「それ以外だった」の割合が92.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



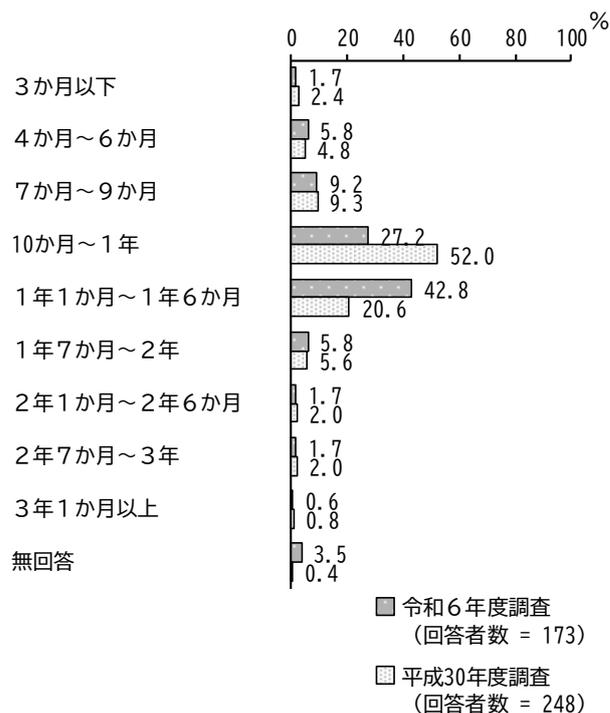
問 35-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。() 内に数字でご記入ください。

母親

実際の取得期間

「1年1か月～1年6か月」の割合が42.8%と最も高く、次いで「10か月～1年」の割合が27.2%となっています。

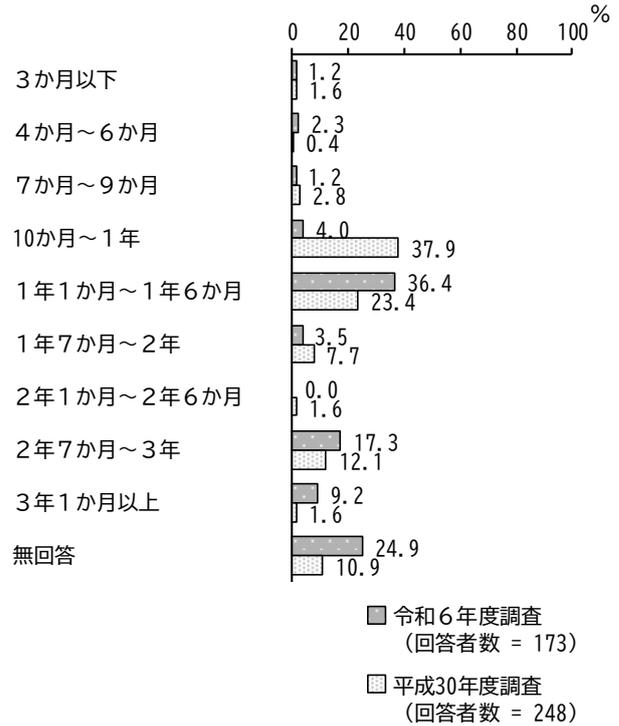
平成30年度調査と比較すると、「1年1か月～1年6か月」の割合が増加しています。一方、「10か月～1年」の割合が減少しています。



希望の取得期間

「1年1か月～1年6か月」の割合が36.4%と最も高く、次いで「2年7か月～3年」の割合が17.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1年1か月～1年6か月」「2年7か月～3年」「3年1か月以上」の割合が増加しています。一方、「10か月～1年」の割合が減少しています。

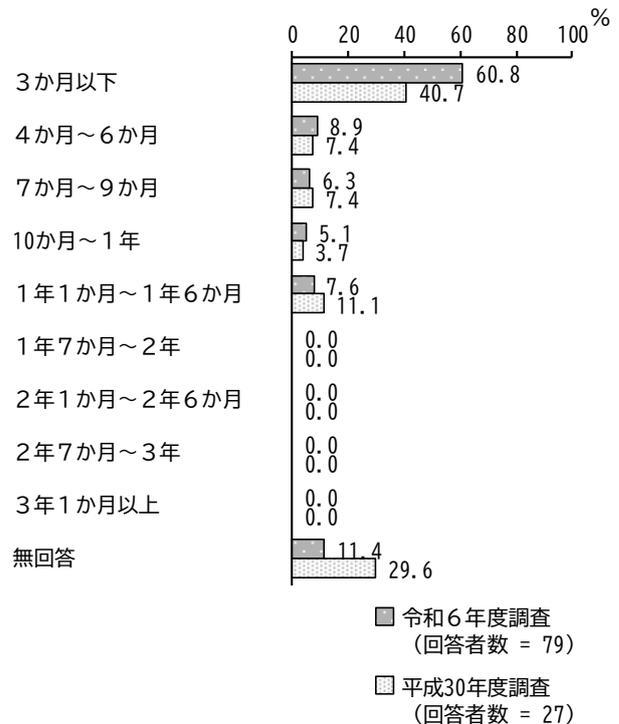


父親

実際の取得期間

「3か月以下」の割合が60.8%と最も高くなっています。

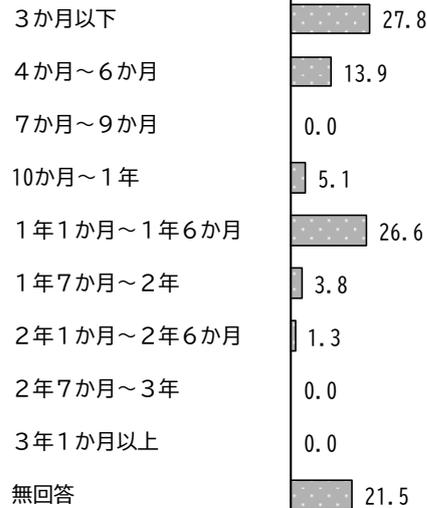
平成30年度調査と比較すると、「3か月以下」の割合が増加しています。



希望の取得期間

「3か月以下」の割合が27.8%と最も高く、次いで「1年1か月～1年6か月」の割合が26.6%、「4か月～6か月」の割合が13.9%となっています。

回答者数 = 79

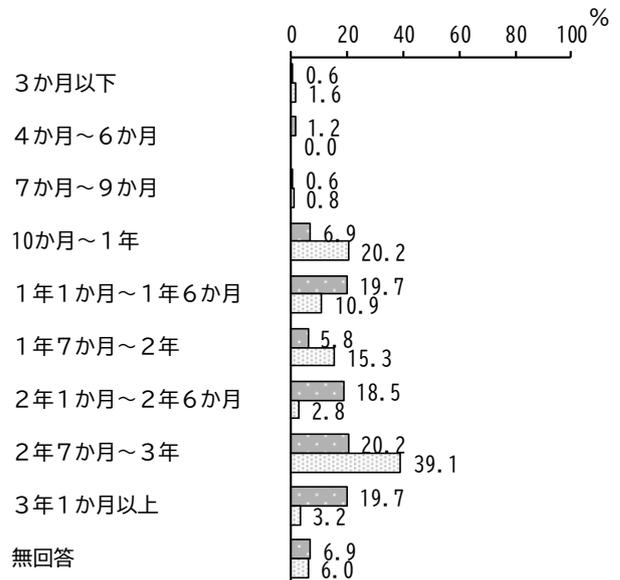


問 35-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

母親

「2年7か月～3年」の割合が20.2%と最も高く、次いで「1年1か月～1年6か月」、「3年1か月以上」の割合が19.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1年1か月～1年6か月」「2年1か月～2年6か月」「3年1か月以上」の割合が増加しています。一方、「10か月～1年」「1年7か月～2年」「2年7か月～3年」の割合が減少しています。

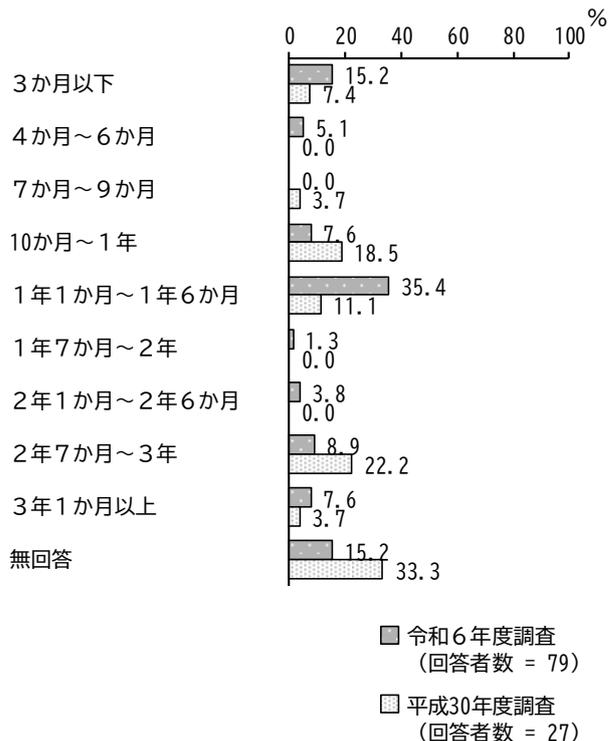


■ 令和6年度調査 (回答者数 = 173)
 □ 平成30年度調査 (回答者数 = 248)

父親

「1年1か月～1年6か月」の割合が35.4%と最も高く、次いで「3か月以下」の割合が15.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3か月以下」「4か月～6か月」「1年1か月～1年6か月」の割合が増加しています。一方、「10か月～1年」「2年7か月～3年」の割合が減少しています。



問35-4で実際の復帰と希望が異なる方の方がいます。

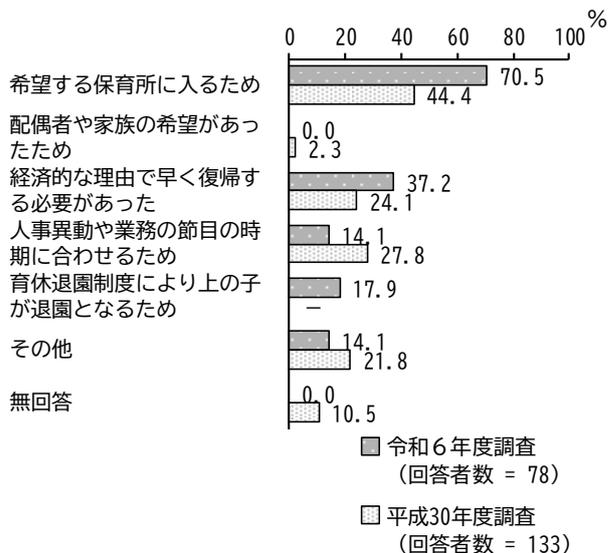
問35-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※あてはまる番号すべてに○をつけてください。

母親

「希望する保育所に入るため」の割合が70.5%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が37.2%、「育休退園制度により上の子が退園となるため」の割合が17.9%となっています。

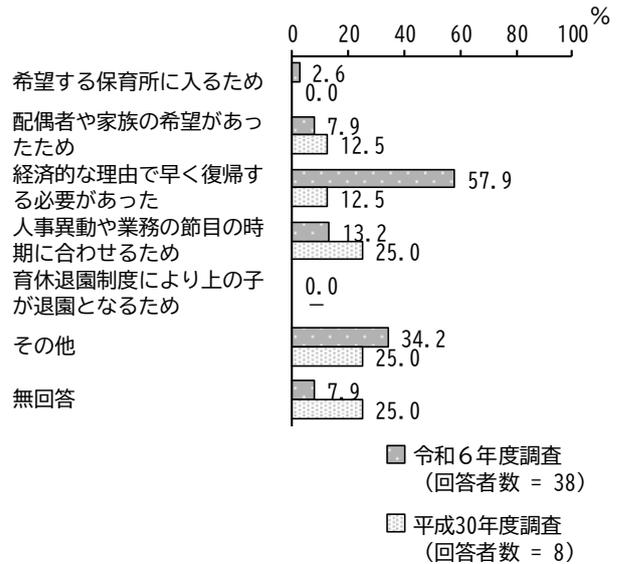
平成30年度調査と比較すると、「希望する保育所に入るため」「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が増加しています。一方、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が減少しています。



※前回調査では、「育休退園制度により上の子が退園となるため」の選択肢はありませんでした。

父親

「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が57.9%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が13.2%となっています。



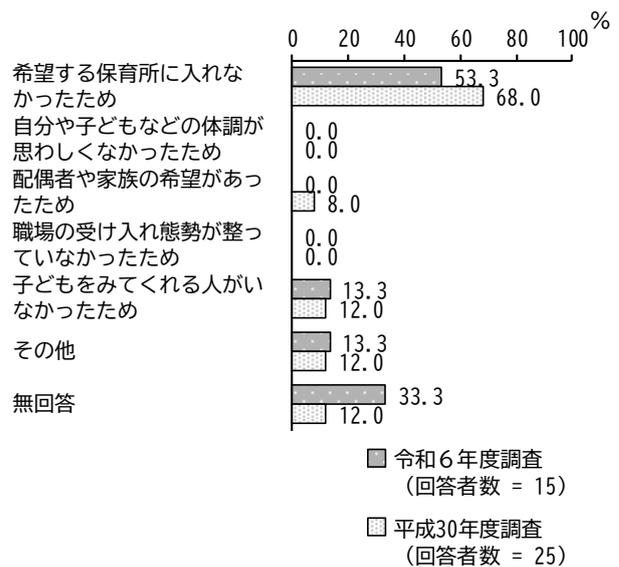
※前回調査では、「育休退園制度により上の子が退園となるため」の選択肢はありませんでした。

問 35-6 (2) 「希望」より遅く復帰した方 ※あてはまる番号すべてに○をつけてください。

母親

「希望する保育所に入れなかったため」の割合が53.3%と最も高く、次いで「子どもをみてる人がいなかったため」の割合が13.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「希望する保育所に入れなかったため」「配偶者や家族の希望があったため」の割合が減少しています。



父親

有効回答がありませんでした。

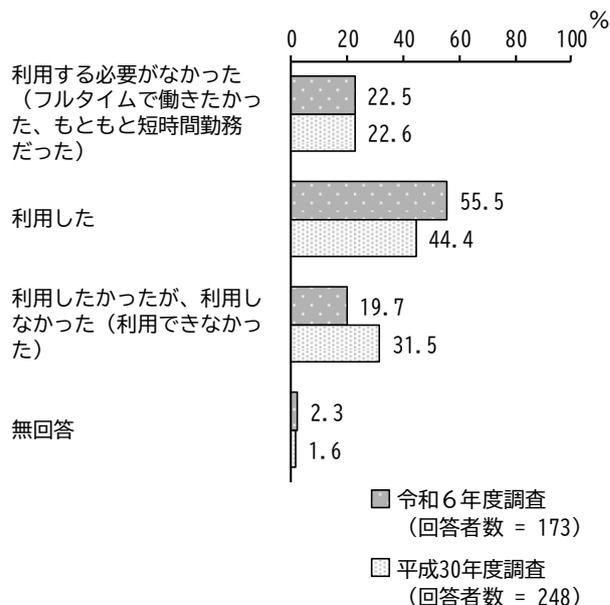
問 35-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 35-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

母親

「利用した」の割合が 55.5%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が 22.5%、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が 19.7%となっています。

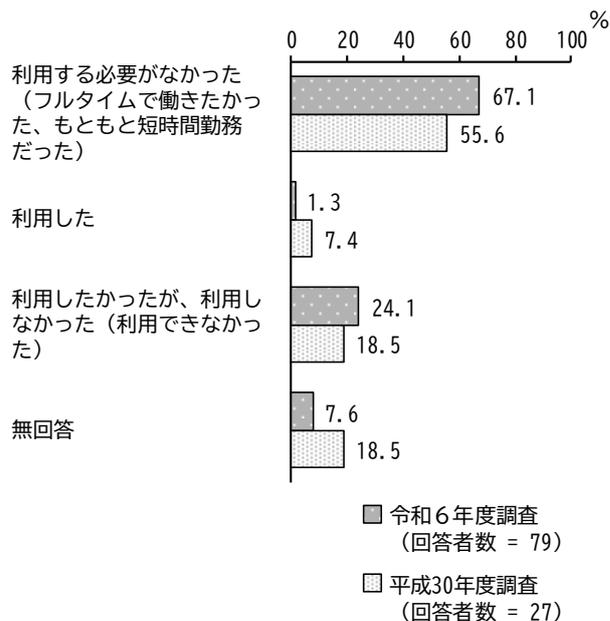
平成 30 年度調査と比較すると、「利用した」の割合が増加しています。一方、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が減少しています。



父親

「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が 67.1%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が 24.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が増加しています。一方、「利用した」の割合が減少しています。



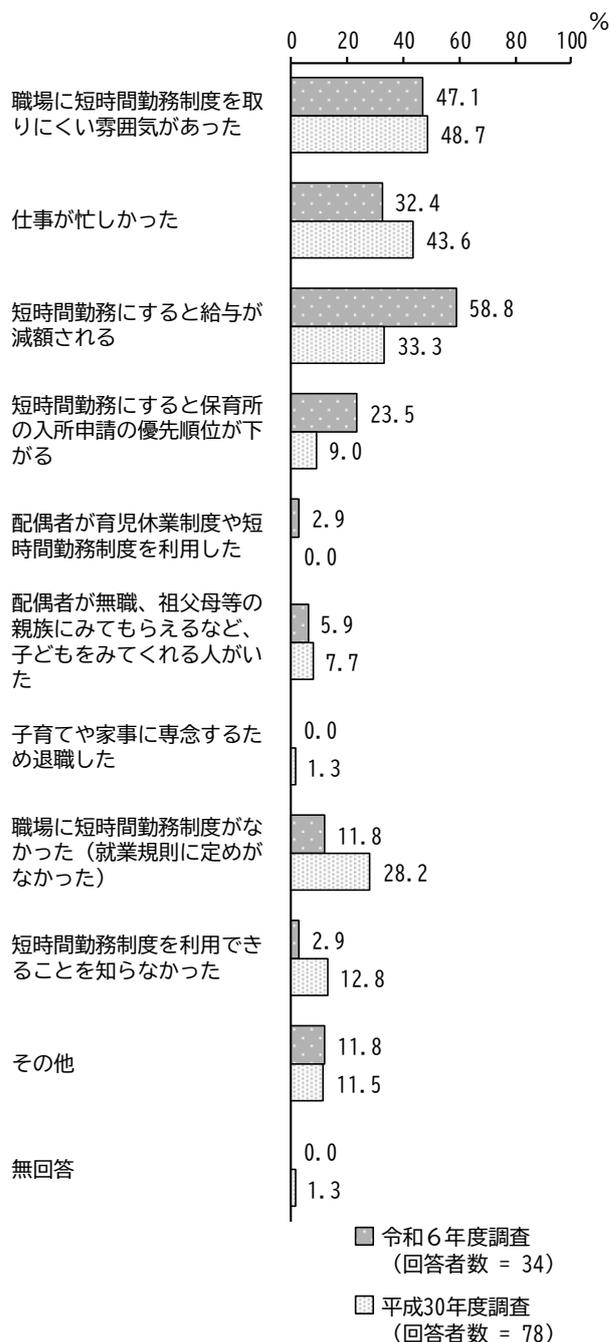
問 35-7で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方うかがいます。

問 35-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

母親

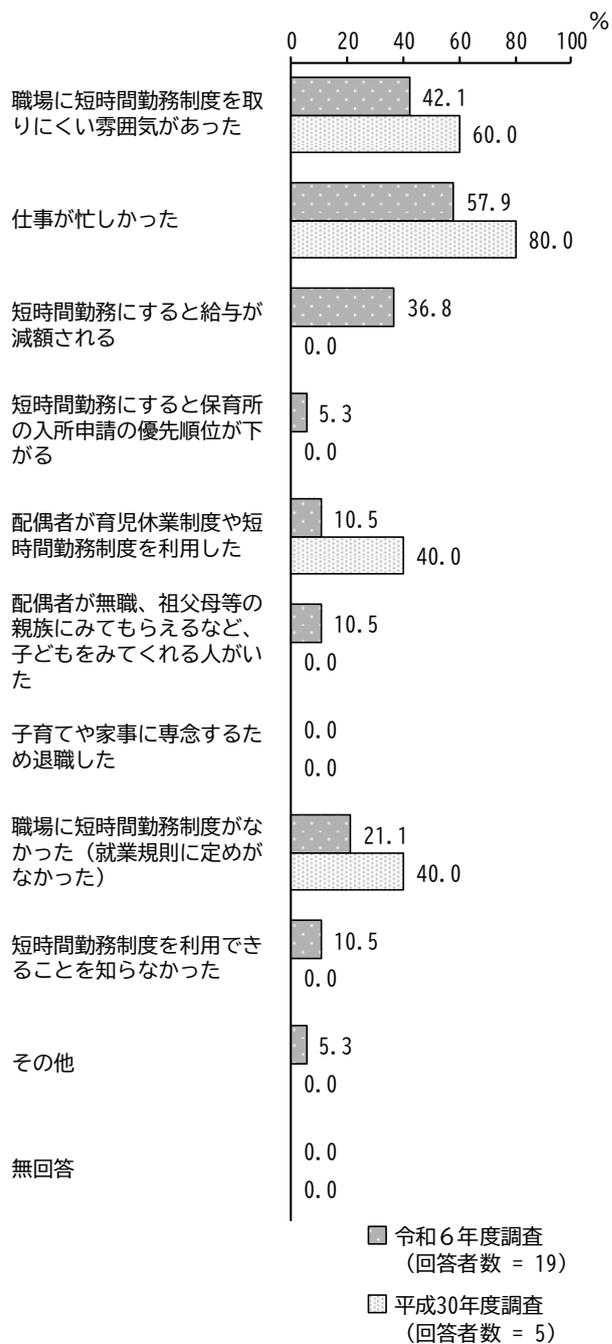
「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が 58.8%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 47.1%、「仕事が忙しかった」の割合が 32.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「短時間勤務にすると給与が減額される」「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」の割合が増加しています。一方、「仕事が忙しかった」「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」「短時間勤務制度を利用できることを知らなかった」の割合が減少しています。



父親

「仕事が忙しかった」の割合が57.9%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が42.1%、「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が36.8%となっています。



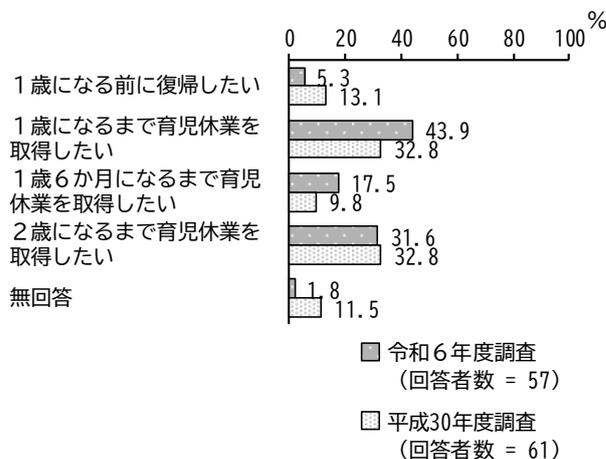
問 35-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問 35-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

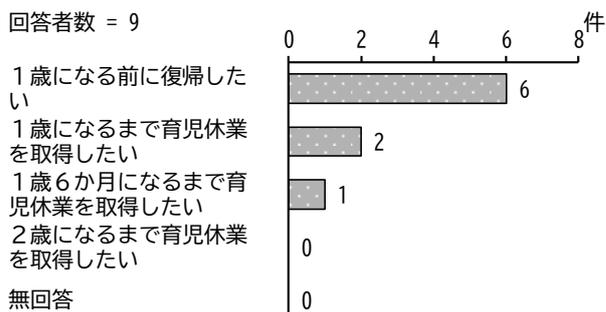
「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が43.9%と最も高く、次いで「2歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が31.6%、「1歳6か月になるまで育児休業を取得したい」の割合が17.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1歳になるまで育児休業を取得したい」「1歳6か月になるまで育児休業を取得したい」の割合が増加しています。一方、「1歳になる前に復帰したい」の割合が減少しています。



(2) 父親

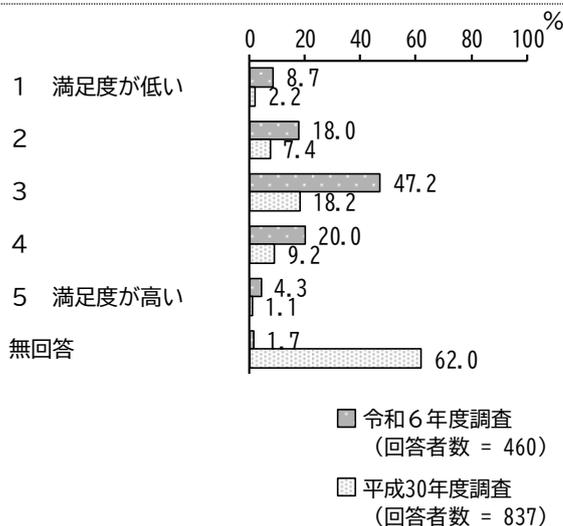
「1歳になる前に復帰したい」が6件となっています。「1歳になるまで育児休業を取得したい」が2件、「1歳6か月になるまで育児休業を取得したい」が1件となっています。



問 36 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

「3」の割合が47.2%と最も高く、次いで「4」の割合が20.0%、「2」の割合が18.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1 満足度が低い」「2」「3」「4」の割合が増加しています。

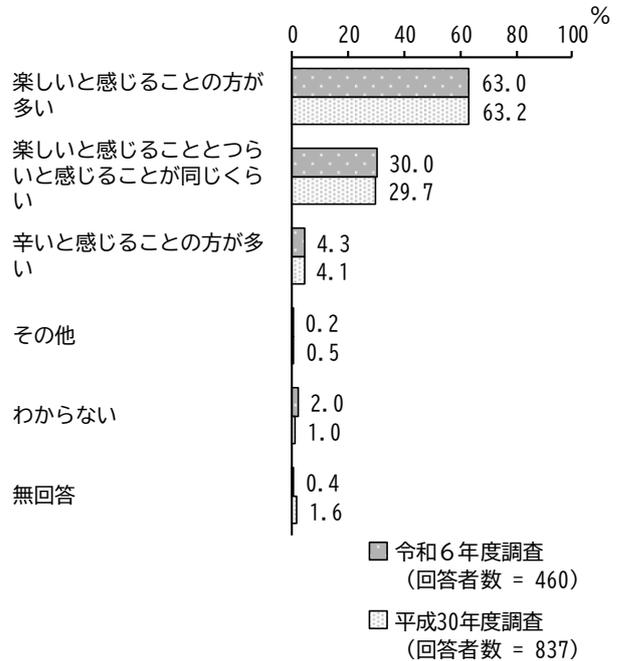


(12) 子育てに関する悩みについて

問37 あなたは、自分にとって子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「楽しいと感じることの方が多し」の割合が63.0%と最も高く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」の割合が30.0%となっています。

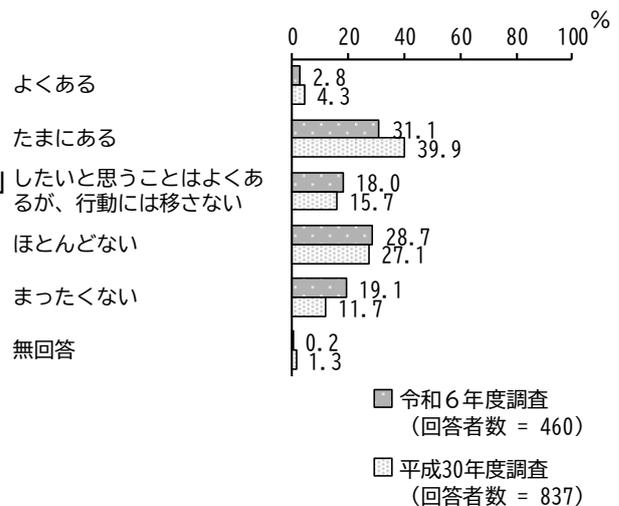
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問38 子どもに対して、思わずたいたり、子どもの心を傷つけてしまうような言動をしたり、子どもの相手や世話をしないことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「たまにある」の割合が31.1%と最も高く、次いで「ほとんどない」の割合が28.7%、「まったくない」の割合が19.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「まったくない」の割合が増加しています。一方、「たまにある」の割合が減少しています。

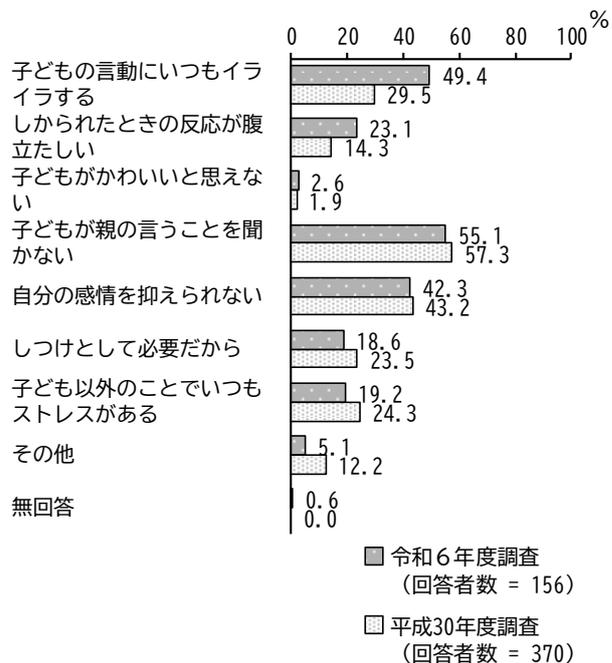


問 38 で「1. よくある」か「2. たまにある」に回答した方にかがいます。

問 38-1 思わずたたいたり、子どもの心を傷つけてしまうような言動をしたり、子どもの相手や世話をしないことがある原因はどこにあると思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもが親の言うことを聞かない」の割合が 55.1%と最も高く、次いで「子どもの言動にいつもイライラする」の割合が 49.4%、「自分の感情を抑えられない」の割合が 42.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「子どもの言動にいつもイライラする」「しかられたときの反応が腹立たしい」の割合が増加しています。一方、「子ども以外のことでいつもストレスがある」の割合が減少しています。

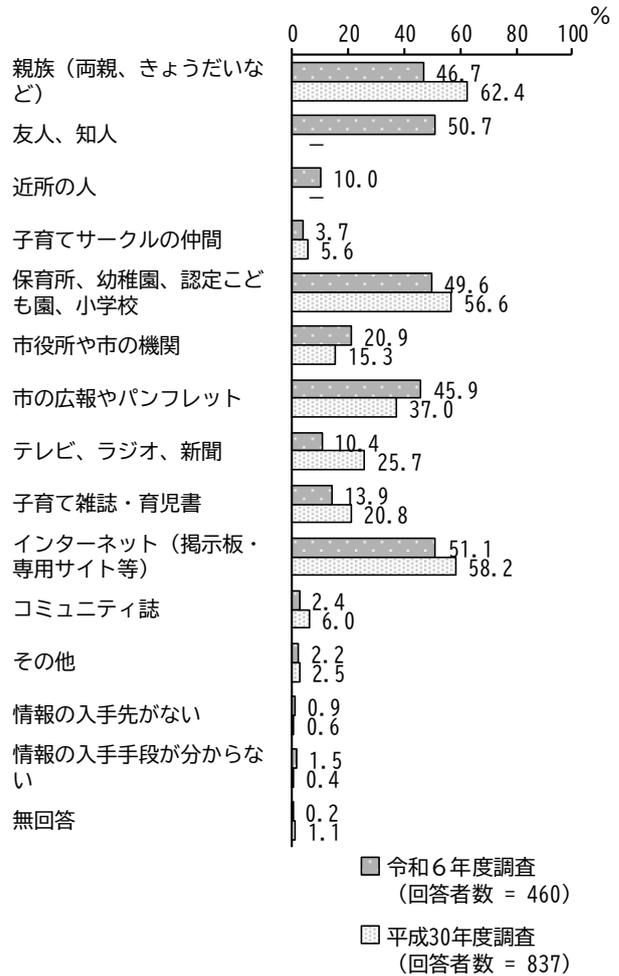


(13) 子育てに関する支援等について

問 39 子育て支援に関する情報をどのように入手されていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「インターネット（掲示板・専用サイト等）」の割合が51.1%と最も高く、次いで「友人、知人」の割合が50.7%、「保育所、幼稚園、認定こども園、小学校」の割合が49.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「市役所や市の機関」「市の広報やパンフレット」の割合が増加しています。一方、「親族（両親、きょうだいなど）」「保育所、幼稚園、認定こども園、小学校」「テレビ、ラジオ、新聞」「子育て雑誌・育児書」「インターネット（掲示板・専用サイト等）」の割合が減少しています。

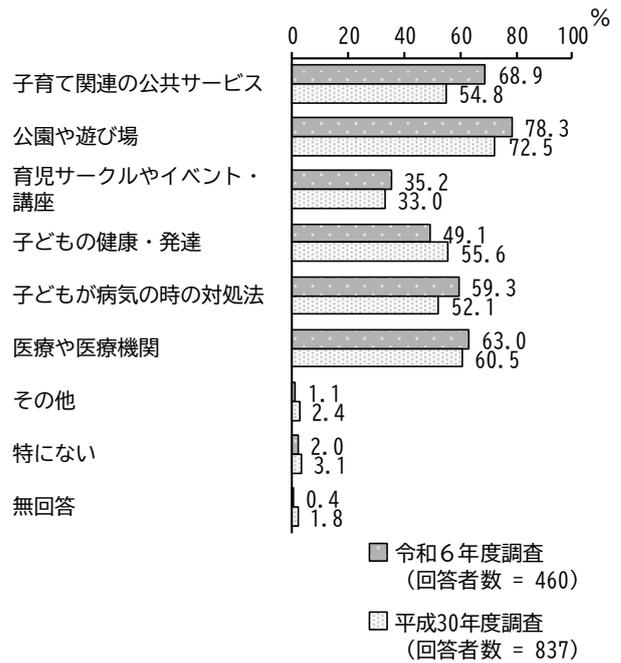


※前回調査では、「友人、知人」と「近所の人」は同一選択肢となっていました。

問 40 子育てに関して、どのような情報が必要ですか。
 あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「公園や遊び場」の割合が 78.3%と最も高く、
 次いで「子育て関連の公共サービス」の割合が
 68.9%、「医療や医療機関」の割合が 63.0%とな
 っています。

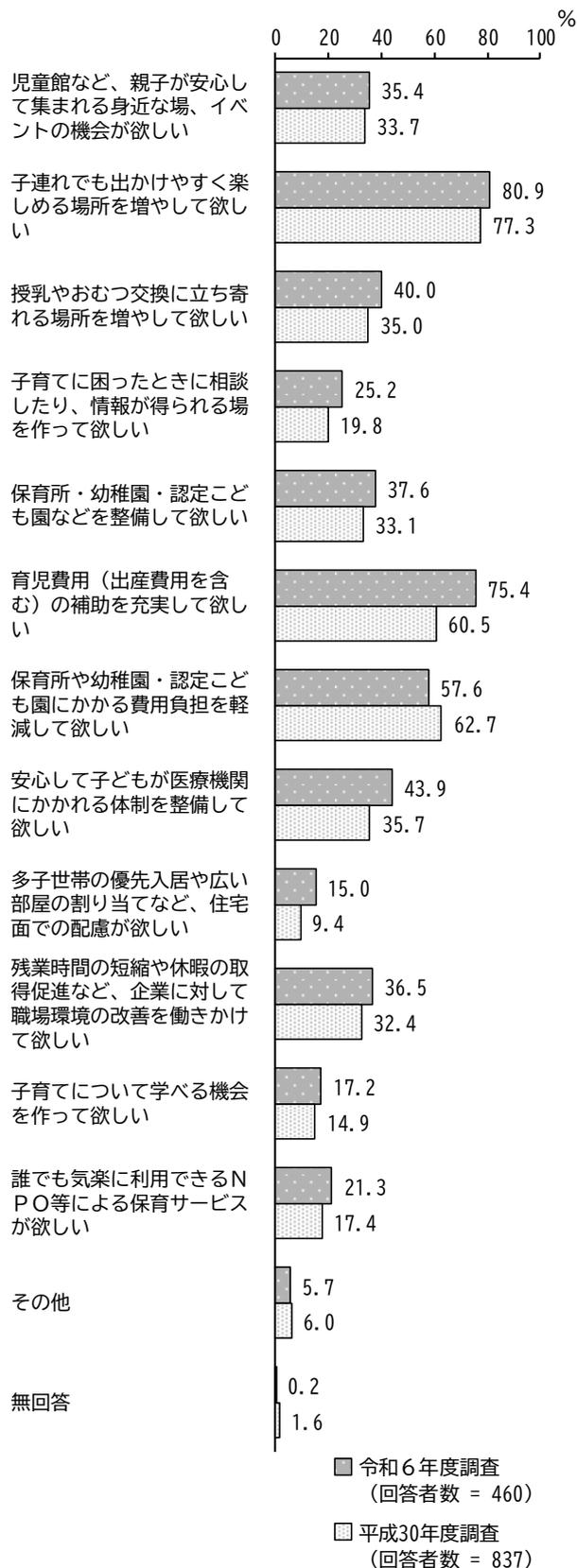
平成 30 年度調査と比較すると、「子育て関連の
 公共サービス」「公園や遊び場」「子どもが病気の
 時の対処法」の割合が増加しています。一方、「子
 どもの健康・発達」の割合が減少しています。



問 41 市に対して、どのような子育て支援の充実を期待しますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」の割合が80.9%と最も高く、次いで「育児費用（出産費用を含む）の補助を充実して欲しい」の割合が75.4%、「保育所や幼稚園・認定こども園にかかる費用負担を軽減して欲しい」の割合が57.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子育てに困ったときに相談したり、情報が得られる場を作って欲しい」「育児費用（出産費用を含む）の補助を充実して欲しい」「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備して欲しい」「多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面での配慮が欲しい」の割合が増加しています。一方、「保育所や幼稚園・認定こども園にかかる費用負担を軽減して欲しい」の割合が減少しています。

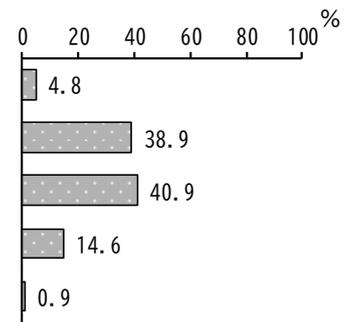


問 42 あなたの周りには、子どもや若者の遊びや体験活動の機会や場が十分にあると思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「どちらかといえば、そう思わない」の割合が40.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」の割合が38.9%、「そう思わない」の割合が14.6%となっています。

回答者数 = 460

そう思う
 どちらかといえば、そう思う
 どちらかといえば、そう思わない
 そう思わない
 無回答



【中学校区別】

中学校区別にみると、六中地区で「どちらかといえば、そう思わない」の割合が高くなっています。

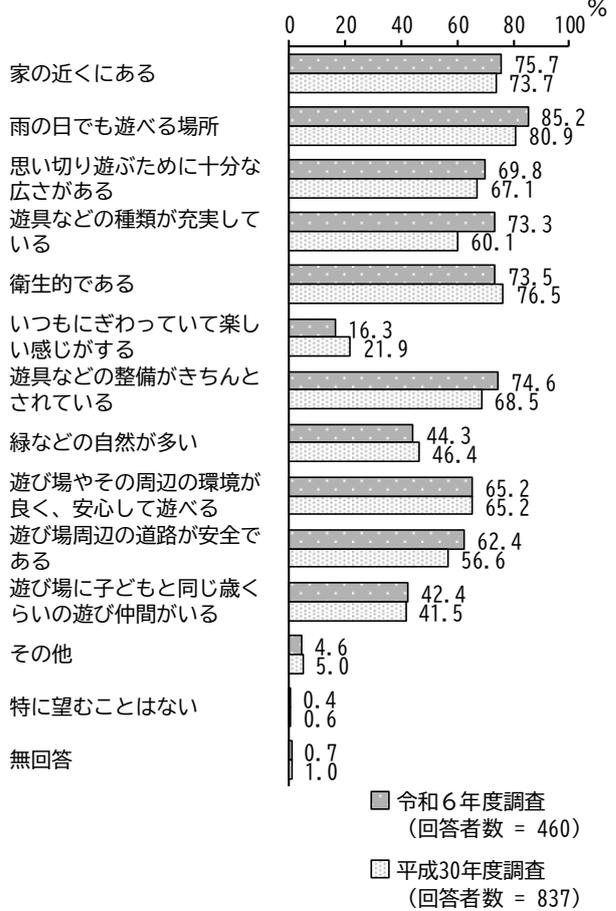
単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらかといえば、 そう思う	どちらかといえば、 そう思わない	そう思わない	無回答
全 体	460	4.8	38.9	40.9	14.6	0.9
一中地区	62	9.7	40.3	38.7	11.3	—
二中地区	67	4.5	26.9	47.8	19.4	1.5
三中地区	81	2.5	46.9	38.3	9.9	2.5
四中地区	64	6.3	48.4	29.7	15.6	—
五中地区	76	3.9	47.4	38.2	10.5	—
六中地区	37	5.4	27.0	56.8	10.8	—
都和地区	38	2.6	31.6	39.5	23.7	2.6
新治地区	29	—	24.1	48.3	27.6	—
わからない	6	16.7	33.3	50.0	—	—

問 43 どのような遊び場を望みますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「雨の日でも遊べる場所」の割合が85.2%と最も高く、次いで「家の近くにある」の割合が75.7%、「遊具などの整備がきちんとされている」の割合が74.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「遊具などの種類が充実している」「遊具などの整備がきちんとされている」「遊び場周辺の道路が安全である」の割合が増加しています。一方、「いつもにぎわっていて楽しい感じがする」の割合が減少しています。



【中学校区別】

中学校区別にみると、六中地区で「思い切り遊ぶために十分な広さがある」の割合が高くなっています。

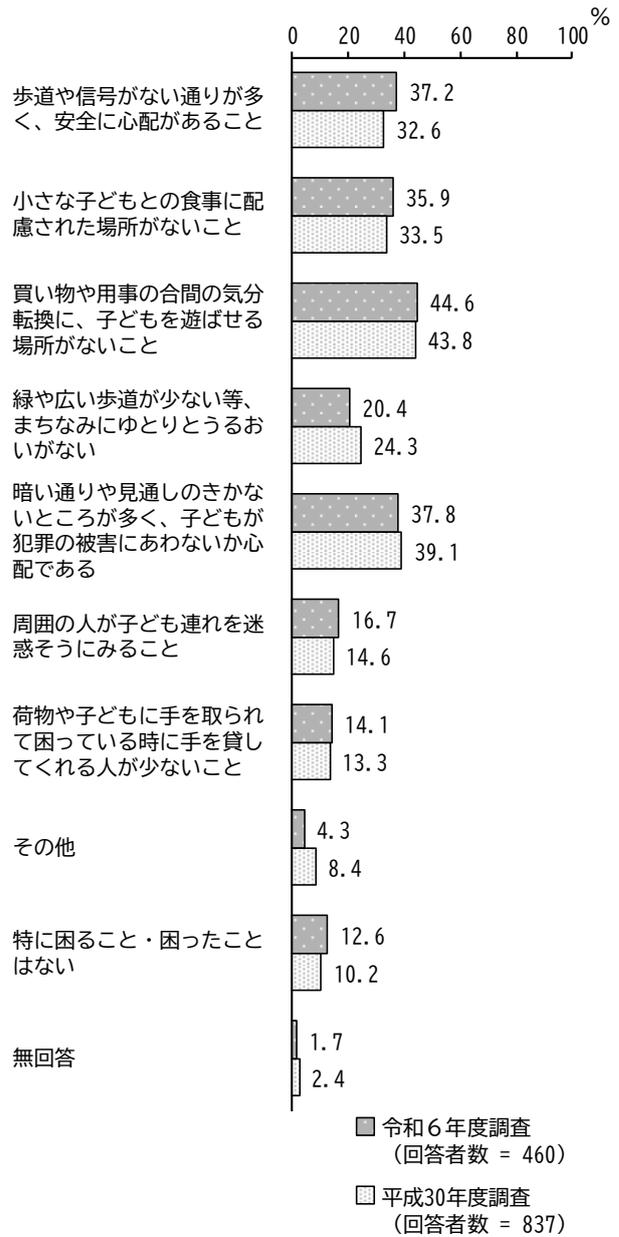
単位：%

区分	回答者数(件)	家の近くにある	雨の日でも遊べる場所	思い切り遊ぶために十分な広さがある	遊具などの種類が充実している	衛生的である	いつもにぎわっていて楽しい感じがする	遊具などの整備がきちんとされている	緑などの自然が多い	遊び場やその周辺の環境が良く、安心して遊べる	遊び場周辺の道路が安全である	遊び場に子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいる	その他	特に望むことはない	無回答
全体	460	75.7	85.2	69.8	73.3	73.5	16.3	74.6	44.3	65.2	62.4	42.4	4.6	0.4	0.7
一中地区	62	74.2	82.3	71.0	71.0	74.2	21.0	74.2	51.6	77.4	71.0	48.4	3.2	—	—
二中地区	67	76.1	82.1	65.7	67.2	70.1	17.9	76.1	38.8	56.7	62.7	40.3	6.0	1.5	—
三中地区	81	76.5	84.0	69.1	79.0	71.6	17.3	75.3	42.0	66.7	55.6	50.6	3.7	—	2.5
四中地区	64	70.3	87.5	78.1	70.3	79.7	17.2	68.8	53.1	68.8	64.1	43.8	9.4	1.6	—
五中地区	76	80.3	89.5	68.4	80.3	77.6	7.9	77.6	43.4	67.1	75.0	38.2	2.6	—	—
六中地区	37	78.4	89.2	89.2	81.1	83.8	16.2	86.5	54.1	62.2	62.2	43.2	—	—	—
都和地区	38	73.7	73.7	60.5	71.1	71.1	10.5	73.7	31.6	57.9	44.7	28.9	7.9	—	2.6
新治地区	29	72.4	96.6	55.2	62.1	55.2	24.1	65.5	34.5	62.1	55.2	41.4	3.4	—	—
わからない	6	83.3	83.3	50.0	50.0	50.0	33.3	50.0	50.0	33.3	33.3	16.7	—	—	—

問 44 子どもとの外出の際、困ること・困ったことは何ですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」の割合が44.6%と最も高く、次いで「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配である」の割合が37.8%、「歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること」の割合が37.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【中学校区別】

中学校区別にみると、二中地区で「緑や広い歩道が少ない等、まちなみにゆとりとうるおいが少ない」の割合が、新治地区で「小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと」の割合が高くなっています。

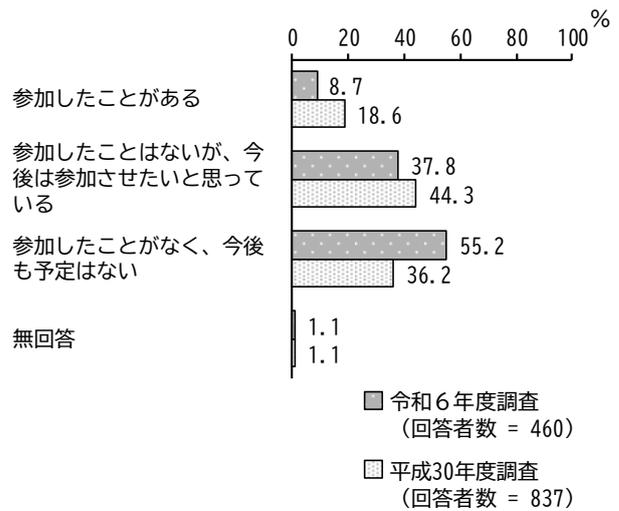
単位：％

区分	回答者数(件)	歩道や信号がない通りが多く、完全に心配があること	小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと	買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと	緑や広い歩道が少ない等、まちなみにゆとりとうるおいが少ない	暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配である	周囲の人が子ども連れを迷惑そうにみることに	荷物や子どもに手を取られて困っている時に手を貸してくれる人が少ないこと	その他	特に困ること・困ったことはない	無回答
全体	460	37.2	35.9	44.6	20.4	37.8	16.7	14.1	4.3	12.6	1.7
一中地区	62	27.4	43.5	46.8	22.6	41.9	21.0	12.9	1.6	9.7	1.6
二中地区	67	47.8	43.3	50.7	32.8	49.3	20.9	16.4	4.5	10.4	—
三中地区	81	45.7	37.0	35.8	16.0	34.6	16.0	14.8	1.2	7.4	2.5
四中地区	64	43.8	28.1	40.6	17.2	37.5	17.2	18.8	3.1	12.5	1.6
五中地区	76	39.5	23.7	43.4	17.1	34.2	11.8	13.2	7.9	17.1	1.3
六中地区	37	21.6	40.5	48.6	24.3	45.9	18.9	8.1	2.7	21.6	2.7
都和地区	38	31.6	31.6	44.7	15.8	21.1	15.8	13.2	5.3	15.8	2.6
新治地区	29	20.7	48.3	55.2	17.2	37.9	10.3	13.8	10.3	6.9	3.4
わからない	6	16.7	33.3	50.0	16.7	16.7	16.7	—	16.7	33.3	—

問 45 宛名のお子さんは、地域活動やグループ活動などに参加されたことはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「参加したことがなく、今後も予定はない」の割合が 55.2%と最も高く、次いで「参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている」の割合が 37.8%となっています。

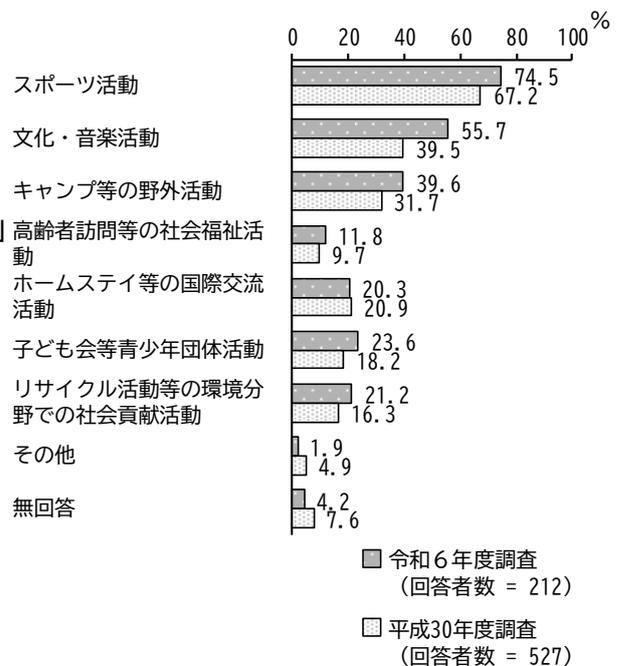
平成 30 年度調査と比較すると、「参加したことがなく、今後も予定はない」の割合が増加しています。一方、「参加したことがある」「参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている」の割合が減少しています。



問 45-1 問 45 で「1. 参加したことがある」または「2. 参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている」を選んだ方にうかがいます。お子さんが参加したことがある、または今後参加させたい地域活動やグループ活動の種類は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「スポーツ活動」の割合が 74.5%と最も高く、次いで「文化・音楽活動」の割合が 55.7%、「キャンプ等の野外活動」の割合が 39.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「スポーツ活動」「文化・音楽活動」「キャンプ等の野外活動」「子ども会等青少年団体活動」の割合が増加しています。



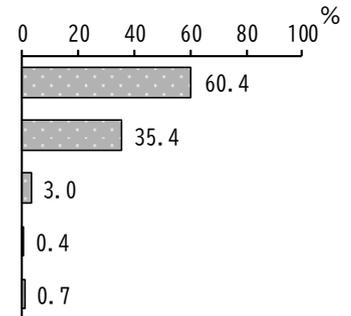
(14) 子どもの権利について

問 46 「子どもは権利の主体である」と思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「そう思う」の割合が60.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」の割合が35.4%となっています。

回答者数 = 460

そう思う
どちらかといえば、そう思う
どちらかといえば、そう思わない
そう思わない
無回答

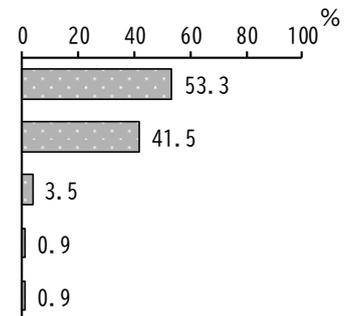


問 47 あなたは、子育てをされていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「常にしている」の割合が53.3%と最も高く、次いで「ときどきしている」の割合が41.5%となっています。

回答者数 = 460

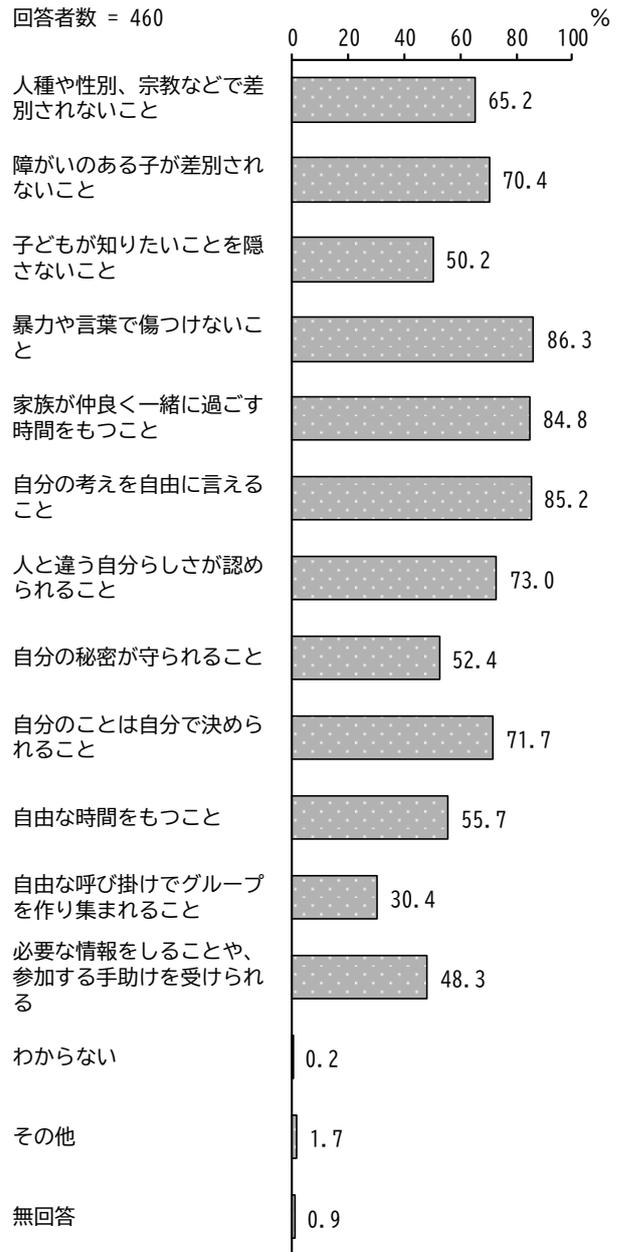
常にしている
ときどきしている
あまりしていない
まったくしたことがない
無回答



問 48 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。
 あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「暴力や言葉で傷つけないこと」の割合が86.3%と最も高く、次いで「自分の考えを自由に言えること」の割合が85.2%、「家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと」の割合が84.8%となっています。

回答者数 = 460



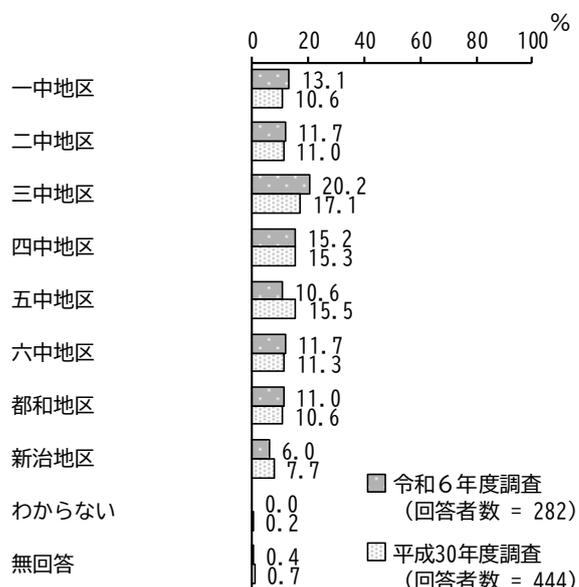
2 就学児童

(1) お住まいの地域について

問1 お住まいの地区としてあてはまる番号1つに○をつけてください。

「三中地区」の割合が20.2%と最も高く、次いで「四中地区」の割合が15.2%、「一中地区」の割合が13.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

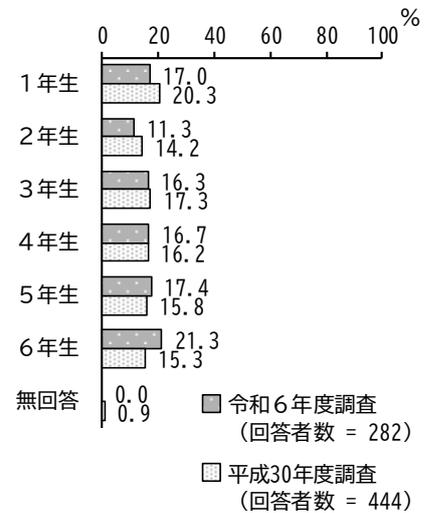


(2) お子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんは何年生ですか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

「6年生」の割合が21.3%と最も高く、次いで「5年生」の割合が17.4%、「1年生」の割合が17.0%となっています。

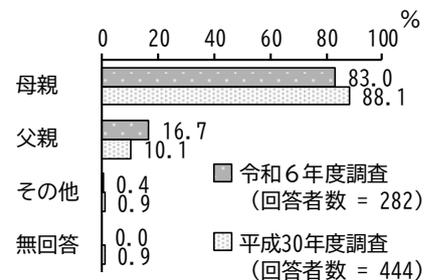
平成30年度調査と比較すると、「6年生」の割合が増加しています。



問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が83.0%、「父親」の割合が16.7%となっています。

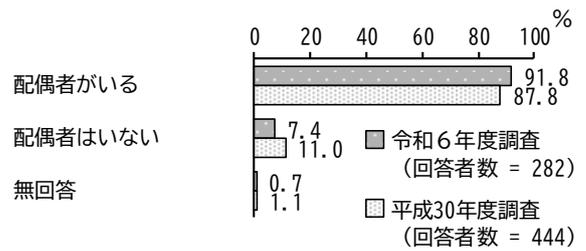
平成30年度調査と比較すると、「父親」の割合が増加しています。一方、「母親」の割合が減少しています。



問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」の割合が91.8%、「配偶者がいない」の割合が7.4%となっています。

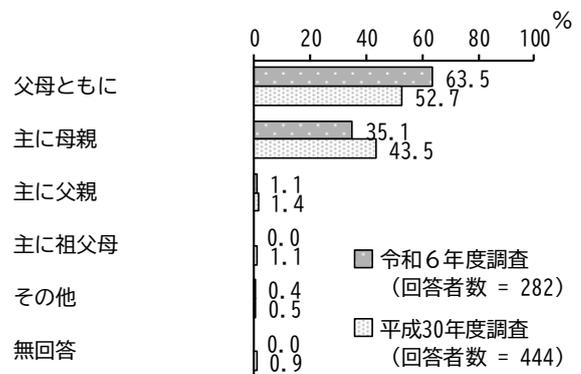
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係であてはまる番号1つに○をつけてください。

「父母ともに」の割合が63.5%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が35.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父母ともに」の割合が増加しています。一方、「主に母親」の割合が減少しています。

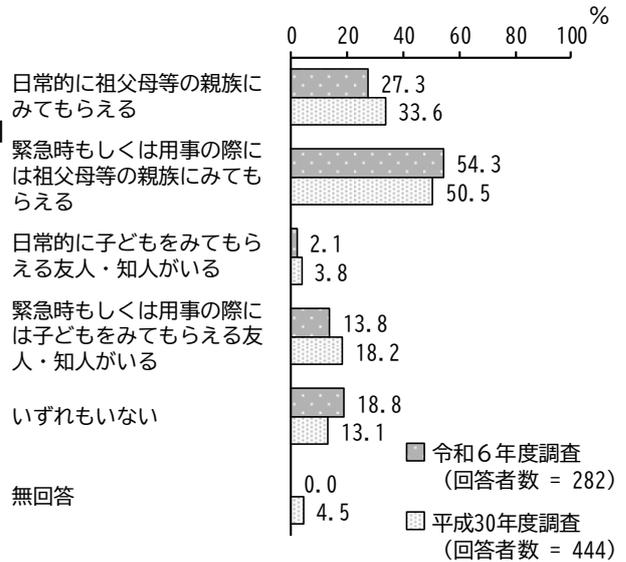


(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

問6 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が54.3%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が27.3%、「いずれもない」の割合が18.8%となっています。

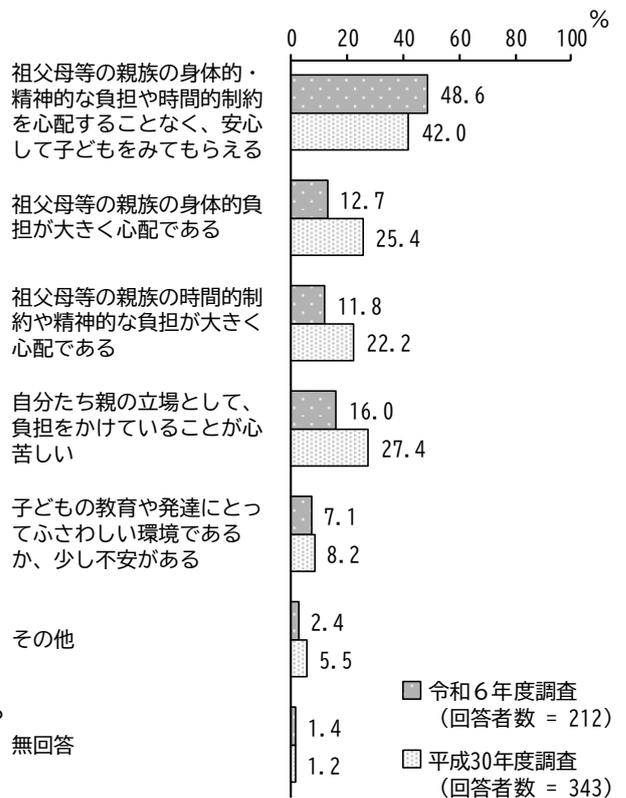
平成30年度調査と比較すると、「いずれもない」の割合が増加しています。一方、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が減少しています。



問6-1 問6で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が48.6%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が16.0%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が12.7%となっています。

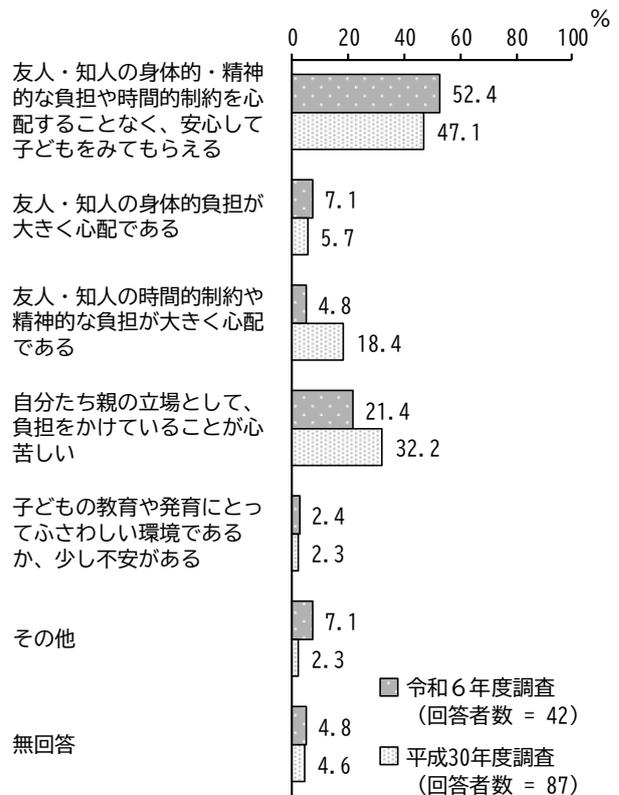
平成30年度調査と比較すると、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が増加しています。一方、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が減少しています。



問6-2 問6で「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が52.4%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が21.4%となっています。

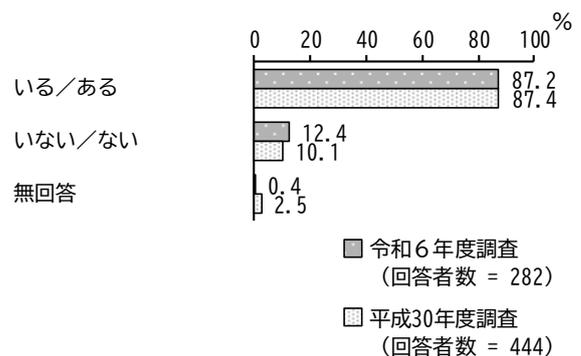
平成30年度調査と比較すると、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が増加しています。一方、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が減少しています。



問7 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「いる／ある」の割合が87.2%、「いない／ない」の割合が12.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

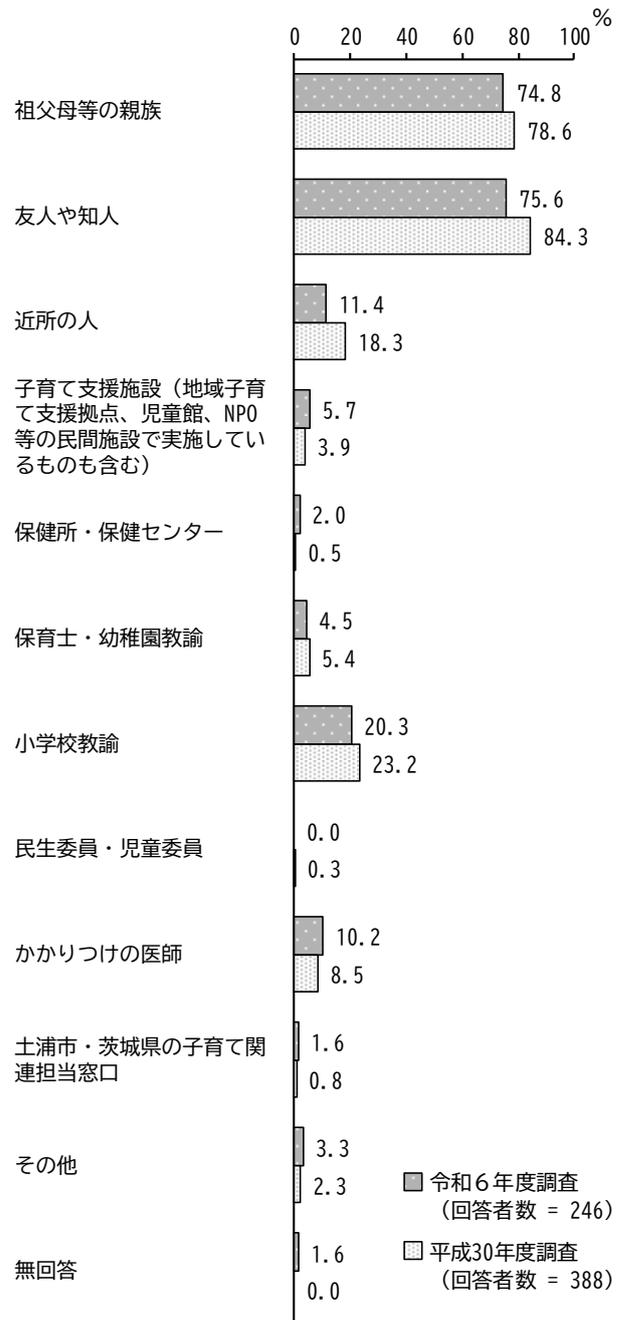


問7-1 問7で「1.いる/ある」に○をつけた方にかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人や知人」の割合が75.6%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が74.8%、「小学校教諭」の割合が20.3%となっています。

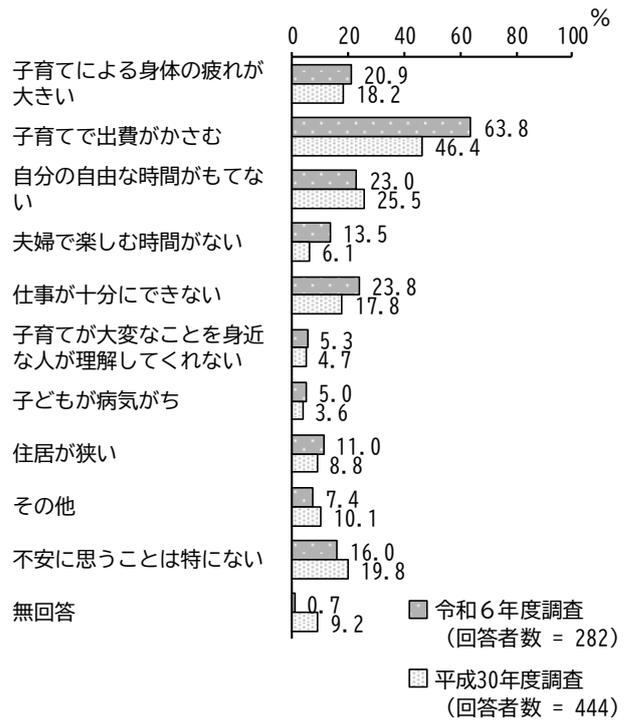
平成30年度調査と比較すると、「友人や知人」「近所の人」の割合が減少しています。



問8 子育てをする上で、特に不安に思っていることや悩んでいることはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「子育てで出費がかさむ」の割合が63.8%と最も高く、次いで「仕事が十分にできない」の割合が23.8%、「自分の自由な時間がもてない」の割合が23.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子育てで出費がかさむ」「夫婦で楽しむ時間がない」「仕事が十分にできない」の割合が増加しています。



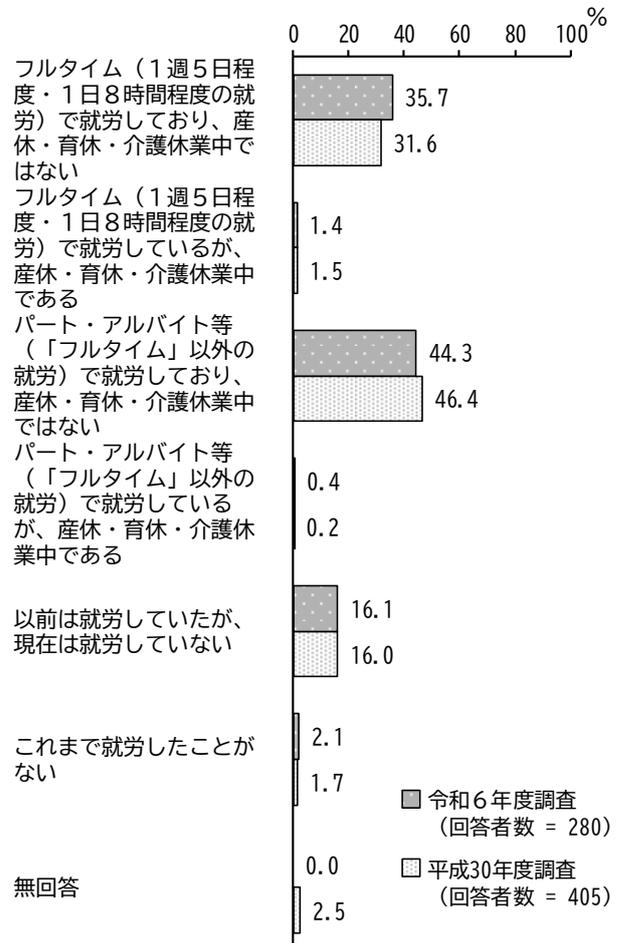
(4) お子さんの保護者の就労状況について

問9 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】あてはまる番号1つに○をつけてください。

「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が44.3%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が35.7%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が16.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(1) - 1 (1) で「1.フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」～「4.パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

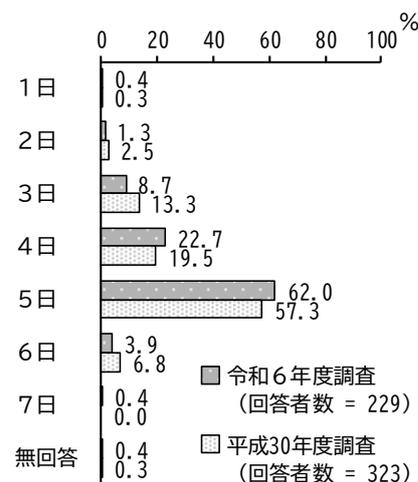
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（ ）内に数字でご記入ください。

1週当たり就労日数

「5日」の割合が62.0%と最も高く、次いで

「4日」の割合が22.7%となっています。

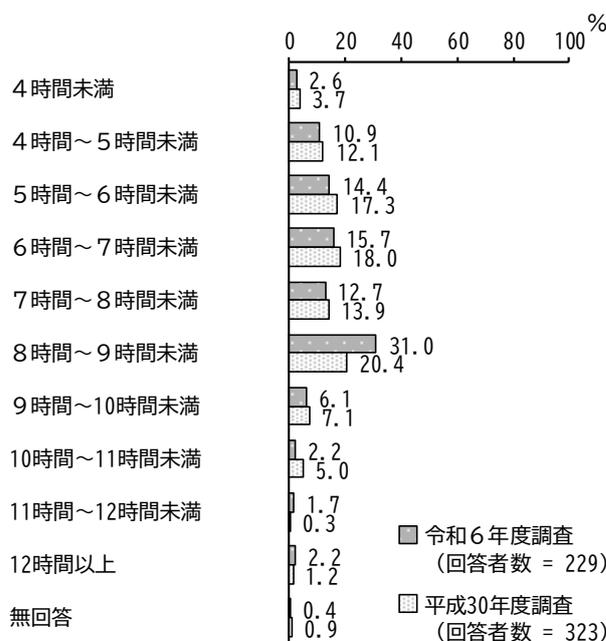
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1日当たり就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が31.0%と最も高く、次いで「6時間～7時間未満」の割合が15.7%、「5時間～6時間未満」の割合が14.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時間～9時間未満」の割合が増加しています。



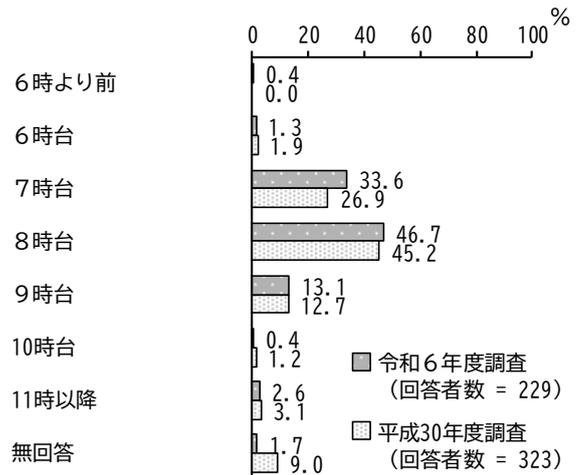
(1) - 2 (1) で「1.フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」～「4.パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）8時00分～18時30分のように、24時間制でお答えください。（ ）内に数字でご記入ください。

家を出る時刻

「8時台」の割合が46.7%と最も高く、次いで「7時台」の割合が33.6%、「9時台」の割合が13.1%となっています。

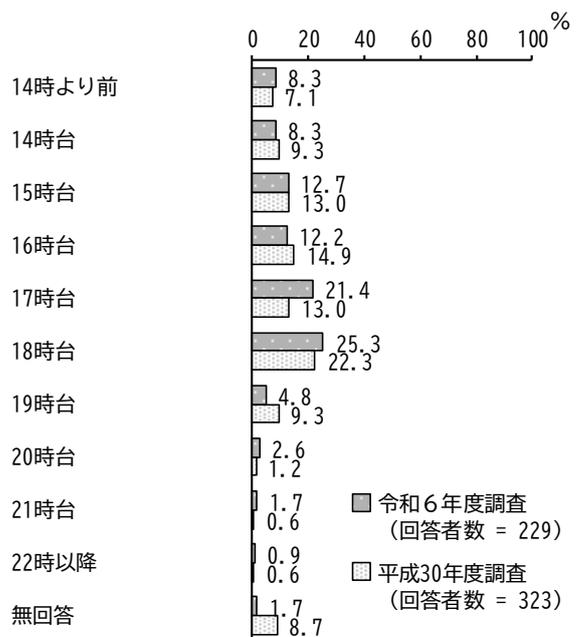
平成30年度調査と比較すると、「7時台」の割合が増加しています。



帰宅時刻

「18時台」の割合が25.3%と最も高く、次いで「17時台」の割合が21.4%、「15時台」の割合が12.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「17時台」の割合が増加しています。



(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】あてはまる番号1つに○をつけてください。

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が93.9%と最も高くなっています。

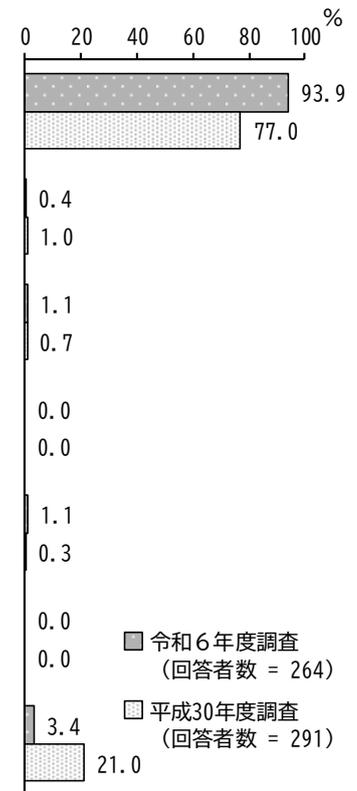
平成30年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である

以前は就労していたが、現在は就労していない

これまで就労したことがない

無回答



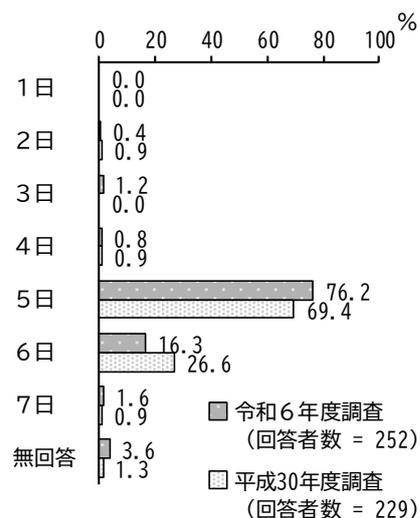
(2) - 1 (2) で「1.フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」～「4.パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（ ）内に数字でご記入ください。

1週当たり就労日数

「5日」の割合が76.2%と最も高く、次いで「6日」の割合が16.3%となっています。

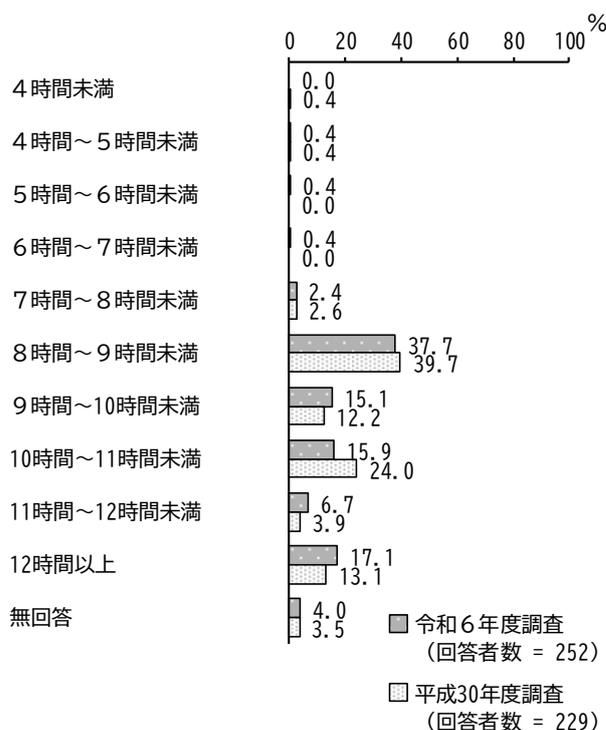
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「6日」の割合が減少しています。



1日当たり就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が37.7%と最も高く、次いで「12時間以上」の割合が17.1%、「10時間～11時間未満」の割合が15.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「10時間～11時間未満」の割合が減少しています。



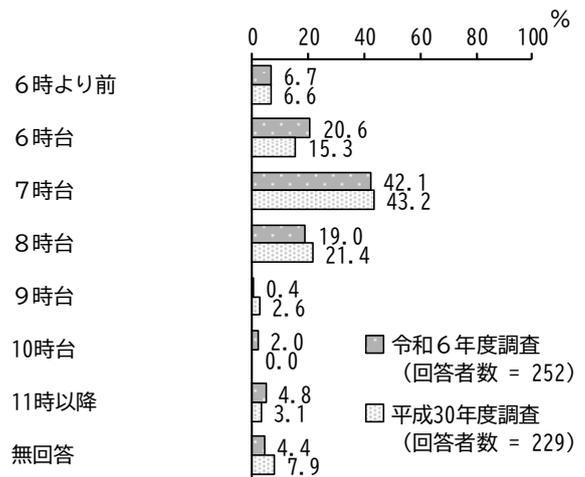
(2) - 2 (2) で「1.フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」～「4.パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）8時00分～18時30分のように、24時間制でお答えください。（ ）内に数字でご記入ください。

家を出る時刻

「7時台」の割合が42.1%と最も高く、次いで「6時台」の割合が20.6%、「8時台」の割合が19.0%となっています。

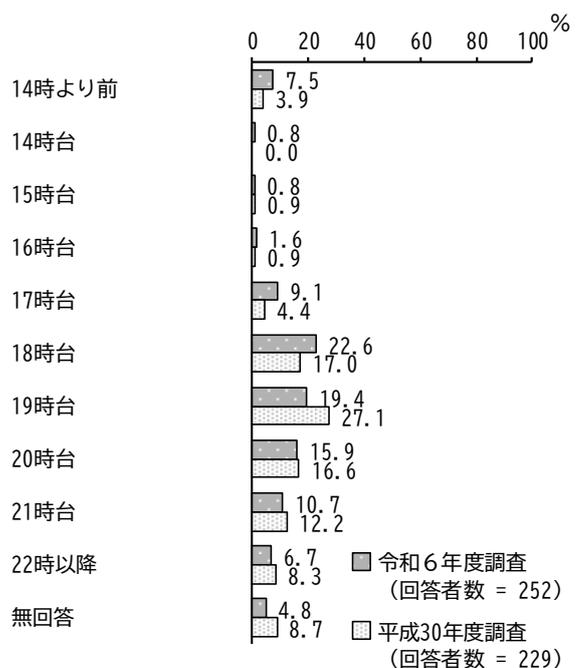
平成30年度調査と比較すると、「6時台」の割合が増加しています。



帰宅時刻

「18時台」の割合が22.6%と最も高く、次いで「19時台」の割合が19.4%、「20時台」の割合が15.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「18時台」の割合が増加しています。一方、「19時台」の割合が減少しています。



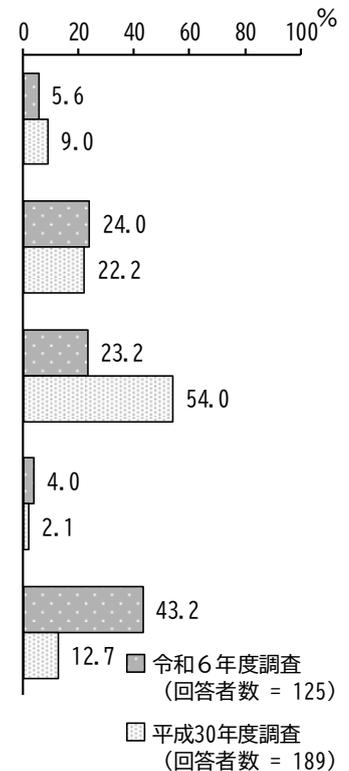
問10 問9の(1)または(2)で「3.パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「4.パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問12へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が24.0%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が23.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が減少しています。

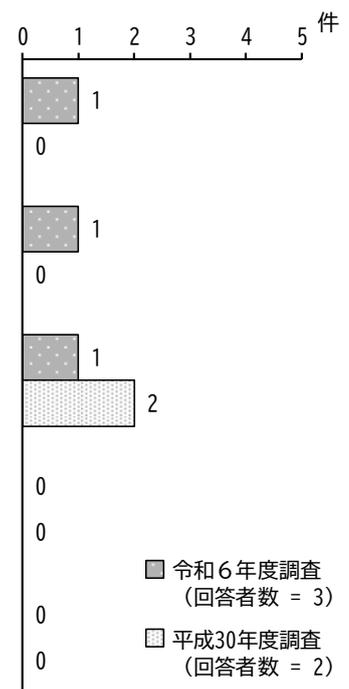
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい
無回答



(2) 父親

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が1件となっています。

フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい
無回答

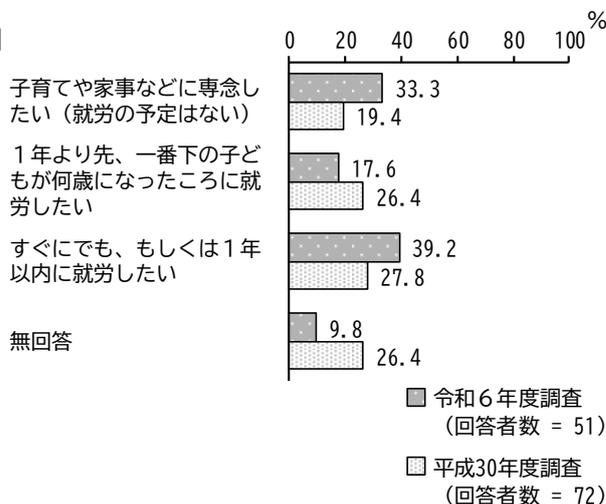


問11 問9の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にかがいます。該当しない方は、問12へお進みください。
就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字でご記入ください。

(1) 母親

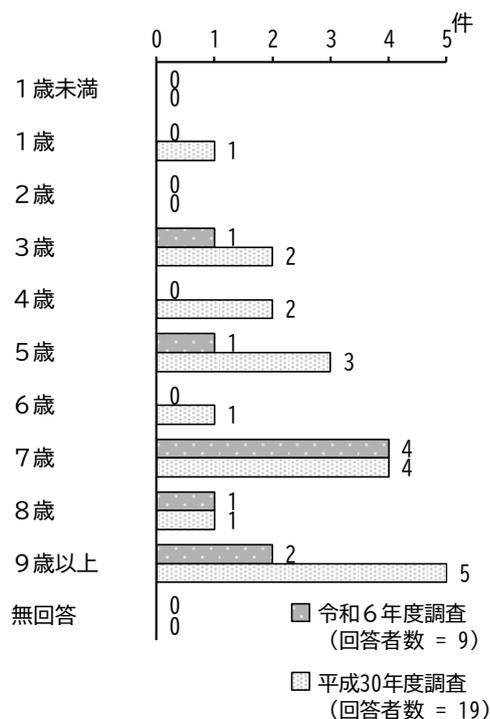
「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が39.2%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が33.3%、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」の割合が17.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が増加しています。一方、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」の割合が減少しています。



何歳になったところに就労したいか

「7歳」が4件となっています。「9歳以上」が2件、「3歳」、「5歳」が1件となっています。



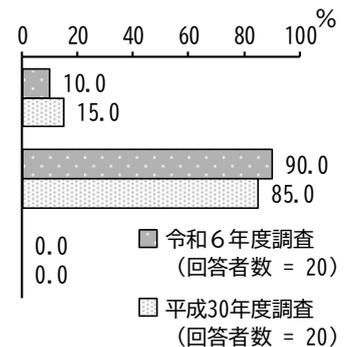
希望する就労形態

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が10.0%、「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」の割合が90.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）

無回答

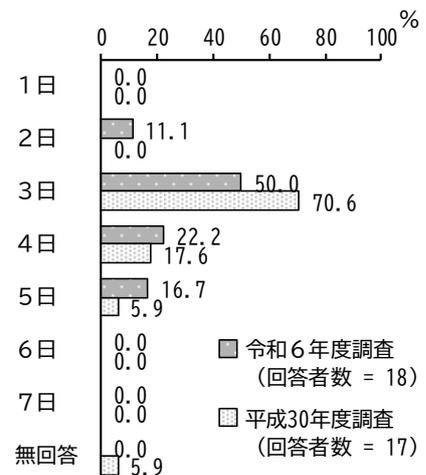


パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）

1週当たりの希望就労日数

「3日」の割合が50.0%と最も高く、次いで「4日」の割合が22.2%、「5日」の割合が16.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2日」「5日」の割合が増加しています。一方、「3日」の割合が減少しています。

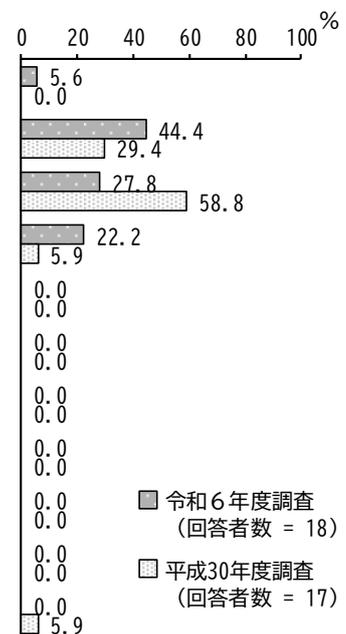


1日当たり希望就労時間

「4時間～5時間未満」の割合が44.4%と最も高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が27.8%、「6時間～7時間未満」の割合が22.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4時間～5時間未満」「6時間～7時間未満」の割合が増加しています。一方、「5時間～6時間未満」の割合が減少しています。

4時間未満
4時間～5時間未満
5時間～6時間未満
6時間～7時間未満
7時間～8時間未満
8時間～9時間未満
9時間～10時間未満
10時間～11時間未満
11時間～12時間未満
12時間以上
無回答



(2) 父親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が2件となっています。

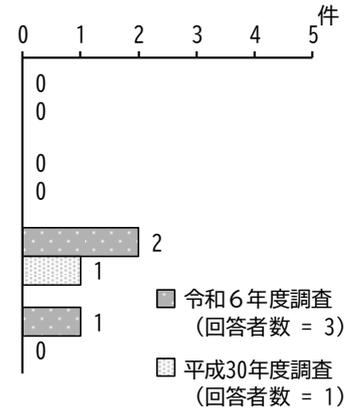
平成30年度調査と比較すると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が減少しています。

子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい

すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

無回答



何歳になったころ就労したいか

有効回答がありませんでした。

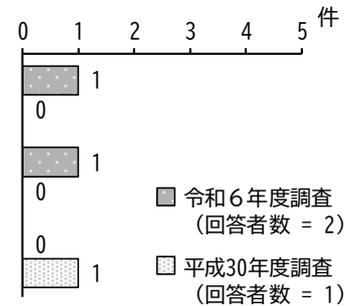
希望する就労形態

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が1件、「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」が1件となっています。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）

無回答

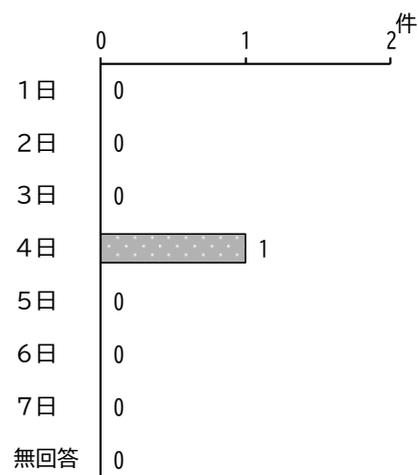


パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）

1週当たりの希望就労日数

「4日」が1件となっています。

回答者数 = 1

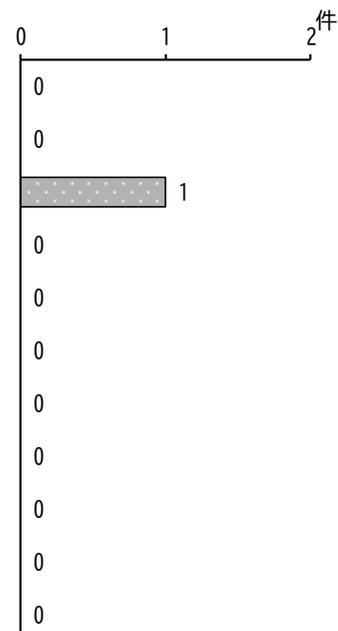


1日当たり希望就労時間

「5時間～6時間未満」が1件となっています。

回答者数 = 1

- 4時間未満
- 4時間～5時間未満
- 5時間～6時間未満
- 6時間～7時間未満
- 7時間～8時間未満
- 8時間～9時間未満
- 9時間～10時間未満
- 10時間～11時間未満
- 11時間～12時間未満
- 12時間以上
- 無回答



(5) お子さんの放課後児童クラブの利用について

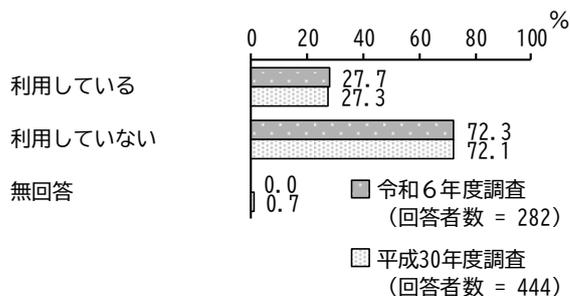
※放課後児童クラブとは、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生を対象に放課後児童指導員が遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図る事業です。

※放課後子ども教室とは、小学校の施設を活用して地域の大人の参画を得て、子どもたちに安全で安心な活動場所を提供する放課後対策事業です。

問 12 宛名のお子さんは現在、放課後児童クラブを利用していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「利用している」の割合が27.7%、「利用していない」の割合が72.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



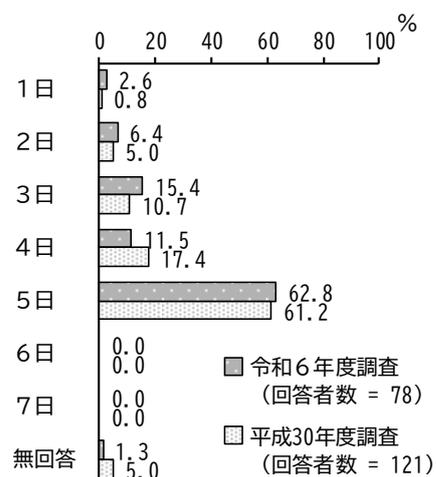
問 12-1 問 12 で「1. 利用している」を選ばれた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、①～③の各問にお答えください。

①放課後児童クラブの利用日数はどれくらいですか。() 内に日数をご記入ください(日数を数字一字でご記入ください)。

1週当たり利用日数

「5日」の割合が62.8%と最も高く、次いで「3日」の割合が15.4%、「4日」の割合が11.5%となっています。

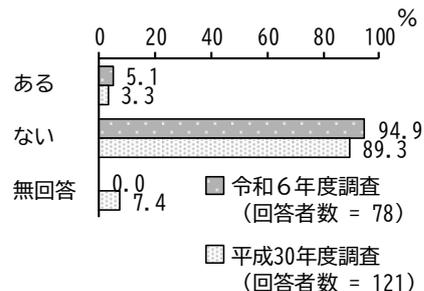
平成30年度調査と比較すると、「4日」の割合が減少しています。



うち土・日の利用

「ある」の割合が 5.1%、「ない」の割合が 94.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「ない」の割合が増加しています。



②利用している理由について、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

「現在就労している」の割合が 100.0%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

現在就労している

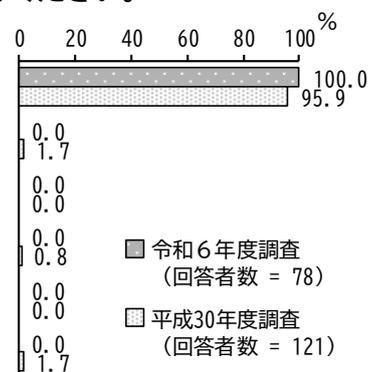
就労予定がある／求職中である

家族・親族などを介護しなければならない

病気や障害を持っている

学生である

無回答



③利用したい時間帯をお答えください。(例)15時30分～18時00分のように24時間制でご記入ください。()内に数字でご記入ください

1日当たり利用時間

「4時間未満」の割合が 37.2%と最も高く、次いで「4時間～5時間未満」の割合が 19.2%、「8時間～9時間未満」の割合が 12.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「4時間～5時間未満」「8時間～9時間未満」「10時間～11時間未満」の割合が増加しています。一方、「4時間未満」の割合が減少しています。

4時間未満

4時間～5時間未満

5時間～6時間未満

6時間～7時間未満

7時間～8時間未満

8時間～9時間未満

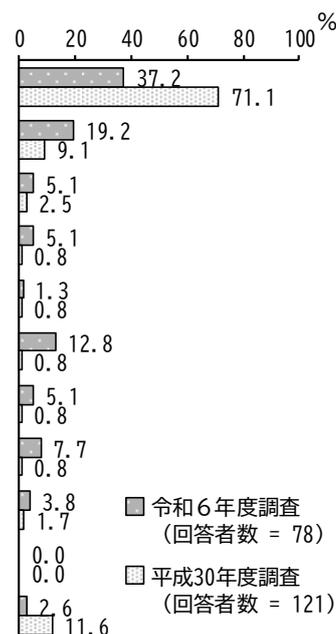
9時間～10時間未満

10時間～11時間未満

11時間～12時間未満

12時間以上

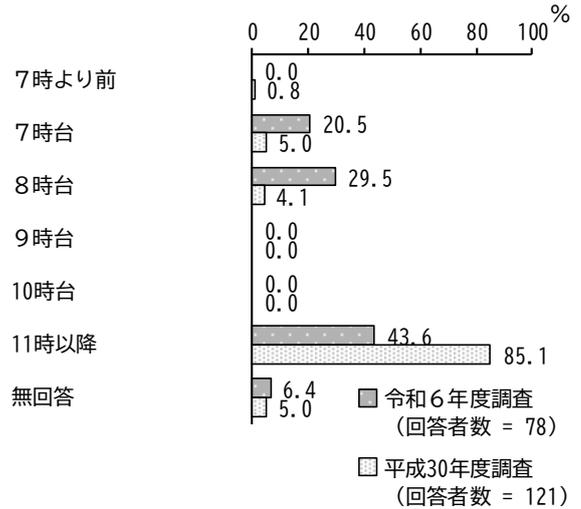
無回答



利用開始時刻

「11 時以降」の割合が 43.6%と最も高く、次いで「8 時台」の割合が 29.5%、「7 時台」の割合が 20.5%となっています。

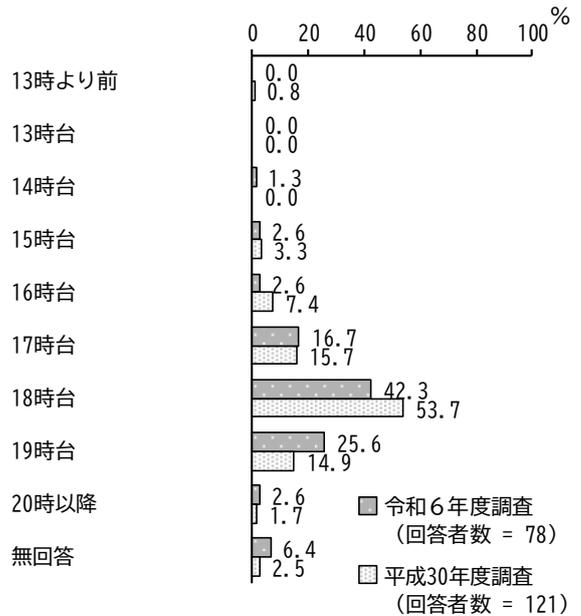
平成 30 年度調査と比較すると、「7 時台」「8 時台」の割合が増加しています。一方、「11 時以降」の割合が減少しています。



利用終了時刻

「18 時台」の割合が 42.3%と最も高く、次いで「19 時台」の割合が 25.6%、「17 時台」の割合が 16.7%となっています。

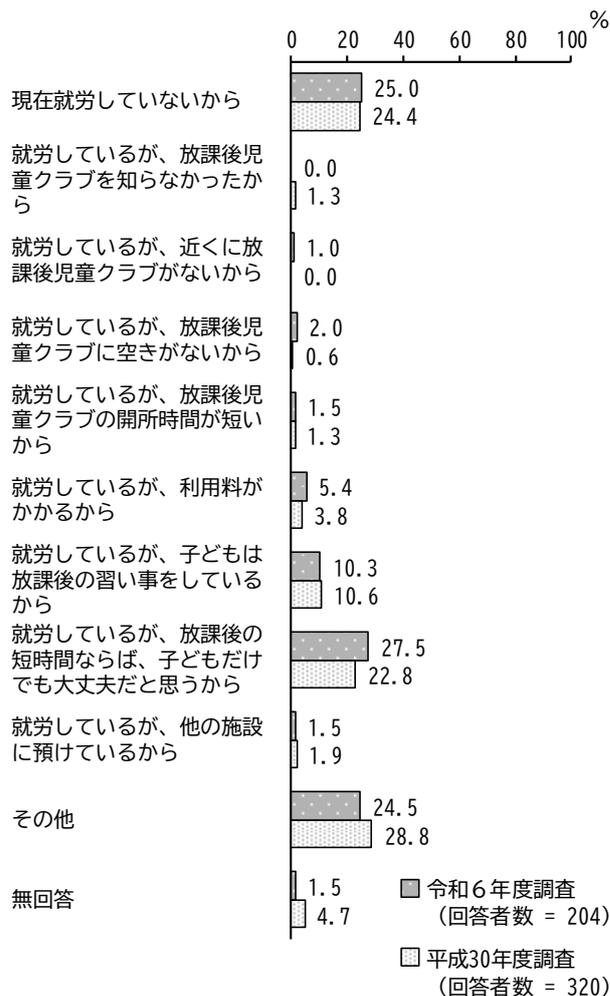
平成 30 年度調査と比較すると、「19 時台」の割合が増加しています。一方、「18 時台」の割合が減少しています。



問 12-2 問 12 で「2. 利用していない」を選ばれた方にうかがいます。
 利用していない理由について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」の割合が 27.5%と最も高く、次いで「現在就労していないから」の割合が 25.0%、「就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから」の割合が 10.3%となっています。

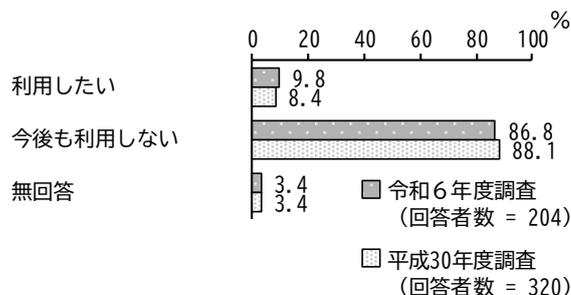
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 12-3 問 12 で「2. 利用していない」を選ばれた方にうかがいます。
 今後、放課後児童クラブを利用したいとお考えですか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。また、利用したい場合には、希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)15時00分～18時30分のように 24 時間制でご記入ください。

「利用したい」の割合が 9.8%、「今後も利用しない」の割合が 86.8%となっています。

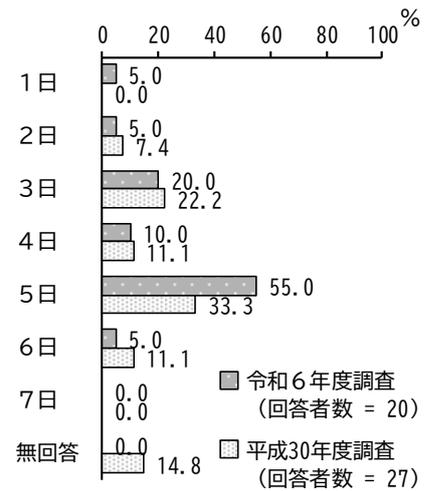
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1週当たり希望利用日数

「5日」の割合が55.0%と最も高く、次いで「3日」の割合が20.0%、「4日」の割合が10.0%となっています。

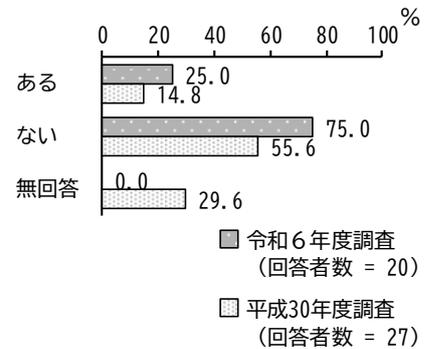
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「6日」の割合が減少しています。



うち土・日の利用

「ある」の割合が25.0%、「ない」の割合が75.0%となっています。

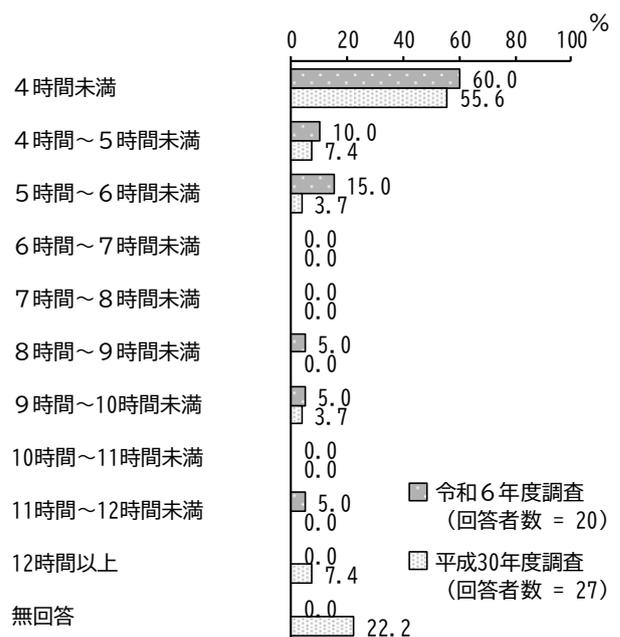
平成30年度調査と比較すると、「ある」「ない」の割合が増加しています。



1日当たり希望利用時間

「4時間未満」の割合が60.0%と最も高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が15.0%、「4時間～5時間未満」の割合が10.0%となっています。

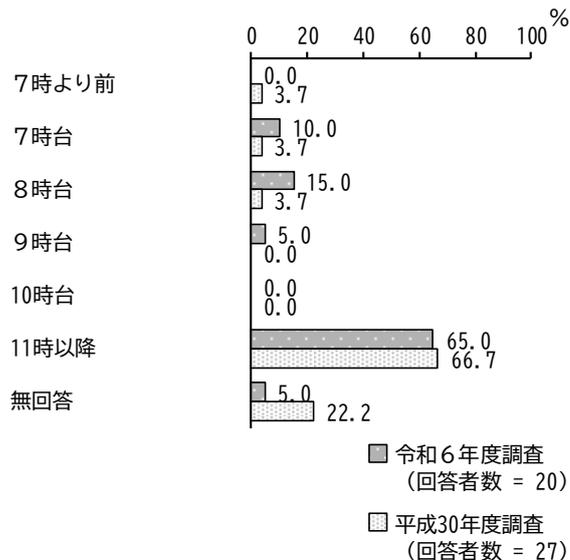
平成30年度調査と比較すると、「5時間～6時間未満」の割合が増加しています。一方、「12時間以上」の割合が減少しています。



利用開始時刻

「11時以降」の割合が65.0%と最も高く、次いで「8時台」の割合が15.0%、「7時台」の割合が10.0%となっています。

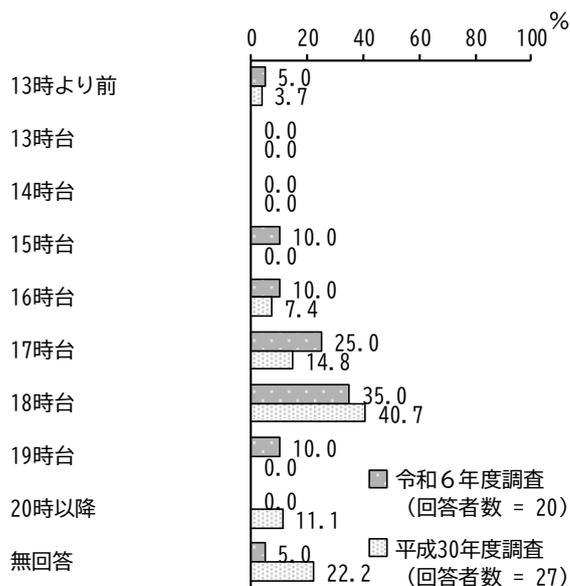
平成30年度調査と比較すると、「7時台」「8時台」の割合が増加しています。



利用終了時刻

「18時台」の割合が35.0%と最も高く、次いで「17時台」の割合が25.0%、「15時台」「16時台」の割合が10.0%となっています。

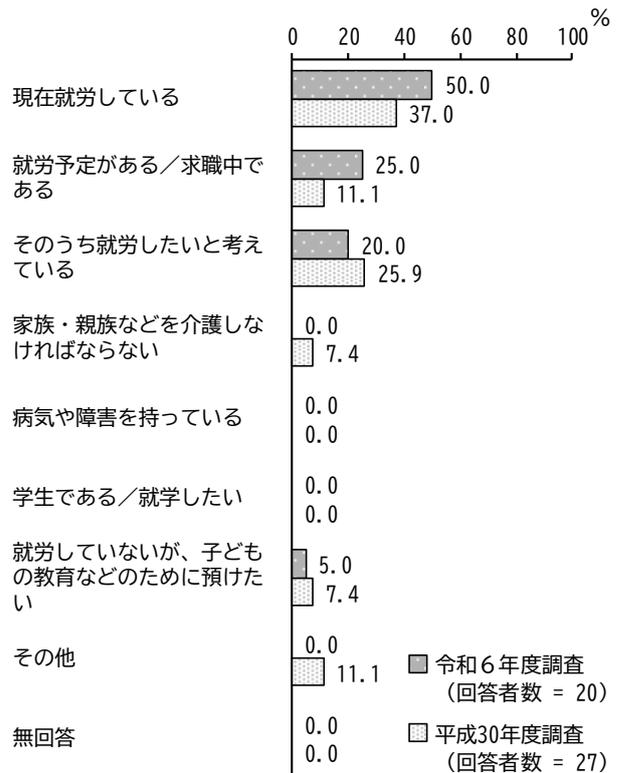
平成30年度調査と比較すると、「15時台」「17時台」「19時台」の割合が増加しています。一方、「18時台」「20時以降」の割合が減少しています。



問 12-4 問 12-3で「1.利用したい」を選ばれた方にうかがいます。
 今後、放課後児童クラブを利用したい理由について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

「現在就労している」の割合が50.0%と最も高く、次いで「就労予定がある／求職中である」の割合が25.0%、「そのうち就労したいと考えている」の割合が20.0%となっています。

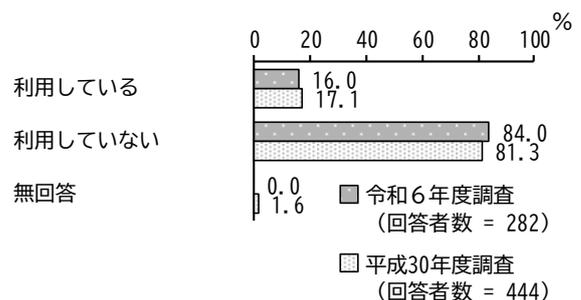
平成30年度調査と比較すると、「現在就労している」「就労予定がある／求職中である」の割合が増加しています。一方、「そのうち就労したいと考えている」「家族・親族などを介護しなければならない」の割合が減少しています。



問 13 地域によっては、放課後児童クラブと連動して行うサービスとして「放課後子ども教室」がありますが、利用していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「利用している」の割合が16.0%、「利用していない」の割合が84.0%となっています。

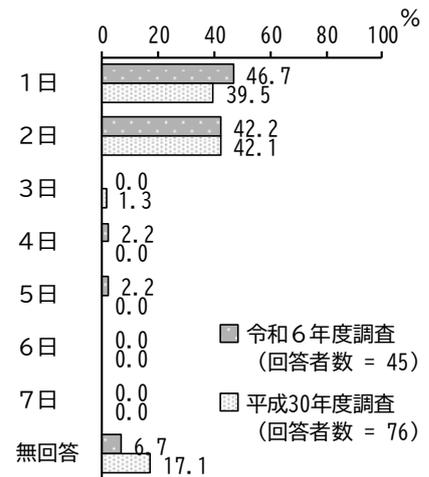
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1 週当たり利用日数

「1日」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が 42.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。

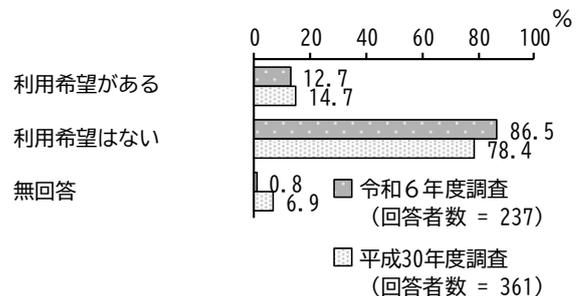


問 13-1 問 13 で「2.利用していない」を選ばれた方にかがいます。

今後、放課後子ども教室を利用したいとお考えですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。また、利用希望がある方は、() 内に1週間の日数を数字でご記入ください。

「利用希望がある」の割合が 12.7%、「利用希望はない」の割合が 86.5%となっています。

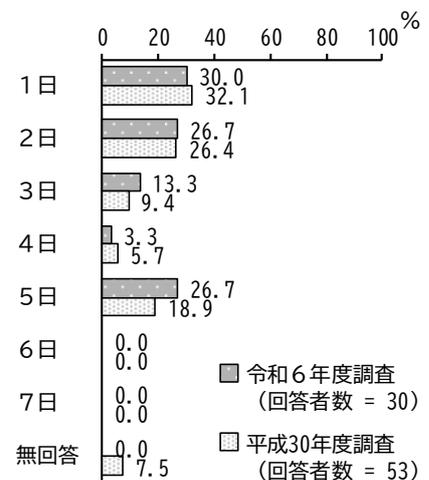
平成 30 年度調査と比較すると、「利用希望はない」の割合が増加しています。



1 週当たり希望利用日数

「1日」の割合が 30.0%と最も高く、次いで「2日」、「5日」の割合が 26.7%となっています。

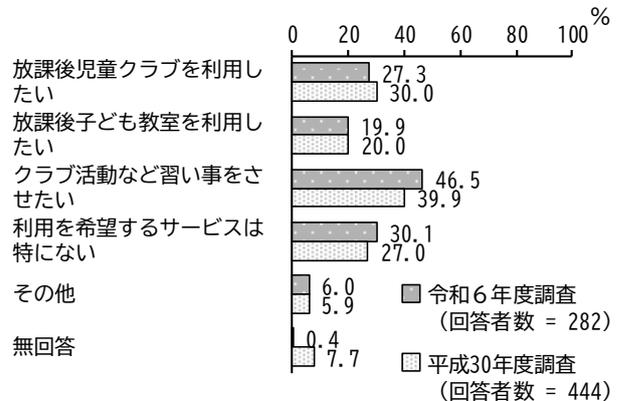
平成 30 年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。



問 14 宛名のお子さんについてうかがいます。放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、「1. 放課後児童クラブを利用したい」と回答された方は、何年生まで利用したいか（ ）内に数字でご記入ください。

「クラブ活動など習い事をさせたい」の割合が46.5%と最も高く、次いで「利用を希望するサービスは特にない」の割合が30.1%、「放課後児童クラブを利用したい」の割合が27.3%となっています。

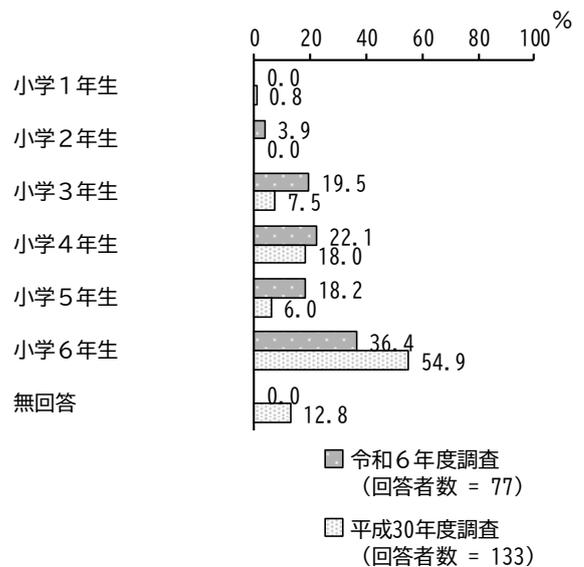
平成30年度調査と比較すると、「クラブ活動など習い事をさせたい」の割合が増加しています。



放課後児童クラブ 何年生まで利用したいか

「小学6年生」の割合が36.4%と最も高く、次いで「小学4年生」の割合が22.1%、「小学3年生」の割合が19.5%となっています。

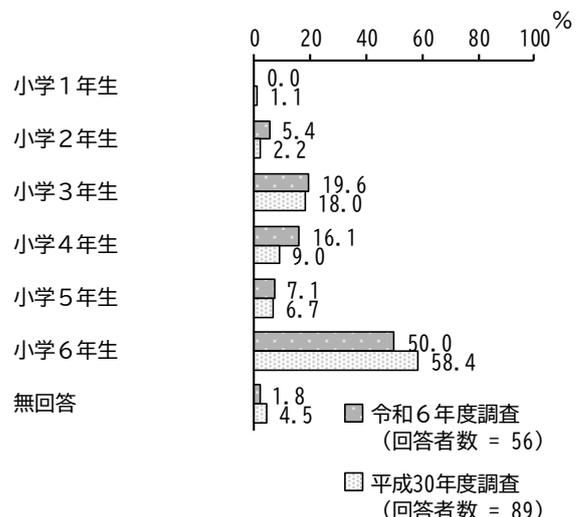
平成30年度調査と比較すると、「小学3年生」「小学5年生」の割合が増加しています。一方、「小学6年生」の割合が減少しています。



放課後子ども教室 何年生まで利用したいか

「小学6年生」の割合が50.0%と最も高く、次いで「小学3年生」の割合が19.6%、「小学4年生」の割合が16.1%となっています。

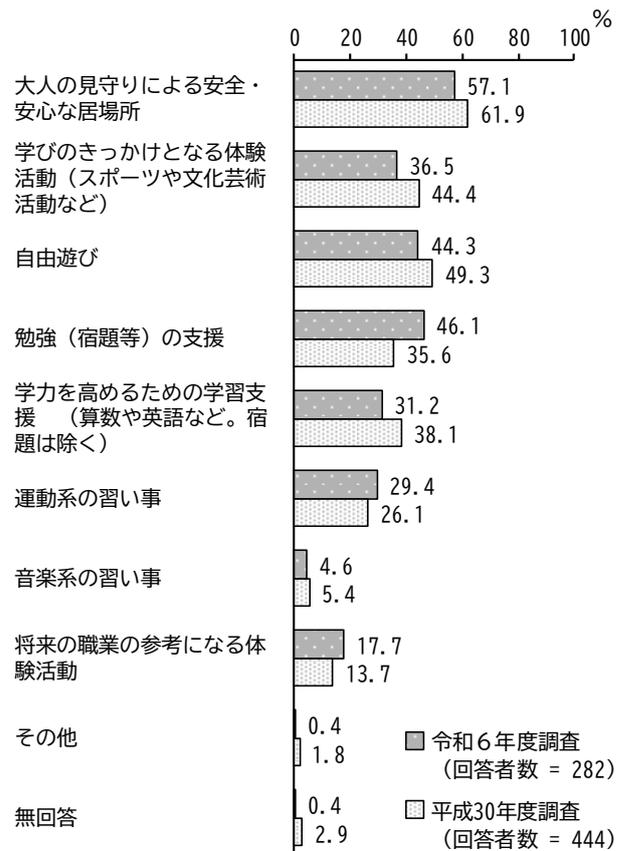
平成30年度調査と比較すると、「小学4年生」の割合が増加しています。一方、「小学6年生」の割合が減少しています。



問 15 お子さんの放課後に必要と思うものは次のうちどれですか。
あてはまる番号3つに○をつけてください。

「大人の見守りによる安全・安心な居場所」の割合が57.1%と最も高く、次いで「勉強(宿題等)の支援」の割合が46.1%、「自由遊び」の割合が44.3%となっています。

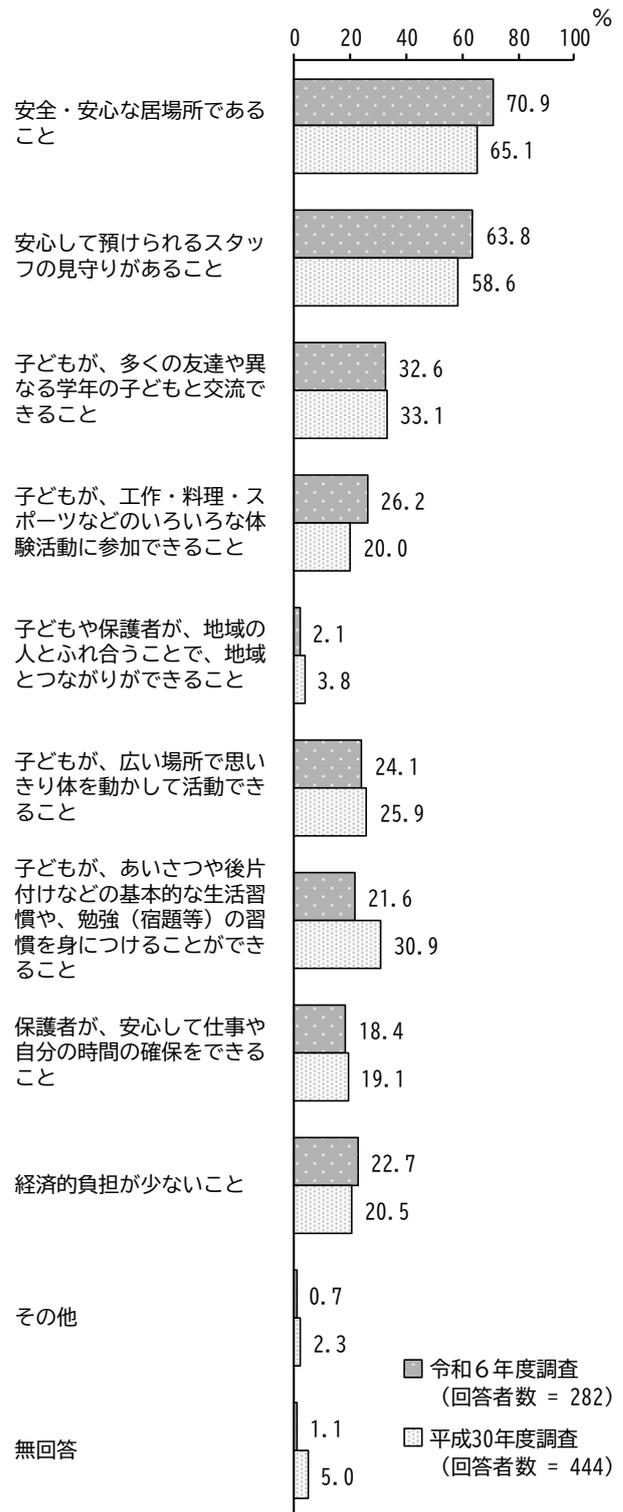
平成30年度調査と比較すると、「勉強(宿題等)の支援」の割合が増加しています。一方、「学びのきっかけとなる体験活動(スポーツや文化芸術活動など)」「学力を高めるための学習支援(算数や英語など。宿題は除く)」の割合が減少しています。



問 16 放課後子ども教室や放課後児童クラブに期待することは何ですか。
あてはまる番号3つに○をつけてください。

「安全・安心な居場所であること」の割合が70.9%と最も高く、次いで「安心して預けられるスタッフの見守りがあること」の割合が63.8%、「子どもが、多くの友達や異なる学年の子どもと交流できること」の割合が32.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「安全・安心な居場所であること」「安心して預けられるスタッフの見守りがあること」「子どもが、工作・料理・スポーツなどのいろいろな体験活動に参加できること」の割合が増加しています。一方、「子どもが、あいさつや後片付けなどの基本的な生活習慣や、勉強（宿題等）の習慣を身につけることができること」の割合が減少しています。

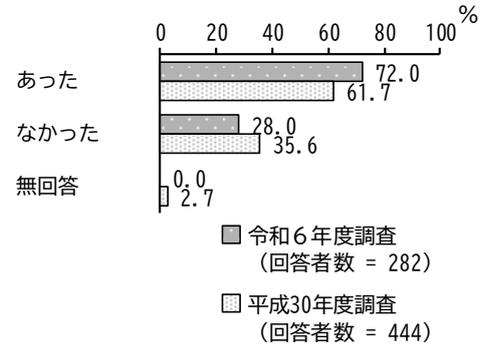


(6) お子さんの病気の際の対応について

問 17 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで小学校（現在1年生の場合は保育園・幼稚園）を休まなければならなかったことはありますか。

「あった」の割合が72.0%、「なかった」の割合が28.0%となっています。

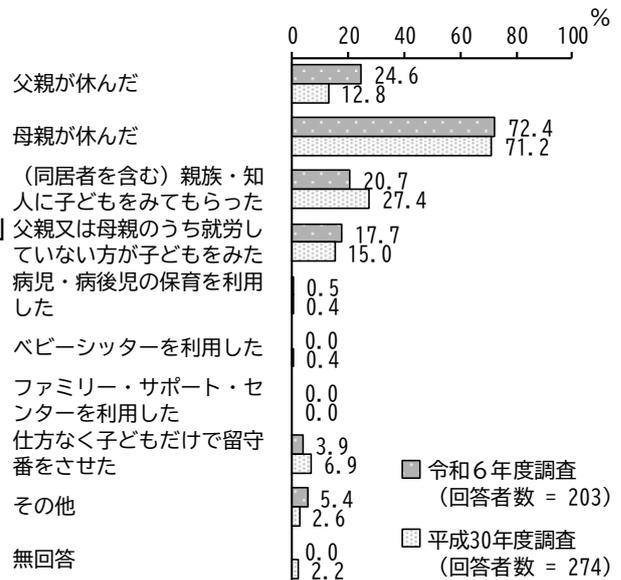
平成30年度調査と比較すると、「あった」の割合が増加しています。一方、「なかった」の割合が減少しています。



問 17-1 宛名のお子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）

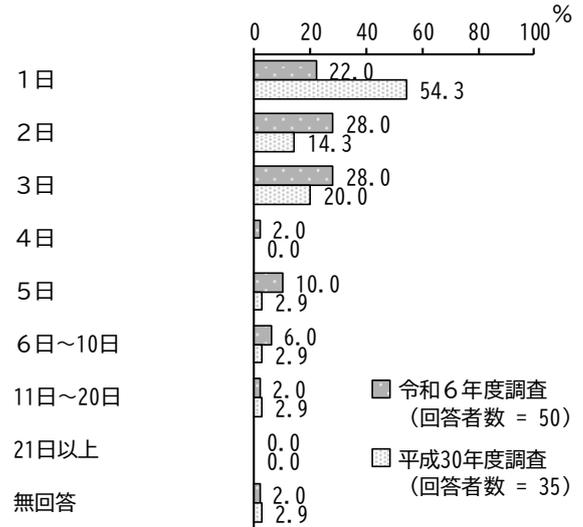
「母親が休んだ」の割合が72.4%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が24.6%、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が20.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父親が休んだ」の割合が増加しています。一方、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が減少しています。



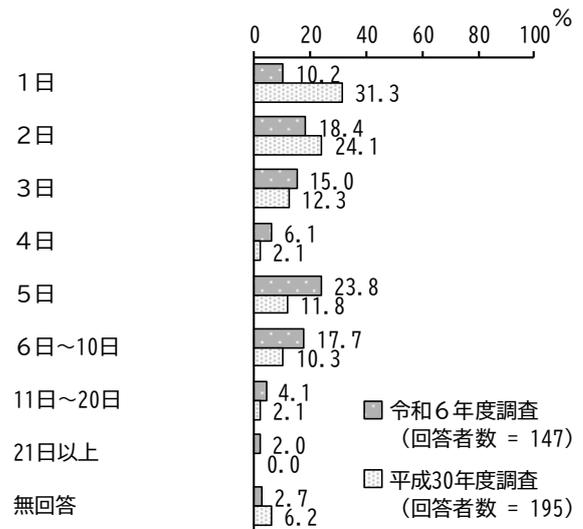
ア 父親が休んだ日数

「2日」、「3日」の割合が28.0%と最も高く、次いで「1日」の割合が22.0%となっています。
 平成30年度調査と比較すると、「2日」「3日」「5日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



イ 母親が休んだ日数

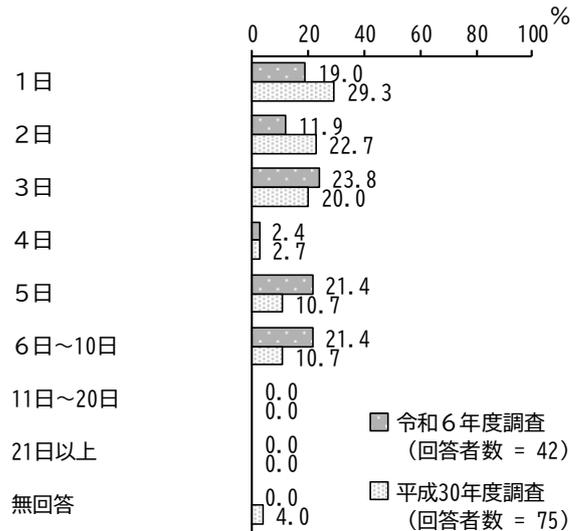
「5日」の割合が23.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が18.4%、「6日~10日」の割合が17.7%となっています。
 平成30年度調査と比較すると、「5日」「6日~10日」の割合が増加しています。一方、「1日」「2日」の割合が減少しています。



ウ (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった日数

「3日」の割合が 23.8%と最も高く、次いで「5日」、「6日～10日」の割合が 21.4%となっています。

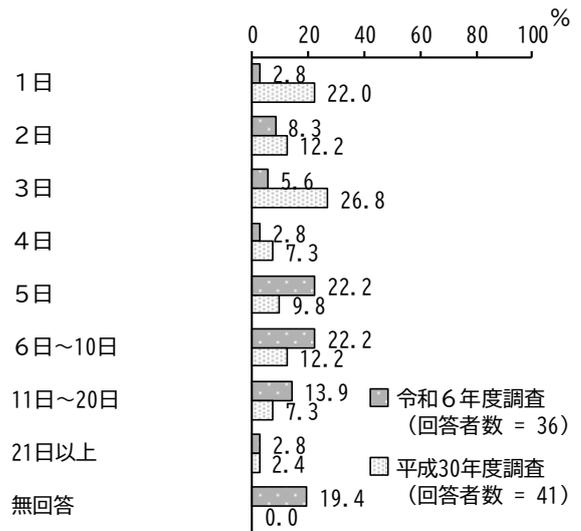
平成 30 年度調査と比較すると、「5日」「6日～10日」の割合が増加しています。一方、「1日」「2日」の割合が減少しています。



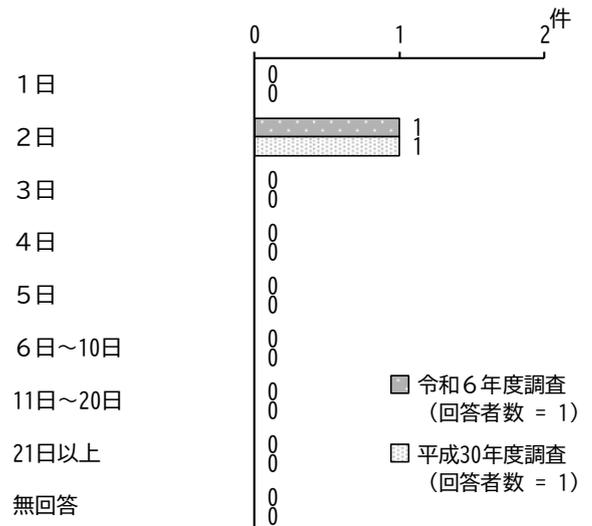
エ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた日数

「5日」、「6日～10日」の割合が 22.2%と最も高く、次いで「11日～20日」の割合が 13.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「5日」「6日～10日」「11日～20日」の割合が増加しています。一方、「1日」「3日」の割合が減少しています。



オ 病児・病後児の保育を利用した日数
「2日」が1件となっています。

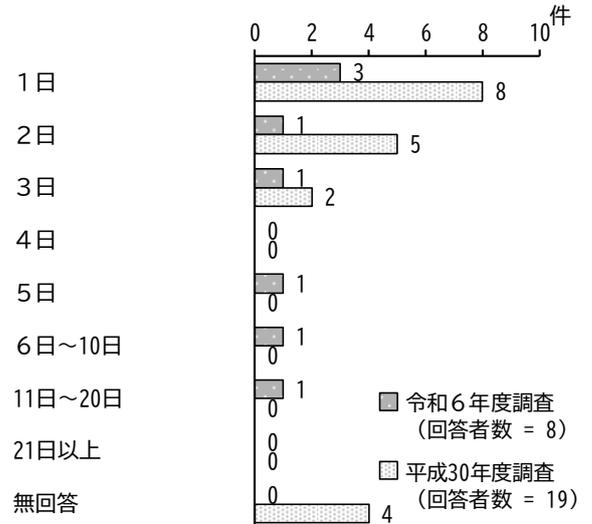


カ ベビーシッターを利用した日数
有効回答がありませんでした。

キ ファミリー・サポート・センターを利用した日数
有効回答がありませんでした。

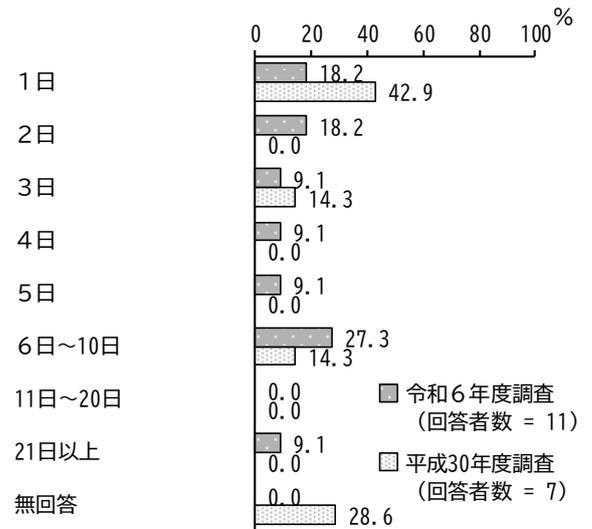
ク 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数

「1日」が3件となっています。「2日」、「3日」、「5日」が1件となっています。



ケ その他日数

「6日~10日」の割合が27.3%と最も高く、次いで「1日」、「2日」の割合が18.2%となっています。

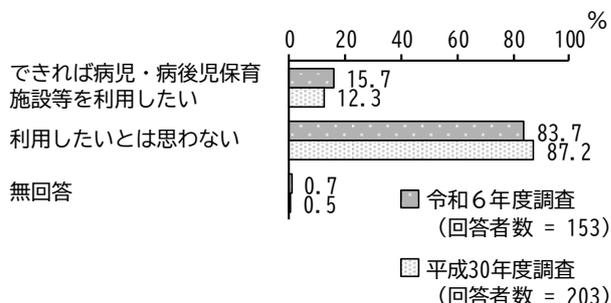


問 17-1 で「ア 父親が休んだ」「イ 母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 17-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても（ ）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が 15.7%、「利用したいとは思わない」の割合が 83.7%となっています。

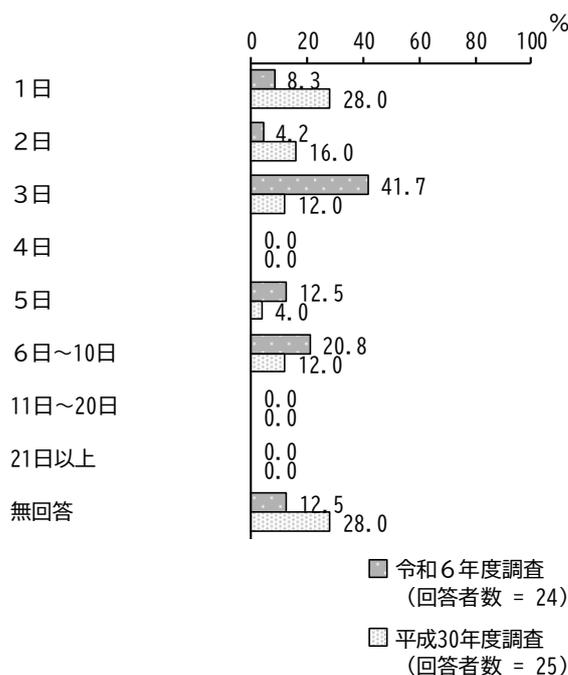
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



病児・病後児保育施設等を利用したい年間の日数

「3日」の割合が 41.7%と最も高く、次いで「6日～10日」の割合が 20.8%、「5日」の割合が 12.5%となっています。

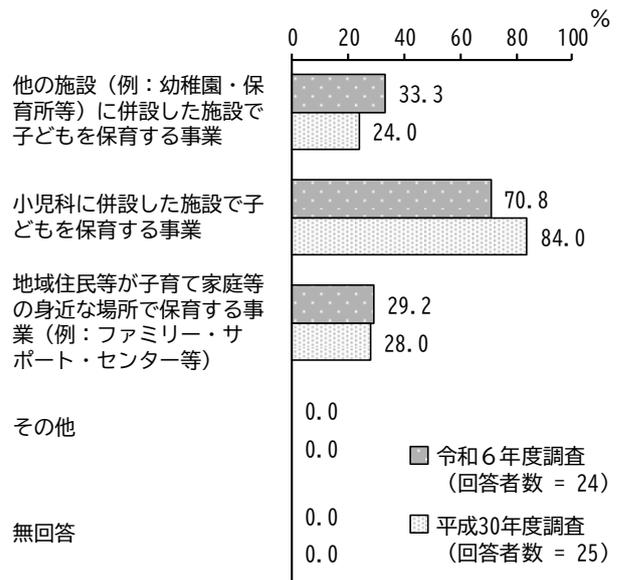
平成 30 年度調査と比較すると、「3日」「5日」「6日～10日」の割合が増加しています。一方、「1日」「2日」の割合が減少しています。



問 17-3 問 17-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が70.8%と最も高く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が33.3%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」の割合が29.2%となっています。

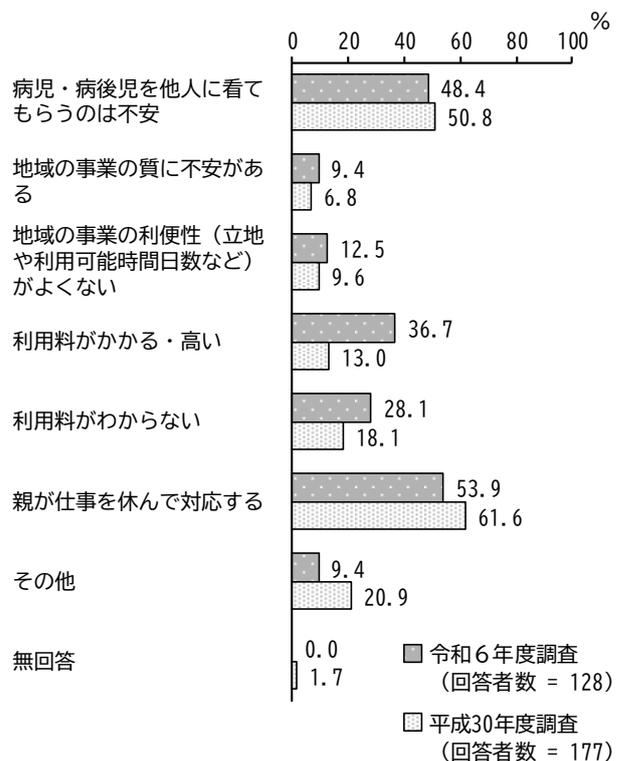
平成30年度調査と比較すると、「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が増加しています。一方、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が減少しています。



問 17-4 問 17-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。
 そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「親が仕事を休んで対応する」の割合が53.9%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安」の割合が48.4%、「利用料がかかる・高い」の割合が36.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用料がかかる・高い」「利用料がわからない」の割合が増加しています。一方、「親が仕事を休んで対応する」の割合が減少しています。

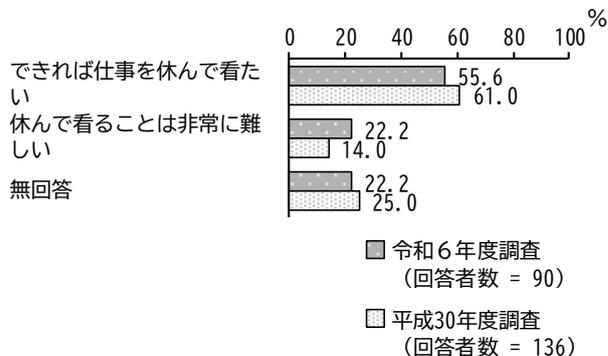


問17-1で「ウ（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」から「ケ その他」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問17-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、「ウ（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」から「ケ その他」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても（ ）内に数字でご記入ください。

「できれば仕事を休んで看たい」の割合が55.6%、「休んで看ることは非常に難しい」の割合が22.2%となっています。

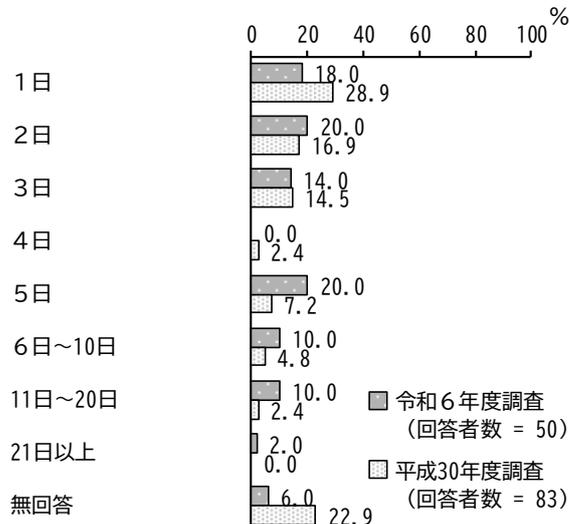
平成30年度調査と比較すると、「休んで看ることは非常に難しい」の割合が増加しています。一方、「できれば仕事を休んで看たい」の割合が減少しています。



仕事を休んで看たい日数

「2日」「5日」の割合が20.0%と最も高く、次いで「1日」の割合が18.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5日」「6日～10日」「11日～20日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。

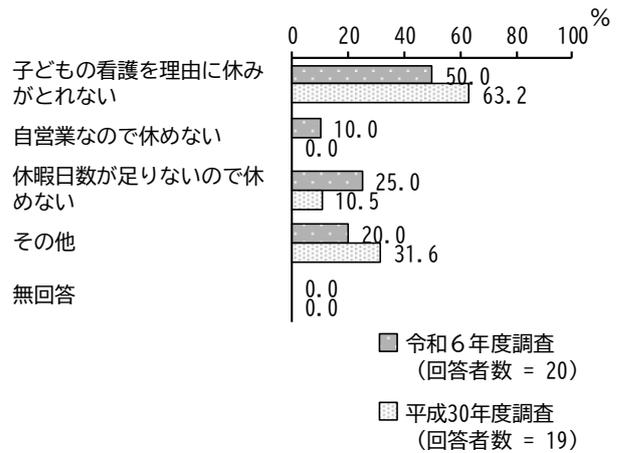


問 17-6 問 17-5で「2. 休んで見ることは非常に難しい」に○をつけた方にかがいます。

そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が50.0%と最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」の割合が25.0%、「自営業なので休めない」の割合が10.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「自営業なので休めない」「休暇日数が足りないので休めない」の割合が増加しています。一方、「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が減少しています。

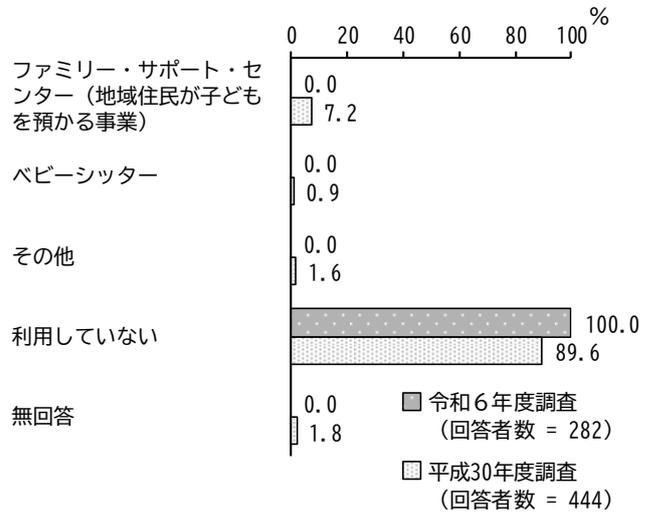


(7) お子さんの一時預かり等の利用について

問 18 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を（ ）内に数字でご記入ください。

「利用していない」の割合が100.0%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が増加しています。一方、「ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）」の割合が減少しています。



ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業） 日数
有効回答がありませんでした。

ベビーシッター 日数
有効回答がありませんでした。

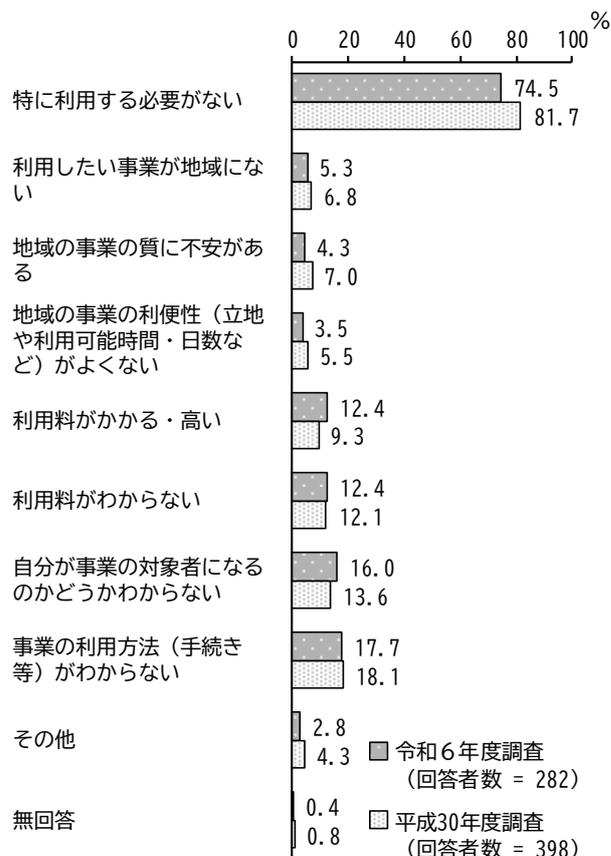
その他 日数
有効回答がありませんでした。

問 18 で「4. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問 18-1 現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」の割合が 74.5%と最も高く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が 17.7%、「自分が事業の対象者になるのかどうかわからない」の割合が 16.0%となっています。

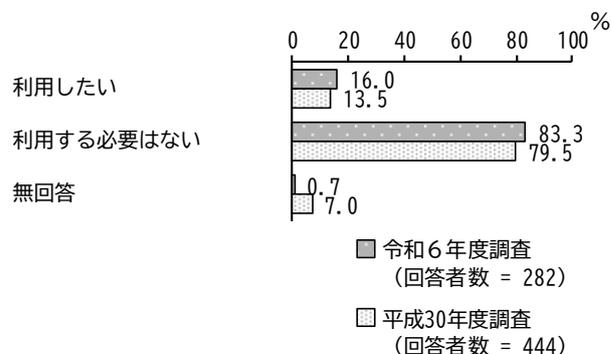
平成 30 年度調査と比較すると、「特に利用する必要がない」の割合が減少しています。



問 19 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。）

「利用したい」の割合が 16.0%、「利用する必要はない」の割合が 83.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用目的

「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が 62.2%と最も高く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）」の割合が 60.0%、「不定期の就労」の割合が 33.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「不定期の就労」の割合が減少しています。

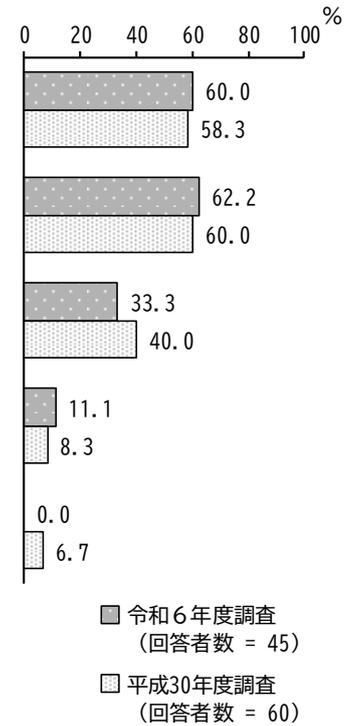
私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）

冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等

不定期の就労

その他

無回答



利用したい合計日数

「6日～10日」の割合が 35.6%と最も高く、次いで「21日以上」の割合が 11.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「2日」「6日～10日」の割合が増加しています。

1日

2日

3日

4日

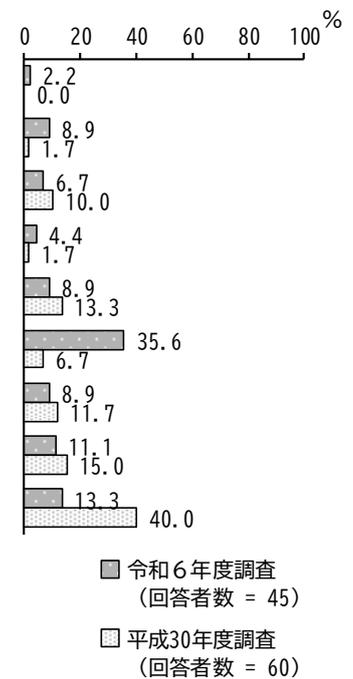
5日

6日～10日

11日～20日

21日以上

無回答

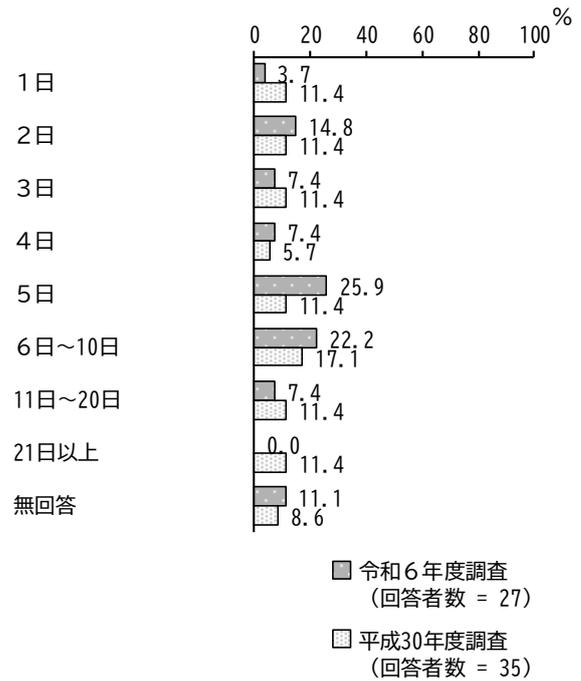


日数

ア 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的)

「5日」の割合が25.9%と最も高く、次いで「6日～10日」の割合が22.2%、「2日」の割合が14.8%となっています。

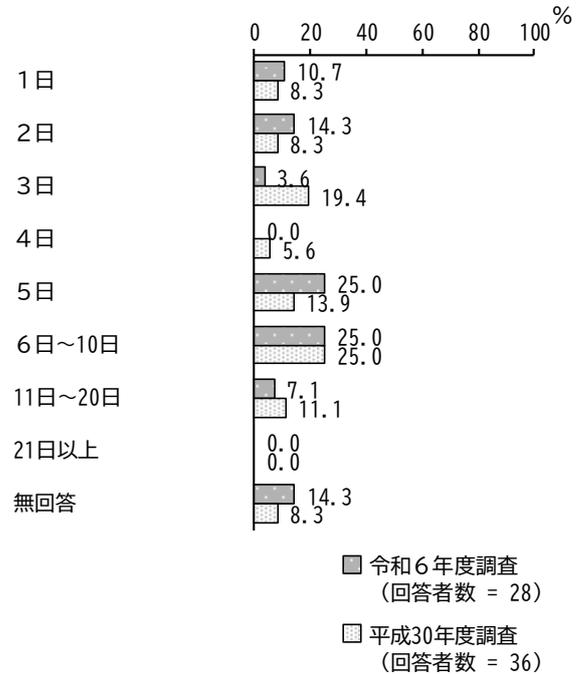
平成30年度調査と比較すると、「5日」「6日～10日」の割合が増加しています。一方、「1日」「21日以上」の割合が減少しています。



イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等

「5日」「6日～10日」の割合が25.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が14.3%となっています。

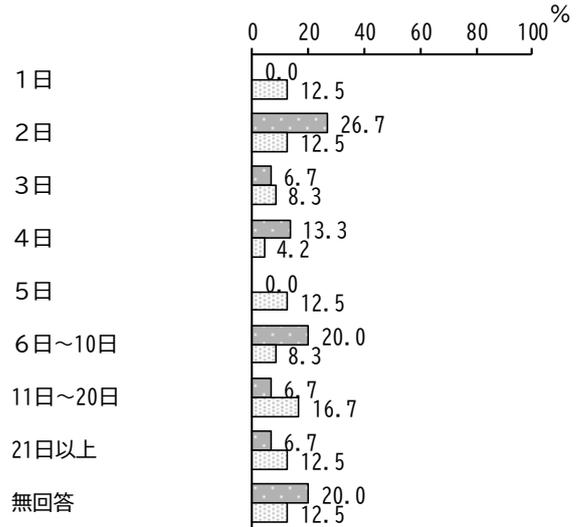
平成30年度調査と比較すると、「2日」「5日」の割合が増加しています。一方、「3日」「4日」の割合が減少しています。



ウ 不定期の就労

「2日」の割合が26.7%と最も高く、次いで「6日～10日」の割合が20.0%、「4日」の割合が13.3%となっています。

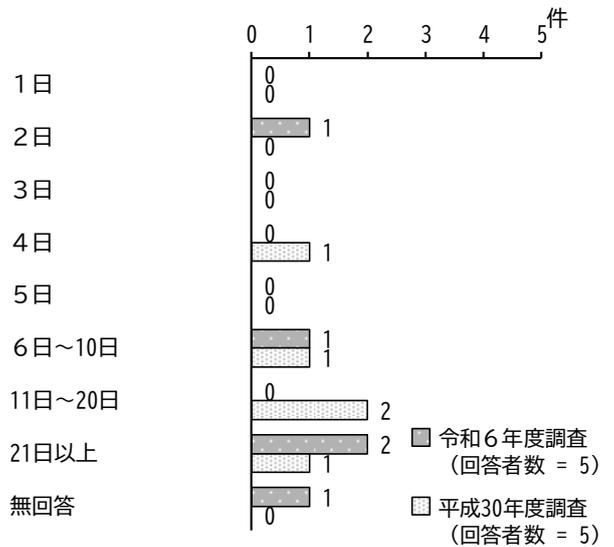
平成30年度調査と比較すると、「2日」「4日」「6日～10日」の割合が増加しています。一方、「1日」「5日」「11日～20日」「21日以上」の割合が減少しています。



■ 令和6年度調査
(回答者数 = 15)
▨ 平成30年度調査
(回答者数 = 24)

エ その他

「21日以上」が2件となっています。「2日」、「6日～10日」が1件となっています。



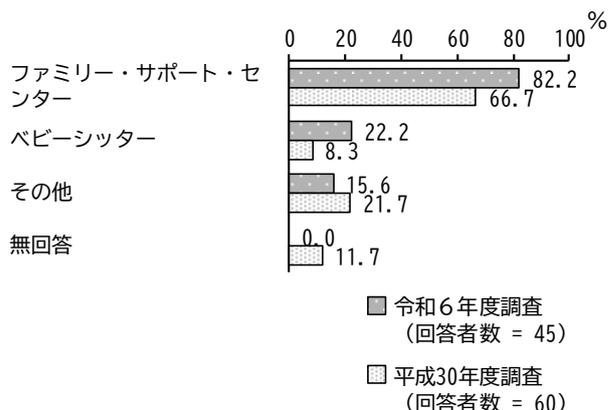
■ 令和6年度調査
(回答者数 = 5)
▨ 平成30年度調査
(回答者数 = 5)

問 19 で「1. 利用したい」に○をつけた方にかがいます。

問 19-1 問 19 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われまか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

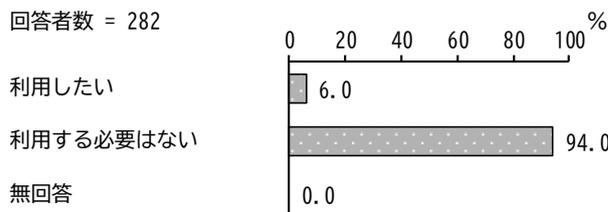
「ファミリー・サポート・センター」の割合が 82.2%、「ベビーシッター」の割合が 22.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「ファミリー・サポート・センター」「ベビーシッター」の割合が増加しています。



問 20 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いまか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳泊数を枠内に具体的な数字を入れてください）。

「利用したい」の割合が 6.0%、「利用する必要はない」の割合が 94.0%となっています。

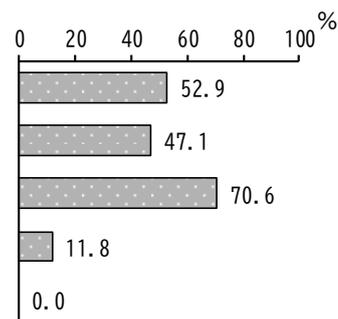


利用したい目的

「保護者や家族の病気」の割合が70.6%と最も高く、次いで「冠婚葬祭」の割合が52.9%、「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が47.1%となっています。

回答者数 = 17

冠婚葬祭
保護者や家族の育児疲れ・不安
保護者や家族の病気
その他
無回答

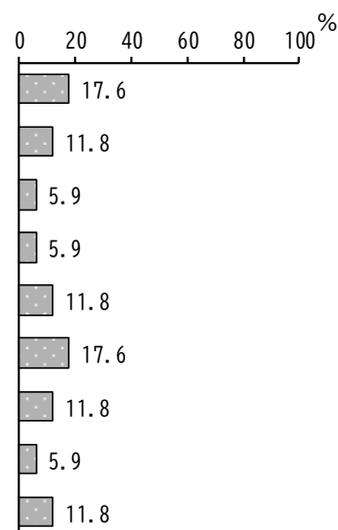


利用したい合計泊数

「1泊」、「6泊～10泊」の割合が17.6%と最も高く、次いで「2泊」、「5泊」の割合が11.8%となっています。

回答者数 = 17

1泊
2泊
3泊
4泊
5泊
6泊～10泊
11泊～20泊
21泊以上
無回答



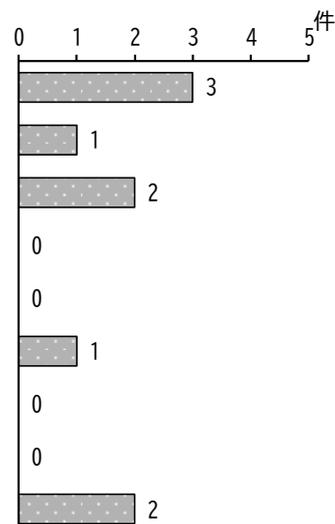
泊数

ア. 冠婚葬祭

「1泊」が3件となっています。「3泊」が2件、「2泊」、「6泊～10泊」が1件となっています。

回答者数 = 9

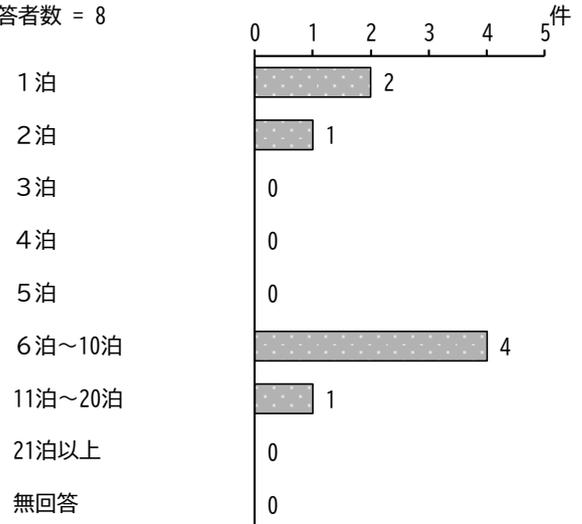
1泊
2泊
3泊
4泊
5泊
6泊～10泊
11泊～20泊
21泊以上
無回答



イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安

「6泊～10泊」が4件となっています。「1泊」が2件、「2泊」、「11泊～20泊」が1件となっています。

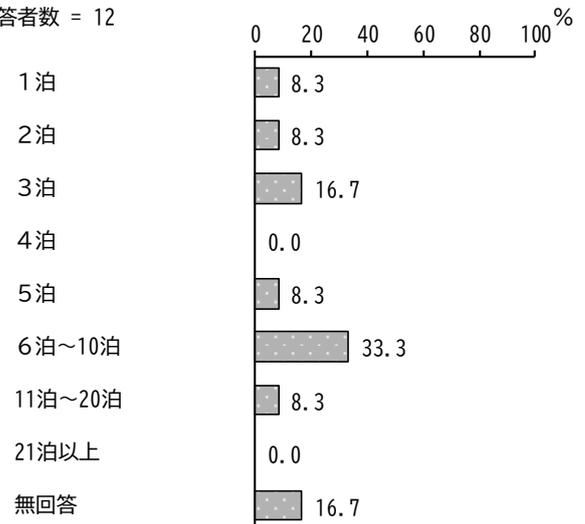
回答者数 = 8



ウ. 保護者や家族の病気

「6泊～10泊」の割合が33.3%と最も高く、次いで「3泊」の割合が16.7%となっています。

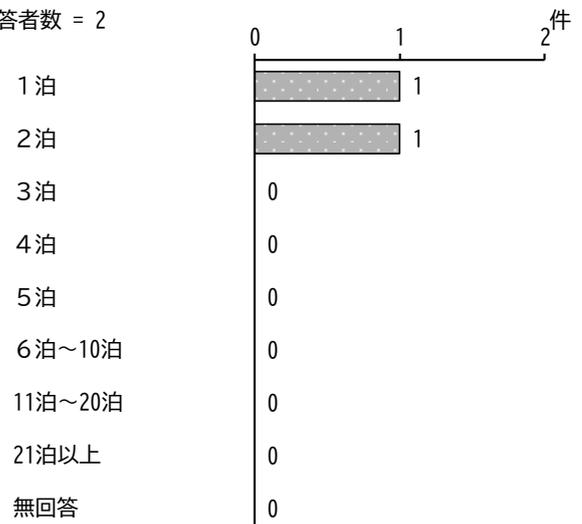
回答者数 = 12



エ. その他

「1泊」、「2泊」が1件となっています。

回答者数 = 2



(8) お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

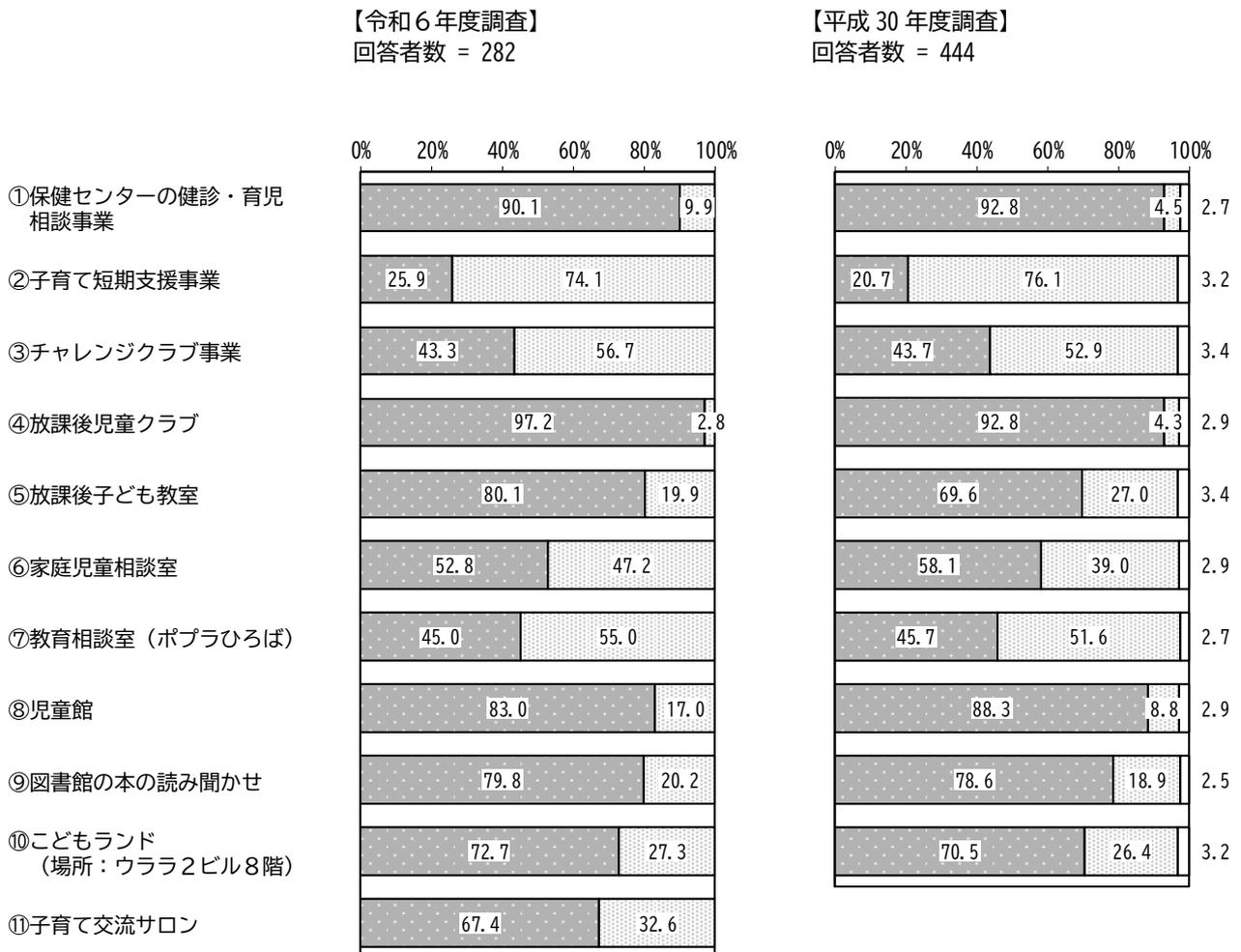
問 21 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。また、今後利用したいと思わない場合はその理由をご記入ください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

A知っている

『④放課後児童クラブ』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『②子育て短期支援事業』で「いいえ」の割合が高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、『⑤放課後子ども教室』で「はい」の割合が、『⑥家庭児童相談室』『⑨図書館の本の読み聞かせ』で「いいえ」の割合が増加しています。

■ はい □ いいえ □ 無回答



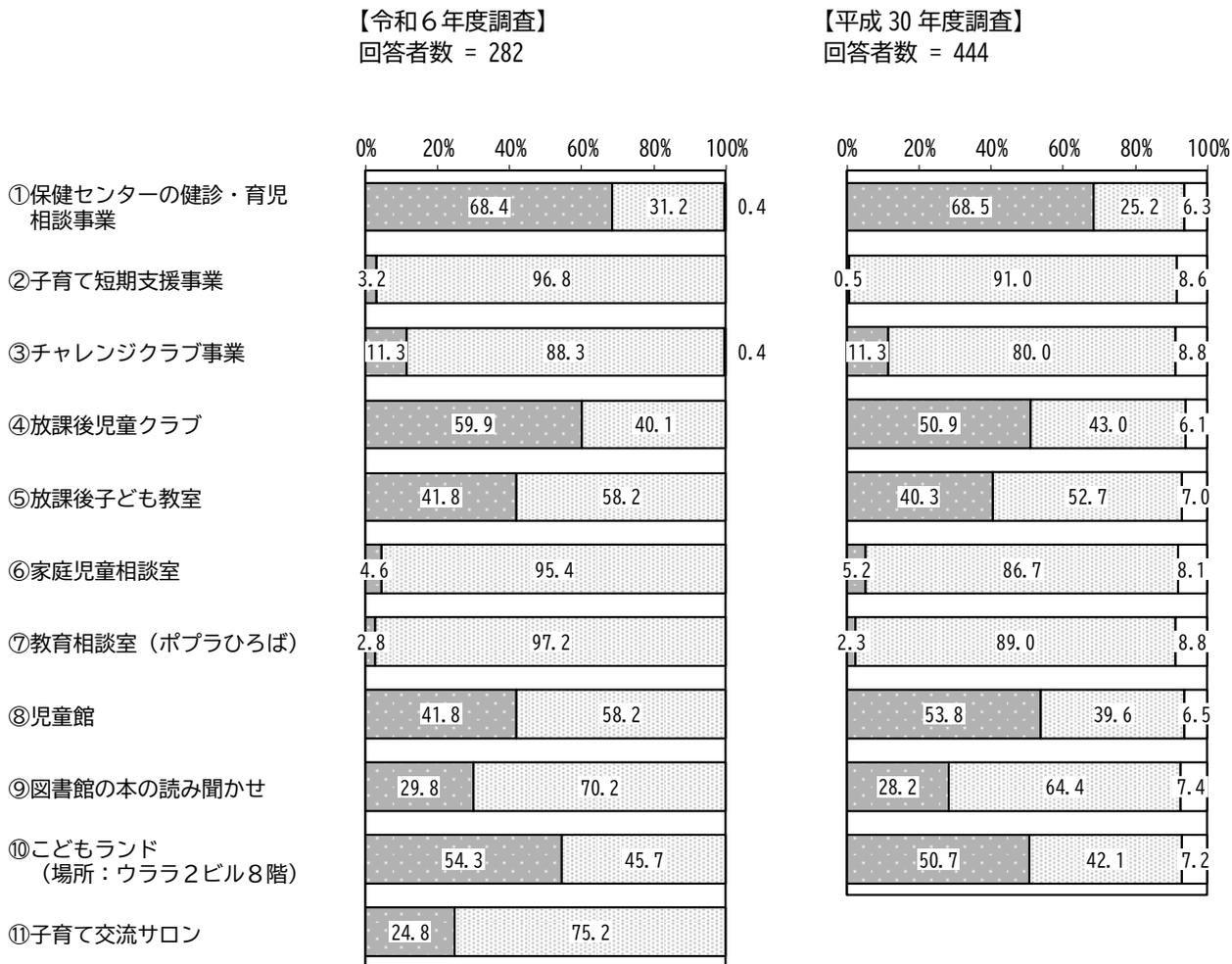
※前回調査では、『⑪子育て交流サロン』の項目はありませんでした。

B これまでに利用したことがある

『①保健センターの健診・育児相談事業』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『②子育て短期支援事業』『⑥家庭児童相談室』『⑦教育相談室（ポプラひろば）』で「いいえ」の割合が高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、『④放課後児童クラブ』で「はい」の割合が、『⑥家庭児童相談室』『⑨図書館の本の読み聞かせ』で「いいえ」の割合が増加しています。

■ はい □ いいえ □ 無回答



※前回調査では、『⑪子育て交流サロン』の項目はありませんでした。

C 今後利用したい

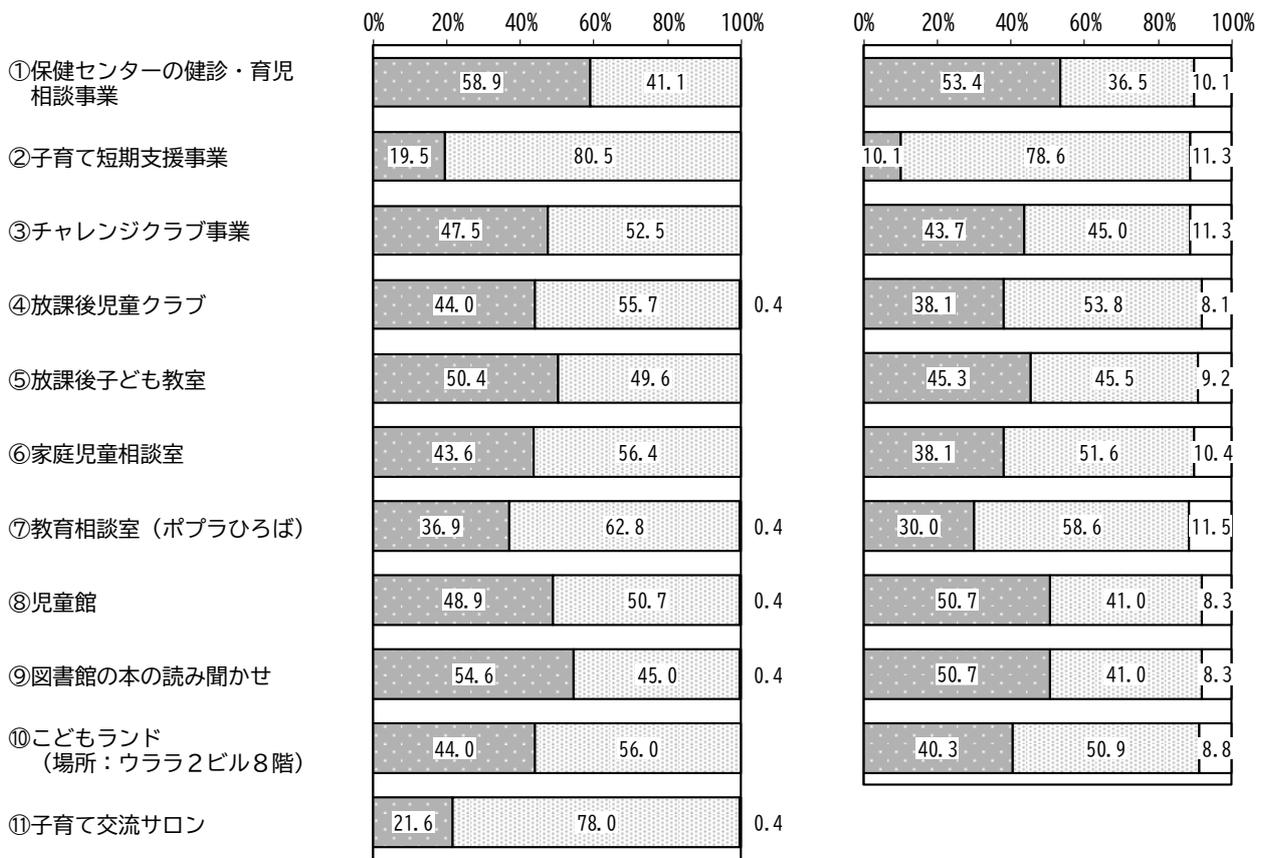
『①保健センターの健診・育児相談事業』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『②子育て短期支援事業』で「いいえ」の割合が高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、『②子育て短期支援事業』で「はい」の割合が、『③チャレンジクラブ事業』『⑨図書館の本の読み聞かせ』で「いいえ」の割合が増加しています。

■ はい □ いいえ □ 無回答

【令和6年度調査】
回答者数 = 282

【平成30年度調査】
回答者数 = 444



※前回調査では、『⑪子育て交流サロン』の項目はありませんでした。

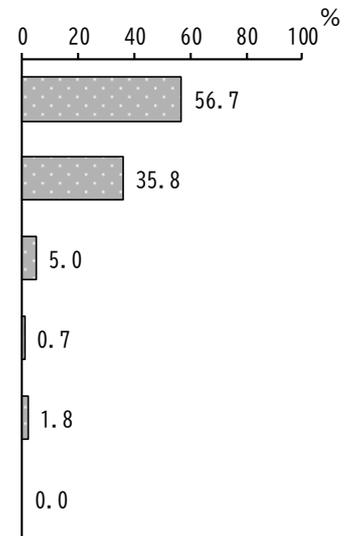
(9) 子育てに関する悩みについて

問 22 あなたは、自分にとって子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「楽しいと感じることの方が多し」の割合が56.7%と最も高く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」の割合が35.8%となっています。

回答者数 = 282

楽しいと感じることの方が多し
 楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい
 辛いと感じることの方が多し
 その他
 わからない
 無回答

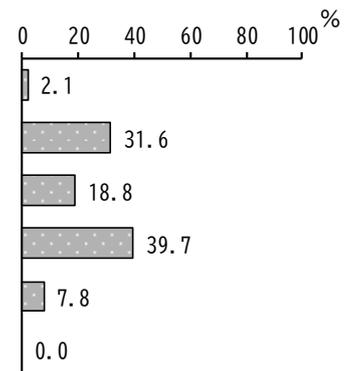


問 23 子どもに対して、思わずたいたり、子どもの心を傷つけてしまうような言動をしたり、子どもの相手や世話をしないことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「ほとんどない」の割合が39.7%と最も高く、次いで「たまにある」の割合が31.6%、「したいと思うことはよくあるが、行動には移さない」の割合が18.8%となっています。

回答者数 = 282

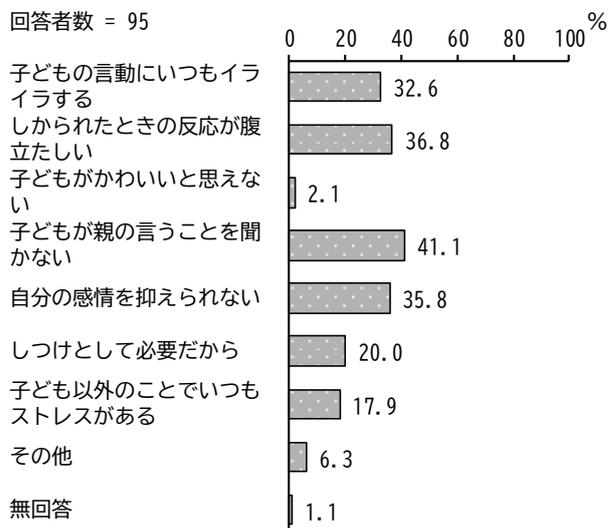
よくある
 たまにある
 したいと思うことはよくあるが、行動には移さない
 ほとんどない
 まったくない
 無回答



問23で「1. よくある」か「2. たまにある」に回答した方にうかがいます。

問23-1 思わずたいたり、子どもの心を傷つけてしまうような言動をしたり、子どもの相手や世話をしないことがある原因はどこにあると思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

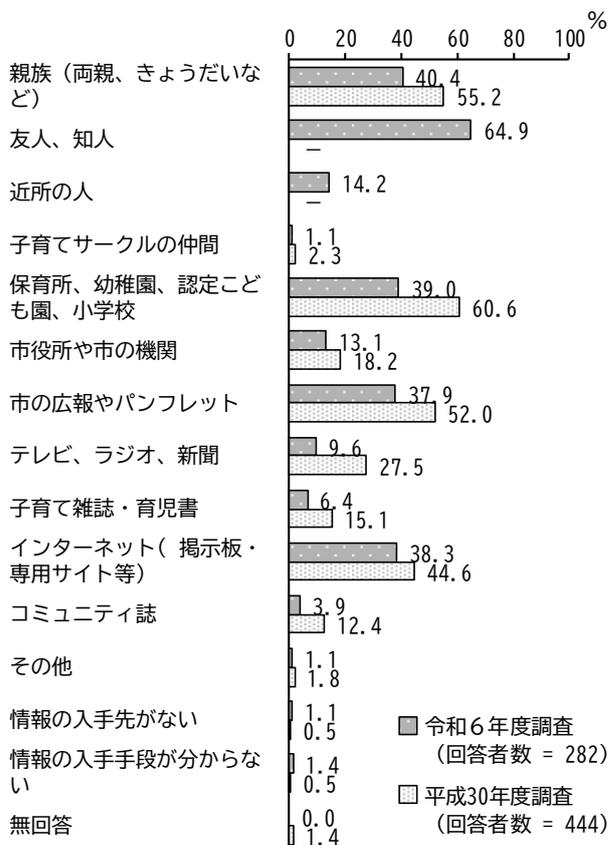
「子どもが親の言うことを聞かない」の割合が41.1%と最も高く、次いで「しかられたときの反応が腹立たしい」の割合が36.8%、「自分の感情を抑えられない」の割合が35.8%となっています。



問24 子育てに支援に関する情報をどのように入手されていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人、知人」の割合が64.9%と最も高く、次いで「親族（両親、きょうだいなど）」の割合が40.4%、「保育所、幼稚園、認定こども園、小学校」の割合が39.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「親族（両親、きょうだいなど）」「保育所、幼稚園、認定こども園、小学校」「市役所や市の機関」「市の広報やパンフレット」「テレビ、ラジオ、新聞」「子育て雑誌・育児書」「インターネット（掲示板・専用サイト等）」「コミュニティ誌」の割合が減少しています。

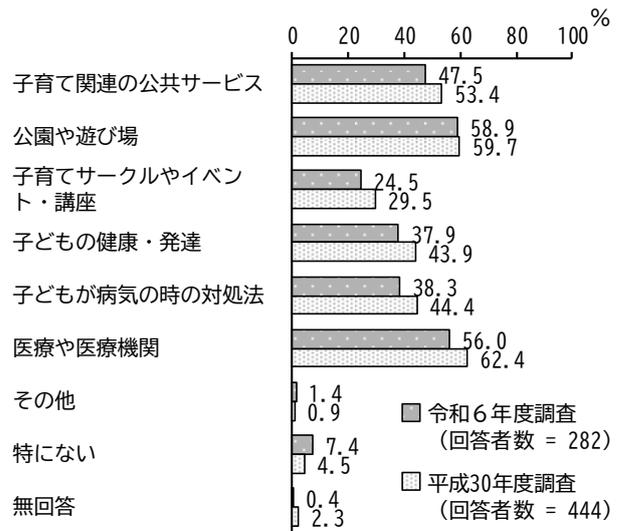


※前回調査では、「友人、知人」と「近所の人」は同一選択肢となっていました。

問 25 子育てに関して、どのような情報が必要ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「公園や遊び場」の割合が 58.9%と最も高く、次いで「医療や医療機関」の割合が 56.0%、「子育て関連の公共サービス」の割合が 47.5%となっています。

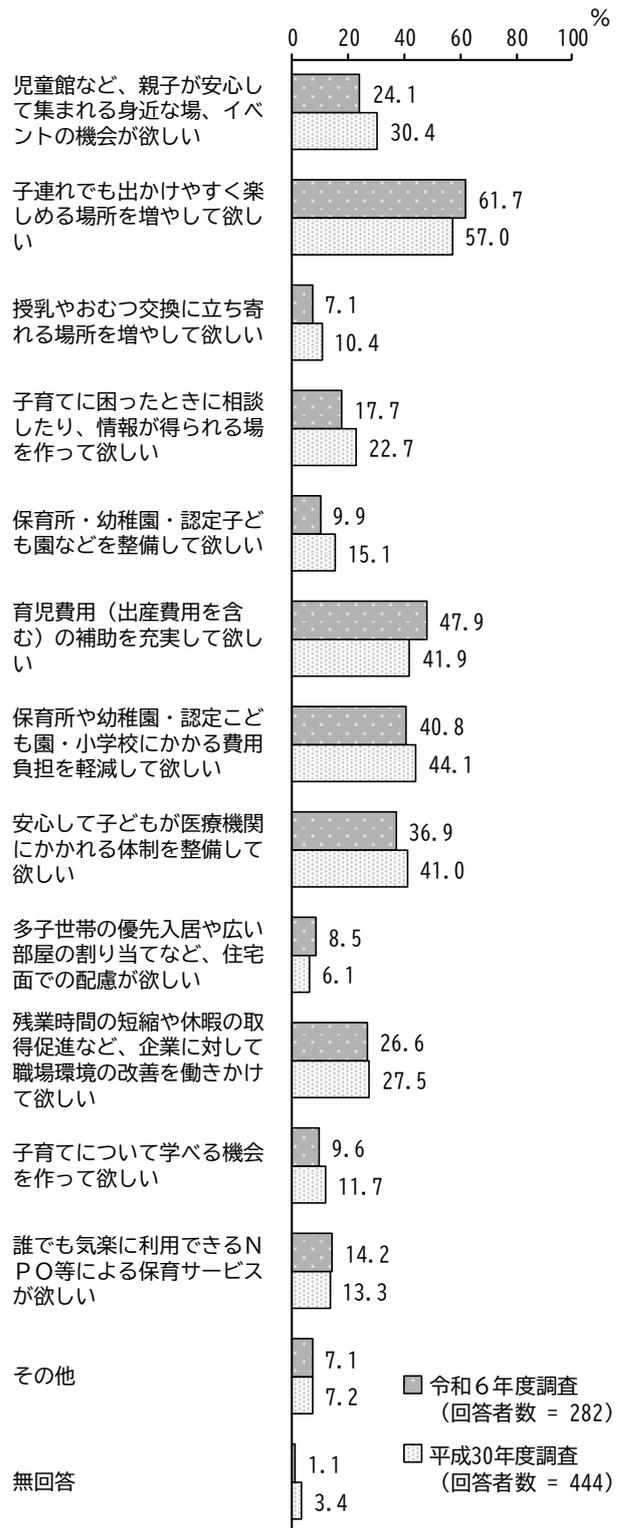
平成 30 年度調査と比較すると、「子育て関連の公共サービス」「子どもの健康・発達」「子どもが病気の時の対処法」「医療や医療機関」の割合が減少しています。



問 26 市に対して、どのような子育て支援の充実を期待しますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」の割合が61.7%と最も高く、次いで「育児費用（出産費用を含む）の補助を充実して欲しい」の割合が47.9%、「保育所や幼稚園・認定こども園・小学校にかかる費用負担を軽減して欲しい」の割合が40.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「育児費用（出産費用を含む）の補助を充実して欲しい」の割合が増加しています。一方、「児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい」「保育所・幼稚園・認定こども園などを整備して欲しい」の割合が減少しています。

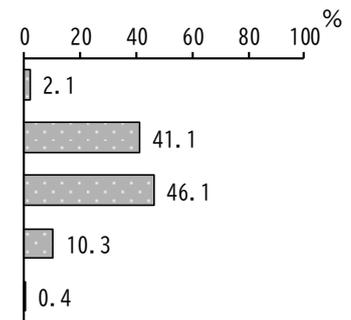


問 27 あなたの周りには、子どもや若者の遊びや体験活動の機会や場が十分にあると思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「どちらかといえば、そう思わない」の割合が46.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」の割合が41.1%、「そう思わない」の割合が10.3%となっています。

回答者数 = 282

そう思う
 どちらかといえば、そう思う
 どちらかといえば、そう思わない
 そう思わない
 無回答



【中学校区別】

中学校区別にみると、新治地区で「そう思わない」の割合が高くなっています。

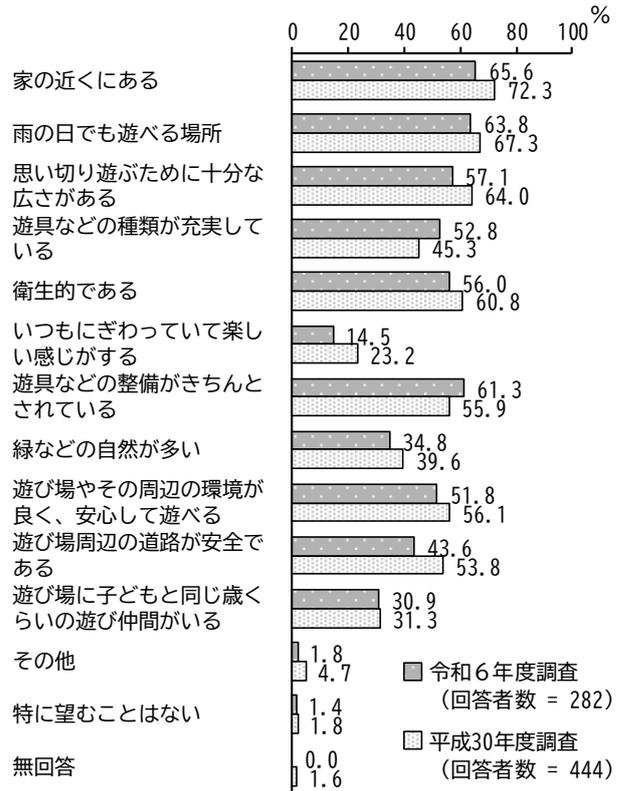
単位：%

区分	回答者数 (件)	そう 思う	どちらか といえば、 そう 思う	どちらか といえば、 そう 思わない	そう 思わない	無 回 答
全 体	282	2.1	41.1	46.1	10.3	0.4
一中地区	37	2.7	32.4	51.4	10.8	2.7
二中地区	33	3.0	42.4	39.4	15.2	—
三中地区	57	5.3	43.9	43.9	7.0	—
四中地区	43	2.3	46.5	41.9	9.3	—
五中地区	30	—	33.3	50.0	16.7	—
六中地区	33	—	48.5	45.5	6.1	—
都和地区	31	—	38.7	58.1	3.2	—
新治地区	17	—	35.3	41.2	23.5	—
わからない	—	—	—	—	—	—

問 28 どのような遊び場を望みますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「家の近くにある」の割合が 65.6%と最も高く、次いで「雨の日でも遊べる場所」の割合が 63.8%、「遊具などの整備がきちんとされている」の割合が 61.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「遊具などの種類が充実している」「遊具などの整備がきちんとされている」の割合が増加しています。一方、「家の近くにある」「思い切り遊ぶために十分な広さがある」「いつもにぎわっていて楽しい感じがする」「遊び場周辺の道路が安全である」の割合が減少しています。



【中学校区別】

中学校区別にみると、新治地区で「遊び場やその周辺の環境が良く、安心して遊べる」の割合が高くなっています。

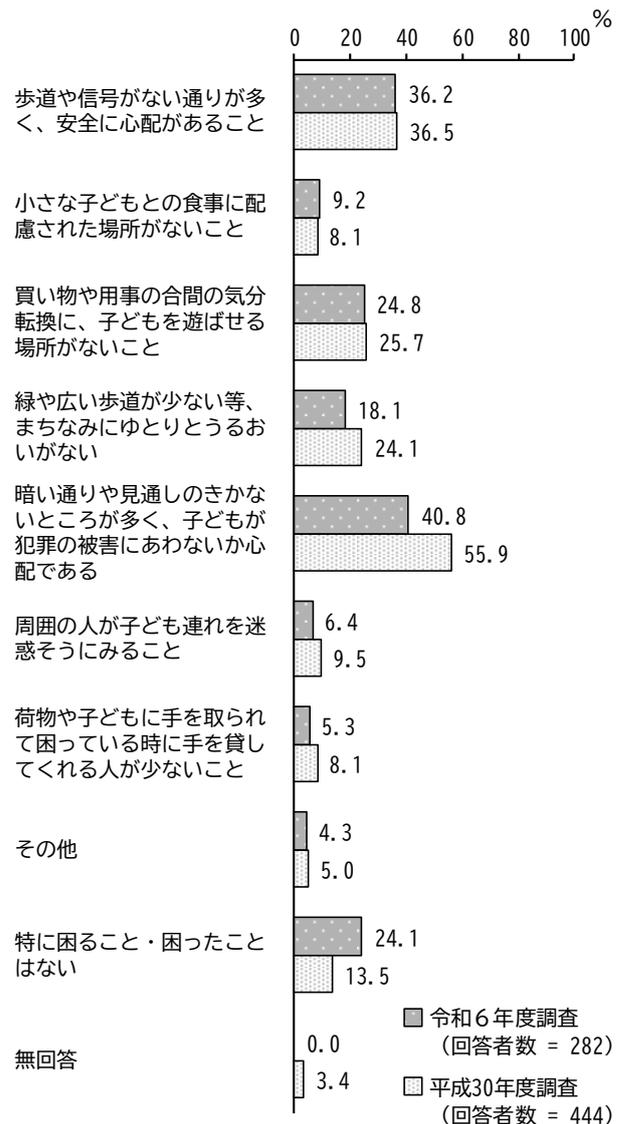
単位：%

区分	回答者数 (件)	家の近くにある	雨の日でも遊べる場所	思い切り遊ぶために十分な広さがある	遊具などの種類が充実している	衛生的である	いつもにぎわっていて楽しい感じがする	遊具などの整備がきちんとされている	緑などの自然が多い	遊び場やその周辺の環境が良く、安心して遊べる	遊び場周辺の道路が安全である	遊び場に子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいる	その他	特に望むことはない	無回答
全体	282	65.6	63.8	57.1	52.8	56.0	14.5	61.3	34.8	51.8	43.6	30.9	1.8	1.4	—
一中地区	37	62.2	62.2	56.8	51.4	59.5	16.2	64.9	37.8	56.8	43.2	24.3	2.7	—	—
二中地区	33	75.8	69.7	57.6	66.7	54.5	15.2	57.6	18.2	45.5	42.4	30.3	3.0	—	—
三中地区	57	70.2	57.9	59.6	43.9	47.4	10.5	50.9	31.6	38.6	43.9	22.8	1.8	3.5	—
四中地区	43	51.2	60.5	53.5	51.2	60.5	18.6	65.1	34.9	60.5	41.9	41.9	2.3	—	—
五中地区	30	60.0	50.0	56.7	53.3	66.7	20.0	60.0	26.7	43.3	43.3	33.3	—	3.3	—
六中地区	33	69.7	72.7	57.6	42.4	45.5	21.2	66.7	48.5	57.6	48.5	39.4	3.0	3.0	—
都和地区	31	71.0	74.2	58.1	64.5	71.0	3.2	64.5	32.3	51.6	38.7	29.0	—	—	—
新治地区	17	64.7	76.5	58.8	64.7	47.1	11.8	76.5	58.8	82.4	52.9	29.4	—	—	—
わからない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問 29 子どもとの外出の際、困ること・困ったことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配である」の割合が 40.8%と最も高く、次いで「歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること」の割合が 36.2%、「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」の割合が 24.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「特に困ること・困ったことはない」の割合が増加しています。一方、「緑や広い歩道が少ない等、まちなみにゆとりとるおいがない」「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配である」の割合が減少しています。



【中学校区別】

中学校区別にみると、新治地区で「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」の割合が高くなっています。

単位：%

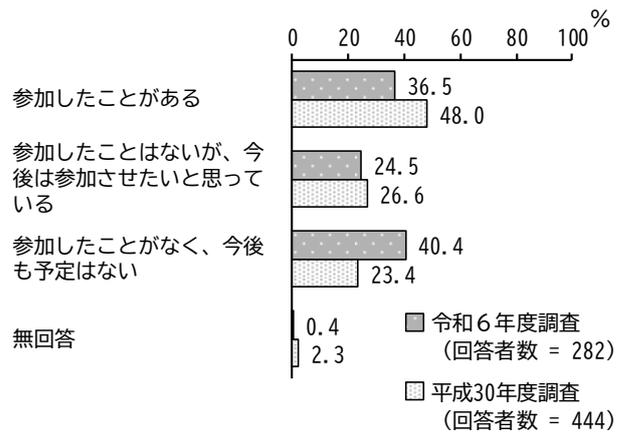
区分	回答者数(件)	歩道や信号がない 通りが多く、安全に 心配があること	小さな子どもとの 食事に配慮された 場所がないこと	買い物や用事の合 間の気分転換に、子 どもを遊ばせる場 所がないこと	緑や広い歩道が少 ない等、まちなみに ゆとりとつるおい がない	暗い通りや見通し のきかないところ が多く、子どもが 罪の被害にあわな いか心配である
全 体	282	36.2	9.2	24.8	18.1	40.8
一中地区	37	32.4	10.8	32.4	21.6	29.7
二中地区	33	39.4	6.1	24.2	21.2	45.5
三中地区	57	35.1	8.8	17.5	21.1	43.9
四中地区	43	41.9	9.3	25.6	18.6	46.5
五中地区	30	26.7	10.0	26.7	13.3	30.0
六中地区	33	39.4	6.1	18.2	24.2	42.4
都和地区	31	45.2	9.7	29.0	12.9	41.9
新治地区	17	17.6	17.6	35.3	—	47.1
わからない	—	—	—	—	—	—

区分	周囲の人が子ども 連れを迷惑そうに みること	荷物や子どもに手 を取らせて困って いる時に人手が少 ないこと	その他	特に困ること・困 たことはない	無回答
全 体	6.4	5.3	4.3	24.1	—
一中地区	13.5	5.4	2.7	24.3	—
二中地区	—	—	3.0	24.2	—
三中地区	3.5	3.5	10.5	24.6	—
四中地区	7.0	7.0	2.3	20.9	—
五中地区	3.3	3.3	—	33.3	—
六中地区	15.2	9.1	—	33.3	—
都和地区	6.5	12.9	6.5	9.7	—
新治地区	—	—	5.9	23.5	—
わからない	—	—	—	—	—

問 30 宛名のお子さんは、地域活動やグループ活動などに参加されたことはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「参加したことがなく、今後も予定はない」の割合が40.4%と最も高く、次いで「参加したことがある」の割合が36.5%、「参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている」の割合が24.5%となっています。

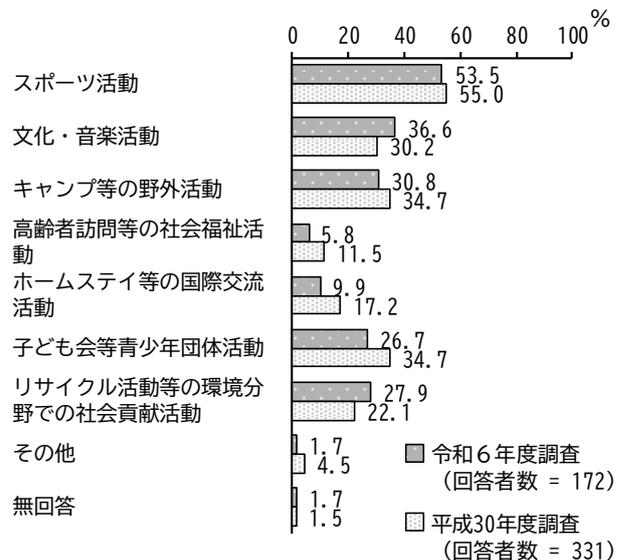
平成30年度調査と比較すると、「参加したことがなく、今後も予定はない」の割合が増加しています。一方、「参加したことがある」の割合が減少しています。



問 30-1 問 30 で「1. 参加したことがある」または「2. 参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている」を選んだ方にうかがいます。お子さんが参加したことがある、または今後参加させたい地域活動やグループ活動の種類は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「スポーツ活動」の割合が53.5%と最も高く、次いで「文化・音楽活動」の割合が36.6%、「キャンプ等の野外活動」の割合が30.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「文化・音楽活動」「リサイクル活動等の環境分野での社会貢献活動」の割合が増加しています。一方、「高齢者訪問等の社会福祉活動」「ホームステイ等の国際交流活動」「子ども会等青少年団体活動」の割合が減少しています。

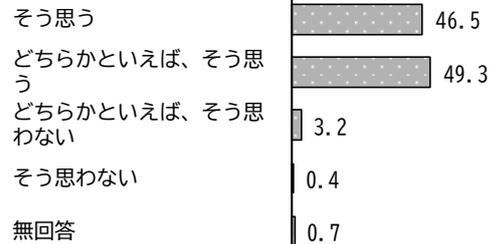


(10) 子どもの権利について

問31 「子どもは権利の主体である」と思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「どちらかといえば、そう思う」の割合が49.3%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が46.5%となっています。

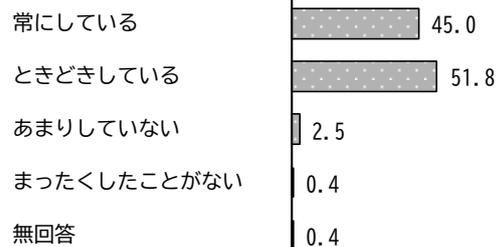
回答者数 = 282



問32 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。

「ときどきしている」の割合が51.8%と最も高く、次いで「常にしている」の割合が45.0%となっています。

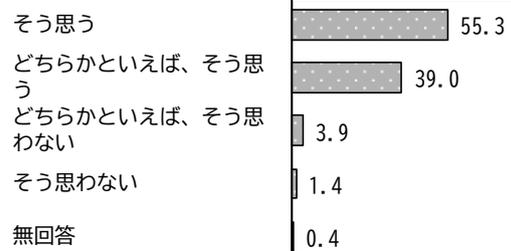
回答者数 = 282



問33 「学校は、子どもが安全に安心して過ごすことができる、子どもにとって大切な居場所の1つである」と思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「そう思う」の割合が55.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」の割合が39.0%となっています。

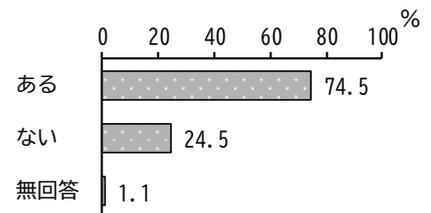
回答者数 = 282



問 34 宛名のお子さん自身に居場所（好きなことをして過ごせる場所、いつでも行ける場所）がありますか。

「ある」の割合が 74.5%、「ない」の割合が 24.5%となっています。

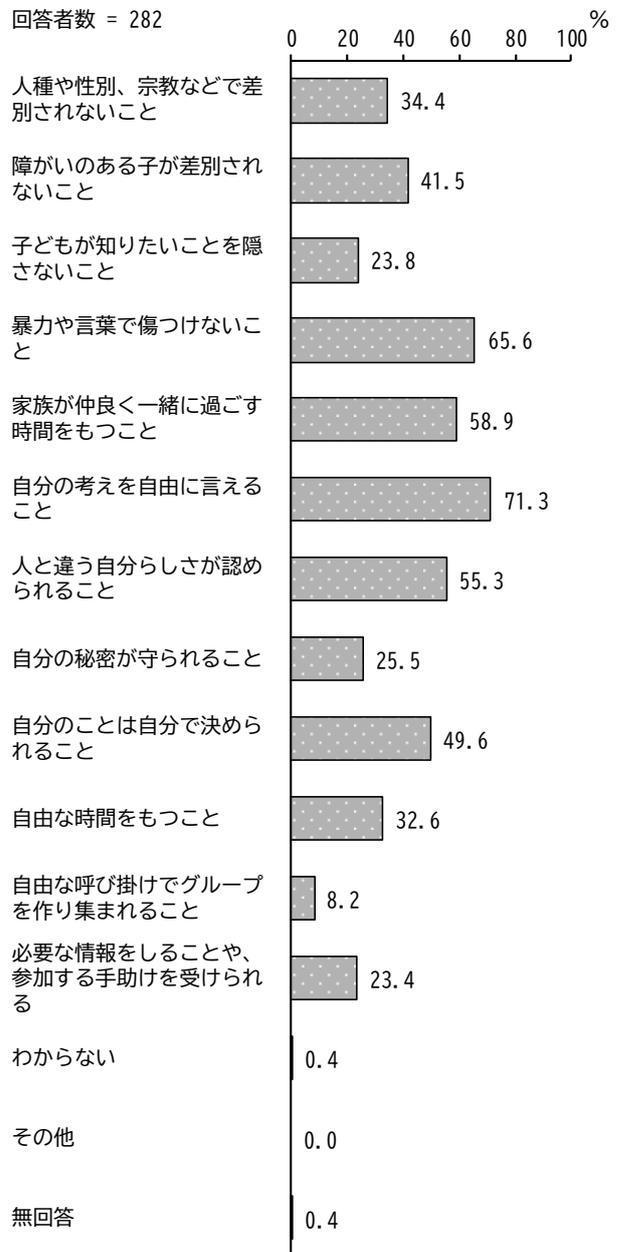
回答者数 = 282



問 35 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。

「自分の考えを自由に言えること」の割合が 71.3%と最も高く、次いで「暴力や言葉で傷つけないこと」の割合が 65.6%、「家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと」の割合が 58.9%となっています。

回答者数 = 282



Ⅲ 自由回答

1 就学前児童

【分類別の意見】

1 経済的支援

- ・ 子育て世帯の家賃補助。子育て世帯向けの広さ、部屋数がある賃貸。
- ・ 学校給食費が無償化されたので、いずれ幼稚園、保育園の給食費も無償化してほしい。
- ・ 1人目2人目3人目と家族が増えていく喜びは大きいですが、子供達の事を考えて、子供達との時間を優先する為に、母親は就労時間を短くしている。それにより満足はいく収入は得られない。家族が増えれば住む所を広くしたり車を所有する必要性が出てくる、物価高、諸々の出費はかさむけれど、それに伴う収入はなかなか増えない。子供達との時間も大切にしたいからと自分達で決めた事だが、このジレンマは子育てする上で大きな不安。現時点で、収支がマイナス、貯金どころでは無くなってきたので、母親の就労時間を増やさなければいけなくなってきた。子供達に申し訳なく思う。夫婦で就労と子育てと協力してできているが、やはりお互い疲れたり自分の時間がほしいなと思う。なので私達家族の場合は経済的な支援があると嬉しい。休日に子供達を地域の子育て支援センターにいて自分達の時間を確保するより、収入や金銭面の支援があれば就労では無く子供達との時間に当てたいから。あとは、子供が生まれたら投票権を持てるようにしたら、私は子供の為になる事を子供の代わりに投票しに行く。そしてついでに自分もきちんと投票に行く。子育てについての政策や意見がもっと広くされると思う。
- ・ 離婚をせざるをえない環境になり子供4人を育てている(高校、中学、小学、幼稚園の4名)学校に行っているだけでは学習が足りず塾に行かせるしかない。部活もお遊び程度になり満足できずクラブチームに入るしかなく行かせている。4月には、大金がかかり夏も夏休みでお金がかかり冬もクリスマスなどお正月などでかかる。昼も夜も働くしかなく子供との時間をとりたいたいが、中々できない。それが辛い。金銭面がとてつもなく大変。
- ・ 育児にかかる様々な費用の援助。補助金として配布すると、子供に使われない場合があるため、現物支給みたいな形が良いと思う。屋内プールがほしい。
- ・ 保育料や児童手当の収入による差を無くしてほしい。
- ・ 子育てにはお金がかかるが、妊娠、出産、育児で思うように働けないので、金銭的支援や働くための預け先の確保が必要だと思う。
- ・ 金銭面がやはり1番気にしているところ。0歳児からの保育料の無償化、オムツ等の育児用品に関する税金の軽減、社会保険料の軽減、支援金の拡充等、金銭面でもっと自治体から支援してもらうことは出来ないのか？土浦市が努力をしてくれているのは感じているが、同時にまだまだ不足しているとも感じている。よろしくお願ひしたい。
- ・ お金の面での不安があるため、教育費の無償化を希望する。
- ・ 明石市のように5つの無償化など、子育て世代が求めている支援を実現している市があるのだから是非土浦市でも実現してほしい。3人目が欲しくても金銭面の不安で諦めなければならない現状が悔しくてたまらない。求めているのは明石市のような子育て支援。本来国がやるべき内容なのは承知しているが、先駆けて実現できている自治体があるという事は土浦市でもできるのではないか。
- ・ お金に関してのみ。保育園への支払いの時にかぎってお金が無くて滞る時がある。服や日用品でお金がかかる。
- ・ 塾や習いごとの費用補助。

- ・ 子育て世帯の減税、給付等の金銭的なサポート。非課税世帯だけではなく全世帯。働きたくて共働きしてるわけではない。そりゃ許すなら3歳くらいまでは子供と家で過ごしたい。フルタイム共働きしている世帯にもそれなりの理由がある。賃貸住居のサポート。家賃が高くなければ子供がのびのび生活できる広いところに住みたい。高校生までの医療費の完全無償化。不妊治療、妊婦健診や出産の金銭的負担が大きすぎる。高齢者の医療費自己負担が少なく、少子化で子供産めというのに、妊娠出産費用は補助だけで全く足りず莫大なお金がかかるのか理解できない。出産後も育児には金がかかる。妊婦健診の補助費用の拡大、出産祝い金制度、入園入学時の補助金制度など設けるべき。子供を妊娠出産すればするほど金がかかる。そりゃ子供増えるわけない。仕事セーブしてお金かかって自分の時間無くなって…子供ほしいと思う人は減る一方だと思う。
- ・ 来年度から復帰予定だが、今年の1歳児保育と来年の1歳2歳児ダブル保育の保育費の負担が金銭的に心配。サポートがあると助かる。
- ・ フルタイム共働き世帯で納税しているが、所得制限などで不公平さを感じる低所得者、ひとり親など勿論支援が必要なのは理解できるが、親も現役世代で頼れないフルタイム家庭もあるので、フルタイム家庭ならではの支援も必要だと思う。
- ・ 兄弟の年齢と家の収入にかかわらず多子家庭へのお金の援助をお願いしたい。給食費の補助はとても助かっている。
- ・ 子育てだけではなく生活にお金がかかり、今後のことを、考えると不安が大きい。フルタイムで働くには、時間的、体力的にも厳しいのと、子供に関わる時間が少なくなってしまうので、扶養内のパートで働くのがいっぱいいっぱい。東京都のように2人目保育料無料化など、あればありがたかったなと思った。金銭的支援はとても助かる。給食費無料になったのはありがたかった。
- ・ 所得制限で児童手当が貰えない人にも手当がほしい。
- ・ 3歳児未満の保育料の負担軽減制度がほしい。1番お金がかかる時期でもあり、子供も保育園や幼稚園に入り免疫もなく風邪等も多く休みがちで、保育園や幼稚園に通ってても通える日数がすくない1歳から3歳児。子供が小さく保育士の手がかかるのは勿論だが、共働き世帯は3~5万円の保育料を毎月支払うとなると現在物価高もあり生活が厳しいと思う為、少しでも負担軽減制度があったりすると助かる。
- ・ 子供支援がほしい。金銭面で。
- ・ 生まれ月による児童手当の格差廃止3月生まれと4月生まれでは、支給される金額が大幅に異なり不公平学年で区切るのではなく、年齢で区切ってほしい。
- ・ 金銭的な支援があれば助かる。
- ・ 金銭面の子育て支援を手厚くしてほしい。高収世帯の子育て支援の制限の撤廃または緩和してほしい。
- ・ 1番はお金だと思う。何をしてもお金がかかり。おむつ、お尻拭き、ミルク、服、哺乳瓶、いくつあっても足りないし、依頼は成長とともに買い替えが必要で、特に小さい子どもは体の成長がはやいので短いスパンで買い替えが必要。そうすると親は自分のほしいものを我慢するしかない。買えない。となると心が満たされず育児をする上で育児放棄に繋がったりする。色々なサポート(家事代行サービスやメンタルケアなど)をしてもらえる制度はもちろんあったら嬉しいがそれをしてもらえたから育児がスムーズにできるかと言われれば違うと思う。少子化なのに自治体や国の制度は非課税世帯ばかり優遇する。税をおさめてる世帯も同じ子育てをしている世帯なのだから平等にされるべき。第〇子以降はいくらもらえるとかではなく、第一子からを大切にしてほしい。これから子どもを産みたいと思う人は少なくなると思う。学費免除もそう。もっとこどもに優しい国、環境であるべき。お金の援助、支援の制度があれば子育てがもっと充実する。土浦市民として「この街に住んでよかった、安心して子育てができる」と思えるような子供に優しい市になってくれたら嬉しい。

- ・ 出産費用の補助、布団やベットバウンサー、抱っこ紐など子どもにかかるお金の補助金、オムツやミルクなどの支給、学費の無償化、給食費の無償化。子供にかかるお金がほとんどなく、支給されるものが多ければもう1人産みたいと思う。産みたいと思う手当、家賃補助。
- ・ 子供にイライラしてしまうのも時間が無い、自分の休憩がないことが原因だと思うので、子供を預けられる場所があること、仕事をほどほどにして育児に重きをおける社会であること、お金の支援があることが重要かと思う。
- ・ これは政府に対する不満だが、子どもが生まれてから、少年扶養控除が今はない事を知った。その代わりに児童手当なのに所得制限があることも。私は所得制限に引っかかっている世帯ではないが、親の収入で子育て支援が差別されるのはおかしいと思う。収入を増やそうと頑張る気力が奪われる。それなら少年扶養控除に戻すべきだし、異次元の少子化対策というなら少年扶養控除プラス児童手当くらいの手厚い支援がないと少子化は進む一方かと思う。的外れな支援ばかりで、子育て支援金という名目でまた子育て世帯から奪って中抜きする事ばかり。本当に還元されるかも定かではない支援、子育て世帯でも望んでません。振込や通知など手間がかかる児童手当も税金の無駄遣いばかりの子ども家庭庁も辞めたら良いと思う。これが日本のトップ達が本気で考えた異次元の少子化対策なら絶望すら感じる。出生率が答えかと思う。今の日本で2人目を産みたいと思えない。でも政府が変われば産みたいと思う人は大勢いると思うので、なんとか変わってほしい。
- ・ 金銭的な援助やサービスを充実させてほしい。出産費用や保育料、住宅手当等。
- ・ 子ども手当等の拡充、及び公園の遊具や保育施設も拡充してもらえると助かる。
- ・ 少子化と言うといつも産む前や乳幼児を中心に子供を産むことに対しての話が多く聞かれるが、実際子育てしてみると育てからの不安がとても多い。なので、やはり補助金等もう少し増やして貰ったり、大学への援助等の整備をもっとしてほしい。世の中物価高なのは分かっているが、そもそも賃金上げろと言うけど、会社だって厳しいし、インボイスの為にどんどん負担も増えていて、これ以上は会社が潰れる。なので、そういう事も踏まえて会社でなく、国や県や市で補償や援助をしてほしい。子育てはお金がかかるのは当たり前だし、それを承知で産んだつもり。それでも日々成長するにつれ経済的不安が大きくなっていくのを感じる。乳幼児がお金がかかるのはもちろんの事、大きくなればなるなりにお金がかかる。食欲も旺盛になり、他者との繋がりも増え、この先の事を考え興味を持つものに習い事をしてみたり、物を買ってみたり。学校のジャージだってそれなりにする。最低限の収入があれば生きていく事は可能。でもそれで、子供にどこまで我慢させるかとなると、十分な子育てを出来るとは思えず、子供達に申し訳なく思う。だからこそ、少しでも良い環境になる為に働いても、そのせいで疲れた中で子供とどれだけ向き合ってるのか、自問自答の毎日。子供に我慢させたくはないけど貯金を諦め、自分達の老後を諦め、自分らの身を削って自分を犠牲にするのかと、様々な考えが浮かび、この先に不安を感じる事もよくある。贅沢かもしれないが、最低限の生活の補償とは衣食住だけでなく、子供にしてあげられる習い事やコミュニケーションツール等の全てを諦めなくて良い環境までの補償をしてほしい。少子化には様々な理由があると思うが、結局はお金なのかなど。心に余裕がなくても、シッターさんを雇うにも、習い事するにも、結局は経済面を気にしながらでない様々なサービスも受けられない。たくさんの子供がほしいと思っても、この先の子供や自分達を考えた時、子供を望むのは厳しい。仕事を時短にしたりパートにすれば収入だって減る。そうすると子供達にどれだけの事をしてあげられるか、その為にはどうすれば良いか、もう少し余裕を持って子育てできる環境になればと思う。長文で申し訳ない。少しでもこの先親になる方や今後育てて行く方達の負担が少なく、楽しく子育てができる環境になる事を願っている。子育てに対して色々な視点からの環境作りへのご尽力を何卒宜しく。
- ・ 子供が産まれれば、経済的にも困難になることが多いので働かなくてはいけないのはわかるが、常勤フルタイムではたらくと、子供との時間がかかなり限られ少なくなる。1日の中で子供たちは、家にいるより保育園で過ごす時間のほうがはるかに長いのは、可哀想だし、家族と過ごせないなんておかしいと思う。そもそも子育てをしていて、大学までと学費を考えるとどんなに働いても足りないと思う。すべてを無償化にすることは望んでいないが、もう少し学費を抑えられるよう何か対策がほしい。
- ・ 他にも給食費無料など、経済的にも支援してくれていて素晴らしいと思う。

- ・ 保育料が高く経済的負担はかなり大きい。ひとり親世帯でなくても、家計が苦しい世帯も多くある。色々な家庭の人達の育児に関する経済的負担が減る対策をしていただくと助かる人達はたくさんいると思う。
- ・ 子育てしていく上で、物価が高くなり子どもにかかるお金も増えるので、子どもに関しての支援金が増えればと思う(子ども手当など)
- ・ 他県や他市での子育てに対する助成金や環境整備などを見習ってほしい。
- ・ 子供ひとりでお留守番させる時のみまもりカメラ等の無料貸出しや購入資金の援助などがあったら嬉しい。

2 医療費支援・医療

- ・ 都内のように、子育て世帯に支援金や、医療費控除など見習ってほしいなと思う。
- ・ また、土浦市内は小児科、小児歯科、小児眼科、小児科耳鼻科等が少ないように感じる。土浦市内にないのであれば、近隣市町村(つくば市や阿見町など)に頼れる施設があるかどうか知れるとありがたい。自治体で横のつながりを作ってほしい。
- ・ ひろた子供クリニックがかかりつけ医だが、ネットで予約の前に、オープン前に並んでいる人でいっぱいになったら、ネット予約は終了してしまう。そうならないように1時間以上前に、熱出した子供と、寒さに震えながら並んでいる。改善してほしい。
- ・ 小児科、産科のある産婦人科の増加医療費現状各医療機関に 600 円ずつかかるが、減額するか医療機関の種類にかかわらず 600 円というようにしてほしい。必然的に全体的に診てくれる小児科に集中し、医療を必要な時に受けられないことがある。
- ・ 他県などから来た人でも分かりやすい市からの支援一覧表があれば良いなと思った。子供への支援金と医療費免除などの支援がどこの市よりもあつくなれば子供は増え土浦の人口も増えると思う。ゴミ袋もう少し安くしてほしい。
- ・ 医療費を無償にしてほしい。
- ・ 医療費の無償化。
- ・ すぐにかかれる小児科がほしい。今は、熱がでてでも、ネット予約がいっぱいになったり、夫が仕事が休みでないと朝から順番とりにならぶことができないため、診てもらえないときがある。気軽に病院にいけないのがとてもつらい。
- ・ 0歳など医療費1回600円は高く感じる。他の市では18歳まで無料などがあるので、未就学児までは医療費無料などしてほしい。
- ・ 医療費のまるふくが高い。子供は体調崩すことが多いのに月の医療費が高い。他市や他県に比べても高いばかりで助成が少ない。インフルや予防接種の助成金が安い。

3 病児保育、病気の時

- ・ 病児保育施設も充実しておらず、土浦市は子育てに力をいれているとは感じられない。第一子、第二子を地方で出産し、第三子を土浦市の産院で出産したが、第三子の出産費用が非常に高く驚いた。産院が少ない上に費用も高いので、これ以上土浦市で産もうとは思わない。
- ・ 病児保育や託児サービスを拡充してほしい。
- ・ 病児保育を拡充してほしい。

4 保育園、幼稚園、こども園

- ・ 保育園に預けると役員が定期的に回ってくるが負担になる、外部委託が出来るといいと思った。
- ・ 夜勤勤務でも保育園やこども園に預けられる環境がほしい。市役所の方に日中子供見れるよねってなり、保育園等に預けられない人もいたみたいなので、できたらしていただきたい。わがままな意見だがどうぞよろしく。
- ・ 2号認定ばかりが優遇されている。2号や新2号の就労条件を緩和してほしい。例えば、月に50時間など。新2号になれても、あずけられない日が年に30日程あり、近くに祖父母等手助けがない限りは、とてもフルタイムでは働けない。入園式、卒園式、入学式、卒業式等、兄弟の行事でも1号は預かってもらえない。
- ・ 兵庫県の加西市は延長保育が1時間50円らしいので、土浦市も頑張ってほしい。ついでに保育料は0歳から無料らしい。今もやってると思う。
- ・ 第二子の保育料の見直しをしてくれたら嬉しい。できれば無償化！もしくは第一子の年齢に関係なく半額以下にしてもらえると、もう一人育てようかなと前向きになれる。
- ・ 保育士さんの給料をもっとあげてほしい。
- ・ 育休退園制度をなくしてほしい。今後2人目を希望しているが、その時期などについてとても悩んだり不安に思っている。退園になって上の子も家庭保育になることが嫌なのではなく、一度退園になったらまた育休明けのときに保育所申込をしなくてはならず、希望者が多く誰もが保育所に通えるわけではない現状で、兄弟同じ園に入れるのか、前と同じ園に入れるのかといったことに不安を感じている。育休で退園になったとしても、次兄弟で保育所申込をした際に希望の園に兄弟揃って確実に入れるのなら文句はない。
- ・ あと、荒川沖エリアに保育所が足りない。認定こども園など整備してほしい。
- ・ 私の職場が石岡にある為、同じ石岡の認定子ども園と一緒に通っている。朝8時から18時まで仕事していることもあり、土浦市に帰って来るのはだいたい19時くらい、仕事中は携帯電話禁止の為、役所に電話も出来ない。急用の際は使用出来るがたいていのことではでき兼ねるため、簡単に電話などは出来ない。日々閉鎖的な生活を送っている気がする。
- ・ 保育所等の発熱の基準を38度にしてほしい。元々平熱が高く37.5をすぐ超えてしまい呼び出され帰宅すると平熱に下がっていることが何度もあった。
- ・ 保育園誰でも制度を導入するなら、保育士の高待遇や施設の教育を徹底してほしい。ニュースでは人手不足や悪待遇からキャパオーバー、虐待につながっている。
- ・ 保育園等をスムーズに入ることが出来るようになってほしい、料金ももう少し安くなってくると助かる。
- ・ 育休復帰しなければ上の子退園制度なんて辞めた方がいい。
- ・ 周辺の自治体に比べ、保育料が安価であることに感謝する。他方、仕事をしながらの子育てすることへの負担も感じている。制度やサポートが、両親の職場が家の近くにあることが前提であるように感じる。職場が保育園の近くにあるわけではない。通勤時間を考えると18時30分に迎えに行くことが限界。
- ・ 兄弟がいたら、保育料を安くするとか、バス代を1人分にするとか。何かしら補助があると助かる。幼稚園、小学校、中学校、高校等の制服やジャージなど、安く譲り合えるコミュニティがほしい。年子や双子など、お下がりが使えないので辛い。市役所のサイトで抽選販売をするとか。とにかく子どもが多いと削れる費用は削りたい。市役所主体でバザーなどを実施し、小物等を安く手に入れられるのもアリかな。広い公園で情報も共有できるし、やすき物も手に入るし！
- ・ 自宅周辺に保育所を増やす、選択ができる。

- ・ 働きながら子供を産むにあたって、二人目以降が保育園に入れる見通しが立つこと、育休期間との兼ね合いで一人目が保育園から退園させられるかもしれないという不安を覚えずに済むことが必要だと思う。今の制度だと、土浦市なら一人目はいつ産んでも大丈夫だと思うが、二人目以降で早生まれだと、上の子が保育園を出されて仕事が続けられないかもしれないという不安があり、家族計画に制約が出る。だれでも通園できることも大切だが、二人目以降の出産や育休を理由に上の子を退園させないという確約が先ではないかと考える。(もっと育休を取りたいわけではなくて、たとえば二人目が3月に産まれたら翌月には入園できず、年次途中で入園できるかはそのときにならないと分からず、仕方なく次の4月を待ったら上の子が退園させられるのはおかしい、という話)
- ・ 認可外保育園に対する補助金の拡充(保護者負担の軽減)認可保育園の多子世帯は2人目保育料半額など措置があるが、認可外保育園はなく負担料が高い。コロナ禍の自主休業中は月に1/3も出席していないのに満額支払いがあり大変だった。
- ・ 保育園等での、子供の食事に配慮があるとよい。未就学児に大人のお菓子を与えたり、体によくない食事が与えられることがないと安心して預けやすい。
- ・ 公立の保育園について、考え方が古く、遅れている。私立の保育園を視察し見習った方が良いと感じる。家から近いという理由で、一年間利用したが、二度と公立の保育園は選ばないと思う。
- ・ 土浦市ならびに保育園で働かれている方が、とても親身に、また崇高な意識を持って子育てに接してくれているのはとても肌で感じ、感謝に耐えない。我々夫婦が共に就労できているのは、皆様方のおかげと言っても過言ではない。
- ・ 待機児童がまだいる、実家が近くても介護などで頼れない方がいるのに保育園に入園できないこと。
- ・ 保育園によって設備や対応が違いすぎるとおもった。通う保育園によってかかる費用も変わってくるので、一律で居てほしいと思う。転入者は本当に分からない。また、制服や持ち物など統制は辞めてほしい。
- ・ 幼稚園の行事が土日の場合、下の子(未就園児)を預かってもらえる場がなくて困っている。費用の面でももっと気軽に一時保育が頼める場所が増えるといい。
- ・ 母親の職場復帰の際に、保育園への入園を検討しているが、詳しいことが分からず、どこに相談をしたらよいのか困っている。窓口で相談できるのであれば、ぜひ相談させていただきたい。また、市報等でお知らせいただけると嬉しい。
- ・ 周りの市で全額補助されている予防注射が土浦はされていないので不公平に感じる。わざわざ遠くの保育園に空いてるからという理由で働いている場所から逆の場所には応募したくない。高齢の祖父母に見てもらえるわけもないが、近くに住んでいるだけで周りの人よりも保育園に入りやすくなるのは疑問でしかない。
- ・ 保育所の設備が老朽化しているため、改善してほしい。
- ・ 2人目から保育料を無償にしてほしい。2人目が欲しくともまた保育料を払うと思うと踏み出せないでいる。
- ・ 幼稚園、保育園等で、先生や保健師さん等の講話を聞く機会がほしい。
- ・ 通園が始まってからは、保育士からもっと早く迎えにこれないのかと聞かれたり、すでに一度受診しているにもかかわらず、鼻水がでているので仕事を休んだり遅刻早退などして病院に連れて行くことを求められ、子供が風邪をひくたびに精神的に追い詰められた。感染を抑えるために園も対応せざるを得ないのは理解できるが、保育士への待遇も向上させ、仕事をしている親が子供を預けやすい環境を整えてほしい。
- ・ 保育所に年度途中でも入所できるように保育所の整備をしてほしい。
- ・ 保育所に白米だけ持参してるが、米も保育所で出してほしい。
- ・ 幼稚園に関する情報集めがとても大変だった。数年前に土浦に引っ越してきて、知り合いも土地勘もない状態で、幼稚園を探し、見学し、願書を出すという作業は、子育てをしながらやるには重労働だった。幼稚園などのホームページやパンフレットなどを案内してもらえたら、もっと幅広く色々な園を比較できたのでは?と考えることがある。

- ・ 保育士さんの給料を上げてあげてほしい。保育士さんのモチベーションもパフォーマンスもあがるだろうし、人も集まると思う。家で自分の子供達見てるだけで大変だと思うのに、保育園で何十人も一気に見てくれて、色んなことを体験させてくれる先生達には感謝だし本当に凄いことをやっているなど思っているけど、その割に保育士の給料は良くないと聞く。給料の割に仕事量も大変だから辞める人も多いと聞くので、お給料が少しでも上がれば色んな面でいいのかなと思う。
- ・ 幼稚園など教育施設はともかく、親が希望したらきょうだいが「同時に」同じ保育園に通えるようにしてほしい。一次申込みで不備なく申込んだにも関わらず、きょうだいが別々の保育園になるとするのは都市部でもないのにありえないと思う。
- ・ 他にも一時預かり保育の空きが少ないこと。世間的に保育士不足だから仕方のないことだが、電話してもなかなか空きがなく利用できない。また我が家は上の子の産休→育休中に下の子妊娠→産休→育休なので赤ちゃんがいる中、上の子を見ないといけないため、その場合の保育入園資格がほしかったと思う。国が特に入れていない制度でも市では適用できるようになってほしかった。結局一時預かり保育は年間で20日という少ない期間なので、1年間週2日だけでも預けられる制度があれば良かったと思う。
- ・ 行政や事業所のサービスが受けられるおかげで仕事と子育てを両立することができ、生活していけるので、感謝している。保育では預かってもらえるだけでありがたいが、兄はそのまま習い事ができる保育園を利用できたので、教育によかったと思っている。
- ・ 公立保育所も主食を出してほしい。
- ・ 保育園利用だが、子供の1歳の誕生日月に入所を希望しても、年度初めで枠が埋まってしまい結局育休を延長し次の年度になるのを待つことになってしまう現状を少しでも改善してもらえたら嬉しく思う。
- ・ 登録制のアプリなどで保育園、幼稚園の保護者や保育士さんによる口コミの共有、市内の子育て情報（公園、買い物など）を手軽に発信できる場がほしい。保育園（幼稚園）選びは見学に行く以外の選択肢はなく、口コミサイトなどもあるが、情報が古いものがほとんどで、入園にあたっての情報収集がとても困難だった。もっとリアルで最新の内容が分かれば良いのにと強く感じた。
- ・ 働いていないと保育園に入れてもらえないということは、母親が社会から切り離されて孤立しているということを理解してほしい。
- ・ 保育料や、まる福などの更なる支援があるととても助かる。
- ・ 無料で体育館が使える時があるといい。幼稚園の預かりをあと30分延ばしてほしい。

5 一時預かり・キッズルーム・土日・長期休暇預かり

- ・ 子連れだと美容室や病院に自由に行けない（静かにしなければならない雰囲気、大人しく待てない子供を連れて行くのは周りの目が気になり行けない）ので、簡単に預けられるサービス、又は美容室や病院にキッズルームが併設されると有り難い。
- ・ 市役所で子供の手続きを、本館で済ませられるようにしてほしい。移動が大変。それが、子どもランドで面倒見てもらえる则と手続き中楽。
- ・ 現在子供達は地域の施設に通っており、安心して預けられている。また自分自身も保育士である事から、子育ての知識が元々あったため、子育てに苦労した事があまりないが、知識の全くない親が多く、子育てに不安を感じたら、困っている人が多い印象。また共働きから子どもと過ごす時間が少ない傾向である為、子どもと過ごせるリフレッシュデーのようなものがあつたらいい。
- ・ 土日に気軽に安心して預かってもらえる施設があるとありがたい。
- ・ 学級閉鎖などになった時に元気な子供を預かってくれるところがあると嬉しい。また、多子世帯の補助に関して、兄弟の年齢差があるために支援が受けられない事が多々あるため、そこを見直してほしい。

- ・ 就労していない土日祝に預けられるようにしてほしい。仕事が終われば家事育児が待っており全く休みがない。
- ・ また気軽に預けることができる施設があると助かる。よろしく。
- ・ 小学校に入学しても土曜日毎週預けられる施設がほしい。

6 小・中学校

- ・ 学区があるため小学校を選択できない。もし荒れている小学校を選択するしかない場合、子供がきちんと学習できるか心配になる。
- ・ 例えばマスクの着用について、今でも個人の自由が尊重されていない。うちの子どもたちは今でも学校で同級生に言われることがあり、個人の意志が尊重されていないと感じるコロナ禍では、学校行事に参加できる保護者の人数に制限がかかり、下の兄弟も禁止され、同伴できないことがあり、預け先がない我が家では、学校行事に行くことができなかったことがたびたびあった。親戚などに預けることができないにも関わらず、そのような対応にした学校や市に対して憤りを感じた。そのようなときに週末や祝日も預けることができるシステムはコロナ禍でなくても必要だと感じる。
- ・ 小学校や中学校の情報を用意に仕入れられるようにしてほしい。
- ・ これは子供が小学校に上がった時も同じ。つくば市では民間学童が導入されており、19時まで預ける選択肢がある。しかし土浦市にはなく、18時30分までしかないと聞いている。これは、子供が小学校になったら仕事を減らすか変えるように言われているのと同じことで、生産性が上がらない。土浦市でも19時まで預けることができることを選ぶことが出来るようになってほしい。もしそのような制度があるのなら、もっと周知した方が良いと思う。
- ・ PTA等の親の活動について、今は専業主婦が少なく親も共働きが多くなっている。活動も大きく制限されるので、まず第一に会合はオンライン主体を望む。土浦市でもコロナの影響から、教育現場や保育現場での集団教育の機会が減っているかと思う。その中で、失われつつある歯ブラシ指導等の口腔保健教育や、学校保健会を開催して幼保から義務教育学校の期間における児童だけではなく保護者への学校医師、歯科医師、薬剤師の講和、保健教育の機会を復活していただくと良いかと思う。
- ・ 中学校が遠く道も狭いので心配。PTAやその他の活動に参加するまで何をするのか分からず、仕事をしながらできるのか不安。参加する前にどんな活動をどれくらいの頻度でするのが教えてもらえれば少しは安心できると思う。スクールバスがあると嬉しい。算数セットはそんなに使うものではないので学校が用意して生徒がレンタル料をお支払いした方がよいと思う。全部に名前書くのが大変。近所でもそんな話が出ていた。
- ・ おおつ野地区の小学校が新しくなる予定であるが、プールや体育館などを市民も使えるようにするなどの環境を増やしてほしい。土浦一高の定員が少なくなった分、他の学校などでも公立学校の定員を増やすなどバランスをとってほしい。
- ・ 六中地区の子どもが少なく登校班の回数が多いことや、登校班の子どもがいない心配。
- ・ 学校については小1の壁と言われている通り、低学年が心配。小学校になると職場の短時間勤務などの制度も使えなくなり、育児と仕事の両立が難しくなる。長期休暇も低学年の間は毎日学童で良いのか悩みどころ(祖母の家は少し遠い)高学年になると学童は行かないイメージだが、ずっと家にいるのも良くないし、1人で出かけさせるのも心配。理想を言えば子供が中学になるくらいまでは働かない又は子供が学校の間だけ働く(長期休みは休み又はリモート)、もしくはずっとリモートで仕事などで生活が成り立てば良いと思う。
- ・ 給食費は無償化しなくて良いので、有機野菜や地元の農家応援の食材調達をしてほしい。
- ・ 小学生の子どもの場合。夏休みなど、学童利用するほど、毎日学校へ預ける必要はないが、たまに、お昼を挟んで児童館で遊んだり勉強してほしい時があるので、児童館の施設外の見えるところで、食事ができるように見守ってほしい。

- ・ 中学の制服もセーラーではなくブラザーにしたらいいと思う。最近は気温の高い日が多いので体温調整できるよう、脱着のしやすいブラザーにしたほうがいいと思う。
- ・ ここで意見することか分からないが、小学校の運動会が今だいぶ縮小されて行われているようで、確かに以前のように丸丸一日かけてやる必要はないと思うが、もう少し運動会らしいことをさせてあげてほしいと思う。というのもこれは聞いた話なのだが、上の子が進学予定の小学校は競技もほんとにちょっとしたものしかやらず、運動会特有の飾りもなくただの授業参観のようで寂しいとのことだった。これは学校によって差もあるみたいで、せめて他の学校とある程度足並みをそろえた方がいいのではないかと。確かに先生方の負担も増えるところではあると思うが、運動会は子どもの楽しみでもあると思うのでそこも汲み取ってあげてほしい。こういう状況を見るとコロナ禍の後に生まれた子が可哀想だなと思ってしまう。
- ・ PTAは本当になくなってほしい。親にこれ以上負担を増やさないでほしい。役員決めや旗振り担当者の欠席などで人間関係もぎくしゃくしていいことなんてない。
- ・ 制服代やジャージ代などの補助があると助かる。

7 ランドセル

- ・ ランドセルだが、もう少し色を選べる自由があってもいいと思う。子供の権利と先ほどのアンケートで言っていたのに、選べるものがないと言うのはどうかと思う。選ぶものがないから子供の権利を無視してると思う。リュックサックも雨の中学校に行くのがわかってるのになぜ撥水なしなのか不思議でならない。
- ・ 小学校のランドセルのカラーバリエーションを増やしたり、おしゃれなブラウン系で統一するのも良いと思った。
- ・ 土浦市のランドセル事業が非常に残念。阿見町ではカラフルで耐久性もありそうな普通のランドセルが支給されるのに、土浦市は昔からの色のみ、見た目もランドセルか？と疑うくらい言葉は悪いが、ちゃっつい見た目である。特に男の子は6年間使い続けられるか心配なうえ、修理も有料とは。子供が気に入って大切に使えるよう見た目は大事だと思う。後手の土浦市。もっと先手をいってほしい。
- ・ 土浦市からランドセルを無料で頂いたり、昨年からは小中学生給食無料になったり子育て支援の充実を実感しておりとても感謝している。
- ・ 育児をしていく上で生きにくい。ランドセル配布もいいが、子が選びたい時に配布の物は不要になる事もある為、他に必要なものをクーポンなどにしてほしい。
- ・ ランドセル配布。
- ・ 小学校入学の際にランドセルが支給されるのはありがたいが、色は男女ではっきり分かれるような赤黒しか選べず、黄色は幼稚園生みたいかな？と思う。もう少し、性別を問わない色（紺色など）を取り入れてほしい。
- ・ 小学校入学時にランドセルを支給してもらえるのはとてもありがたい。ただ、入学式に配布され、翌日から背負って登校しなければならない。初めて会う上級生と緊張しながら学校へと向かうだけでも、親子ともに神経質になるので、せめてランドセルくらいは事前に背負う練習ができると思う。
- ・ ランドセル支給してもらえるので助かるが、デザインが昭和。いまは色も選択できる時代なのに軽量はいいと思うがデザインが古く、色も赤、黒のみでいまの時代にあってない。
- ・ 小学生に無料配布しているランドセルの軽量化、タブレット端末の軽量化。
- ・ ランドセルの色の種類が少な過ぎる。

- ・ 土浦市はランドセル贈呈だが、差別化をなくすような時代なのに色がはっきり別れた赤、黒、黄色しか選べないのが残念。子供達は期待を胸に小学校にあがるのに3種類からしか選べないのは可哀想だと思う。現代のニーズに合わせて選べる色の選択肢を増やすなどしてほしい。又はランドセル贈呈をやめ、その分子育ての補助金や子育て世帯へのクーポン、又はランドセルの補助金に回し個人で自由に買えるようにしてほしい。今の時代ランドセルを背負って写真屋さんにとりに行くなどの親御さんも多いので色の幅が少ないという声も保護者の中にはいるようだ。
- ・ ランドセルも阿見町のランドセルの様に普通のランドセルが良い。

8 学童・児童クラブ

- ・ 学童保育お願いしたい。
- ・ 両親共働きが増えている中、学童のみで放課後の児童の居場所を確保するのは限界があると思う。自治体主催の習い事や学習室の開放(施設管理者を常駐)など、他にも選択肢があるといいと思う。学校は好きだけれど学童に馴染めない、学童が苦痛だという声もよく聞くので、親が就労を継続できるよう、学童以外の居場所づくりを自治体に期待したい。
- ・ 児童クラブの選択肢が無いのが困る。選べないが故に、質の悪い児童クラブに入所させざるをえない。何ヶ所か選べるようにし、質の向上や習い事などの併設。長期利用の際には弁当の有無などのサービスがほしい。基本、就労の家庭が利用するのが多いのでこのようなオプション的な物があると有難い。
- ・ 学校から学童付きの保育園まで送ってもらえたら下の子とお迎えが一ヶ所ですむ。学童でも夏休み期間等、給食を用意してほしい。
- ・ 放課後児童クラブが18時までしかやっていないのは、小学生になった途端仕事を大きく変えざるをえない。保育園のときと同じようにはいなくて大変。放課後デイサービスは増えた印象だが、民間の児童クラブは中学校区にはなく、仕方なく学校の児童クラブに通わせるしかない。自宅に一人で帰宅させればかわいそうという声もありとても働きづらい。共働き世帯が増える中、放課後安心して過ごせる場所があると安心して働ける。小学校入学時に働き方を見直さなければならず不安が大きいため、すべての子供と親が安心して、生活できる、働ける環境になるとうれしい。
- ・ 共働きでも安心して子育てできる環境がほしい(学童の充実など)
- ・ また、子供達の習い事を学童に預けている間に出来たりしたらいいなと思う。つくば市の学童では、学童に預けている時に英語を教えてくれたりすると聞いた。そういうのがあるといいなと思う。他にも長期休みの学童のお弁当問題も考えてほしい。せめておかずだけでも一食100円から200円くらいで提供してほしい。なかにはお弁当は作りたいという方も居ると思うので、希望者のみとかの対応で考えてほしい。学童になると保育園よりも預けられる時間が減るので、残業も出来なかつたりするので保育園と同様の時間まで預けられるようにしてほしい。
- ・ 学童保育が第一土曜のみの運営資金と伺っている。小学校に入学後、短時間勤務ではなくなり土曜も就労の職種のため可能であれば毎土曜に運営して頂けると働きやすいかなと思う。
- ・ ぜひ、長期休暇中の学童の昼食提供は市としても検討頂きたい。お弁当が頼めるととても助かる。学童が溢れているなら、市としても民間学童設立の補助があってもよいのかな?と思った。ひたちなか市やつくば市などはお昼が出て、習い事もでき夜まで見てくれるような学童(小学校までお迎えあり)がたくさんあるのに、土浦市はなかなかない。民間学童が増えてもよいのに…と思った。

9 児童館・支援センター

- ・ 子育て支援センターではママ友グループができてしまっているので後からは入りにくい。
- ・ 小学生が人の目が安全に遊べる、ポプラ児童館のような場所が各学区にあると嬉しい。
- ・ 昨年度(保育園入園前)は子育て支援センターや児童館を毎日のように利用していた。何処の施設の先生方も利用する度にいつも声をかけて下さり、親子共々楽しく安心して過ごせる場だった。また、他のママとの交流の場でもあった。
- ・ おおつ野町内に子ども支援センターのような施設ができてほしい。下の子が生まれてから行ってみたいとずっと思っているけど、バスしか行く方法がないしバスの時間など気にするしかないから行きたくても行けない。町内にあれば悪天候でない限り徒歩でお散歩ついとして行けるのでいつかできると嬉しい。
- ・ 駅周辺に、児童館がほしい。
- ・ 児童館が近くにほしかった。荒川沖駅周辺にはない。赤ちゃんの時期がコロナだったので、児童館等も予約制で利用するハードルが高かった。図書館や図書館のイベントはコロナの時期でもとても利用しやすく、満足だった。
- ・ 児童館などが近くになく、あると嬉しい。
- ・ 二中地区には児童館がなく、子どもが集まる公園も少ない。子ども同士で、雨天でも遊べる場がほしい。
- ・ 児童館の先生方にもっと話を聞いてもらったり、助言をしていただきたい。
- ・ 児童館の建物が古すぎる、遊具、おもちゃも古くて壊れているものが多すぎる。
- ・ まず、土浦市は子育てしやすいのと子育てに対して真剣に取り組まれていると感じている。支援センターや児童館は他の近隣の市と比べ充実していて、イベントの内容や製作活動もクオリティが高く、周りの他の市町村に住んでいる友達が羨むほど。
- ・ 児童館の職員がたくさんいるが、イベント時以外のときは遊んでくれるわけではなく、職員室のようなところで作業をしている。他の市の児童館では遊んでくれることも多く、土浦市内の児童館が遠いため、イベント時以外には利用したいと思えない。予約制のイベントが多いので、気軽に立ち寄れる雰囲気ではあまりない印象。

10 子育て支援・ファミリーサポート

- ・ 子育てに関しての支援を増やしてほしい。引っ越し前の江戸川区などはサービスが良かった。出産祝いで東京都は10万分のプレゼントや、ベビーシッター144時間分無料とか。ベビーシッターは本当に助かった。
- ・ 土浦市の子育て支援がより良くなることを期待している！
- ・ また新生児期のオムツ代やミルク代などの助成があたりするともっと育てやすいのではないかなと思う。
- ・ ミルクやおむつの値段が高くなり、出費が多くなるのでおむつやミルクの引換券とかあるといいなと思う。
- ・ シングルマザーになり地元の土浦市に戻ってきた。住民規模の違いは承知の上だが、子育て支援については阿見町の方が良かったと思ってしまった。地元で実家に助けてもらいながら子育てをと思っていたが、実家の私の祖父母の高齢化に伴う問題等で思うようにサポートが得られず、働きながら育てることの難しさを感じる。帰り際に仕事が立て込み、月に一度だけ時間外保育の時間になってしまった際に3千円の利用料を支払うことも驚いた。仕事をしているから預けているのに、その根本が理解されていないと感じることも多々あるが、保育園を選べる環境でもなく、不満を感じつつも預かってもらえることがありがたいと思っている。これから小学生になり放課後の過ごし方など不安は多々あるが、働きながら子供を育てる家庭への負担が少しでも減る支援が設けられることを切に願う。

- ・ 教育保育等に関わることに、所得制限をもうけることをしないでほしい。これらに関わることには、皆平等にサービスを受けられるようにした方がいい。
- ・ 土浦市の子育てに環境に関して不満に思ったことはなく、とても満足している。いつもありがとう。これからも子供達の為により良い支援をして頂けるよう、よろしく。
- ・ 子育てをしている親に対し、虐待の疑惑ばかりが向けられる。活発な子どもが暮らしにくい街である。防音対策のためにマンションにはカーペットにリフォームする援助があったら良い。嫌がらせで虐待通報することは犯罪だと啓発してほしい。戸建てに住む補助がほしい。
- ・ ただ、仕方がないことだと承知しているが、ファミリーサポートや一時預かり、病児保育などの制度を使用しても、就労に大きく障りがある状態で、一時預かりについては年間 20 日までではリフレッシュ目的で使えるはずなのに、そのような利用では使えない印象だった。もし市からの補助金で運営しているのならば、実際の利用目的の実績を調査すべきと思う。加えて、一時預かりの延長として、子だけの宿泊を伴った一時預かり制度も設けてほしいと思う。夫婦が病気になったり、台風などの災害時は泊まりで業務をすることも想定されるため、もしそのようなになった場合は、一歳の子供 1 人で家に留守番させる、または災害現場に子連れで出勤することになってしまう。実際にそうなるのはまさに万に一の確率なのだろうが、そうならないよう、私夫婦共々、職場の理解を得ようとしているが、そういうサービスがあるとより心強い。長文駄文となり恐縮だが、何卒よろしく。
- ・ 子育て支援に関しては行政機関よりこども園や保育園の方が充実していると思う。先生方の給料増加と保育士の増加を望む。こども園の預かり保育中に習うことが出来る英会話教室や公文のような教育施設がもっとたくさんあるといいと思う。
- ・ ファミリーサポートがあることは知っているが、他人に子供を預けることは、いくら市の制度であっても不安がある。どのような人がサポートしてくれるのか顔や人柄を知るタイミングがあると、もう少しファミリーサポートを使いやすくなるのではないか。
- ・ おむつ交換ができる施設はよく見かけるのだが、授乳できる施設が少ないように感じるため、是非増やしていただきたい。先ほども記載しましたが、五中地区にも子育て支援施設の設置をお願いしたい。
- ・ ファミリーサポートの制度もありがたいが、通っている保育所でワンストップで延長保育や病児保育を受けられるような設備制度をつくってほしい。子どもが病気の時や時間外／土日祝日にやむを得ず就労する必要がある時には通い慣れた保育所でプロにみてもらいたいため強く希望する。
- ・ 利用者のことをよく考えず設置されたオムツ交換所や授乳室の少なさなどが気になる。また、離乳食やノンカフェインがあるお店が少なく、妊婦や子供連れには行きやすいお店は少ないイメージ。
- ・ 育児と仕事の両立は時間面を取ると金銭面で困り、金銭面を取ると時間が足りなくなる。ましてや働きながら習い事もやらせようとするとも時間が全然足りない。家事のサポートがあると助かる。特に料理のサポートと習い事の送り迎えのサポート。(ファミサポは車 NG なので使えない)
- ・ また明石市のように、オムツ一歳まで無償化はできないのか？ランドセル配布ができるなら、オムツ無償化も実現してほしい！できるなら、2人目以降保育料完全無償化。どうぞ宜しく。
- ・ 子育てのためとはいえ、どこも3歳くらいからを目安に作られていて。0歳児、1歳児が楽しく遊べる遊具も少ない。飲食店にもチェアベルトがないところが多かったり、とても不潔だったり、おむつ交換台は女性用トイレにしかないところが多い。授乳室が多くお湯と電子レンジがあるととても助かる。

- ・ 土浦市は他の市に比べて、子育てに力を入れてくれていると感じている。給食費無料、おむつ廃棄無料、チャイルドシートの貸し出しなど、とても感謝している。でも、まだまだ足りない！出産や子育てにこんなにお金がかかり、復職するのにこんなに高い壁（保活）があり、そして出産と育児と仕事という日々の生活でこんなに体がボロボロになるとは思っていなかった。子育ては楽しいが、十分に子供と向き合ってあげられる時間は全然足りない。そして多くの国民が物価高に悲鳴をあげている今、子育て世代に余裕など本当はない。父母共に朝から晩まで働き続けなければ、我が子の教育資金を十分に用意してあげることができない。日々このような不安の中で子育てをしている。本当はもう一人くらい産みたかったが、無理。出産費用の無償化や、おむつや育児用品の配布、復職しようとした時に誰もが確実に保育園に入れる保証、育児や教育の支援金、私立高校の無償化（公立に不合格だった場合）など、取り組んでもらいたい課題はたくさんある。次の世代の方々が安心して3人くらい産みたいと思える世の中にしてください。お願い。
- ・ 出産のお祝いに貰う黄緑色のつちまるくんの写真貼れるやつは、いらないそれを作る費用があるならオムツをくれるとかもっと育児する為にかかる費用を負担してくれたほうが有り難い。出産祝い金や必ず使用するオムツの支給などにしてほしい。
- ・ 最近は何も高もあってオムツの値段がどんどん上がっている。以前住んでいたところでは2人目のオムツ代への補助がでたりしていたのでそういうのがあったら嬉しい人はい多いと思う。
- ・ また外出時には、トイトレ中の幼児が使えるような便座や、手洗いのための足台、3才以降も利用できるお買い物カートなどの用意があるスポットはとても限られており、不自由な思いをする場面が多くある。当事者だからこそ感じる細かな不便さや、逆に【ここは良かった】を気軽に多くの人と共有出来たら、もっと快適に子育てが出来ると感じる。
- ・ 子育てに悩むことや疲労を感じることなく過ごせるようになるには市からの経済的補助や、色んな方面からの支援に尽きると思う。それは母子父子家庭だけでなく通常の家庭でも一緒。子供を育てていく大変さはむしろ共働き世代の方が今は苦しいかもしれない。高い保育園料、高騰する物価。このままでは子供達が成人するまでに、きちんと学ぶ場所を提供してあげられるだろうかと日々怯えている。迅速かつ的確な支援を今後も期待している。
- ・ 子供を連れて買い物に行くのも大変な中、物価高でオムツや子供達の食材なども少しでも安いもの…と考えながら買い物に出掛けるのも大変な時がある。オムツやミルクなど、毎日必要で購入頻度が高いものを定価より割安で市が運営するサイトなどから購入、配送(送料は無料)してくれるサービスがあると子育て世代には助かると思う。
- ・ 習い事の送迎をお願いできるサービスがあってほしい。
- ・ I having answers my opinion regarding the environment support for raising children's and enriching education childcare environment.Us a parent's know how is difficult to provide the needs of children and give time to children to care but in your help and support the burden of the family member, a parent's, a mother and a father to the family is become less and can help to every family in the community so that every family have a peace of mind and can become happy as a citizen.

11 発達障害・不登校

- ・ 上記にも記入したが、就学児が学校に行かなくても、親と子供が安心出来る場所がほしい。勉強もできて、子供の友達も出来る様な不登校の子供が安心して集まれる場所。
- ・ 発達、発達支援についてもっとわかりやすいインフォメーションをしてほしい。
- ・ 発達に遅れがある子供でも自由に教育、保育が受けられる施設が増えると選択肢が広がると思った。

12 障害児

- ・ 宛名の子供の兄弟に障害者がいる。兄弟の障害者のために仕事が続けることが困難。そのしわ寄せが兄弟(宛名の子供)にもいってしまう。障害を持つ子供の保育園、こども園入所への理解やサポートが必要。
- ・ 障害のある子を産むと、その障害をどうにかしようとする医療モデルに成り立った支援ばかりで、社会モデルに落とした支援が感じられない。病院と学科が縦割りであり、連携していない。北欧では、リハビリは学校で受ける。障害はあってはならないものであり、排除されるべきという視線を感じる。子どもの一人一人のスピードに合った支援がほしい。親子ででかける時、トイレに困る。母親が用を足している間に、鍵を開けられるのではないかと思う。障害児が待ってられるような固定された椅子がほしい。また、小学生になってもおむつが外れない子どものためのスペースもほしい。生活年齢により区切り、正規分布の真ん中に合わせた教育支援では、過半数の子が背伸びをする必要があって苦しい。

13 公園

- ・ こじんまりした公園を各地域に作ってほしい。個人宅ではできないサッカー、野球の練習ができる広さや、滑り台、鉄棒、ブランコなどがあると良い。
- ・ 公園の遊具をもっと増やしてほしい。目新しい遊具がなく、少し残念。新治運動公園内にも遊具を置いてほしい、サッカーや野球をしている時は遊ぶところもなく近づかない。水郷公園も2箇所しか遊具がないので、人が多いと怪我をしそうで怖い。
- ・ 安心して、遊ばせることのできる公園を増やしてほしい。
- ・ 町中の小さい公園の草の手入れに力を入れてほしい。アクセスがいい駅の近くのビルに一時保育を入れてほしい。夏場水遊びができる浅く川のような水場がほしい。自然から学ぶことはとても多いと思うので、せっかく近くに霞ヶ浦があるのだから、霞ヶ浦の水質が改善されて、遊べるようになってほしい。
- ・ 0～3歳児が外で遊べる公園(遊具)が増えるといいと思う。
- ・ また、車に乗らないと公園にも行けないので、もっと身近に公園など設備してほしい。
- ・ 駐車場付きの公園や安全に歩いて行ける場所に公園がほしい。
- ・ 水遊びができる場所がほしい。水郷公園の水を綺麗にしてくれれば夏水遊びできるのと思う。水郷プールの利用料が高い。親が同伴しないといけない年齢には両親のうちどちらか無料にしてほしい。
- ・ 公園が少ない。大きい公園なんかよりも小さい公園をたくさんほしい。遊具もそんな要らない。それよりも道路に飛び出したりしない囲まれた安全な走り回れるスペースがあるだけでいい。庭なしマンションアパート暮らしには近くに公園が無いのは辛い。授乳、おむつ替えスペースの設置拡大。
- ・ 土浦駅前周辺には公園が少ないので安心して遊べる公園があると良い亀城公園もあるが遊具が少なく感じる。
- ・ 各地域に整備された公園が少なく、水郷公園に集まっている子どもが多い。そもそも地域の子供が減っているせいかもしれないが、表で遊ぶ場所が少ないと感じる。
- ・ 乙戸沼公園の遊具が新しくなり小さな子供は安心して遊べるが、小学生の高学年くらいからは物足りない遊具にかわってしまい残念。
- ・ 土浦には公園が少な過ぎる。
- ・ どの公園でもボール遊びができるようにしてほしい。
- ・ 小さくて良いので公園が近くにあるとうれしい。

- ・ 近所に公園がなく、道路で遊んでいる子がいる。自動車事故も多く危険なので、遊具がなくても広場だけでもいいのでフェンス等で囲まれたボール遊びやおにごっこ等が思い切り出来る場所があればいいと思う。
- ・ 土浦市ほぼ全ての公園で、除草が不十分。遊具が不十分。自治会に任せているかもしれないが、除草する人手や時間足りてない。遊具周りだけでも、固まる砂などで対策してほしい。天川保育所でひだまり公園に行くことがあるようだけでも、この公園は蚊が多すぎる。木陰のある公園は夏でも希少だが、蚊のせいで利用できない。
- ・ 小さくてもいいから、近所に公園があるとよい。
- ・ 幅広い月齢の子どもが遊べる遊具をもっと置いてほしい。板谷にはほとんどない。
- ・ 公園は周りに多いが整備がされておらず虫だらけだったり公園の周りを車がびゅんびゅん通ったり団地の中にあって暗かったりでどこも満足できない。
- ・ 真鍋児童公園はゴミがよく落ちていて、砂場は雑草だらけなので、安心して遊ばせられない。亀城公園以外にも掃除をもう少しやってほしい。
- ・ 小さいこどもが遊べる遊具のある公園が増えてはいるがまだまだ少ない。
- ・ 公園の整備、増設、近所の公園遊具が少なく古いので遊べない。
- ・ 公共施設(公園や商業施設等)に子ども用トイレを増やしてもらうか、もしくは補助便座をおいて貰えると助かる。
- ・ 公園の遊具が、ある程度大きい子向けの物ばかりで小さい年齢でも、使用できる物を増やしてほしいというか、エリアをわけた所があると良い。
- ・ 土浦市街地に公園を増やしてほしい。ほぼ無い、遊具がない、古い等で遊べる場所がほとんどない。
- ・ 公園を増やしてほしい。
- ・ 近隣であればつくば市のように、遊具のある公園から、芝生のみで走り回れる公園まで、ペット連れから子連れまで楽しめる公園が増えることを期待する。つくば市に子育て世帯が選ばれる理由の一つが公園がある事。都和中地区であれば、紫ヶ丘公園に大型遊具や清潔な公衆トイレを作るのを希望する。つくば市と違って、土浦市内は昔からの住宅街が多いので小規模な公園が多いと思うが、雑草だらけ、地区で管理ができないから遊具が撤去されてるもしくは老朽化で遊べないところばかりかと思う。管理を市で一元化して、しらみつぶしに整えるだけで、地域で子育てができる喜びに繋がる。なんとかがんばってほしい。
- ・ 自宅から気軽に歩いて行ける遊具のある公園がないので、整備してもらえると嬉しい。また、砂場がない公園が多いので増やしてほしい。
- ・ おおつ野の公園はとても広くて遊びやすいが、砂場もほしい。道端や公園に犬の糞が落ちていることがあるので、厳罰化してほしい。
- ・ もっと遊べる公園を増やしてほしい。
- ・ 草刈りされていない公園があり、草が伸びすぎて小さい子供とは遊べません。春夏は整備してほしい。
- ・ 新しい住宅地にはきれいな公園があるが、昔からある住宅地には子供を遊ばせられるきれいな公園がない。家の近くに公園はあるが、遊具が古くちょっと遊ばせる気にはならず、手入れも行き届いてなく、野良猫がいたり、ヤンキーみたいな学生さんが溜まっていたり、幼稚園終わりにちょこっと寄って30分ぐらい遊べるきれいな公園がほしい！！
- ・ 公園を住宅地近辺に増やしてほしい。遊具が少なくてもいいので、子供達が遊べる公園を少しでも多く増やしてほしい。
- ・ 近所の公園に放し飼いで犬を散歩させている人がいて子供が追いかけられて怪我をしたことがあるので、そういうことのないような公園にしてほしい。小さい子がいると余計に心配。また、その公園をお年寄りも使っているが、子供を迷惑がってここで遊ぶななど言われているのを聞いて、残念に思った。家から近い公園なので毎日のように使っているため、みんなが安心して楽しく使える公園になってほしい。
- ・ 子供が遊びやすい公園がほしい。

- ・ 水郷公園の池の周りが危険なので柵をたててほしい。
- ・ 家の近くに公園があるといい。
- ・ 住んでいるところが田舎なので、自然に溢れている反面、公園などは遠いため子供が安心して遊べる場所を増やしてほしい。子供が多い人でも、育児不安は尽きないので、子育てしやすい環境を作ってほしい。
- ・ 歩いて行ける距離にもっと公園があると嬉しい。
- ・ 改善点としては、公園が少ないというか全体的に古いこと。乙戸沼公園が新しくなって需要が高いように、水郷公園ももっと遊具を増やしてほしい。
- ・ 近隣に公園が1箇所しかなく時間帯によって高学年の子が遊んでいるので小さい子が遊ばないでいる。ほかにも何ヶ所かあれば分散できると思う。公民館は綺麗だが遊具が古い。遊具の数が少ない。
- ・ 安心して遊びに行けるような治安の良い公園などの施設が家の近くにあると保護者としては嬉しい。市報で子育て支援センター等の施設情報が載っており、利用したいと思うのだがいまはなかなか利用に踏み出せていない。どのように利用できるのか、問い合わせ方法、イベント情報の取得など、もっと具体的に載せていただくと利用方法が分かって使用するハードルがさがり、利用したいと思う。
- ・ 公園の遊具充実化(設置)及び点検、空き家の木々、公園の木々が歩道に飛び出していて、かがまないと通れない場所がある。スズメバチの巣など出来た時、心配。
- ・ 遊具のある公園が多くあるといい(つくば市が羨ましい)
- ・ 古びた公園が多い。新しめな住宅には綺麗な公園、遊具があるが、古くから住んでる真鍋地区などは錆びれた遊具だったり草が生えすぎてたりと整備がされておらず防犯面も心配。公園へはますます行きにくくなり子供もあまりよりつかない。その為違う地区に行ったり足をのばさないと遊べるような公園がない。
- ・ 近所に子供の声をよく思わない方がいて、おもいきり外で遊ばせることが出来ない現状がある。子供が2人いると、兄弟で遊べる遊具もバラバラで1人で公園などに連れ出すのには気力が必要で気軽に連れ出そうと思えない時がある。昔のようにもっと子供がのびのび近所でも遊べたり出来る環境が本当に必要だと感じる。
- ・ 栃木県のように充実した公園が身近にあってほしい。

14 子どもランド、施設、雨の日の遊び場

- ・ 子供を連れて遊ぶところが主にイオン(お店も遊ぶ場所も充実した複合施設はイオンしかない)やこどもランド(場所が8階で行きにくい狭い)、霞ヶ浦総合公園(遊具がある大きい公園は少ない)、何度も行くと子供も飽きてしまう。つくばまで遠出するのも大変だし、せっかく土浦に住んでいるのだから土浦で遊びたい。もっと子供が色々な遊びが出来る場所、施設を増やしてほしい。
- ・ 日常的にこどもランドを利用しているが、無料でとてもありがたい。しかし衛生面が気になることがある。管理運営のために100~200円程の料金を設定して、より衛生的で遊具の充実した施設を設置してもらえるとより良いと思う。
- ・ 遊べる環境の多さをつくば市と比べてしまうことがある。もう少し増やしてほしい。
- ・ 気軽に子供が遊べる施設がたくさんあると嬉しい。
- ・ 雨の日でも寒い日でも暑い日でも快適に遊べる場所はほしい。子どもを連れて行けるごはん屋さんしてほしい!
- ・ 土浦駅前には宿泊施設や綺麗な図書館、サイクリング施設の充実など綺麗に整備されているなと感じた。子育て世代にとっては子供と入りやすい飲食店が以前よりも減り土浦駅は子供と過ごしにくいなと思った、設備も学生や観光客向けなのかなと感じた。

- ・ こどもランドにもたまに遊びに行くが施設や遊び道具の老朽化が目立つ。個人的には有料になっても良いので施設やおもちゃを新しく整備してほしいと思う。駐車場が二時間無料になったのはとても有り難い事。だが、私の周りにはイベントやおもちゃが充実しているという理由で神立にあるやまゆり館にわざわざ車で行く方もいる。
- ・ 雨の日でも気軽に遊べる場所がほしい。亀城公園の遊具を新しくしてほしい。新治運動公園に遊具がほしい。
- ・ 室内で遊べる施設がほしい。
- ・ 休日に子供を連れていける場所(こどもランドのような場所)が増えるとありがたい。
- ・ 駅周辺で室内で遊べる場所が子どもランドしかないの、もう少し駅周辺で室内で遊べる場所を増やして貰えると嬉しい。また、自転車やバスでアクセスしやすいところに遊び場が増えると活動しやすい。
- ・ イオンなどショッピングモールにも少し無料で遊べる滑り台など小さい子だと特に雨の日問わず室内で遊べる場所が増えるといい。買い物中に飽きてきてしまったら少し気分転換にもなるのに。
- ・ わらべ、ポプラ、こどもランドなどをよく利用している。雨の日に子供を遊ばせられる場所があることが有難い、ありがとう。ただ、こどもランドへの通いが困っている。車を止めるのに市役所の駐車場を使っているが、お金がかかるため長時間遊べない。どうか無料にして。また、それぞれの施設にはせっかくスタッフさんがたくさん常駐しているのに、関わりが少ないのが残念。一緒に遊んだり、側に来てくれたりしたら、子育ての悩みを相談出来ていいのになぁと思っている。仕事の関係で朝早くから預けたいので保育所を利用したかったのだが、1年ほど希望を出しましたが結局通らなかった。仕事をしている世帯が大半だと思うので、保育所の充実や幼稚園でも朝早くから預けられるようにしてくれたら嬉しい(今現在幼稚園を利用しているが、幼稚園は休園日やPTA活動などで仕事に影響が出ているので、特に保育園の充実を希望する)。せっかくの機会だったので色々意見を記載したが、これからの市のより良い発展を心から期待している。
- ・ ウララの子供ランドの駐車料金を無料にしてほしい。
- ・ こどもランドに行くのに駐車場を利用したいので、駐車券を無料化処理してほしい。
- ・ おもちゃライブラリーの利用日を増やしてほしい。雨の日や暑くて外に出られない日に行く所がすくないので助かっている。
- ・ たくさん体を動かせる室内外の広い施設、大型遊具などの環境を整えてほしい。雨の日、暑い夏の間は遊ぶところがない。
- ・ (こどもランドのおもちゃも) こどもランドのような施設で、一緒に遊んでくれるスタッフがいるといい。(低料金であれば有料でも)
- ・ 雨の日や暑い日でも遊べる場所がほしい。こどもランドの場合、駐車場が困るので駐車場も完備されている遊ぶ施設を考えてほしい。
- ・ 子供の遊ぶ施設や体験施設、留学制度を充実させてほしい。
- ・ 最後に子どもランドについて。単刀直入に言わせてもらおうと、立地が悪い！駐車場までも遠く、また駐車場も有料。行きたいのに行けない。もっと室内で遊ぶあのような規模の大きな施設を増やしていただきたい。ポーネランドとかの施設を取り入れてる市町村は関東だけでもたくさんある。そのような施設を駅近ではなくて良いので作ってほしい。これまでの土浦市に感謝しつつ、これからの土浦市に期待している！！
- ・ 勉強できる場所を作ってもいいと思う。塾でもなく、図書館までは行けないなどあると思う。自宅では集中できないので外で勉強したくてもできる場所がない。それこそ荒川沖駅前にはなにもないのでそのような空間があれば学校帰り寄れたりする。住宅街の空き家を撤去し作ったりしては？空き家のままだとそこになにも作れないし、その土地を購入することもできない。
- ・ 土浦市は様々な子育てサービスが充実していると思うが、自宅から距離があり図書館等も行きたいけれど、駅前まで車で行くのも躊躇してしまう。荒川沖駅に駐輪場を整備してもらえると電車で行く選択肢も増えると思う。
- ・ お金がかかってもよいので、体を動かすちょっと難易度の高いアスレチックがたくさんある施設などがあると、身体を動かすことにつながり良いなと思った。

15 イベント

- ・ 有料でもいいので、小さいうちから参加できる農業体験や食育に繋がるようなイベントがあると楽しいかなと思う。
- ・ また、仕事の継続が困難となる可能性が高く、子供を持つ家庭への金銭的な支援が必要。有り難いと思っているのが、こども食堂。こども食堂の継続が可能なようにサポートをお願いしたい。イベント等の充実よりも、生きていくための支援を求める。
- ・ 土浦はどちらかというと高齢者向けの講座が充実しており、つくばの方がより子育てイベントが充実しているので、そちらに参加できるものがないかよくチェックしている。いいとこ取りできるのは利点ではあるが、今後そういった講座やイベントに力を入れてもらえるとうれしい。
- ・ 乳幼児でも安心して参加できるイベントの企画。

16 防犯・安全

- ・ 道のデコボコをなるべくなくしてほしい。ベビーカーのタイヤがとられることが多々あった。カーブミラーがないところはお散歩するのが怖いのでつけてほしい。
- ・ そして家の前には、朝車通りが多いのだが横断歩道がほとんどない。どうにか出来ないのか。小学生になったら神立小学校に通うが今まで、地域の方々と交流がないため不安な部分もある。未就学児で交流出来るようなイベントがあればいいのだが、回覧板回ってくるのは子ども食堂くらいで、平日のイベントは行けないので働く親でも参加できるようなシステムが、あったら嬉しかった。もうすぐ入学が待っているので前向きにいきたいと思う。よりよい社会になるように。
- ・ 二中地区の幼稚園周辺、小学校周辺の道路、空き家など整備してほしい。
- ・ 騒音を鳴らすバイクやトラック（バンロー）など、いわゆるガラが悪い街だと感じる。
- ・ 土浦市に転入する前に茨城県内のいくつかの市町村に住んでいたが、他より交通マナーが悪い。また、マナーが悪いのも関係しているが道路も危険箇所が多い。実際に通勤中も何度も事故を見かけた。自分の子どもを安心して歩かせられない。車だけでなく中高生や大人の自転車のマナーも悪く危険。ベビーカーを押しても横断歩道で止まってくれる車はかなり少ない。危険な場面に出会った時、ひどいときは警察に伝えるがキリがないので度合いによっては通報しない。見過ごされできた部分も大きいと感じる。正しいルールを知らない市民が多いため改善したほうがよい。
- ・ 歩道が狭く道が斜めに傾いていて、ベビーカーで通り辛い。また車通りが多い割に歩道が狭い道を小学生が登下校しているのを見て、危ないと感じる。サイクリングの町と広報しておきながら、りんりんロード以外を自転車が通るとなると道が悪い。そのため日常生活で自転車を使うと危険が多い(歩行者、自転車どちらの立場になっても)
- ・ 河川敷から思い切り見える場所に風俗の看板が堂々と出ていて、景観が損なわれている。子どもだけでなく、普段散歩している大人でもなんとなく心象が悪い。桜が綺麗なのにもったいない。公園や道路を整備するというのは予算や手配の都合上、そうすぐには実現するものではないと思う。だが景観に関する法整備はそろそろ進んでも良いのではないかと。土浦といえば、昔から歓楽街のイメージがついている。
- ・ 土浦は歩道も狭く、車通りも多いため、子供と出歩くのが危ない。歩行者が道路を渡る時も車が勢いよく来ることも多く、子供の通学環境にも不安しかない。子供達が安全に歩けるまちづくりをお願いしたい。
- ・ 事故が多いので、登下校の子どもたちが安全に歩けるように道や標識、ミラーの整備をお願いしたい。
- ・ 道路などが周りにない安全で自由に遊べる場所が近くにあれば嬉しい。
- ・ 土浦の街うちは、道路が狭く危ないように感じる。

- ・ 暗い道が多くて心配。
- ・ 水郷公園をよく利用させてもらっているが、鯉のいる池の深い遊歩道のところに柵がなく、友だちのお子さんが池に落ちている。子どもたちは鯉を見たり、興味があって池を覗き込んで落ちてしまうみたい。こちらも協力して子どもをしっかりと見ているが、どうしても予測のつかない事を子どもがする時がある。景観等や予算などもあると思うが、子どもの安全面の対策として、低めの柵でいいので、設置していただけると、親としてはとても安心する。
- ・ 子どもの交通安全のために歩道や自転車専用道路を設置してほしい。
- ・ 車の交通マナーが本当に悪い。
- ・ 子供(小学生)の通学路に人気のない場所がある。保護者や町の間人では手が回らない。防犯カメラを付けるとか、街灯を増やすとか、道を広くするとか、コンビニ等店舗を建てるとか、少しでも不安な箇所が減るような施策をしてほしい。各学校や保育施設から習い事に行けるようなバスやタクシー等々、子供が子供だけで使えるような子供の足になるようなものがあると、子供の学びをもっと後押しできる。
- ・ 街灯をふやしてほしい。道幅が狭い。
- ・ 住宅街に街灯が少なく日がおちるのが早い時期は真っ暗になるので街灯を増やしてほしい。空き家が多く不気味。夜は怖い。
- ・ また、雨の日に冠水する場所が多く通学路も川のように雨水が流れる。こちらも環境という点では整備頂きたい。

17 タクシーチケット

- ・ 妊娠時にタクシー利用権をいただいたが自家用車があり生活しているので使っておらず今後も使い道がわからない。
- ・ 市のマタニティタクシー券を利用しなかった場合は違う券を利用出来るようになってもらえると助かる。絶対使用するようなおむつ等を券にするといいかなと思う。
- ・ 車所持が多い中、タクシー券は必要ないミルク、オムツ等、出産後に絶対必要な消耗品に利用できる方が家計に助かると思う。
- ・ 産後のタクシー代無料券を増やしてほしい。私の場合、帝王切開の傷口があった、夫無免許だったため。産後ケア(宿泊)の日数を増やしてほしい。
- ・ 妊婦に配布されるタクシーチケットについて、土浦市は車主体の家庭が多いかと思うので使う機会があまりない。事前に予約ができれば良いが、急に使いたいと思ってもどのタクシー会社も当日予約が困難であり、いざ受診に間に合うようにタクシーを頼んでも配車に時間がかかるなどとても使いにくい。出産準備やマタニティ服購入などで使えるものなど、他の支援が望ましいと思う。
- ・ 妊娠期間中にいただいたタクシー券は不要かと思う。その分授乳服やチャイルドシートの購入助成をしていただきたい。
- ・ 産後は夜もなかなか眠れず、日中は注意散漫なので運転することが怖くなった。それでも子供の体調不良などで病院に行かないと行けなかったり、リフレッシュなどで親子で出かけたい時に、妊娠中にもらったタクシー割引券のようなものがあれば助かるなあと思った。

18 産後ケア

- ・ 出産前に産後ケア施設の利用をもっと積極的に教えてほしかった。助成がある事やそのような施設がある事を知らなかったなので、利用していたらもう少し産後の身体を休める事が出来たのかなと思う。
- ・ 上の子も預かってくれる産後ケア。

19 情報発信・相談窓口・市政

- ・ 今は SNS やネットで色々な情報が得られる時代。正しい情報もあれば間違えた情報や古い情報もたくさんあると思う。正しい情報や新しい情報を積極的に発信してほしい。相談をしても指導内容が一昔前の知識だったりテンプレート回答ばかりだと『あぁ、この人に相談しても解決にはならないな』と思い時間の無駄なので、相談することは二度となくなると思う。知識のアップデートをしてほしい。場合によっては熱心なママさんの方が知識があったりすることもある。私自身も医療従事者の端くれなので、ママの気持ちに寄り添った指導と支援が本当に大切だと感じる。専門職ができることは母親への知識の提供。相談を受けた後に『大変だったね…『辛かったね』『無理しないでね』のテンプレート回答は必要ない。その人にあった必要な支援を明示して、支援に繋いでほしい。その支援の体制を整えてほしい。『相談したけど、無理しないでねって言われただけで解決しなかった』では相談にきた意味がない。その受け皿を整備しフォローすることが行政の役割。SOSを出すのはとても勇気があること。勇気をだして相談したママの気持ちをへし折らないで。妊婦さんや子供に関わる保健師さんや看護師さん歯科衛生士さん支援員の方の知識はアップデートはしてる？（特にベテランの方）
- ・ 転勤で他県から土浦市にきているのでわからないことだらけだったので、気軽になんでも聞ける場所やツールやアプリがあったらいいなと思った。
- ・ 初めて子育てする時には、育児に関する悩みを相談したくてもなかなか相談出来ないのでは、気軽に相談出来る場所がほしい。
- ・ 土浦市役所内の保育課の窓口はベビーカーごと入れるスペースがほしい。
- ・ 行政のサービスに関して、全てが中途半端…というか惜しい。そこじゃないんだよな、という感じが多い。聞けなきゃ教えてくれない情報も多い（自ら調べてる時間なんて無い、冊子渡されて見といてください基本見る暇ない）習い事や教室等の情報提供。
- ・ LINE の市の情報には助かっているが、送られてくる内容が多く、全てに目を通せない。必要な情報だけピックアップして見れるようになるのとより助かる。色々な施設も利用してみたいとは思いますが、予約して行くとなると少しハードルが高く、やってみようと思うまでに時間がかかりそう。
- ・ 土浦市は出産、子育てに関する情報の出し方やサポートが丁寧だと思う。出産前後にももらえる給付金もありがたいし、窓口や電話で対応してくれる職員の方々も毎回親切で好印象。ただ市内で生活する子どもの親として、町の道路環境や景観に関する不満がいくつかある。
- ・ 阿見町が市として独立すると話題になっているがもし阿見町が本当に市として独立すると子育て世代の減少が懸念される。子育て世代が減ると言う事は今後の財政問題にも繋がってくると思う。土浦市も同じ子育て世代が増えてくれるように願っている。
- ・ 子育て相談をしようとしても、保健師さんが立ち話で済ませようとしたり、ご自身の経験に基づく話しかできなくて残念。じっくり相談できる機会や窓口がほしい。また、それぞれの子育ての経験ではなく、体系だっこのようにはこうしたら良い何が足りない何が好きな傾向があるなどの情報がほしい。発達に問題があればそのような情報につながるかと思うが、発達障害までとは行かなくても育てにくく感じる子にどう接したら良いか、悩んで相談できる相手がいないことが子育てで一番つらい。
- ・ 生産性の無い高齢者への手当、働く意志の無い人間への支援、無駄な公共事業、無意味な市長選、そのような事に無駄な税金を導入せず、もっとマシな事に税金を使用する事を検討した方が良いのでは。

- ・ また、提出書類の整備を求める。実際にあったエピソードとしては、二人目の出産に際して、上の子の「子ども、子育て支援給付認定変更申請書」を出すようにというお知らせが保育園を通して届いた。土浦市ホームページで様式を探したが、1～2時間くらい経ってようやく、pdf 上にて「その用紙は役所に行かなければもらえないこと」を知ることができた。それを保育園に相談したところ、すぐに用紙をもらえた。そして用紙を読んで、「添付書類として母子健康手帳を提出しなければいけないので、保育園に提出するわけにはいかず、結局役所に行かなければならないこと」を知った。せめて最初のお知らせに用紙を付けてくれれば良かったのでは？市のホームページに様式を載せるわけにはいかないのか？と、かなりの時間と労力を無駄にしたことに対して疑問が残る。この件だけについて言いたいのではなく、子育て支援関係はそんなことばかりであると感じる。提出書類が多くなるのは仕方ないが、せめてもっと整備してほしい。
- ・ 転勤族で知り合いがいない中での子育ては、精神的にも肉体的にもかなり辛く大変。同じような環境で子育てをしている方々がたくさんいると思うので、もっと情報共有できる場があれば嬉しい。
- ・ 全てネットで調べられる時代なので、この土地だからこそその情報を教えてほしい。保育所の入園までのスケジュール等。
- ・ LINE での配信を世代別にしてほしい。興味がない情報ばかりで、子育て支援の情報が調べないに入ってこない。
- ・ 外国人職員を配置してほしい。英語を話せる人、英語で書かれた育児に関する全ての冊子を求める。
- ・ 親が子供を大切に想うのは当たり前のことだが、その気持ちとは裏腹に疲労や寝不足により子育てに余裕が持てない親御さんもたくさんいると思う。良好な親子関係のためにも「気軽に」相談ができて1～2時間だけでもすぐに預けられるような施設があればいいと思う。
- ・ 言いたいことを隠さず怖がらず自由に発言出来るような環境や教育現場になってほしい。今は、大人でさえネットの暴言、誹謗中傷で辛い思いをしている人だっている。そういうのを耐えられる。流せるようになるのも大事だが、子供だからこそ大人がしっかり守ってほしい。
- ・ 入園するまでは一日子どもと二人きりで在宅保育をすることが苦痛だったが、どのようなサポートを受けられるか情報が少なく、気軽に利用しやすいとは思えなかった。
- ・ 市役所のこども課が別棟で遠くて子供を抱っこで連れていくのがちょっと大変だった。
- ・ 周りで子どもが小学生になる時に働き方を変えた人や預け先をどうしようかと不安な人がいる。私も数年後そうなる。学童等、どういった制度、施設があるのか、わかりやすい資料があると今後の参考になる。今は情報源が先輩ママだけ。よろしく。
- ・ 宿泊施設の利用、子育て施設の利用をアピールする、子育て施設に行きたいけど行けない出不精の人とか、不安が強いけど気軽に相談できる人が近くにおらず1人で抱えている人が気軽にに行けるような場所を作る（助産師、保健師、保育士さんに気軽に相談できるような体制をもっと整えてほしい）
- ・ 子は家でスマホ等を見ることが多くなってしまうので、屋内、屋外で思いっきり体を動かせる場所があるといいと思う。対象年齢が小さい子用と大きい子用それぞれに合うよう考えていただきたい。また、子ども自転車教室のようなイベントが増えるとありがたい。
- ・ 緑を感じられる街並み整備(せっかく霞ヶ浦があるのだから西海岸風にしたら雰囲気がよくなりそう)
- ・ 手続きがとにかく面倒。子連れでの電話、移動はとにかく苦痛。
- ・ 社会全体が子供を大切にしている感情をもてるような環境を整えてほしい。でなければ少子化は止まらないし、産まれても長くは生きられない。親に金銭的にも精神的にも余裕がなければ虐待は増えるだけ。可哀そうな子供を一人でも減らせるように頑張って社会を変えてほしい。

20 男性の育児参加について

- ・ 夫が茨城北部、私が東京で仕事をしていて中間地点の土浦を住居に選び、現在とても満足している。住む人も子育て環境も良い。一方で高校も一高、二高とレベルの高い学校が集まっているのにそこがあまりアピールされていなかったり、地域にあまり開かれていない気がするのが残念。
- ・ 夫の仕事が忙しくあまり助けてもらえなかった。大変さを伝えても甘えていると思われ大変さを理解してもらえなかった。夫に対しての指導がしっかりとあったら少しは違ったのかな、と思う。
- ・ 会社を整備し主人に早く帰ってきてほしい、子育ての楽しさも共有できない。
- ・ 父親の育児指導は任意だと協力的でない父親は絶対に来ないので、産後病院に入院中等で1日指導の日があるようプログラムを組んでくれると嬉しい(会社もそれに伴う休みを所得できるように)
- ・ 夫婦または家族全体で子育てを積極的にするというふうになれば良いと思う。母親目線だけでなく父親の目線での講座イベントもあつたら良いと思う。年が離れている兄弟だと下の子に時間が取られるため上の子に我慢をさせてしまっている。ある程度の年齢ならば保護者同伴という制限をとったイベントや施設があれば本当良いと思う。キッズアミみたいな施設やイベントをやってほしい！土浦で習い事を調べると本当に少ないのでもっと身近に「ちょっと行ってみようかな、やってみようかな」ぐらいな気持ちで始められる体験できる場がほしい。
- ・ 私も主人も、こども主体で動いているつもりだけれど、イライラして怒ったり、全く言うことを聞かず途方に暮れたりする。様々な子供がいるから、マニュアル化するのは難しいと思うけど、引き出しをたくさん用意する、それを知っておく、のは必要なことと思った。金銭面でも、投資や株など勉強する機会も必要と思う。

21 アンケートについて

- ・ 今とところ特になし。このアンケートについて。必要な事だと思い回答しましたがアンケートに1時間もかけるほどの時間に余裕はない。正直、1時間もあれば家事や睡眠に当てたいくらい。子育て中の1時間は貴重。回答した方にプレゼントとかあつたらいいと思う。
- ・ 生年月日をいれさせられ、アンケートの匿名性が保持できないと思う。匿名性が担保されてこそ、本音がかけるのでは？また、案内のQRコードが丁度折り目になっていて、すぐに読み取りできなかった。
- ・ 休んだ日数を正確に数えている人はどれほどいるのか分からないが、もっとアバウトな回答や分からないと言った回答も用意すべきかと思う。重要なアンケートなのだとは思うが流石に長い。

22 その他

- ・ ゴミ捨てルールなども守られておらず、不衛生なゴミ捨て場も市内に多いと感じる。モラル、マナーが市全体で良くなると子どもも含めて生活しやすくなるように思う。
- ・ 先程記入した通り。
- ・ 夜中の時に近隣の迷惑を心配しなくていい環境。
- ・ 妊娠をしてからきららバスをよく利用させてもらっているが、きららバスの本数が少ないのと微妙な時間帯しかないなので、もう少し本数を増やして貰えると助かる。
- ・ ゴミ出しマナーが悪く道端にゴミが溢れている、空き家がそのままになっている、緑というより放置された竹藪や雑草だらけ、子供と一緒に散歩をしていて本当にかっかりする。街全体の美化や治安向上に力を入れてほしい。子供が出身地として誇りを持てたら良いと思う。
- ・ 自分の地域で働く必要がある。
- ・ ありません。とても満足している。

2 就学児童

【分類別の意見】

1 経済的支援

- ・ 子供が大きくなるに連れて塾代がかかるためその支援がほしい。また子育てにかかった金額は年末調整などで申告性にして減税してほしい。とにかく子育てにお金がかかるため収入を増やしても結局健康保険料等や所得税、住民税が増えるため余り手取りアップの実感はない。
- ・ 三人子育てしており、親の余裕があるので援助金は助かる。
- ・ 高校生までの授業料やその他にかかる費用の無償化を望む。
- ・ もう少し子育てにかかる費用の補助がほしい。何でも値上げばかりで助成されるのは限られた世帯だけなので、ちゃんと他の世帯にも目を向けてほしい。
- ・ 課税世帯への金銭支援、不公平感の解消のため非課税世帯への支援の縮小をしてほしい。
- ・ 給食の無償化が大変ありがたい。
- ・ 母子家庭だと体操着などの高価な物の買い替えが難しい。体操着上下、半袖、半ズボン、長袖、長ズボンを1着買うだけで1万5千円するので2着は買えず子供が差別されないか不安になる。習い事も高いので、母子家庭で習い事の援助などがもう少しほしい。
- ・ 子供の教育にかかるお金は幼稚園から大学まで所得制限なしの無償化にしてほしい。
- ・ 経済力に左右されない教育環境、スポーツや芸術活動への参加の自由を子供達に与えてほしい。
- ・ 学校に通う上で必要なもの(ジャージ、制服)の費用が高すぎる。
- ・ 金銭的な支援がもっと増えてほしい。
- ・ 教育資金の不安はとてもある。施設の充実なども助かるが、子供一人一人にかかるお金が大きく不安である。乳幼児に対しての補助があるのは実感出来て子育て出来ていた。小学校の給食費無償化も助かる。しかし、中学、高校、大学、これからどんどんかかる時の補助が薄くなっていく感じがして不安である。
- ・ 金銭的な支援が普通の一般家庭に対してはほぼないと感じている。給料が上がっても引かれる税金が多く、手取りが増えず物価高に対応することが難しい。子育て世帯に対する税金の控除があっても良いのではないか。
- ・ 昔に比べたりすると、今は支援や環境は整っていると思う。物価上昇等、お金に関してはどうしても拭えない部分はあるが、子供たちが選択しやすい未来になるためにもまずは助成金などの金銭関連が少しでも楽になると違うのかなと思う。
- ・ 低所得世帯だけでなく、子育て中の家庭に金銭的支援を増やしてほしい。
- ・ 1人親家庭への補助金もう少し増えることを希望する。本人がやりたいと思う習い事が出来た時、その希望を通せるか金銭的に厳しい状況である。
- ・ 学校給食費の無償化はとてありがたい支援だと感じている。今年度に限らず、来年度以降も継続して支援して下さることを強く希望する。
- ・ 出産費用など、子どもにかかるお金の負担を無くしてほしい。
- ・ ウチは1番上が大学生、1番下が小学2年生の4姉妹である。そうなってくると一人っ子の家庭に比べ塾に行かせ、子供がやりたい、習いたいということをやらせてあげられないのが経済的に無理な話しである。少子化を問題にしても多子家族への子育てへの支援が足りないと思う。「支援する」となっても結局税金が高くなって意味がわからないのが現状ではないか。
- ・ 私立高校や大学にお金がかかるのをどうかしてほしい。

- ・ 苦労して生活しているのは夫婦で働いて子育てしている世帯だということをわかってほしい。非課税世帯への給付はかまわないが、ほとんどのシングルはパートナーがいたり、偽装離婚していたり、不正受給している現状をきちんと理解、対応してほしい。
- ・ ますます少子高齢化が進んでいくうえでは、土浦市の未来のためにももう一步踏み込んだ対策も必要だと思う。保育や教育に関する学費については、無償化等の思いきった金銭的な支援、あとは、子供の人権を守るとの観点からも、子育て中の貧困家庭へのサポートとして幅広住宅の提供や運動着や制服補助等、安心して子育てできる土浦市の方針決定を強く望む。
- ・ 最近の物の高騰により、教育に関してもやはりお金がかかってしまうので、子育て支援（人数制限などない）など期待している。
- ・ 多子世帯への教育費の負担。土浦は年寄りばかり大事にしている感じがする。
- ・ 給食費の無償は義務教育期間中、継続して頂きたい。
- ・ 保育料や大学無償化など、（子供が3人以上いる場合）1人目が卒業すると2人目が1人目扱いになってしまうのが不公平だと感じる。子供の人数が多くても歳が離れていたら意味がない。給食費無償化は今後も続けていただきたい。物価上昇も伴い生活していくのがやっとなかなか子供にかけてあげるお金がない。習い事もさせてあげたいが余裕がないのが現状である。子育てに関する支援がもう少し増えればいいなと思う。
- ・ 給食費は無償化になったが、教材費や細々したものを購入するのに結局お金がかかっている。子育てにやさしいまちを作り人口を増やしたいなら子供にかかる費用はすべて無償化する等検討したほうがいいと思う。食費も子供が大きくなるとかかるので、市内のスーパーで購入すると割引とかあると市内で購入する人も増えると思う。
- ・ 離婚した家庭において、養育費がしっかりと子どもにわたるように制度を作してほしい。
- ・ 金銭的な支援が必要である。
- ・ 幼稚園の無償化、小学校の給食費無償化などで、経済的にもとても助かっている。今後、就労して高校以上の教育費用を貯蓄していきたいところだが、物価高の影響もあり自分たちと子供たちの将来が心配である。教育費無償化の支援を拡充していただくと大変助かる。
- ・ 給食費が無料になったのは本当にありがたかった。
- ・ 保育料、学費、医療費等すでに給食費無料、マルフク等で安くはなっているかと思うが、うちは4人目も出産予定なので子供にかかるお金は無料にしてほしいのが本音である（予防接種もインフルやおたふくなど）
- ・ 給食費の無償化は本当に助かっている。
- ・ 給食費の無償化は本当に助かっているので、これからも続けてほしい。
- ・ 給食費が無料になったことはとてもありがたいし、良いことだと思っている。ひとり親世帯、困窮世帯等に給付金や補助金の支給があると思うが、普通の世帯でも余裕のない家は沢山ある。どのこどももいる世帯にも平等に、なおかつ滞納もなくなるのは良いことだと思う。

2 医療費支援・医療

- ・ 現在、ワクチン接種者の方からの伝播被害で登校することができない。まず接種者は花のような柔軟剤のような甘くて苦い臭いを放つ。その成分はホルムアルデヒドであり、それを吸うと異常な倦怠感、頭痛、吐き気、神経痛、症状は多岐に渡るが全国的にこの症状に悩まされている人が増えている。全国有志医師の会の先生もワクチン後遺症やシェディングによる被害を診てくれている。テレビや新聞の情報を鵜呑みにせず現実に起こっていること、世界が問題視している内容に市も目を向けてほしい。本来であればワクチンの治験は10年以上というのが医療業界ではセオリーだ。根本的に間違っていること、また成分分析の結果を見れば一目瞭然。どうかこの「一般市民」の声が土浦市に届くように。
- ・ 小児科が少なく予約も取れない状態で困る。
- ・ 私の子供はネフローゼ症候群で、小児慢性疾患の申請をしている。毎日、朝イチのトイレの時にタンパク尿が出てないから簡易検査(薬局で買い)をしており、3歳前に病気にかかってから今現在もずっと毎朝、検査を行っている。他の市では小児慢性疾患でもお見舞金などがでているのに土浦市はなぜでないのか。
- ・ 予防接種を忘れがちなため、思い出すきっかけが多いと助かる。

3 保育園、幼稚園、こども園

- ・ 公立の幼稚園がなくなってしまったのは、大変残念だった。幼稚園入園時妻は無職だった影響で、保育園は最初から選べなかったため、みどり幼稚園かもみじ幼稚園しか選択肢がなかった。結果みどり幼稚園を選んだが、せっかく出来た友達も大半が離れることになり、親として可哀想だった。
- ・ 以前、保育園に入所させる際、勤務時間はクリアしていたが、日数が数日足りずに入所出来なかった。週3日でも、夕方まで働いていたら許可してほしかった。又、なぜ他市町村で入所基準が違うのかが不思議である。保護者として統一してほしい。
- ・ 手がかかる子どもが増えているのに、保育士は足らず、園の負担は増えている。地域の高齢者の働く場として、目配せ等協力をお願いし、地域が一眼となって、宝物である子ども達と一緒に育てる機会を作るのもありかと思う。また、保育士を増やすためにも、給料を上げ、子どもをもっと少人数に減らし、負担を減らしてもらいたい。衛生に気を配り、保護者対応から子育て支援等やるべき仕事が多く、休む時間がなく現場が疲れきっているのを感じる。

4 一時預かり・キッズルーム・土日・長期休暇預かり

- ・ フルタイムで仕事を夫婦している。平日朝も、もう少し早い時間から預かってもらいたい。
- ・ 平日に親が十分に就労できる環境がほしい。
- ・ ウララ、図書館の読み聞かせにもお世話になった。保育所の先生方や、つばめクラブも長期休暇中は7:30~利用できるようになり、本当に有りがたい限りである。難しいとの回答を聞いてはいるが、改めて長期休暇中の「お弁当」の提供をお願いできないだろうか。市内テイクアウト提供店との連携により半額支援とかでどうかお願いできると本当にありがたい。

5 小・中学校

- ・ スクールバス(登校班はトラブルが多い)や個別登校、PTA の廃止(もめる役員決めや負担がある)を求める。
- ・ いじめが多い。学校の対応も加害者よりになっていて、被害者の子供や親に対してのフォローがない。どうかしてほしい。
- ・ 都和中学校が汚すぎて子どもを通わせたくないと思えるくらいである。どうかきれいにしてほしい。
- ・ 来年度中学生になり、部活ではなくクラブチームに所属するかもしれない。他の市町村ではクラブチームに所属した場合に助成が出ると聞いたため、スポーツをやる子供達に市としてもっと手厚い支援がほしい。
- ・ PTA の運営方法についてだが外注するなど考えていただきたい。男性が PTA に参加することは稀でほとんどの家庭は母親が仕事をしながら学校行事もこなしており、母親の負担がとにかく大きい。PTA は強制でないと言われているがほぼ強制である。兄弟が小さいと近所に預け先もないため PTA に参加するためにお金を払って延長保育するなど本末転倒だと経験してひしひしと感じた。専業主婦も、兼業主婦も例外ではない。共働き家庭は生活の為に働いてもこういったことからお金が消えていく。時代にあった運営方法をお願いできればと心から思う。
- ・ 共働きで土日が休めない人も多いため、こども会や PTA の業務の一部を外部に委託して、役員の方の負担を軽減できたら良いと思う。プリントを一軒一軒の家に配ったりするのを、子供と過ごせる貴重なお休みの日や仕事の後にしなければならなかったり、役職によってはとても大きな負担があるように思う。学校との連携をとるためにも PTA はあった方が良いとは思いますが、外部のプロの力を借りて、スマートに運営できたらよいのではないかと思います。
- ・ 育成会や PTA の活動がもう少し現代に見合った活動にしてほしい。
- ・ 小学校でも、バスケットボールや吹奏楽などの部活動が1つでもあると良い。
- ・ 昨年ノロウイルスの集団感染もあったため、学校の衛生面(トイレに上靴で入るのが衛生面で心配ゾーング出来てない)や感染症の季節のトイレ掃除(トイレ掃除の必要性は理解しているが)などに対する対策をとってほしい。中学校の部活動の件地域移行と言われているが実際にどうなるのか、これから中学生になる小学生に情報が降りてこず、習いごとをどういう位置付けでさせたらいいか悩む。
- ・ 親が週5日フルタイムで就労している家庭は、平日に子供を習い事に連れていく時間が限られているため、学校の体育館や空き教室を利用させてもらって、平日に習い事ができたら有り難い。
- ・ PTA をボランティア化してほしい。
- ・ 少しずつ学校のあり方に変化が見られてきてはいるが、学校生活に馴染めない子供達に対する教育はいまだに充実していないと思う。戦後から始まった学校教育はもう今の社会には合っていないことをもう一度再認識し、今の子供たちが未来は明るいと感じられるよう、教育改革を期待したい。未来を背負う子どもたちのために本当に大切なことを正しく伝えていく必要があると思う。
- ・ ここに書くことでは無いのかもしれないが、小学生の親の朝の旗当番の出番が多く大変である。他にジャンボコーン当番、放課後の見守り当番などもあり、他の保護者達と当番が多く仕事の休みを取り大変で困ると話している。他の地域ではシルバー人材センターの方をお願いしている所もあるそうなので、土浦市でもそのようにできないだろうか。

- ・ 小学校の PTA や教材の集金は税金でどうにかならないものかと思う。PTA 会費で校門前の花壇の費用を賄っていることに驚いた。PTA に関しては個人情報保護の面でも不信感がある。学校に、教員免許がなくても雑用をする人がいれば、学年の役員なども要らない。逆に時給が出るなら週に数時間なら協力できる。もちろんやりたい人はやればよいと思うが、特に意欲がない人が強制的にやられるのは、如何なものかと思う。前時代的で母親は専業主婦で暇だと思われるのかと思ってしまう。時給のパートで働いて居る人が多いと思うが休んだら1日いくら削られてしまうのか考えてほしい。朝の立哨当番が年に数日でも負担に思う。シルバー人材などで賄えないものか。その時間に保護者が1人しか居ない家庭は子どもが登校班に向かうまで数十分だが置いて行かなければならないのは危ないし不安。小学校に入学してから4年間思っていたことなので、このように意見できる場があってよかった。
- ・ 自宅から小学校まで片道2キロ程ある。体の小さい1年生にとってランドセルは重く歩くのが大変だと言っている。特に夏になると熱中症とかが心配。学校までの登校バスがあればいいなど感じている。
- ・ 母親同士でよく話題になることは、給食の内容を健康的な物にしてほしいということである。給食費を無償化よりも、子供達の大切な体を気遣った食事内容である方がありがたい。輸入の小麦や加工肉を減らして、地域の農家さんが作っているような野菜やお米をうまく使っていたら理想だと思う。
- ・ 2年生まで放課後子供教室に行っており、3年生でもやりたいと言っていたが習いごとの兼ね合いで今年は見送った。曜日の幅がもっとあったらありがたい。工作、運動、バルーンなど楽しいことを考えてくださり感謝している。

6 ランドセル

- ・ ランドセルの支援は選ぶ権利を奪われていると感じる。普通のランドセルを購入する場合でもお祝い金を出せば良いと思う。
- ・ ランドセルをもらえるのは嬉しいが、もっと種類を増やしてほしい。選択できるようになったのはよいが、選択肢が少なすぎる。

7 学童・児童クラブ

- ・ 親が共働きだと、習い事をさせることが難しく、申し訳なく感じている。放課後児童クラブ以外に、放課後の過ごし方の選択肢を作ってあげたい。放課後児童クラブの掲示物が、禁止事項ばかり列挙してある昭和なもので、時代が止まっていると感じる。廊下は走らない⇒廊下は歩きましょうなど、表現の変化がほしい。先生も大変なことはわかるが、児童クラブは学校に比しても極めて管理的で子どもも息苦しそうで、ここしか選択肢がなく、ここに預けざるをえないことも子どもに申し訳ない。このあたりがなんとかなってほしいと切に願っている。
- ・ また土浦市の学童は土曜日開所が月一回だと思うが、できればそれはそのままの体制でいてほしいと思う。
- ・ 現在学童に預けているが、一部の支援員の方に不安がある。子供に対し「いつも迷惑をかけられている」「あなたはおかしい」という言い方をされる。最近では他の支援員の方にフォローしていただき通えているようだが、親が共働きで低学年のため預け先がないと働けず、子供は嫌な思いをしているけれど預けている。
- ・ 現在放課後デイサービスを利用しており、親が就労していなくても療育目的で利用できるが大変ありがたい一方で、地域の放課後児童クラブに対して開所時間が短めの為、以前はフルタイムで働いていましたが、仕事を辞めざるを得なかった。

- ・ 放課後児童クラブの長期休暇に宅配のお弁当を導入してほしい。仕事はいつもと変わらないのに準備の買い出し、作成のための早起き、帰ってからの片付けなど負担が大きすぎる。働く人のための児童クラブではないのか。他市のように、お弁当持参したい人はして、選択制にすれば良いと思う。
- ・ 土浦市は、近隣の他市に比べて民間学童が少ないので、民間学童の事業者の方を誘致するなど、子ども達の放課後の時間がより有意義な時間を過ごせる環境を作ってもらえれば嬉しい。
- ・ 両親とも就労している児童クラブに通っている児童が学校の体育館や校庭で習い事が出来る制度など地域の書道の先生や英会話の先生、ピアノの先生、バスケットボールやサッカー、野球などが学校の教室や校庭で習い事が出来るようにするなど。
- ・ 子どもが小学校低学年のうちには放課後児童クラブを利用した。待機児童にならずにスムーズに利用できたため本当にありがたかった。コロナ禍で一年のうちのほとんどが休校になった時もあったが、そんな時も一日預かっていただき、安心して仕事を続けることができた。子どもも嫌がることなく放課後児童クラブへ通ってくれたのは、先生方のサポートのおかげだと思う。本当にありがたう高学年になると利用する機会がなくなるが、今まで本当に助けられてきたので、心より感謝する。
- ・ 放課後児童クラブが窮屈である。広さの問題もあるが、外遊びの日が極端に少ない。トイレに行く時間まで決められていて、静かな遊びに限られている時間が長い。物言いのきつい先生もおり、教育上よいか疑問である。おやつも健康面を気にしてほしい。預かっていただけのありがたいが、積極的に勧められない。
- ・ 子供に様々な習い事をさせてあげたいと思っているが、共働きかつ近所に親戚もいないため、平日の送迎が出来ず土日はお出掛けの予定もいれたいとなると、数や内容が限定されてしまう。放課後子供教室もあるが、スポーツの種目や英語などの内容で選べる放課後の活動があればいいのと思う。
- ・ あるいは、週1回でも良いので学童で夕食の提供をしてくれたら助かる。
- ・ 現在の学童つばめクラブの職員の先生方も、子供達に真摯に向き合っていていただいていると感謝している。
- ・ 私自身、数年ほど児童クラブの保護者会の役員をしていた。ここ数年毎年運営会社が変わり、その度に指導員の先生たちが大変苦勞されているのを目の当たりにしている。特に年度初めは新一年生（入学前の児童）が入ってくるため、先生たちもかなり気を遣っているのがわかる。そのタイミングで運営会社が変わるといのは、かなりのご苦勞があるのではないかと想像出来る。保護者としても運営会社がころころと変わるのも大変不安に思っている。行政にも諸事情があるとは思いますが、委託契約の単年度の契約は見直すべきだと思う。安かろう、悪かろうで、運営会社の質が下がるのは本末転倒ではないだろうか。子どもたちを安心して預けられるようにして改善していただけたらと思う。また、学校と児童クラブ間における情報共有がされていない事が残念である。学校で支援が必要な児童など、生活面で注意すべき点など児童クラブの先生たちは把握できていないそう。児童クラブには支援学級のようなクラスはないので、事故が起きぬよう細心の注意が必要との事も伺ったことがある。クラブは学校の敷地内にあるので難しい事ではないと思う。そこは改善していただきたい。
- ・ 放課後児童クラブの開所、閉所の時間を見直してほしい。朝7時～(長期休みの時)、夜は年間通して19時まで希望。児童クラブで宿題や遊ぶだけでなく、習い事など(体操、そろばん等)も希望性で週1でも良いのでそういった体制があればいいのと思う(放課後こども教室は利用させて頂いている)
- ・ 低学年の時だけ学童や放課後児童クラブに入ったが、その後は嫌がった。楽しくない理由があったようだ。子供の気持ちを後回しにしては、子供のメンタル面が心配。そうなる、たとえば親が利用したいサービス等があったとしても、無理やりにはできないから難しい部分があると思う。
- ・ 児童クラブも18:30までなので仕事が終わらないと迎えに行けないので19:00とか19:30までとかにしてほしい。児童クラブも毎月お金がかかるが、おやつや父母会費も更に取りられる。
- ・ 児童クラブの運営がここ最近、会社が頻繁に変わるので、不安がある。ある程度、子供も親も安心できるよう、3年間もしくは6年間同じ事業所で児童クラブを運営して頂きたい(子供が変化についていけないこともあるので)

8 児童館・支援センター

- ・ 平日に行ける児童館がない。
- ・ 近所に小さい児童館でもよいからあると助かる。そこで、子どもたちの拠り所になれば、寂しい気持ちもうめられるのではないかと思った。
- ・ 保護者が仕事で不在の中、1、2年生の低学年から夜まで1人で留守番している家庭が多いことに衝撃を受けている。小学校学区ごとに、児童館や子どもが気軽に遊びに行ける場を充実させていただければ、学童に行っていない子ども達が安心して過ごせる場所が増えるのではないかと思う。
- ・ 土浦市で子育てをして11年になる。子どもが6年生になり、市の子育て交流サロン、児童館などを利用することはなくなったが、幼稚園就園前はわらべを何度も利用させていただいた。雨でどこへお出かけしたら良いかわからない、友人もいない、そんな状況を救ってくれる場だった。わらべの先生方はとても優しく親切で、イベントも開催してくださり、子どもにとっても親にとっても貴重な体験ができた。ぜひ、子育て交流サロンの事業は継続していただきたいと思う。きっと、たくさんのお母さんが精神的にも肉体的にも救われる居場所だと思う。
- ・ 子供が産まれてから、子育て交流支援センターわらべに行きお世話になった。

9 子育て支援・ファミリーサポート

- ・ 土浦市は子どもの環境にとって不便もなく、育てやすいと思っているが、意見を言えるなら、子どもを産み育てたいと思える環境づくり、母親の社会との関わり（就労や子育てサロンなど）も更に支援してほしい。2、3歳頃までは基本家庭で保育できるように支援しつつ、乳児を預ける際は高額な保育料が必要（フルタイムで働かないと割に合わない）なので、もっと保育料を抑える（しかしフルタイムが増えるのは子どもにとってはどうかと思うので短時間勤務の方により支援がいくようにする）とか子どもを育てる環境にもっとゆとりがもてるようになってほしい。就労ももちろん大切だが、子どもとの時間の大切さを各家庭の大人が感じてほしい。各家庭の格差が広がりすぎないような支援があるといい。
- ・ 土浦市は子育て支援には力を入れてないと思っているので諦めている。環境についても、土浦駅周辺含め子育てには向かない街だと思っているので結果的に税金が高くなるので、今以上の支援や環境は必要ではないと思っている。せめてごみ袋を県内一高くした時位、子育て世帯に袋の配布などの配慮がほしかった。子供も大きくなってきた今は、子育て支援より他の支援に力を入れてほしいと思う。
- ・ 給食費ゼロの継続など、子供を持つ家庭への支援を強く感じる。ありがとう。やはり、そういった目に見える形の支援だより実感をもってありがたみを感じやすい（お金がどうこうではないだが、やはり目に見える、実感できるという点では評価しやすい）
- ・ 給食費無料化、また乙戸小学校の工事など子供たちへの支援本当にありがとう。特に給食費無料は、ママたちがみんな本当に安藤さんに感謝している。安心してみんなが子供を産める町になるようこれからも期待している。
- ・ 今後も子育てがしやすい環境がどんどん拡充されていくことを願う。
- ・ 教育の充実(学力が低下していると感じるから)子育て支援の充実(給食費無料など)
- ・ 家族、地域環境の重要性。
- ・ 今の教育、保育環境は如何にして子どもを預け、保護者が仕事出来るかしか考えられていない。私自身も長時間仕事をしており、子どもと過ごす時間があまりなくもっと一緒にいたいと思うこともあるが、周りには仕事が休みでも保育所に預け自分の時間を確保したいという人もいる。そのような時間も大切だが、やはり子どもは親と一緒に過ごす時間が大切であると思う。負担にならないよう、親と一緒に過ごす時間を作れるような子育て環境になってほしい。
- ・ 土浦市は子育てに関しての支援が充実していると思う。今後もよろしく。

- ・ 子育てに十分な時間と労力をかけるためには、家事負担を減らすことも重要だと考えている。特に、毎日の食事の準備を負担に感じている。掃除や洗濯は同じ作業をすれば良いが、食事は毎回同じものを作るというわけにもいかず、時短が難しい。大人向けのお惣菜やお弁当は栄養バランスや味付けが濃くて利用しなかった。子供に安心して食べさせられる惣菜やお弁当の売り場がスーパーにあったら嬉しい。家事支援サービスの充実を期待する。
- ・ また、保育園に入りたい時に入れなかった経験をしたことから第二子が生後半年に満たない時期に育児休暇を切り上げて保育園に預けた。もっと一緒にいたかったと今は思う。しかし、他の市町村の子育て支援の話を知人から聞くと土浦市は充実している方ではないかと思う。子どもとしっかり向き合いたいと思っても、経済的に仕事しなければ生活ができず、頼りたい両親も高齢になるが年金だけでは生活できないため、やはり就労しており預けることができない。そういったところで、子どもをもっと産みたいと思ってもなかなか踏み出せない。
- ・ それと、あづかり保育や児童クラブの充実よりも、ただいまと帰ってきた時に母親が家で迎えてあげられる環境や家族と話しをする時間がある事が、引きこもりや犯罪も減るのではないかと思う。

10 発達障害・不登校

- ・ 不登校支援(小1から支援センターを利用できるようにしてほしい、支援センターに通う子にも給食を提供してほしい)
- ・ 不登校の娘を異質なものと見ないでほしい学校に行けなくても学べる環境を作してほしい。
- ・ 我が子も学校に登校できない時があり、先生方には色々支援して頂いていたが、出られない授業の遅れを自分の力だけで取り戻すのはとても難しく感じた。結局塾に通わせて何とか追いつこうと努力したが、その為の費用が負担になり、親の心身の余裕が無くなりがちになった。登校できない子供への学習支援が圧倒的に足りないと感じた。放課後に学校で教えてもらえる場や、塾のように教えてもらえる場、もしくは塾に通うことになった時に補助を受けられたりすれば親子共に不安な気持ちを軽減出来ると思う。
- ・ 小学校での通級学級についてだが教員不足(療養など含め)のため、今年度は通級学習ができない状況になっている。発達、学習に不安があるので今年度は週一回の合体のみになっているのでとても心配。また、経験のある教員の方が異動になった時も心配だった。通級学級の環境を早急に整えて頂きたい。

11 障害児

- ・ 障害をもつ子を育てるにあたっての福祉サービスに関しては、様々な制度がありいつも利用させてもらっている。とてもありがたい。だが中には自分で詳しく調べないと分からなかったものもあり(特別児童扶養手当の申請対象についてなど)まだまだ自分が知らない受けられる制度があるのかなと感じている。
- ・ 私の子供は、小学校の支援クラスに通っている。今年度から通い始めたが、私達は小学一年生の時から、子供の発育に不安があり、先生に訴えていた。三年生になり、学校に行きたくないという日が増え、四年生でやっと気付いてもらい、支援クラスに通える(子供にとってのベスト)一歩を踏み出した。判断が難しいとは思いますが、もっと早く気付いてもらえたらと思わない日はない。勉強が苦手なら、好きな事、得意な事(うちの子は料理)を伸ばしてあげたいとは思いますが、なかなか難しい。昔ほど差別もなくなり、環境は良くなったと思う。贅沢かもしれないが、今は何もかも値上げで家計も厳しい時代。子供の好きな事を伸ばしてあげられる環境の支援(スポーツ以外)がもっと充実すると嬉しい。

- ・ 宛名の子の妹が障害児だ。普段は放課後デイサービスを利用させてもらい、きょうだい児との時間を過ごすことや、自分の時間をとるために、とても助かっている。しかし、休日等、遠出もしくは泊まりがけの外出となると、宿泊を伴う預け先が見つからず困っている。もちろん、障害児も一緒に泊まりがけの外出が可能な場合もあるが、きょうだい児の興味がある場所が必ずしも障害児の妹が楽しめる場所かという点、そうではなくなってきた状況もあり、また、それによって、きょうだい児の行動を制限させてしまうのは辛い気持ちもある。時と場合により、もっと気軽に長時間、または宿泊を伴う預け先がたくさんあれば、お互いにストレスなく楽しむことができるのにと、感じている。また、今後、自身が入院等で一定期間、保育できない状況などになった場合なども、そのような宿泊を伴う預け先があればありがたいなと思っている。

12 公園

- ・ 自宅からの徒歩圏内の公園が少ない。子どもだけでも行ける、心配になったらちょっと様子見に行ける、くらいの手軽な遊び場がたくさんほしかった。
- ・ 都和南小地区は、遊具が整った公園がない。常名運動公園ができるのを期待している。
- ・ もう少し公園を充実させてほしい。水郷公園も亀城公園もひどい。古すぎる。遊具はこの公園も古いし全く魅力的じゃないし、亀城公園に至っては数少ない遊具の鉄棒が子供は到底使えない高さで何のために設置されているのか意味がわからない。大型の遊具を設置するなり、もう少し楽しめる物を増やすなり、改善点が沢山あると思う。仕方なく土浦に住んでいるだけで、子育てに良い街とは到底言えない。
- ・ 子供の遊ぶ場所が少ないと感じている。各町内にもう少し公園などあればいいのにと思っていた。
- ・ 子供たちだけで出かけられる公園が近くにほしい。水郷公園は遠すぎて子供達だけでは行かせられないし、放課後に集まりにくい。公園がないからスーパーなどの駐輪場で集まるしかなくなる。桜川の河川敷を整備してこどもたちが遊びやすい環境を作ってほしい。
- ・ 日頃より子育て等に関して近隣自治体よりも充実したサービスで感謝している。おそらく実現しても今の必要としている子供たちが大きくなっている頃かもしれないが、ひとつだけ切にお願いしたいことがある。木田余（ピアタウンより北東側）、真鍋新町地区に公園や広場がない。市へ問い合わせをしても、市内に公園はたくさんある、新しい公園を作る（とてもこの辺りの子供の足で行ける距離ではない）そうだ。子供が放課後のびのびと遊べる環境がほしい。このひとつが願いだ。
- ・ 水郷公園や乙戸沼公園など大きな公園があるのはいいが、どこも家から遠いので平日でもこどもがフラッとあそびに行けるような公園や広場などがほしい。また、最近ではボールなど道具を使った遊びに制限されており、また、うるさいと怒られることもある。こどもがおもいきり遊べるような場所が増えてくれるのを望む。
- ・ 笠間の工芸の丘や清水公園の様な遊具がたくさんある場所が土浦市にもあると嬉しい。乙戸沼公園の新しい遊具は以前の物と比べあそびの幅が少ない遊具だなと感じた。遊具は子供の発達に関わる重要なものなので、発達心理士さんなど専門家のかたの意見もいれた遊具だと嬉しい。
- ・ 土浦市は公園や図書館が充実しているのでとてもありがたいし、よく利用している。
- ・ 土浦市は公園が少ないと思う。
- ・ 最近、外で遊ぶ子供の姿を見なくなってしまったので、安心して安全に遊べる環境があると良いと思う。同じ学校の子供達が集まれるような公園や広場があると良いと思う。
- ・ 乙戸沼公園のリニューアル。
- ・ 水郷公園を一部有料にして、他市の清水公園や船橋のアンデルセン公園レベルのアスレチックを導入して県外からもたくさんの人に来てもらえるような場所にするのはどうだろうか。せっかく広大な土地があるのでぜひ利用してもらいたい。風車のチューリップやイルミネーションはとても素晴らしいと思う。今後も続けてほしい。

- ・ 子供が歩きで行ける距離に大きな公園がなく、近所の子供が道路で遊んでいる。遊べる場所を整備してほしい。
- ・ 公園がすくない。あっても整備されていなかったりする。高学年が遊べる場所がない。
- ・ 原点回帰で、子どもたちが身体を自由に制限なく遊べる環境に力を入れてほしい。勉強はやらせたい親は黙っていても力を入れるが、遊べる環境は、裕福であろうが貧困であろうが差別されることはないはず。思いっきり遊べる環境が整えば、これは結局、勉強に繋がるのを学生時代に学んだ。ちなみにスウェーデンでは、IT 教育の失敗を国が認め、鉛筆と紙での勉強に戻る等やり直しを図っている、そんな国もある位だ。日本では政府が終わっているし、利権々々で無理だろうから、市で独自に力を入れたら良い。市民が後押しするだろう。土浦市内は、楽しく遊べる遊具が充実している公園がほぼない。水郷公園に集中し過ぎている。最近、乙戸沼公園が改善されたようで良かったが、土浦駅周辺は特にないので、子どもが幼い頃は毎度車で公園へ移動していた。土浦が、自転車の街をメインにしているなら、子どもたちがチャリを自由に走行できる（自転車の練習ができる交通公園のような場所があったら最高）エリアを作ったら、絶対地域住民は集う。それを川口運動場付近に作れば良いのにとよく思っている。次に、せめて亀城公園の遊具を充実してほしい。遊具が古くて貧相。税金を保育教育サービスとかに使うのではなく、原点に戻って考えてほしい。子どもがいない人でも、あそこに税金使われているのだ、と納得できる使い方をしてほしい。公園は、誰でもどんな人でも気軽に利用できるはず。自分は子どもがいるので、遊具（公園）を充実させてほしい。老若男女で考えれば、休憩スペースをもっと作ったり、駐輪駐車スペースを考え直したり、いくらでも思いつく。結局、遊具が色々あって楽しい物にしたら、地元の人も子連れ観光客も遊べて良いし、その楽しい公園を目的に人が集まる。幼い子連れは、とにかく子どもが騒いでも、周りに迷惑を掛けない環境がほしいので、広々とゆとりのある、駅からも歩いて行けて、赤ちゃんから、中学生位の子も一緒に遊べる公園の整備を充実させてほしい。地元が楽しければ、絶対賑わうと常日頃思っている。子育てに力を入れていて 100 年後も人で賑わうとされている、有名な市町村をしっかりとリサーチして参考にしてみたいかだろうか。駅前にはマンションも増えているのだから、駅前をもっと力入れてほしい。土浦が子連れの住みやすい街になるように願っている。
- ・ 市内ほとんどの公園が老朽化しているので、整備してほしい。
- ・ 狭く、あまり整備されていない公園が多い気がする。狭くても、せめて水道は付けてほしい。
- ・ 近所にある広場にももう少し遊具を増やし、空き地があれば公園を増やしてほしい。
- ・ 空き地や空き家の有効的利用としても公園や緑地への転換。
- ・ 近所に公園など、歩いて行ける遊べる場所があったらいいと思う。
- ・ 大型遊具のある公園を設置してほしい鶴沼公園に遊具を設置してほしい。
- ・ 働くママが増えることも良いことなのかもしれないが、放任主義みたいな子供が愛情不足な子も増えているような気がするので公園とか行くと 1 人でフラフラしていたり、すぐ誰にでも声かけたり子供が可哀想だなと思うときがある。
- ・ 公園が他の自治体に比べて劣るように感じる。我が家は水郷公園をスルーして予科練の公園に行ってしまう。
- ・ 公園やアスレチックなどの外遊びができる施設がたくさんあると、良いと思う。乙戸沼公園の遊具が新しくなって、嬉しいが、そこに子供達がたくさん集まってしまい、ゆっくり遊ばせてあげられなかった為。ゲームや動画ばかりでなく、気軽に外にでてリフレッシュする機会を増やしたい為。
- ・ 乙戸沼公園の遊具が新しくなったが、小学生には物足りなく、未就学児向けのようで非常に残念。前位の、それ以上のものを期待していた。市営のアスレチックなど作ってほしい。

13 子どもランド、施設、雨の日の遊び場

- ・ ウララの上階の子育て広場は物理的にもものすごく暗く感じ（思わず窓の位置を確認した。受付が逆光で驚きの暗さ） 雰囲気も暗く、行くと気分が暗くなるので、ちょっとどうかと思う。床材を変えるだけでも違うと思うが。図書館のおはなし会はよいと思うが、また、子どもの絵本が選びにくいのも不満といえば不満。
- ・ 市が色々な場を提供してくれるが それはそれで良いと思う。ただ環境を整備し過ぎたり放課後の過ごし方を提供し過ぎたりせず 自分で見て考えて過ごす自由さもあっていいと思う。今の環境は良いと思っている。
- ・ 子供が子供らしく遊べる環境がある土浦はよいと思う。
- ・ 子育て世帯、子供の成長を広い心で見守っていける環境が理想。近くに思いきり遊べる公園がないため子供が自宅で（一軒家）遊ぶなどしたときに近所からのクレームなどがあつた。それ以来、家では宿題の課題の楽器練習すらできない。身近に楽器など練習出来る施設や安心して遊ばせられる施設があるとこれから子育てする親は助かると思う。抑え込む子育てではなく、伸びやかに大らかな気持ちでゆとりを持って子育てしたいと願っている。また、共働き世帯が多いので宿題などサポートして頂ける教育の一貫の場所がほしい。
- ・ 学校から帰ってきて、家に親がいない家庭が増えてきている。私が娘くらいの時は、どの家にも親がいた。時代とともに、女性も働き続けていける環境が増えてきているのは、喜ばしいことかもしれない。でも、そのせいで、子どもたちは、自立せざるおえない子がたくさんいる。注意してくれる親も何がいけないかも、その場に親がいないから教えてくれない。放置に近い子育て、なげやりな育児が多いような気がする。下校や放課後で友だちどうしトラブルがあつても、解決にいたらず、学校の先生達に丸投げ状態になってしまう。放課後も家に帰っても誰もいないから、外で遊ぶと遊ぶ場所がないから駐車場や道路で遊んでいたりする。近所の方が注意し行き場が失ってしまう。
- ・ 他市のように学童以外にもっと放課後預かってもらえる（バス等で放課後学校まで迎えに来てくれる）施設を増やし、子供の預け先の選択肢を増やしてほしい。
- ・ 図書館をもっと利用したいが、利用しづらい。駐車場の料金や時間制限がないほうがイイ。子供が本を借りづらい。移動図書館がすべての公民館を訪れるとか。
- ・ また、川口エリアはりんりんポートがあるが、今一歩子連れで十分楽しめない。なぜか考えたが、子連れでも買いやすいパンやおにぎり、駄菓子でも良いしアイスでも良いし、親子でお安く気軽に買いやすい食べ物売っている店がないし、遊具がしょぼいからだった。まさしく観光向け過ぎる。もっとあそこの環境を活かすべきと思う。道の駅の話しなくなったが、観光客も地元民も、気軽に地元野菜や食べ物買える店があつたら、1年を通して絶対賑わう。あと、モール 505 は変質者が出やすいし、子どもたちがわーっと身体を動かして遊べる環境が乏しく、子どもが気の毒。スケートボードを制限していたが、流行っているなら、ボードエリアを作れば良い。せっかく学生さんも多いのだから、若者が集い賑わえば土浦駅周辺も賑わうのでは。ちなみに、土浦駅前の子連れで入りやすい店がない、弁当やお惣菜（駅ビル内にはあるが）のテイクアウトしやすい専門店もなく残念過ぎる。ベビーカーでも入りやすい店、大手飲食チェーン店もほしい。サイゼリヤがなくなったのはかなり痛手だった。
- ・ 市の教育事業の一環などで、低価格で利用できる習い事のような場所がほしい。
- ・ 三中地区の近くには室内で遊べる公民館みたいなのがないので、出来たら嬉しい。
- ・ 土浦の学校のプールは老朽化や天候により実施されない事が多い。近隣地域などはとても設備の整ったプールができたようで、地区の小学校、中学校で6回とか回数等決められてうらやましいと思った。一般の利用はできず、子どもたちのための学校内利用だけの施設と聞いた。ぜひ土浦も検討してほしい。陸上施設、コンサートホールも近隣に比べて少ないので子ども達のために充実してほしい。

14 イベント

- ・ イベント開催に興味はあるものの、土浦駅周辺だと駐車場問題が心配され、結局行かない。
- ・ 小学生中学年くらいから、子供だけでも参加できるイベントが増えてくれると嬉しい。昨年あった桜川探検隊みたいな子供だけで体験できるもの。いつもご苦労様。
- ・ 最近、水郷公園で様々なイベントが開催されているが、大人も子どもも楽しめて、どれも良かった。屋外で気持ちよく過ごせた。子供たちにとって、習い事や体験活動も大切だが、自然豊かな場所でのんびり過ごす時間も重要だと思う。駐車場も広い水郷公園だからこそできるイベントだと思うので、今後も様々なイベントを期待している。
- ・ 親子で一緒に参加できる楽しい体験型のイベントを増やしてほしい。以前に、駅前で、様々な企業や自衛隊、店舗の方々が協力して行っていたイベントに参加させてもらったが、健康にも良いし、子供達も知恵がつくゲームに参加し、最後にプレゼントをもらえて楽しんでいた。

15 防犯・安全

- ・ 桜川が汚すぎる。歩道がガタガタな上に狭くて自転車が通りにくい。道路の雑草がうっそうとしていて景観が悪い。他の街はもっときれい。
- ・ 道路も事故が多発して見通しの悪い交差点ばかり 30 キロ制限の道路でも車が横転するような事故。もちろん歩道なんてなく、夜は街灯もなく暗いたまたま子供が巻き込まれなかったただけだと思う。その中を駐車場でボール遊びをし、追いかけてっこをして道路に飛び出す子供たちが日常の光景。
- ・ 新治学園の学童から駐車場への迎えの道のりの冬が暗すぎるので、灯りを増やしてほしい。太陽光のセンサーライトでもいいので、武道館あたりにつけてほしい。
- ・ 子供の登下校時の見守りがもっとあってほしい。自宅は学校から遠く、不審者情報も多い場所。
- ・ 若い人が集まってこそそのコミュニティもたくさんあるので、その為には活気ある街造りの為に古い街並みは新陳代謝として新しくしてほしい。具体的には、道が狭い、歩道がない、色使いが暗い、公園が少ない、ゴミ捨て場の配置が個人宅等の場合も多く見た目も乱雑、街灯が少なく暗い、歩道の雑草が伸び放題、etc。
- ・ 交通の便が悪いので子供だけで外出が出来ない為、常に自分車で送迎しなくてはならない。環境を改善出来るといいなと思う。
- ・ いつもありがとう。わたしが住む地域は比較的昔からの街で子供たちが遊びやすい場所もある反面、壊れたベンチや衛生的に不安な設備なども見受けられる。子供達が安心安全に怪我なく過ごせるよう、速やかに点検、修正の検討をよろしく。
- ・ 近所は街灯が少なく暗い道が多い。日が暮れるのが早い時期は特に心配なので、そういった環境の整備もしていただきたい。また、自転車に乗るときは必ずヘルメットを被るよう徹底してほしい。安全のためにも子どもも大人も当たり前被る町になってほしい(土浦ではバイクでのノーヘルをよく見かけ民度が低いと思うので、子どもの頃から自転車に乗るときはヘルメットを被る、ということを徹底すれば抵抗なく着用出来ると思う)登下校の道や歩道がデコボコし、ガタガタする道が多いので直してほしい。
- ・ 小学校通学路の歩道確保等安全対策。
- ・ 中学校への通学路今後学区の中学に行くのならば、自転車通学になるが通学路がかなり危険で心配(事故も目撃している)

- ・ 土浦市道の路線番号 000-0131 路線名称 I-3 1 号線と、路線番号 000-0132 路線名称 I-3 2 号線は、小学生～高校生までの幅広い年齢層の学生達が通学する市道だが、大通りと大通りを繋ぐため、自動車の交通量が多い。しかし、交通量の多さに対して道幅が狭いため、学生達と自動車が接触しそうな場面を何度も見かけた。予算や地域住民の意向などの様々な問題があるので、簡単な事項ではないと思うが、学生達の安全な通学のために道路の拡幅を含めた対応をよろしく。
- ・ 土浦市はとても子育てがしやすい街だと思う。子どものための補助やイベントもとても多く楽しい。ただ不安に思うことは子供達の通学路などに歩道がないところが多く不安になる。ボランティアの方たちの見守りもあるが、もう少し子供達が歩きやすい道になるといいなと思う。

16 産後ケア

- ・ 出産後、幸いにも自分は里帰りし、床上げまで実母に助けられたが、自宅に戻り睡眠時間が十分に取れない中で日中赤ちゃんの世話と家事をこなすのがとても辛かった。せめて子どもが生後半年になるくらいまでは家事だけでも誰かにサポートして欲しかったが、経済的にサービスに頼れなかった。

17 情報発信・相談窓口・市政

- ・ どうすれば人口が増えるのか、移住者が増えるのか考え、税収を増やす努力をしてほしい。
- ・ 子育ての相談先はいくつかあるが、「母親」自身の悩み相談ができる場所をつくってほしい。
- ・ オルタナティブスクールの情報なども発信してほしい。

18 保護者の就業状況について

- ・ 子供は成長するにつれお金がかかる。両方が正社員ならまだしも子供の急な体調不良や通院で欠勤したりなど近くに頼る人がいないため片方が契約社員などで働くしかなく又、物価高や教育費にかかる費用も厳しく先々子供への将来のお金が不安。子供がお金の心配なく大学進学を選択も出来るような市の将来性に期待したい。
- ・ 仕事で悩むのは職場の問題と捉えているので、子育てしやすい就労環境の整備はまず職場の改革が必要だと思う。私は今パートだが、「正社員は子供が風邪引いたから休む、とはいかないからね」と面談で言われ、この職場ではフルタイム勤務は不可能だなと思った。
- ・ 今後仕事を再開する際も、お迎え時間を考えるとフルタイムは無理な為、職探しの段階から制限がかかってしまう。仕方のない事だが、収入が以前より格段に減ってしまうので将来への心配がある。
- ・ それぞれの職場がもっと子育て中の職員に対しての給料面、就労時間面等で補助等があり、保護者が子どもと過ごす時間を増やし、それを面倒くさい、仕事をした方が楽等思わないような援助が必要だと感じる。

19 アンケートについて

- ・ このようなアンケートは、日頃の不満を訴えることができるのでうれしい。少しでも何か変わってくれたらと思う。
- ・ アンケートとってくれてありがとう。
- ・ そもそもアンケートの完成度が低い。複数選択とあるが選択不可等。調査しているアピールか。
- ・ これらは親がするアンケートで、子供に利用させたいか等、親目線で答えるが、子供がしたいかどうかはまた別。

IV 調査票

1 就学前児童

土浦市子育て支援に関するアンケート調査《就学前児童用》

依頼状に記載のIDをご記入ください。

ID: ()

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区としてあてはまる番号1つに○をつけてください。

地区名	該当町名
1. 一中地区	有明町、大和町、祇町一丁目～四丁目、大町、千束町、生田町、港町一丁目～三丁目、中央一丁目・二丁目、城北町、東崎町、川口一丁目・二丁目、大手町、文森町、立田町、田中一丁目～三丁目、田中町、蓮原町、湯河原新町、瀬田一丁目・二丁目、湖北一丁目・二丁目、虫掛（虫掛町）、六塚（六塚町）、矢作（矢作町）、飯田（飯田町）、佐野子（佐野子町）、和毛（和毛町）
2. 二中地区	木田余（木田余町1区、2区、3区、4区）、木田余東台一丁目～五丁目、木田余西台、真鍋一丁目～六丁目、美真鍋町、西真鍋町、真鍋新町、若松町、栗岩松町、栗岩和、鞍屋（鞍屋町）
3. 三中地区	中（中根町1区・6区・8区、西根町3区の一部、中根町の一部）、中野西根（1区・2区、竹の入町、西根町3区の一部、乙戸町の一部）、中野南一丁目～六丁目、西根南一丁目～三丁目、西根西一丁目、中野一丁目・二丁目、中野東一丁目～三丁目、右根（中野東町の一部）、荒川沖東一丁目～三丁目、荒川本郷（荒川沖南地区の一部）、沖新田（荒川沖南地区の一部）、北荒川沖町、中荒川沖町、荒川沖西一丁目・二丁目、荒川沖（荒川沖南地区の一部）、荒川沖西一丁目・二丁目、荒川沖西三丁目、荒川沖南地区の一部）、乙戸町（乙戸町の一部、荒川沖南地区の一部）、乙戸町南一丁目～三丁目、小山田一丁目・二丁目
4. 四中地区	小松一丁目～三丁目、千鳥ヶ丘町、小松ヶ丘町、桜ヶ丘、園分町、上高津（上高津町の一部）、六塚（上高津町の一部）、上高津新町、小岩田（永田町の一部）、永田（永田町、中高津町の一部）、永田東町、永田台、富士崎一丁目・二丁目、下高津一丁目～四丁目、中高津一丁目～三丁目、天川一丁目・二丁目
5. 五中地区	沖徳町、田村町、手野町、おおつ野一丁目～八丁目、神立町（神立町1区）、中神立町、北神立町、神立町中央一丁目～五丁目、神立東一丁目・二丁目、菅谷町、白鳥町（白鳥町、白鳥新町）
6. 六中地区	大岩田（大岩田町1区・2区、大岩田団地）、霧ヶ岡町、小岩田東一丁目・二丁目、小岩田西一丁目・二丁目、嵐山一丁目～五丁目、右根（右根町1区・4区・5区、右根町2区・3区の一部、右根町自衛隊、まのやま団地、まのやま新町）、摩利山新田（右根町2区・3区の一部）
7. 都和地区	並木一丁目～五丁目、東並木町、西並木町、都和一丁目～四丁目、栗野町、小山崎（小山崎町）中貫（中貫町）、東中貫町、常名（常名町）、藤沢（藤沢1区・2区）、東町の一部、文京区の一部）、大畑（大畑、藤沢西地、東町の一部、桃園の一部、文京区の一部）、上坂田（上坂田、桃園の一部）、下坂田（下坂田、桃園の一部）、沢辺、田宮、土土郎、高岡（高岡町、高岡沖、高岡新田）、藤沢新田、永井、本郷、大赤戸、小野、東城寺、小高
9. わからない	(町名:)

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月日をご記入ください。()内に数字をご記入ください。

平成/令和()年()月()日 生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか、宛名のお子さんを含めた人数()内に数字をご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月日をご記入ください。

きょうだい数()人 末子の生年月 平成/令和()年()月 生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみられた関係でお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしているのはどなたですか。お子さんからみられた関係であてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親
4. 主に祖父母 5. その他()

子どもの育ちをめぐり環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみられた関係であてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 母親 3. 父親
4. 祖父母 5. 幼稚園 6. 保育所
7. 認定こども園 8. その他()

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

1. 家庭 2. 地域 3. 幼稚園
4. 保育所 5. 認定こども園 6. その他()

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる } 【問9-1へ】
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる }
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる } 【問9-2へ】
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる }
5. いずれもない → 【問10へ】

問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。
 祖父母等の親族にお子さんを見てもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

→ 【問10へ】

問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。
 友人・知人にお子さんを見てもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。また、相談できる場所はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある → 【問10-1へ】
2. いない／ない → 【問11へ】

問10-1 問10で「1.」いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。
 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族
2. 友人や知人
3. 近所の人
4. 子育て支援施設（地域子育て支援拠点、児童館、NPO等の民間施設で実施しているものも含む）
5. 健康所・保健センター
6. 保育士
7. 幼稚園教諭
8. 民生委員・児童委員
9. かかりつけの医師
10. 土浦市・茨城県の子育て関連担当窓口
11. その他 ()

問11 子育てをする上で、特に不安に思っていることや悩んでいることはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育てによる身体の疲れが大きい
2. 子育てで出費がかさむ
3. 自分の自由な時間がもてない
4. 夫婦で楽しむ時間が少ない
5. 仕事が多忙にできない
6. 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない
7. 子どもが病気かち
8. 子どもを預ける施設が少ない
9. 住居が狭い
10. その他 ()
11. 不安に思うことは特にない

問12 産後に不安や負担は感じました（感じているようだった）か。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. とても感じた（感じている）
 2. 時々感じた（時々感じている）
 3. あまり感じなかった（あまり感じていない）
 4. まったく感じなかった（まったく感じていない）
- 【問12-1へ】

問12-1 問12で1～2と答えた方にお聞きします。それはどんな内容ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 出産や育児による体の疲れ
2. 上の子どもへの育児の両立が難しい
3. 十分な睡眠がとれない
4. イライラしたり落ち込んだりする
5. 自分の時間がとれない
6. 自分の育児方法が正しいのか分からない
7. 授乳をめぐるトラブルで家事ができにくい
8. 子どもが泣きやまない
9. 乳肩のトラブル
10. 仕事への復帰や仕事との両立が大変
11. 子育てにお金がかかる
12. ほかに子どもと自分の子どもの発達などを比べて不安になる
13. 子育てに自信が持てない
14. まわりの育児の協力者が足りない
15. 夫婦や家族関係がうまくいかない
16. 相談できる友人がおらず、孤独感を感ずる
17. ほかの親（ママ友など）との関係がうまくいかない
18. その他 ()

問13 どのような支援を受けたか、受けたいですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. お子さんを預かるサービス付きの母親が休めることができる宿泊サービス
2. 配偶者への育児技術指導
3. 宿泊しながらの赤ちゃんへのケア方法指導（ベビーマッサージやスキンケアなど）
4. 1日を通じた赤ちゃんとの接し方指導
5. 夜泣きに関する指導
6. 授乳のペースや方法の指導
7. 宿泊しながらの乳肩ケアサービスと指導
8. 沐浴、お風呂の入れ方の指導
9. ご自宅にうかがっての育児や不安に関する相談サービス
10. ご自宅にうかがっての育児技術に関するアドバイス、指導
11. 日帰りで赤ちゃんへのケア方法指導（ベビーマッサージやスキンケアなど）
12. 日帰りで乳肩ケアサービスや指導
13. 日帰りで配偶者への育児技術指導
14. 《産前》産後における家事等の支援
15. その他 ()

問 14 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 15 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

【(1) - 1へ】

【問 16 へ】

(1) - 1 (1) で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。() 内に数字でご記入ください。

1週当たり()日 1日当たり()時間

(1) - 2 (1) で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時00分～18時30分のように、24時間制でお答えください。() 内に数字でご記入ください。

家を出る時刻()時()分 帰宅時刻()時()分

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

【(2) - 1へ】

【問 16 へ】

(2) - 1 (2) で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。() 内に数字でご記入ください。

1週当たり()日 1日当たり()時間

(2) - 2 (2) で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。() 内に数字でご記入ください。

家を出る時刻()時()分 帰宅時刻()時()分

問 16 問 15 の (1) または (2) で「3.」、「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問 17 問 15 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にかかっています。該当しない方は、問 18へお進みください。
就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する() 内には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
 2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい
 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
 →希望する就労形態

ア. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 イ. パートタイム、アルバイト等 (フルタイム) 以外
 →1週当たり()日 1日当たり()時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
 2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい
 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
 →希望する就労形態

ア. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 イ. パートタイム、アルバイト等 (フルタイム) 以外
 →1週当たり()日 1日当たり()時間

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 18-1 に示した事業が含まれます。

問 18 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している → 【問 18-1へ】 2. 利用していない → 【問 18-7へ】

問 18-1 問 18-1～問 18-6は、問 18で「1. 利用している」に○をつけた方にかかっています。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園 (通常の就園期間の利用)
 2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園期間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
 3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で副都府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)
 4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
 5. 小規模な保育施設 (※が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が6～19人のもの)
 6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どものを保育する事業)
 7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)
 8. 都道府県等の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが自治体が認証・認定した施設)
 9. その他の認可外の保育施設
 10. 居宅訪問型保育 (ヘルパー・センターのような保育者が子どもを家庭で保育する事業)
 11. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)
 12. その他 ()

問 18-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週間当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、()内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず(例)9時00分～18時30分のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時()分～()時()分

(2) 希望

1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時()分～()時()分

問 18-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。

「1」「2」のいずれかに○をつけてください。

1. 土浦市内 → 【問 18-6へ】 2. 他の市区町村

問 18-4 問 18-3で「2. 他の市区町村」に○をつけた方にかかっています。市外の施設を利用している理由は何ですか。理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 通勤面で便利だから
 2. 知り合いのお子さんなどが通っており、一緒に通わせたい
 3. 特色のある保育や教育サービスが受けられる
 4. 保育時間が希望にあっているから
 5. 市内の保育所・幼稚園・認定こども園等に入れなかったから
 6. その他 ()

問 18-5 問 18-3で「2. 他の市区町村」に○をつけた方にかかっています。市外の施設はこの施設を利用していますか。理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 牛久市 2. 龍ヶ崎市 3. つくば市 4. 取手市
 5. 阿見町 6. かすみがうら市 7. 石岡市
 8. その他 ()

問 18-6 平日に定期的に教育・保育の事業を利用して理由についてうかがいます。主な理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
 2. 子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している
 3. 子育て(教育を含む)をしている方が就労予定がある/求職中である
 4. 子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介している
 5. 子育て(教育を含む)をしている方が病氣や障害がある
 6. 子育て(教育を含む)をしている方が学生である
 7. その他 ()

問 18-7 問 18 で「2. 利用していない」に○をつけた方はいかがでしょうか。

利用していない理由は何ですか。理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
2. 子どもの祖父や祖母の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため () 歳くらいになったら利用しようと考えている
9. その他 ()

問 19 すべての方はいかがでしょうか。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所 (都が定める居宅基準に適合した施設で動画視聴等の認可を受けた定員20人以上のもの)
4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設 (都が定める居宅基準に適合した施設で中田村の認可を受けた定員が6名~19人のもの)
6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもの保育事業)
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)
8. 都道府県等の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが自治体が認証・認定した施設)
9. その他の認可外の保育施設 (待所等)
10. 居宅訪問型保育 (ハイシッター) のような保護者が子どもの家庭で保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)
12. その他 ()

問 19-1 教育・保育事業を利用したい場所についてはいかがでしょうか。「あてはまる番号すべてに○をつけてください。実際には施設等のサービスがない場合でも希望でお答えください。

1. お住まいの中学校区の施設
2. 市内の他の中学校区の施設
3. 市内の駅前・駅中の施設
4. 土浦市内の施設等
5. 茨城県内の他市町村の施設 → 【問 19-2、3へ】
6. 県外の施設
- 【問 19-2へ】

問 19-2 問 19-1 で「2」「3」に○をつけた方はいかがでしょうか。
市外の施設を利用したい理由は何ですか。理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 運動面が便利だから
2. 知り合いのお子さんなどが通っており、一緒に通わせたい
3. 特色のある保育や教育サービスが受けられる
4. 保育時間が希望にあっているから
5. その他 ()

問 19-3 問 19-1 で「2」に○をつけた方はいかがでしょうか。

市外の施設を利用したい方はどこの施設を利用したいとお考えですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 牛久市
2. 龍ヶ崎市
3. つくば市
4. 取手市
5. 阿見町
6. かずみがうら市
7. 石岡市
8. その他 ()

問 19-4 問 19 で「1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3~12」にも○をつけた方はいかがでしょうか。

特に幼稚園 (幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む) の利用を強く希望しますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. はい
2. いいえ

問 20 子ども誰でも通園制度を知っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

※「子ども誰でも通園制度」とは、子どもにも集団生活を体験させたり、保護者の育児に関する負担感のさらなる軽減を図るために、保育所等を時間単位等で柔軟に利用できる新たな制度として園が検討を進めているものです。

1. 名前も内容も知っている
2. 名前は知っているが内容は知らなかった
3. 知らなかった

問 21 0~2歳の未就園児の親で在宅保育をしているまたは予定している方にお聞きします。
子ども誰でも通園制度を利用したいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. とても利用したい
2. できれば利用してみたい
3. 利用したくない

問 21-1 問 21 で1~2と答えた方にお聞きします。

利用したい・してみたい理由は何ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 夫婦共働きのため
2. 育児疲れの軽減
3. 自分の自由時間を作るため
4. 趣味の時間を増やすため
5. 妊娠・出産のため
6. ご自身の病気のため
7. 求職活動のため
8. ママ友・パパ友作りのため
9. ご自身またはパートナーの就学のため
10. 同居家族・親族の介護や看護のため
11. その他 ()

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 22 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て交流サロン」「子育て支援センター」「児童館」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）
1週当たり（ ）回 もしくは 1か月当たり（ ）回程度
2. その他市で実施している類似の事業（具体名：
1週当たり（ ）回 もしくは 1か月当たり（ ）回程度
3. 利用していない

問 22-1 問 22 で「3. 利用していない」に○をつけた方いらっしゃいます。
利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 地域子育て支援拠点事業について知らなかった
2. 知っている人がいないので、行きづらかった
3. 自宅で面倒をみていれば十分だから
4. 幼稚園・保育所等へ通っており、それで十分であるから
5. その他（ ）

問 23 問 22 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。あてはまる番号上つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい
1週当たり（ ）回 もしくは 1か月当たり（ ）回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
1週当たり 更に（ ）回 もしくは 1か月当たり 更に（ ）回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 24 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。また、今後利用したいと思わない場合はその理由をご記入ください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

事業名	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
① マタニティ教室 (妊娠中の過ごし方・赤ちゃんの保育などの 実習・講話)	1. はい 2. いいえ (今後利用したいと思わない理由)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
② 離乳食教室 (離乳食の講話・試食・相談)	1. はい 2. いいえ (今後利用したいと思わない理由)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
③ 医療センターの健診・育児相談事業 (1か月健診・4か月健診・1歳6ヶ月健 診等)	1. はい 2. いいえ (今後利用したいと思わない理由)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
④ 乳児家庭全戸訪問事業 (赤ちゃんおめでとう訪問)	1. はい 2. いいえ (今後利用したいと思わない理由)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑤ 家庭児童相談室 (子ども・家庭に関する様々な課題に対す る相談・支援)	1. はい 2. いいえ (今後利用したいと思わない理由)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑥ 子育てひろば(交流保育・園庭開放など) 【保育所・保育園】	1. はい 2. いいえ (今後利用したいと思わない理由)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑦ 子育てひろば(親子登園など)【幼稚園】	1. はい 2. いいえ (今後利用したいと思わない理由)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑧ チャイルドシート貸出事業 (1歳未満の乳児対象)	1. はい 2. いいえ (今後利用したいと思わない理由)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑨ 地域子育て支援センター (さくらんぼ・ありんこクラブ・日高保 育園・ひまわり・ふくろう)	1. はい 2. いいえ (今後利用したいと思わない理由)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑩ 子育て交流サロン(わらべ・のぞみ)	1. はい 2. いいえ (今後利用したいと思わない理由)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑪ 保育所特別保育事業(一時的保育)	1. はい 2. いいえ (今後利用したいと思わない理由)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑫ 子育て短期支援事業 (一時的に児童福祉施設等で児童の宿泊を 伴い、養育・保護するもの)	1. はい 2. いいえ (今後利用したいと思わない理由)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 25 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。
※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい } 利用したい時間帯
3. 月に 1～2 回は利用したい () 時から () 時まで

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい } 利用したい時間帯
3. 月に 1～2 回は利用したい () 時から () 時まで

問 25-1 問 25 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に 1～2 回は利用したい」に O をつけた方にかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに O をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他 ()

問 26 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい } 利用したい時間帯
3. 休みの期間中、週に数日利用したい () 時から () 時まで

問 26-1 問 26 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に O をつけた方にかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに O をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他 ()

事業名	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
⑬図書館の本の読み聞かせ	1. はい 2. いいえ (今後利用したいと思わない理由)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑭ブックスタート (10 か月児への絵本プレセント)	1. はい 2. いいえ (今後利用したいと思わない理由)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑮こどもランド(場所: ウララ 2 ビル 8 階) (概ね 12 歳未満の児童とその保護者対象 の遊び場)	1. はい 2. いいえ (今後利用したいと思わない理由)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑯児童館 (和利児童館・ポプラ児童館・新治児童館)	1. はい 2. いいえ (今後利用したいと思わない理由)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑰子育て支援ガイドブック (子育て支援全館の冊子)	1. はい 2. いいえ (今後利用したいと思わない理由)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑱子育て世代包括支援センター ○子育て支援コンシェルジュ (子育て全般の相談)	1. はい 2. いいえ (今後利用したいと思わない理由)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑲子育て世代包括支援センター ○保健師・助産師 (妊娠、出産、育児等に関する相談)	1. はい 2. いいえ (今後利用したいと思わない理由)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 27 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していただけた保護者の方(問 18 で「1.」に○をつけた方)にうかがいます。利用していただけない方は、問 24 にお進みください。
この1年間に、宛名のお子さんが病気がけがで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった → 【問 27-1 へ】 2. なかった → 【問 28 へ】

問 27-1 宛名のお子さんが病気がけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

1年間の対処方法	日数
ア 父親が休んだ	() 日
イ 母親が休んだ	() 日
ウ (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	() 日
エ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	() 日
オ 病児・病後児の保育を利用した	() 日
カ ベビーシッターを利用した	() 日
キ ファミリー・サポート・センターを利用した	() 日
ク 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 日
ケ その他()	() 日

【問 27-2 へ】

【問 27-5 へ】

問 27-1 で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 27-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい → () 日 → 【問 27-3 へ】
2. 利用したいとは思わない → 【問 27-4 へ】

問 27-3 問 27-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設(例：幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て支援等の身近な場所(例：ファミリー・サポート・センター等)で子どもを保育する事業
4. その他()

→ 【問 28 へ】

問 27-4 問 27-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。
その思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらおうとは思わない
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間日数など)がよくない
4. 利用料がかかると高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他()

→ 【問 28 へ】

問 27-1 で「ウ」から「ケ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 27-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで看った日数について、()内に数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで看たい → () 日 → 【問 28 へ】
2. 休んで看ることは非常に難しい → 【問 27-6 へ】

問 27-6 問 27-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。
その思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業などで休めない
3. 休暇日数が足りないで休めない
4. その他()

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 28 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、郵の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業がありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)を()内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数(年間)
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	() 日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	() 日
3. 幼稚園の2歳児の4月からの通園	() 日
4. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	() 日
5. 子育て短期支援事業	() 日
6. ベビーシッター	() 日
7. その他()	() 日
8. 利用していない	→ 【問 28-1 へ】

問 28 で「8. 利用していない」と回答した方に向かいます。

問 28-1 現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 時に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）が良くない
5. 利用料がかかると高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他（ ）

問 29 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。）なお、これらの事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計	()	日
ア 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的)	()	()	日
イ 冠婚葬祭	()	()	日
ロ 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	()	()	日
ウ 不定期の就労	()	()	日
エ その他()	()	()	日

【問 29-1へ】

2. 利用する必要はない → 【問 30へ】

問 29 で「1. 利用したい」に○をつけた方に向かいます。

問 29-1 問 29 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問 30 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹を含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期間・日常生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳泊数を枠内に具体的な数字を入れてください。）。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計	()	泊
ア 冠婚葬祭	()	()	泊
イ 保護者や家族の育児疲れ・不安	()	()	泊
ロ 保護者や家族の病気	()	()	泊
エ その他()	()	()	泊

宛名のお子さんから歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

→ 【5歳未満の方は、問 35へ】

問 31 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	週	()	日	くら	い
2. 祖父母や友人・知人宅	週	()	日	くら	い
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラス、学習塾など）	週	()	日	くら	い
4. 児童館※1	週	()	日	くら	い
5. 放課後児童クラブ※2	週	()	日	くら	い
6. 放課後子ども教室※3	週	()	日	くら	い
7. ファミリー・サポート・センター	週	()	日	くら	い
8. 保育所や幼稚園で実施している学童の保育	週	()	日	くら	い
9. その他（公民館、公園など）	週	()	日	くら	い

※1 児童館……子どもたちの安全な居場所づくりと子育て家庭の交流の拠点として、たくさんのイベントを用意し、児童の健全育成を図る施設です。

※2 「放課後児童クラブ」……地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により居間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

※3 「放課後子ども教室」……地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず利用できます。

問 32 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

※ だいが先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週	()	日	くら	い
2. 祖父母や友人・知人宅	週	()	日	くら	い
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラス、学習塾など）	週	()	日	くら	い
4. 児童館	週	()	日	くら	い
5. 放課後児童クラブ	週	()	日	くら	い
6. 放課後子ども教室	週	()	日	くら	い
7. ファミリー・サポート・センター	週	()	日	くら	い
8. 保育所や幼稚園で実施している学童の保育	週	()	日	くら	い
9. その他（公民館、公園など）	週	()	日	くら	い

問 33 問 31 または問 32 で「5. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にかがいます。事宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。

次の(1)・(2)のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、() 内に(例) 9時～18時のように24時間でご記入ください。

(1) 土曜日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	} 利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	() 時から () 時まで

(2) 日曜・祝日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	} 利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	() 時から () 時まで

問 34 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。あてはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、() 内に(例) 9時～18時のように24時間でご記入ください。

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	} 利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	() 時から () 時まで

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の面立支援制度についてうかがいます。

問 35 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方は、その理由を下の選択肢から選んであてはまる番号すべてをご記入ください。

母親 (いずれかに○)	
1. 働いていなかった	⇒ 取得していない理由(下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも)
2. 取得した(取得中である)	
3. 取得していない	
父親 (いずれかに○)	
1. 働いていなかった	⇒ 取得していない理由(下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも)
2. 取得した(取得中である)	
3. 取得していない	

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった))
2. 仕事に忙しかった	
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった	
4. 仕事にやるのが難しそうだった	
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	
7. 医師等が育児休業制度を利用した	
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてももらえないなど、制度を利用する必要がなかった	
10. 子育てや家事に専念するため退職した	
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めなかった)	
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	
13. 育児休業を取得できることを知らなかった	
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できなかった	
15. その他 ()	

問 35-1 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)の期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 35 で母親・父親が「2. 取得した(取得中である)」と回答した方にかがいます。

問 35-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

母親	父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である	2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した	3. 育児休業中に離職した

問 35-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にかがいます。

問 35-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合などは「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

母親	父親
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった	2. それ以外だった

問 35-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取り戻したかったですか。() 内に数字をご記入ください。

母親	父親
実際の取得期間 () 歳 () か月	実際の取得期間 () 歳 () か月
希望 () 歳 () か月	希望 () 歳 () か月

問 35-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取り戻したかったですか。() 内に数字をご記入ください。

母親	父親
希望 () 歳 () か月	希望 () 歳 () か月

問 35-4で実際の復帰と希望が異なる方にかがいます。

問 35-6 希望の時期に職場復帰しない理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※あてはまる番号すべてに○をつけてください。	
母親	父親
1. 希望する保育所に入らなため	1. 希望する保育所に入らなため
2. 配偶者や家族の希望があったため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. 育児退勤制度により上の子が退園となるため	5. 育児退勤制度により上の子が退園となるため
6. その他 ()	6. その他 ()

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※あてはまる番号すべてに○をつけてください。	
母親	父親
1. 希望する保育所に入らなため	1. 希望する保育所に入らなため
2. 自分や子どもなどの体調が悪くなかつたため	2. 自分や子どもなどの体調が悪くなかつたため
3. 配偶者や家族の希望があったため	3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかつたため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかつたため
5. 子どもをみてくれる人がいなかつたため	5. 子どもをみてくれる人がいなかつたため
6. その他 ()	6. その他 ()

問 35-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にかがいます。

問 35-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

母親	父親
1. 利用する必要がなかつた (フルタイムで働きたかつた、もともと短時間勤務だった)	1. 利用する必要がなかつた (フルタイムで働きたかつた、もともと短時間勤務だった)
2. 利用した	2. 利用した
3. 利用したかつたが、利用しなかつた (利用できなかつた)	3. 利用したかつたが、利用しなかつた (利用できなかつた)

問 35-7で「3. 利用したかつたが、利用しなかつた (利用できなかつた)」と回答した方にかがいます。

問 35-8 短時間勤務制度を利用しなかつた (利用できなかつた) 理由は何か。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

母親	父親
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があつた	1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があつた
2. 仕事が忙しかつた	2. 仕事が忙しかつた
3. 短時間勤務にすると給与が減額される	3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した	7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかつた (就業規則に定めがなかつた)	8. 職場に短時間勤務制度がなかつた (就業規則に定めがなかつた)
9. 短時間勤務制度を利用できなかった	9. 短時間勤務制度を利用できなかった
10. その他 ()	10. その他 ()

問 35-2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にかがいます。

問 35-9 宛名のおさんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があつても1歳になる前に復帰しますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親	
1. 1歳になる前に復帰したい	2. 1歳になるまで育児休業を取得したい
3. 1歳6か月になるまで育児休業を取得したい	4. 2歳になるまで育児休業を取得したい
(2) 父親	
1. 1歳になる前に復帰したい	2. 1歳になるまで育児休業を取得したい
3. 1歳6か月になるまで育児休業を取得したい	4. 2歳になるまで育児休業を取得したい

問 36 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

満足度が低い	←	1	2	3	4	5	→	満足度が高い

すべての方に、子育てに関する悩みについてうかがいます。

問 37 あなたは、自分にとって子育てを楽しんでいると感じることが多いと思いませんか。それとも辛いと感じることが多いと思いませんか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 楽しいと感じることが多い	
2. 楽しいと感じることがつらいと感じることが同じくらい	
3. 辛いと感じることが多い	
4. その他 ()	
5. わからな	

問 38 子どもに對して、思わずたいたり、子どもの心を傷つけてしまふような言動をしたり、子どもの相手や世話をしないことがあつたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. よくある	2. たまにある
3. したいと思うことはよくあるが、行動には移さない	
4. ほとんどない	5. まったくない

問 38で「1.」か「2.」に回答した方にかがいます。

問 38-1 思わずたいたり、子どもの心を傷つけてしまふような言動をしたり、子どもの相手や世話をしないことがあつた原因はどこにあると思いませんか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの言動についてモライライする	2. しまられたときの反応が遠慮したい
3. 子どもがかわいと思えない	4. 子どもが親の言うことを聞かない
5. 自分の感情を抑えられない	6. しつとして必要だから
7. 子ども以外のことでいつもストレスがある	8. その他 ()

すべての方に、子育てに関する支援等についてうかがいます。

問 39 子育て支援に関する情報をどのように入手されていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 親族（両親、きょうだいなど）
2. 友人、知人
3. 近所の人
4. 子育てサークルの仲間
5. 保育所、幼稚園、認定こども園、小学校
6. 市役所や市の機関
7. 市の広報やパンフレット
8. テレビ、ラジオ、新聞
9. 子育て雑誌・育児書
10. インターネット（掲示板・専用サイト等）
11. コミュニティ誌
12. その他（ ）
13. 情報の入手先がない
14. 情報の入手手段が分からない

問 40 子育てに関して、どのような情報が必要ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育て関連の公共サービス
2. 公園や遊び場
3. 育児サークルやイベント・講座
4. 子どもの健康・発達
5. 子どもが病気の時の対処法
6. 医療や医療機関
7. その他（ ）
8. 特になし

問 41 市に対して、どのような子育て支援の充実を期待しますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい
2. 子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい
3. 授乳やおむつ交換に立ち寄れる場所を確保して欲しい
4. 子育てに困ったときに相談したり、情報が得られる場を作って欲しい
5. 保育所・幼稚園・認定こども園などを整備して欲しい
6. 育児費用（出産費用を含む）の補助を充実して欲しい
7. 保育所や幼稚園・認定こども園にかかる費用負担を軽減して欲しい
8. 安心して子どもが医療機関にかけられる体制を整備して欲しい
9. 多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面での配慮が欲しい
10. 就業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけて欲しい
11. 子育てについて学べる機会を作って欲しい
12. 誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスが欲しい
13. その他（ ）

《遊び場や外出》

問 42 あなたの周りには、子どもや若者の遊びや体験活動の機会や場が十分にあると思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. そう思う
2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえば、そう思わない
4. そう思わない

問 43 どのような遊び場を望みますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 家の近くにある
2. 雨の日でも遊べる場所
3. 思い切り遊ぶために十分な広さがある
4. 遊具などの種類が充実している
5. 衛生的である
6. いつにもぎわっていて楽しい感じがする
7. 遊具などの整備がきちんとされている
8. 緑などの自然が多い
9. 遊び場やその周辺の環境が良く、安心して遊べる
10. 遊び場周辺の道路が安全である
11. 遊び場に子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいる
12. その他（ ）
13. 特に望むことはない

問 44 子どもとのお外出の際、困ること・困ったことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること
2. 小さなお子と歩道の両側に駐車された場所がないこと
3. 買い物や仕事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと
4. 緑や広い歩道が少ない等、まちなみにゆとりと余裕がないこと
5. 暗い通りや歩道のきかないところが多く、子どもが犯罪被害にあわないか心配であること
6. 周囲の人が子ども連れを迷惑そうにみること
7. 荷物や子どもにも手に取られて困っている時に手を貸してくれる人が少ないこと
8. その他（ ）
9. 特に困ること・困ったことはない

問 45 宛名のお子さんは、地域活動やグループ活動などに参加されたことはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 参加したことがある
2. 参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている
3. 参加したことがなく、今後も予定はない

問 45-1 問 45で「1. 参加したことがある」または「2. 参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている」を選んだ方にうかがいます。お子さんが参加したことがある、または今後は参加させたい地域活動やグループ活動の種類は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. スポーツ活動
2. 文化・音楽活動
3. キャンプ等の野外活動
4. 高齢者訪問等の社会福祉活動
5. ホームステイ等の国際交流活動
6. 子ども会等青少年団体活動
7. リサイクル活動等の環境分野での社会貢献活動
8. その他（ ）

すべての方に、子どもの権利についてうかがいます。

問 46 「子どもは権利の主体である」と思えますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. そう思う
- 2. どちらかといえば、そう思う
- 3. どちらかといえば、そう思わない
- 4. そう思わない

問 47 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. 常にしている
- 2. ときどきしている
- 3. あまりしていない
- 4. まったくしたことがない

問 48 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 人種や性別、宗教などで差別されないこと
- 2. 障がいのある子が差別されないこと
- 3. 子どもが知りたいたいことを隠さないこと
- 4. 暴力や言葉で標的につけないこと
- 5. 家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと
- 6. 自分の考えを自由に言えること
- 7. 人と違う自分らしさが認められること
- 8. 自分の秘密が守られること
- 9. 自分のことは自分で決められること
- 10. 自由な時間をもつこと
- 11. 自由な呼び掛けでグループを作り集まれること
- 12. 必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられる
- 13. わからない
- 14. その他 ()

問 49 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由に記入ください。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

2 就学児童

土浦市子育て支援に関するアンケート調査《就学児童用》

依頼状に記載のIDをご記入ください。

ID: ()

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区としてあてはまる番号1つに○をつけてください。

地区名	該当町名
1. 一 中地区	有明町、大和町、桜町一丁目～四丁目、大町、千束町、生田町、清町一丁目～三丁目、中央一丁目・二丁目、城北町、東崎町、川口一丁目・二丁目、大井町、文草町、立田町、田中一丁目～三丁目、田中町、蓮河原町、蓮河原新町、滝田一丁目・二丁目、湖北一丁目・二丁目、虫孫（虫孫町）、六塚（六塚町）、矢作（矢作町）、飯田（飯田町）、佐野子（佐野子町）、船毛（船毛町）
2. 二 中地区	木田余（木田余町1区、2区、3区、4区）、木田余東台一丁目～五丁目、木田余西台、真鍋一丁目～六丁目、美真鍋町、西真鍋町、真鍋新町、若松町、栗谷松町、栗谷和、鞍野（鞍野町）
3. 三 中地区	中（中根町1区・6区・8区、西根町3区の一部、中根東町の一部）、中根西根（1区・2区、竹の入町、西根町3区の一部、乙戸町の一部）、中根高一丁目～六丁目、西根南一丁目～三丁目、西根西一丁目、知町一丁目・二丁目、中村東一丁目～三丁目、右根（中村東町の一部）、荒川沖東一丁目～三丁目、荒川沖（荒川沖町南地区の一部）、沖新田（荒川沖町南地区の一部）、北荒川沖町、中荒川沖町、荒川沖西一丁目・二丁目、荒川沖（荒川沖町西地区一丁目・二丁目）、荒川沖西三丁目、荒川沖南地区の一部、乙戸（乙戸町の一部）、荒川沖町南地区の一部、乙戸町南一丁目～三丁目、小山西一丁目・二丁目
4. 四 中地区	小松一丁目～三丁目、平鷲ヶ丘町、小松ヶ丘町、桜ヶ丘、園分町、上高津（上高津町の一部）、六塚（上高津町の一部）、上高津新町、小若田（永国町の一部）、永国（永国町、中高津町の一部）、永国東町、永国台、富士崎一丁目・二丁目、下高津一丁目～四丁目、中高津一丁目～三丁目、天川一丁目・二丁目
5. 五 中地区	沖徳町、田村町、手野町、おおつ野一丁目～八丁目、神立町（神立町1区）、中神立町、北神立町、神立町中央一丁目～五丁目、神立東一丁目・二丁目、菅谷町、白鳥町（白鳥町、白鳥新町）
6. 六 中地区	大岩田（大岩田町1区・2区、大岩田町地）、霧ヶ岡町、小若田東一丁目・二丁目、小若田西一丁目・二丁目、島山一丁目～五丁目、右根（右根町1区・4区・5区、右根町2区・3区の一部、右根町自衛隊、まりやま団地、まりやま新町）、摩利山新田（右根町2区・3区の一部）
7. 都和地区	並木一丁目～五丁目、東並木町、西並木町、都和一丁目～四丁目、坂谷一丁目～七丁目、中総町一丁目～四丁目、荻野、今泉（今泉町）、栗野町、小山崎（小山崎町）中真（中真町）、東中真町、常名（常名町）、紫ヶ丘
8. 新治地区	藤沢（藤沢1区・2区）、東町の一部、文京区の一部）、大畑（大畑、藤沢町地、東町の一部、桃園の一部）、沢田（下坂田、桃園の一部）、沢田、田宮、田上北、高朝（高朝根、高朝沖、高朝新田）、藤沢新田、永井、本郷、大志戸、小野、東湯寺、小高
9. わからない	(町名:)

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のおさんは何年生ですか。あてはまる答の番号1つに○をつけてください。

1. 1年生 2. 2年生 3. 3年生
4. 4年生 5. 5年生 6. 6年生

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみたら関係でお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問5 宛名のおさんの子育て（教育を含む）を主にしているのはどなたですか。お子さんからみたら関係であてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親
4. 主に祖父母 5. その他 ()

子どもの育ちをゆるぐ環境についてうかがいます。

問6 日頃、宛名のおさんを見てももらえる親族・知人はいませんか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてももらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてももらえる
3. 日常的に子どもを見てももらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを見てももらえる友人・知人がいる
5. いずれもない → 【問7へ】

宛名のお子さんの保護者の就業状況についてうかがいます。

問9 宛名のお子さんの保護者の現在の就業状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

(1) - 1 (1)で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（ ）内に数字をご記入ください。

1週当たり()日 1日当たり()時間

(1) - 2 (1)で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。
家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）8時00分～18時30分のように、24時間制でお答えください。（ ）内に数字をご記入ください。

家を出る時刻()時()分 帰宅時刻()時()分

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
産休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
産休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
産休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
産休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

問6-1 問6で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。
祖父母等の親族にお子さんをお預けしている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きいく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きいく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他()

→ 【問7へ】

問6-2 問6で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。
友人・知人にお子さんをお預けしている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きいく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きいく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他()

問7 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいいますか。また、相談できる場所はありませんか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる/ある → 【問7-1へ】 2. いない/ない → 【問8へ】

問7-1 問7で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。
お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族
2. 友人や知人
3. 近所の人
4. 子育て支援施設（地域子育て支援拠点、児童館、NPO等の民間施設で実施しているものも含む）
5. 保健所・保健センター
6. 保育士・幼稚園教諭
7. 小学校教諭
8. 民生委員・児童委員
9. かかりつけの医師
10. 土浦市・茨城県の子育て関連担当窓口
11. その他()

問8 子育てをする上で、特に不安に思っていることや悩んでいることはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育てによる身体の疲労が大きい
2. 子育てで出費がかさむ
3. 自分の自由な時間が少ない
4. 夫婦で楽しむ時間が少ない
5. 仕事が十分にできない
6. 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない
7. 子どもが病気がち
8. 住居が狭い
9. その他()
10. 不安に思うことは特になし

(2) ー 1 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にかかいます。

1. 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。()内は数字でご記入ください。

1日当たり()日 1日当たり()時間

(2) ー 2 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にかかいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(例) 8時00分～18時30分のように、24時間制でお答えください。()内は数字でご記入ください。

家を出る時刻()時()分 帰宅時刻()時()分

問 10 問9の(1)または(2)で「3.」「4.」「パート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にかかいます。該当しない方は、問12へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問 11 問9の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にかかいます。該当しない方は、問12へお進みください。

就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字でご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったときに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態
ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイト等(「フルタイム」以外)
→1週当たり()日 1日当たり()時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったときに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態
ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイト等(「フルタイム」以外)
→1週当たり()日 1日当たり()時間

宛名のお子さんの放課後児童クラブの利用についてうかがいます。

※放課後児童クラブとは、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生を対象に放課後児童指導員が遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図る事業です。

※放課後子ども教室とは、小学校の施設を活用して地域の大人の参画を得て、子どもたちに安全で安心な活動場所を提供する放課後対策事業です。

問 12 宛名のお子さんは現在、放課後児童クラブを利用していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 【問12-1へ】
2. 利用していない ⇒ 【問12-2へ】

問 12-1 問12で「1.利用している」を選ばれた方にかかいます。宛名のお子さんについて、①～③の各間にお答えください。

① 放課後児童クラブの利用日数はどれくらいですか。()内に日数をご記入ください(日数を数字一文字でご記入ください)。

週()日くらい ⇒ うち土・日の利用(1. ある 2. ない)

② 利用している理由について、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労している
2. 就労予定がある/求職中である
3. 家族、親族などを介護しなければならぬ
4. 病気や障害を持っている
5. 学生である

③ 利用したい時間帯をお答えください。(例)15時30分～18時00分のように24時間制でご記入ください。()内に数字でご記入ください

1日当たり()時間 ()時()分 ～ ()時()分

問 12-2 問12で「2.利用していない」を選ばれた方にかかいます。

利用していない理由について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労していないから
2. 就労しているが、放課後児童クラブを知らなかったから
3. 就労しているが、近くに放課後児童クラブがないから
4. 就労しているが、放課後児童クラブに空きがないから
5. 就労しているが、放課後児童クラブの開所時間が短いから
6. 就労しているが、利用がつかないから
7. 就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから
8. 就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから
9. 就労しているが、他の施設に預けているから
10. その他()

問 12-3 問 12 で「2. 利用していない」を選ばれた方にうかがいます。
今後、放課後児童クラブを利用したいとお考えですか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。また、利用したい場合には、希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 15 時 00 分～18 時 30 分のように 24 時間制でご記入ください。

1. 利用したい	2. 今後も利用しない
1 週当たり () 日くらゐ ⇒ うち土・日の利用 (1. ある 2. ない)	
1 日当たり () 時間 () 時 () 分 ~ () 時 () 分	

問 12-4 問 12-3 で「1. 利用したい」を選ばれた方にうかがいます。
今後、放課後児童クラブを利用したい理由について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労している
2. 就労予定がある/求職中である
3. そのうち就労したいと考えている
4. 家族・親族などを介護しなければならぬ
5. 病気や障害を持っている
6. 学生である/就学したい
7. 就労していないが、子どもの教育などのために預けたい
8. その他 ()

問 13 地域によっては、放課後児童クラブと運動して行うサービスとして「放課後子ども教室」があります。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 週 () 日くらゐ
2. 利用していない

問 13-1 問 13 で「2. 利用していない」を選ばれた方にうかがいます。
今後、放課後子ども教室を利用したいとお考えですか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。また、利用希望がある方は、() 内に 1 週間の日数を数字でご記入ください。

1. 利用希望がある ⇒ 週 () 日くらゐ
2. 利用希望はない

問 14 宛名のお子さんについてうかがいます。放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、「1. 放課後児童クラブを利用したい」と回答された方は、何年生まで利用したいか () 内に数字でご記入ください。

1. 放課後児童クラブを利用したい ⇒ 小学 () 年生まで利用したい
2. 放課後子ども教室を利用したい ⇒ 小学 () 年生まで利用したい
3. クラブ活動など習い事をさせたい
4. 利用を希望するサービスは特になし
5. その他 ()

問 15 お子さんの放課後に必要と思うものは次のうちどれですか。あてはまる番号 3 つに○をつけてください。

1. 大入の居守りによる安全・安心な居場所
2. 学びのきっかけとなる体験活動 (スポーツや文化芸術活動など)
3. 自由遊び
4. 勉強 (宿題等) の支援
5. 学力を高めるための学習支援 (算数や英語など。宿題は除く)
6. 運動系の習い事
7. 音楽系の習い事
8. 将来の職業の参考になる体験活動
9. その他 ()

問 16 放課後子ども教室や放課後児童クラブに期待することは何ですか。あてはまる番号 3 つに○をつけてください。

1. 安全・安心な居場所であること
2. 安心して預けられるスタッフの見守りがあること
3. 子どもが、多くの友達や異なる学年の子どもと交流できること
4. 子どもが、工作・料理・スポーツなどのいろいろな体験活動に参加できること
5. 子どもや保護者が、地域の人とふれ合うことで、地域とつながりができること
6. 子どもが、広い場所で思いきり体を動かして活動できること
7. 子どもが、あいさつや後片付けなどの基本的な生活習慣や、勉強 (宿題等) の習慣を身につけることができること
8. 保護者が、安心して仕事や自分の時間の確保をできること
9. 経済的負担が少ないこと
10. その他 ()

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問 17 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで小学校（現在1年生の場合は保育園・幼稚園）を休まなければならなかったことはありますか。

1. あった → 【問17-1へ】 2. なかった → 【問18へ】

問 17-1 宛名のお子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかった場合に、この1年間に病名の対応方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）

1年間の対応方法		日数
ア	父親が休んだ	() 日
イ	母親が休んだ	() 日
ウ	(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	() 日
エ	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	() 日
オ	病児・病後児の保育を利用した	() 日
カ	ベビーシッターを利用した	() 日
キ	ファミリー・サポート・センターを利用した	() 日
ク	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 日
ケ	その他()	() 日

※「キ、ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

問 17-1 で「ア」「イ」のいずれかに回答した方に向かいます。

問 17-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても（ ）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ () 日 → 【問17-3へ】
 2. 利用したいとは思わない → 【問17-4へ】

問 17-3 問17-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方に向かいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所にて保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
 4. その他()

→ 【問18へ】

問 17-4 問17-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方に向かいます。そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安
 2. 地域の事業の質に不安がある
 3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない
 4. 利用料がかかる・高い
 5. 利用料がわからない
 6. 親が仕事を休んで対応する
 7. その他()

問 17-1 で「ウ」から「ケ」のいずれかに回答した方に向かいます。

問 17-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数について、も（ ）内に数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ () 日 → 【問18へ】
 2. 休んで看ることは非常に難しい → 【問17-6へ】

問 17-6 問17-5で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方に向かいます。そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
 2. 自営業なので休めない
 3. 休暇日数が足りないので休めない
 4. その他()

宛名のお子さんの一時的預かり等の利用についてうかがいます。

問 18 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を（ ）内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数（年間）
1. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業） * 土浦市社会福祉協議会に委託して事業を行っています。	() 日
2. ベビーシッター	() 日
3. その他()	() 日
4. 利用していない → 【問18-1へ】	() 日

問 18 で「4. 利用していない」と回答した方に向かいます。

問 18-1 現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない
 2. 利用したい事業が地味にない
 3. 地域の事業の質に不安がある
 4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
 5. 利用料がかかる・高い
 6. 利用料がわからない
 7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
 8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
 9. その他()

問 19 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を記入してください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります）。

1. 利用したい	計（ ）日
ア 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の買い物等、リフレッシュ目的)	()日
イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	()日
ウ 不定期の就労	()日
エ その他()	()日

2. 利用する必要はない → 【問 20へ】

【問 19-1へ】

問 19で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 19-1 問 19 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. ファミリー・サポート・センター
2. ベビーシッター
3. その他()

問 20 保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何回くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)の利用希望したい泊数の合計と、目的別の内訳泊数を枠内に具体的な数字を入れてください。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計（ ）泊
ア 冠婚葬祭	()泊
イ 保護者や家族の育児疲れ・不安	()泊
ウ 保護者や家族の病気	()泊
エ その他()	()泊

2. 利用する必要はない

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 21 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことのあるもの、今後、利用したいと思えるものをお答えください。①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。また、今後利用したいと思わない場合はその理由をご記入ください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

事業名	A 知っている	B これまでに利用したことがある	C 今後利用したい
①保健センターの健診・育児相談事業(子どもの健康や発達について)	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ (今後利用したいと思わない理由)	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
②子育て短期支援事業(一時的に児童養護施設等で児童の宿泊を伴い、養育・保護するもの)	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ (今後利用したいと思わない理由)	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
③チャレンジクラブ事業(中学校区ごとの異年齢地域小グループ活動)	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ (今後利用したいと思わない理由)	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
④放課後児童クラブ(保護者が就労等により画断家庭にいない児童に適切な遊びや生活の場を提供する)	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ (今後利用したいと思わない理由)	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑤放課後子ども教室(子どもにスポーツ、文化・体験活動、地域住民との交流活動等を実施)	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ (今後利用したいと思わない理由)	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑥家庭児童相談室(子ども・家庭に関する様々な問題に対する相談・支援)	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ (今後利用したいと思わない理由)	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑦教育相談室(ボプラひろば)(急いでできない児童に対して、再登校を手助けする教室)	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ (今後利用したいと思わない理由)	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑧児童館(都和児童館・ボプラ児童館・新治児童館)	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ (今後利用したいと思わない理由)	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑨図書館の木の読み聞かせ	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ (今後利用したいと思わない理由)	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑩子どもランド(場所：ウララ2ビル8階)(概ね12歳未満の児童とその保護者対象の遊び場)	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ (今後利用したいと思わない理由)	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑪子育て交流サロン(主に乳幼児を持つ母親などの集いの場)	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ (今後利用したいと思わない理由)	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ

すべての方に、子育てに関する悩みについてうかがいます。

問 22 あなたは、自分にとって子育てを楽しんでいると感じることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 楽しいと感じることが多い
2. 楽しいと感じることがつらいと感じることが同じくらい
3. 辛いと感じることが多い
4. その他 ()
5. わからない

問 23 子どもに対して、思わずしたり、子どもの心を傷つけてしまうような言動をしたり、子どもの相手や世話をしないことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. よくある
2. たまにある
3. したいと思うことはよくあるが、行動には移さない
4. ほとんどない

問 23で「1.」か「2.」に回答した方にうかがいます。

問 23-1 思わずしたり、子どもの心を傷つけてしまうような言動をしたり、子どもの相手や世話をしないことがある原因はどこにあると思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの言動にいつもイライラする
2. 知られたときの反応が腹立たしい
3. 子どもがかわいと思えない
4. 子どもが寝るの言うことを聞かない
5. 自分の感情を抑えられない
6. しつげとして必要だから
7. 子ども以外のことでいつもストレスがある
8. その他 ()

問 24 子育てに支援に関する情報をどのように入手されていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 親族（両親、きょうだいなど）
2. 友人、知人
3. 近所の人
4. 子育てサークルの仲間
5. 保育所、幼稚園、認定こども園、小学校
6. 市役所や市の機関
7. 市の広報やパンフレット
8. テレビ、ラジオ、新聞
9. 子育て雑誌・育児書
10. インターネット（掲示板・専用サイト等）
11. コミュニティ誌
12. その他 ()
13. 情報の入手先がない
14. 情報の入手手段が分からない

問 25 子育てに関して、どのような情報が必要ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育て関連の公共サービス
2. 公園や遊び場
3. 子育てサークルやイベント・講座
4. 子どもの健康・発達
5. 子どもが病気の時の対処法
6. 医療や医療機関
7. その他 ()
8. 特にない

問 26 市に対して、どのような子育て支援の充実を期待しますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい
2. 子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい
3. 授乳やおむつ交換に立ち寄れる場所を増やして欲しい
4. 子育てに困ったときに相談したり、情報が得られる場を作って欲しい
5. 保育所・幼稚園・認定こども園などを整備して欲しい
6. 育児費用（出産費用を含む）補助を充実して欲しい
7. 保育所や幼稚園・認定こども園・小学校にかかる費用負担を軽減して欲しい
8. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい
9. 多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住生活での配慮が欲しい
10. 残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけて欲しい
11. 子育てについて学べる機会を作って欲しい
12. 誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスが欲しい
13. その他 ()

《遊び場や外出》

問 27 あなたの風里には、子どもや若者の遊びや体験活動の機会や場が十分にあると思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. そう思う
2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえば、そう思わない
4. そう思わない

問 28 どのような遊び場を望みますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 家の近くにある
2. 雨の日でも遊べる場所
3. 思い切り遊ぶために十分な広さがある
4. 遊具などの種類が充実している
5. 衛生的である
6. いつにもぎわっていて楽しい感じがする
7. 遊具などの整備がきちんとされている
8. 緑などの自然が多い
9. 遊び場やその周辺の環境が良く、安心して遊べる
10. 遊び場周辺の道路が安全である
11. 遊び場に子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいる
12. その他 ()
13. 特に望むことはない

問 29 子どもとの外出の際、困ること・困ったことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること
2. 小さなお子と食事の合間に気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと
3. 買い物や用事の合間に気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと
4. 緑や広い歩道が少ない等、まちなみにゆとりとうるおいがない
5. 思い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配である
6. 周囲の人が子ども連れを迷惑そうにみる
7. 荷物や子どもに手を取られて困っている時を貸してくれる人が少ないこと
8. その他 ()
9. 特に困ること・困ったことはない

土浦市
子ども・子育て支援事業のニーズ調査
結果報告書

発行年月：令和6年7月

発行：土浦市 子ども未来部 子ども政策課
〒300-8686
土浦市大和町9-1

電話：029-826-1111